
吉川市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
および在宅介護実態調査報告書

令和5年6月

吉川市

目 次

第1章 調査の概要	1
1 本調査について	3
(1) 調査の目的	3
(2) 調査対象者	3
(3) 調査方法	3
(4) 調査期間	3
(5) 回収数・回収率	3
(6) 報告書を見る際の留意点	4
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	5
1 本人（回答者）の属性について	7
(1) 年齢	7
(2) 性別	8
(3) 居住地域	8
(4) 調査区分	9
2 家族や生活状況について	10
(1) 家族構成	10
(2) 介護・介助の状況	11
(3) 介護・介助が必要になった主な原因	12
(4) 主な介護・介助者	13
(5) 介護・介助を受けていない理由	14
(6) 介護サービスの相談方法について	15
(7) 経済的状況	16
(8) 住まい	17
(9) 5年後の住まい	18
3 からだを動かすことについて	19
(1) 階段を昇ること	19
(2) 椅子からの立ち上がり	20
(3) 継続的な歩行	21
(4) 転倒した経験	22
(5) 転倒への不安	23
(6) 週1回以上の外出	24
(7) 外出時の主な移動手段	25

(8) 日中の過ごし方	26
(9) 外出頻度の減少	27
(10) 外出が減った理由	28

4 食べることについて..... 29

(1) BMI	29
(2) 体重減少があったか	30
(3) 固いものが食べにくくなったか	31
(4) お茶や汁物等でむせること	32
(5) 口の渇きについて	33
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況	34
(7) 誰かと食事をともにする機会	35

5 毎日の生活について..... 36

(1) 物忘れが多いと感じるか	36
(2) 自分で番号を調べて電話をかけること	37
(3) 日付がわからないこと	38
(4) 1人での外出	39
(5) 歩行の意識	40
(6) 運動している日数	41
(6)―① 運動しない理由	42
(7) 自分で買い物をしているか	43
(7)―① 買物の交通手段	44
(7)―② 買物の頻度	45
(8) 食事の用意	46
(9) 請求書の支払いの状況	47
(10) 預貯金の出し入れの状況	48
(11) 年金などの書類が書けるか	49
(12) 新聞を読んでいるか	50
(13) 本や雑誌を読んでいるか	51
(14) 健康についての記事や番組に関心があるか	52
(15) 友人宅を訪ねているか	53
(16) 家族や友人の相談にのっているか	54
(17) 病人の見舞いができるか	55
(18) 若い人に話しかけること	56
(19) 趣味	57
(20) 生きがい	58
(21) 日常生活での困りごと	59

6 地域での活動について	60
(1) 会・グループ等への参加頻度.....	60
(2) 参加者としての地域づくりへの参加.....	65
(3) 参加したいグループ活動.....	66
(4) 参加者として活動するときの活動人数.....	66
(5) 世話役としての地域づくりへの参加.....	67
(6) 世話役として活動するときの活動人数.....	68
7 たすけあいについて	69
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人.....	69
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人.....	70
(3) 看病や世話をしてくれる人.....	71
(4) 看病や世話をしてあげる人.....	72
(5) 地域包括支援センターの認知状況.....	73
(6) 友人・知人と会う頻度.....	74
(7) 会った友人・知人の人数.....	75
(8) 友人・知人との関係.....	76
8 健康について	77
(1) 健康状態.....	77
(2) 幸福度.....	78
(3) 最近1か月間の気分の状態.....	79
(4) 最近1か月間の物事に対する心の状態.....	80
(5) 飲酒の状況.....	81
(6) 喫煙の状況.....	82
(7) 治療中または後遺症のある病気.....	83
9 病院など医療機関のことについて	84
(1) 在宅医療の認知状況.....	84
(2) 在宅医療に関するイメージ.....	85
(3) かかりつけ医の有無.....	92
(3)―① かかりつけ医は市内にある医療機関か.....	93
(4) かかりつけ薬局の認知状況.....	94
(5) かかりつけ薬局の有無.....	95
(5)―① かかりつけ薬局を持ちたいと思うか.....	96
(6) かかりつけ歯科医の認知状況.....	97
(7) かかりつけ歯科医の有無.....	98
(7)―① かかりつけ歯科医を持ちたいと思うか.....	99

10 人生の終末期について..... 100

- (1) 終末期についての家族との話し合い..... 100
- (2) 終末期の療養場所..... 101
- (3) 終末期における自宅療養..... 102
- (3)一① 自宅療養が困難である理由..... 103
- (4) 人生の最後を迎えたい場所..... 104
- (5) 終活の認知状況..... 105
- (6) 将来についての家族との話し合い..... 106
- (7) 万が一のときの手続きを依頼できる人..... 107

11 認知症について..... 108

- (1) 認知症の認知状況..... 108
- (2) 認知症予防の認知状況..... 109
- (3) 本人または家族に認知症の症状があるか..... 110
- (4) 認知症の相談窓口の認知状況..... 111
- (5) 認知症について気になること..... 112

12 新型コロナウイルス感染症の影響について..... 113

- (1) 感染症拡大による生活への影響..... 113
- (2) 自粛生活による自身の変化..... 114

13 各種生活リスク等の状況について..... 115

- (1) 運動器機能..... 115
- (2) 転倒..... 117
- (3) 口腔機能..... 118
- (4) 低栄養..... 120
- (5) 閉じこもり..... 122
- (6) 認知機能..... 124
- (7) うつ傾向..... 126
- (8) IADL(手段的日常生活動作)..... 128
- (9) 知的能動性..... 130
- (10) 社会的役割..... 132

14 自由記載欄..... 134

- (1) 市の高齢者福祉施策や介護保険サービスなどへの意見・要望..... 134

第3章 在宅介護実態調査..... 135

1 A票 調査対象者本人について..... 137

(1)回答者.....	137
(2)世帯類型.....	138
(3)家族や親族からの介護.....	139
(4)主な介護者.....	140
(5)主な介護者の性別.....	141
(6)主な介護者の年齢.....	142
(7)主な介護者が行っている介護等.....	143
(8)介護を主な理由として退職・転職した家族や親族.....	145
(9)現在利用している支援・サービス.....	146
(10)在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス.....	147
(11)施設等へ入所・入居の検討状況.....	148
(12)調査対象者本人が抱えている傷病.....	149
(13)訪問診療の利用状況.....	151
(14)介護保険サービスの利用状況.....	152
(15)介護保険サービスを利用していない理由.....	153

2 B票 主な介護者について..... 155

(1)主な介護者の勤務形態.....	155
(2)介護をするための働き方の調整.....	156
(3)仕事と介護の両立のための支援.....	157
(4)仕事と介護の両立の可能性.....	159
(5)主な介護者が不安に感じる介護等.....	160

3 C票 自由記載欄..... 162

(1)市の高齢者福祉施策や介護保険サービスなどへの意見・要望.....	162
-------------------------------------	-----

第1章 調査の概要

1 本調査について

(1) 調査の目的

この調査は、よしかわ地域包括ケア計画（第9期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画）の基礎資料とするために実施しました。

(2) 調査対象者

調査対象者は次のとおりです。

区分	調査対象	対象者数
①高齢者一般	吉川市内に在住の65歳以上の方から無作為抽出	3,000人
②在宅要支援・要介護認定者	吉川市内に在住の、在宅で要支援・要介護認定を受けている方から無作為抽出（介護保険施設サービス利用者、長期入院者を除く）	1,500人

(3) 調査方法

郵送による配付・回収を行いました。

(4) 調査期間

令和5年1月27日（金）～令和5年2月17日（金）にかけて調査を実施しました。

(5) 回収数・回収率

配付・回収の結果は次のとおりです。

区分	有効回収数	有効回収率
①高齢者一般	1,676	55.9%
②在宅要支援・要介護認定者	746	49.7%

(6) 報告書を見る際の留意点

- 本報告書で示している回答結果の割合(%)は、回答数に対する選択肢ごとの割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合も、回答数に対する選択肢ごとの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 本報告書内のグラフや表において「n」とある場合、n数(number of case)であることを示し、その設問における集計対象者の総数、あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数を表しています。
- 集計対象者数(n)が極端に少ない場合、特定の意向が強く反映されることなどが想定されるため、内容によっては言及しないことがあります。
- 「その他」や「無回答」など、回答から読み取れるものが少ない、またはないものについては、言及しないことがあります。
- 本文中の設問番号について、報告書の便宜上、実際の調査票と異なる設定を行っている場合があります。また、本文中の設問の文章や選択肢について、長いものは簡略化している場合があります。
- 性別、年齢、居住地域、要介護度については、調査票の識別番号を元に集計しているため、グラフ内には無回答の区分に「0.0」ではなく「-」と表記しています。

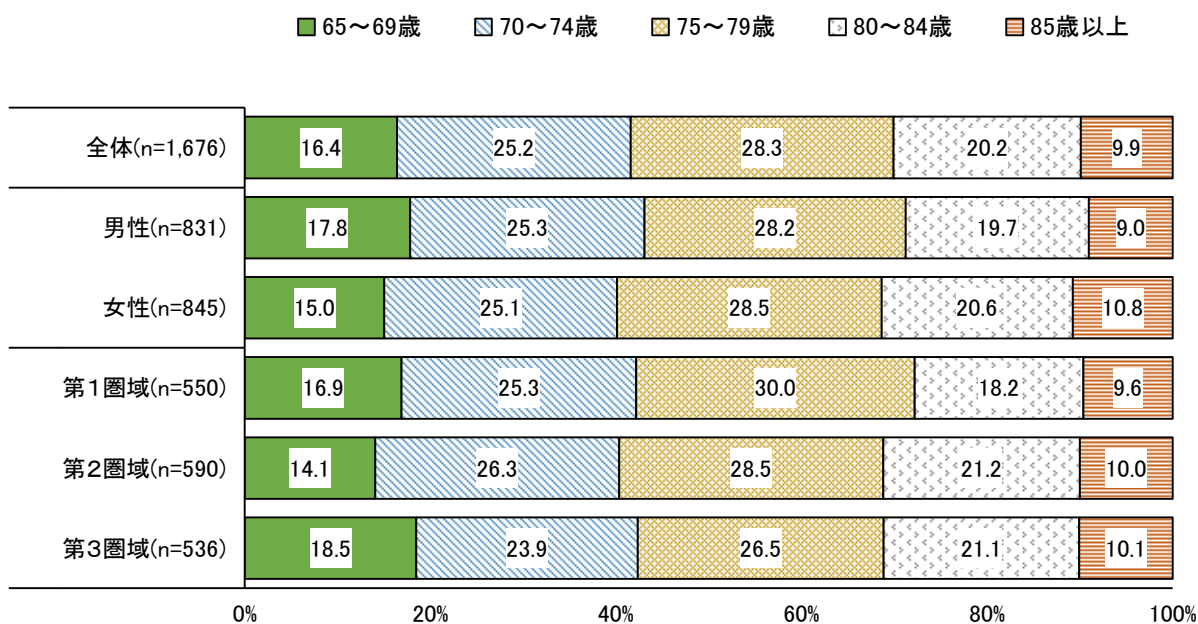
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1 本人（回答者）の属性について

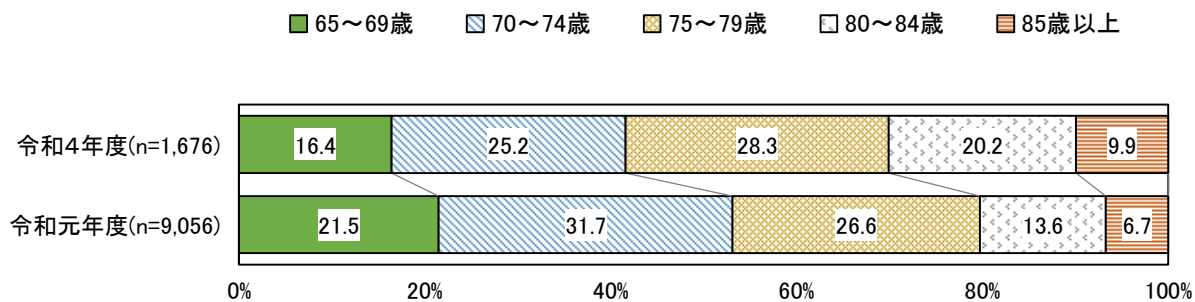
(1) 年齢

回答者の年齢構成は次のとおりです。

経年比較をみると、今回の調査では75歳以上の割合が高くなっています。

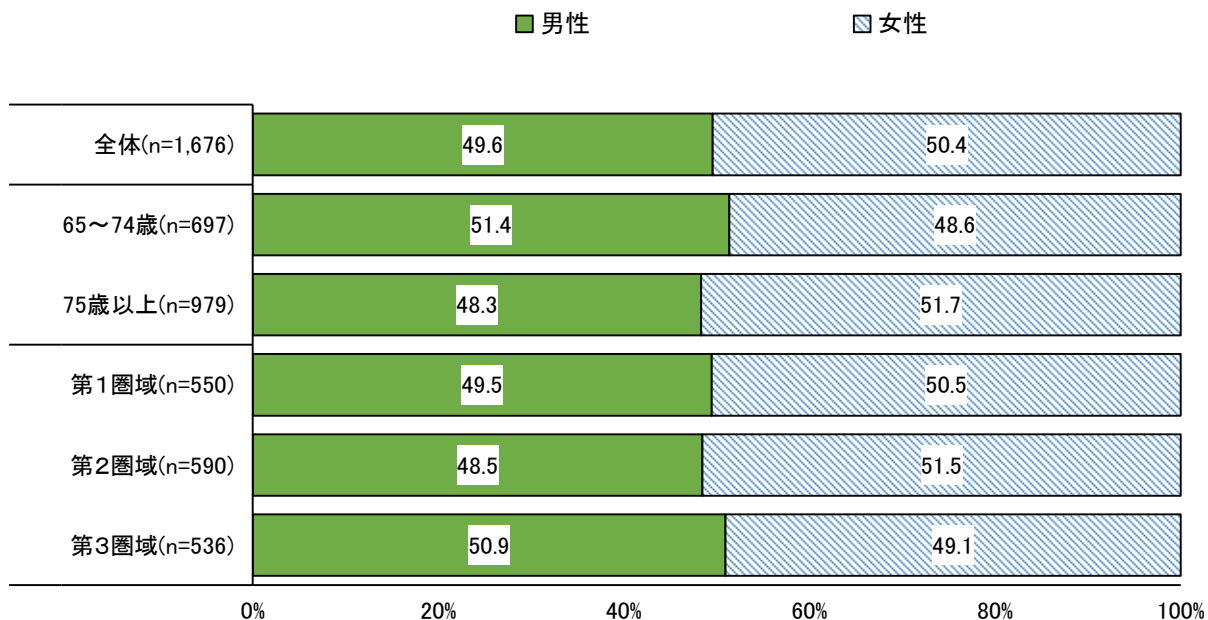


○経年比較



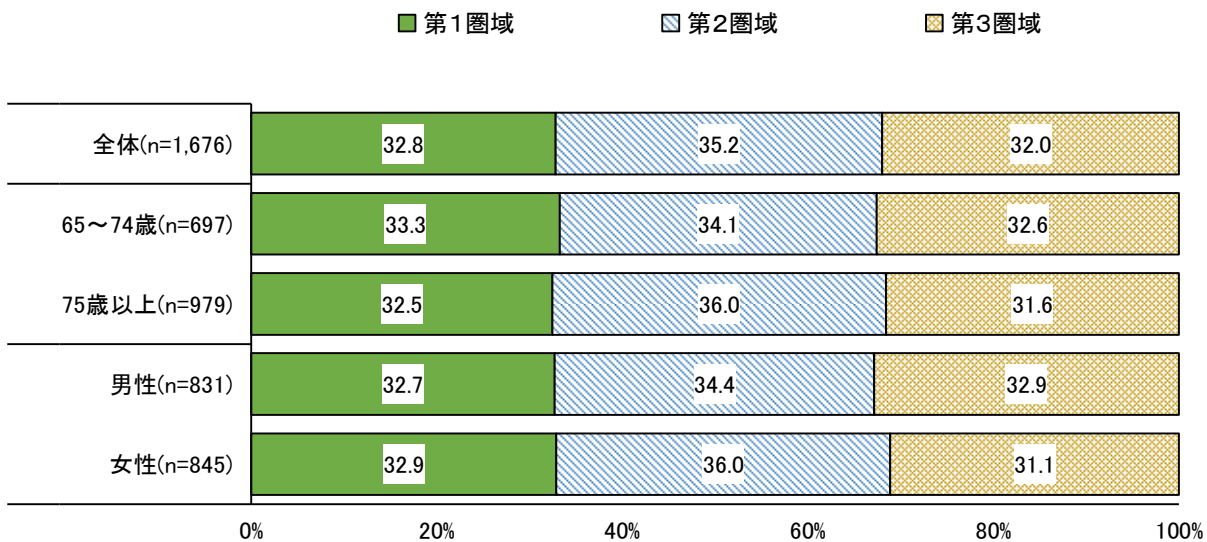
(2) 性別

回答者の性別は次のとおりです。



(3) 居住地域

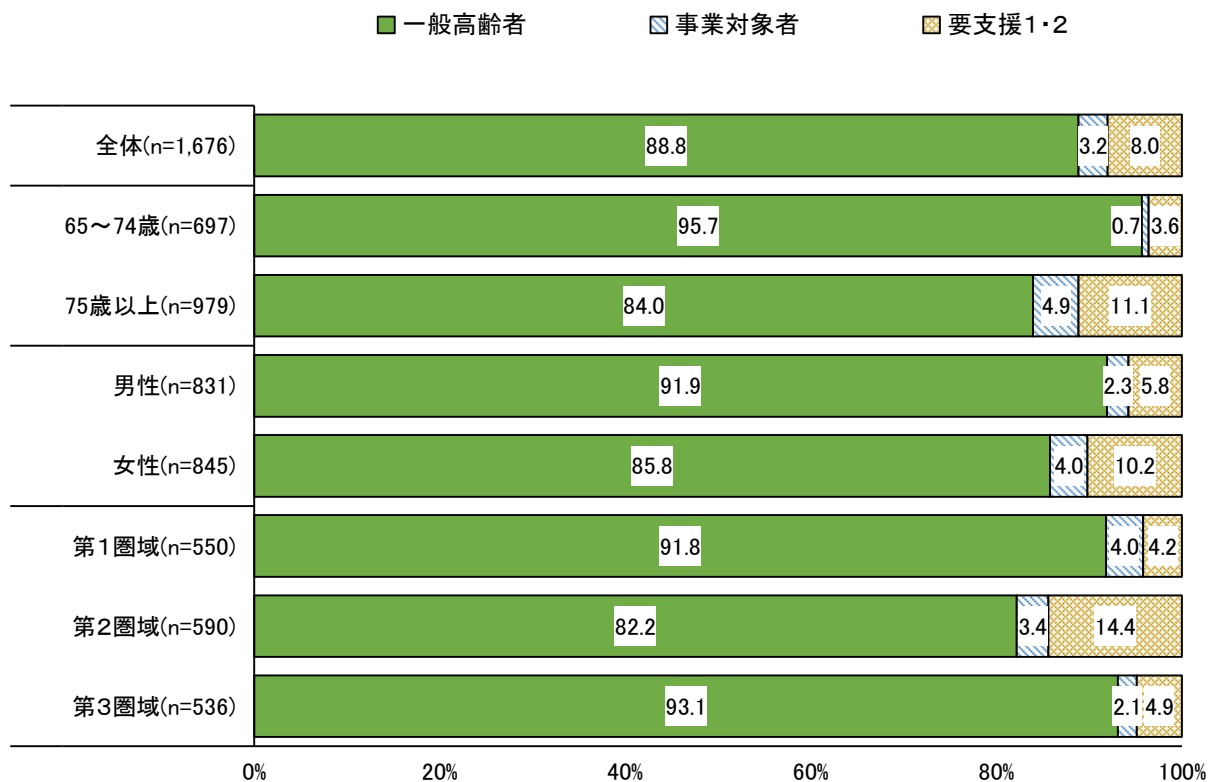
回答者の居住地域は次のとおりです。



(4) 調査区分

回答者の調査区分は、「一般高齢者」が大半を占めています。

「要支援1・2」の割合は全体で8.0%となっており、75歳以上や女性、第2圏域で比較的多くなっています。



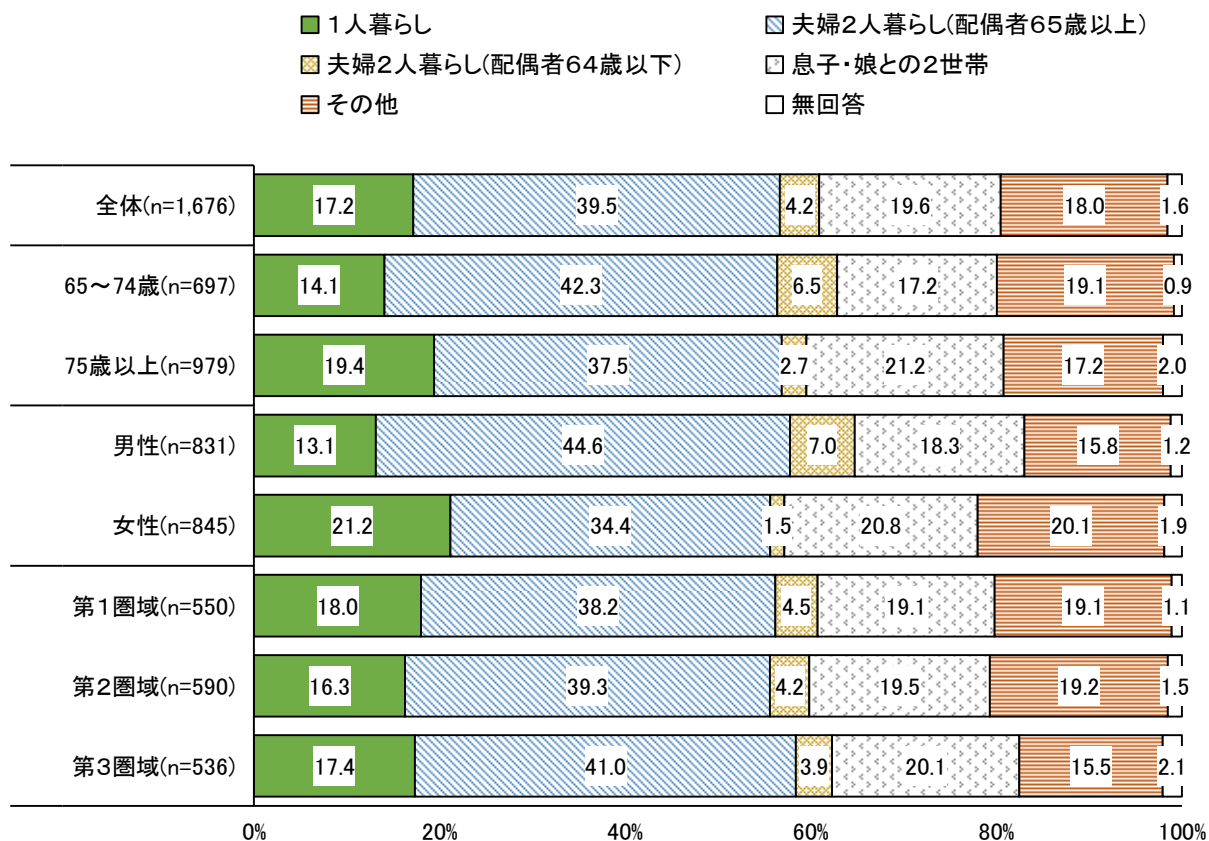
2 家族や生活状況について

(1) 家族構成

家族構成をお教えてください。(いずれか1つ)

家族構成について、全体では「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が39.5%で最も多く、以下「息子・娘との2世帯」が19.6%、「1人暮らし」が17.2%などとなっています。

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」は65~74歳や男性で多く、逆に「1人暮らし」は75歳以上や女性で多くなっています。

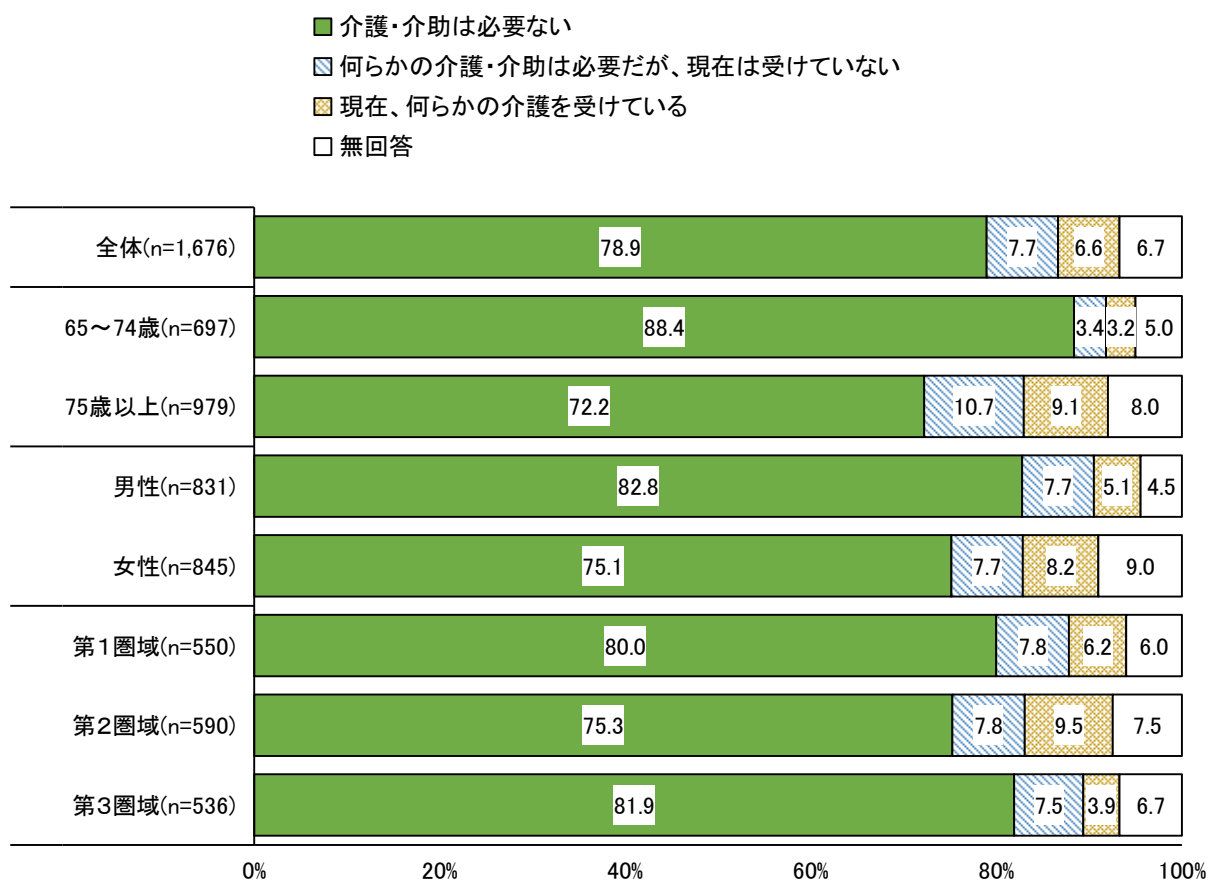


(2) 介護・介助の状況

あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(いずれか1つ)

介護・介助の状況について、全体では「介護・介助は必要ない」が78.9%を占めています。

75歳以上では「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」が65～74歳より多くなっています。



(3) 介護・介助が必要になった主な原因

介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも)

介護・介助が必要になった主な原因について、全体では「高齢による衰弱」が20.7%で最も多く、以下「骨折・転倒」が16.2%、「脳卒中」が13.5%などとなっています。

男性では「脳卒中」が21.4%で最も多く、女性より12.7ポイント多くなっています。

単位: %

	高齢による衰弱	骨折・転倒	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	視覚・聴覚障害	関節の病気(リウマチ等)	がん(悪性新生物)
全体(n=111)	20.7	16.2	13.5	12.6	12.6	9.9	9.0	8.1
65～74歳(n=22)	0.0	9.1	13.6	13.6	13.6	4.5	4.5	9.1
75歳以上(n=89)	25.8	18.0	13.5	12.4	12.4	11.2	10.1	7.9
男性(n=42)	16.7	9.5	21.4	16.7	14.3	11.9	2.4	11.9
女性(n=69)	23.2	20.3	8.7	10.1	11.6	8.7	13.0	5.8
第1圏域(n=34)	17.6	17.6	14.7	11.8	14.7	2.9	5.9	11.8
第2圏域(n=56)	23.2	14.3	12.5	12.5	16.1	17.9	8.9	5.4
第3圏域(n=21)	19.0	19.0	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	9.5

	脊椎損傷	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	腎疾患(透析)	その他	不明	無回答
全体(n=111)	8.1	4.5	4.5	3.6	3.6	23.4	0.9	0.9
65～74歳(n=22)	13.6	4.5	4.5	4.5	9.1	31.8	0.0	0.0
75歳以上(n=89)	6.7	4.5	4.5	3.4	2.2	21.3	1.1	1.1
男性(n=42)	4.8	2.4	4.8	4.8	7.1	21.4	0.0	0.0
女性(n=69)	10.1	5.8	4.3	2.9	1.4	24.6	1.4	1.4
第1圏域(n=34)	8.8	8.8	0.0	5.9	2.9	29.4	2.9	0.0
第2圏域(n=56)	8.9	1.8	7.1	1.8	5.4	17.9	0.0	0.0
第3圏域(n=21)	4.8	4.8	4.8	4.8	0.0	28.6	0.0	4.8

(4) 主な介護・介助者

主にどなたから介護・介助を受けていますか。(いくつでも)

主な介護・介助者について、全体では「配偶者（夫・妻）」が36.9%で最も多く、以下「介護サービスのヘルパー」が27.0%、「息子」が21.6%などとなっています。

男性では「配偶者（夫・妻）」が突出して多くなっていますが、女性では「配偶者（夫・妻）」、「介護サービスのヘルパー」が30.4%、「息子」と「娘」が27.5%となっています。

第1圏域では「娘」と「孫」、第2圏域では「息子」、第3圏域では「配偶者（夫・妻）」が比較的多くなっています。

単位：%

	配偶者 (夫・妻)	介護サ ービスのヘ ルパー	息子	娘	子の配偶 者	孫	兄弟・姉 妹	その他	無回答
全体(n=111)	36.9	27.0	21.6	20.7	9.9	6.3	2.7	18.9	2.7
65～74歳(n=22)	50.0	27.3	18.2	13.6	4.5	0.0	4.5	27.3	9.1
75歳以上(n=89)	33.7	27.0	22.5	22.5	11.2	7.9	2.2	16.9	1.1
男性(n=42)	47.6	21.4	11.9	9.5	4.8	2.4	4.8	21.4	4.8
女性(n=69)	30.4	30.4	27.5	27.5	13.0	8.7	1.4	17.4	1.4
第1圏域(n=34)	38.2	26.5	11.8	32.4	2.9	11.8	2.9	17.6	5.9
第2圏域(n=56)	32.1	28.6	28.6	16.1	10.7	3.6	1.8	19.6	1.8
第3圏域(n=21)	47.6	23.8	19.0	14.3	19.0	4.8	4.8	19.0	0.0

(5) 介護・介助を受けていない理由

(2) の理由は何ですか。(いくつでも)

介護・介助を受けていない理由について、全体では「介護サービスを利用するほどではない」が32.9%で最も多く、以下「費用負担が心配」が17.1%、「他人の手助けを受けるのに抵抗がある」が12.1%となっています。

65～74歳では「費用負担が心配」と「経済的に利用が難しい」が75歳以上より多くなっています。

単位: %

	介護サービスを利用するほどではない	費用負担が心配	他人の手助けを受けるのに抵抗がある	経済的に利用が難しい	介護サービスを利用する方法が分からない	介護サービスの利用手続きが面倒	無回答
全体(n=240)	32.9	17.1	12.1	9.6	8.8	6.7	46.3
65～74歳(n=46)	26.1	23.9	6.5	13.0	6.5	6.5	56.5
75歳以上(n=194)	34.5	15.5	13.4	8.8	9.3	6.7	43.8
男性(n=106)	37.7	17.9	13.2	10.4	12.3	9.4	40.6
女性(n=134)	29.1	16.4	11.2	9.0	6.0	4.5	50.7
第1圏域(n=77)	29.9	18.2	15.6	11.7	6.5	5.2	46.8
第2圏域(n=102)	33.3	16.7	9.8	4.9	8.8	5.9	50.0
第3圏域(n=61)	36.1	16.4	11.5	14.8	11.5	9.8	39.3

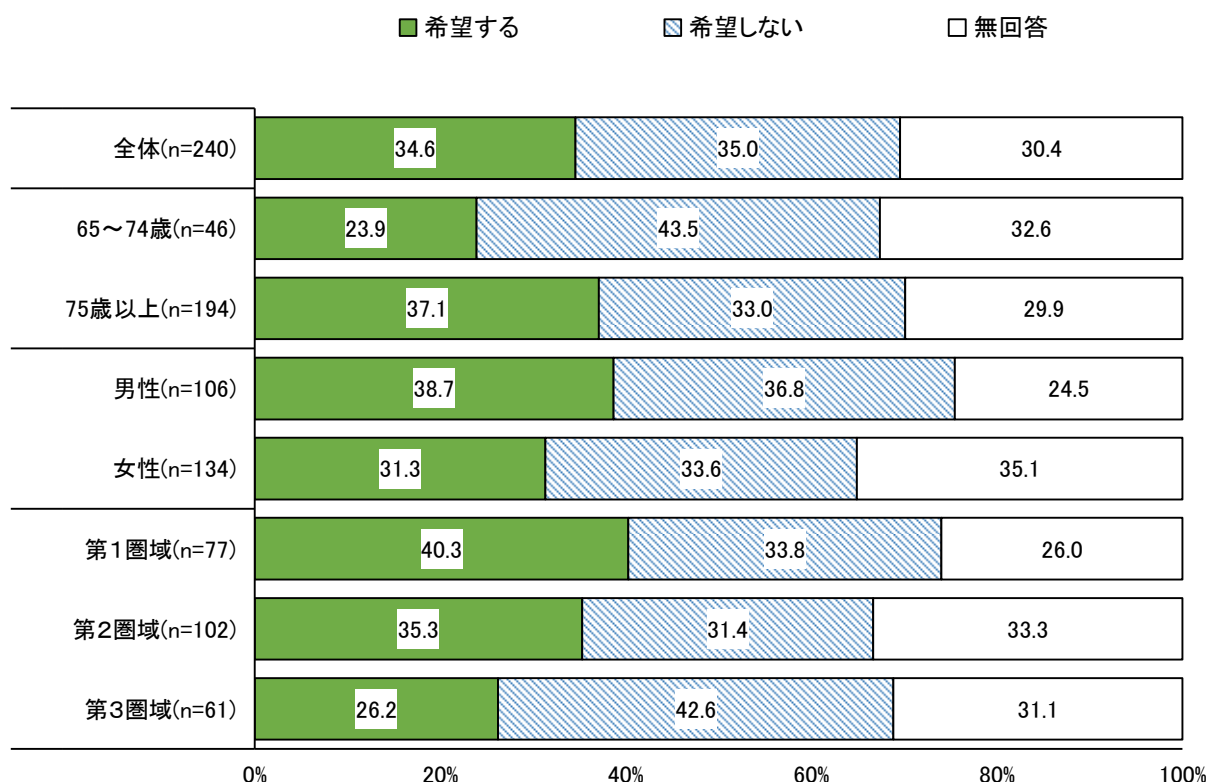
(6) 介護サービスの相談方法について

介護サービスの利用方法などについて、市職員（または地域包括支援センターの職員）の訪問による相談を希望しますか。

介護サービスの相談方法について、全体では「希望する」が34.6%、「希望しない」が35.0%で拮抗しています。

75歳以上と男性で「希望する」が「希望しない」を上回っています。

また、「希望する」との回答は、第1圏域で40.3%、第2圏域で35.3%、第3圏域で26.2%となっており、第3圏域では「希望しない」が「希望する」を上回っています。



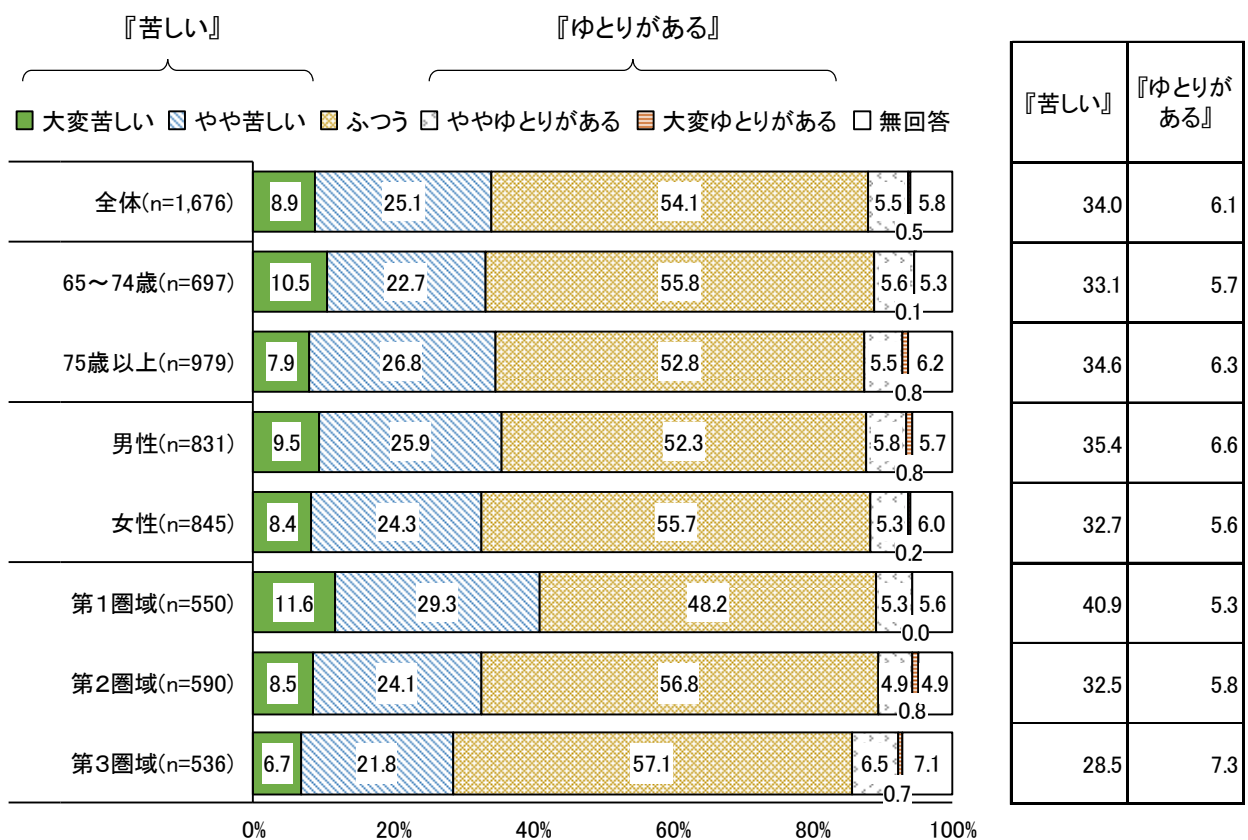
(7) 経済的状況

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(いずれか1つ)

経済的状況について、全体では「普通」が54.1%で最も多く、次いで「やや苦しい」が25.1%となっています。

『苦しい』と『ゆとりがある』を比較すると、すべての区分で『苦しい』との回答が、『ゆとりがある』を上回っています。

また、『苦しい』との回答は、第1圏域で40.9%、第2圏域で32.5%、第3圏域で28.5%となっており、圏域による差がみられます。

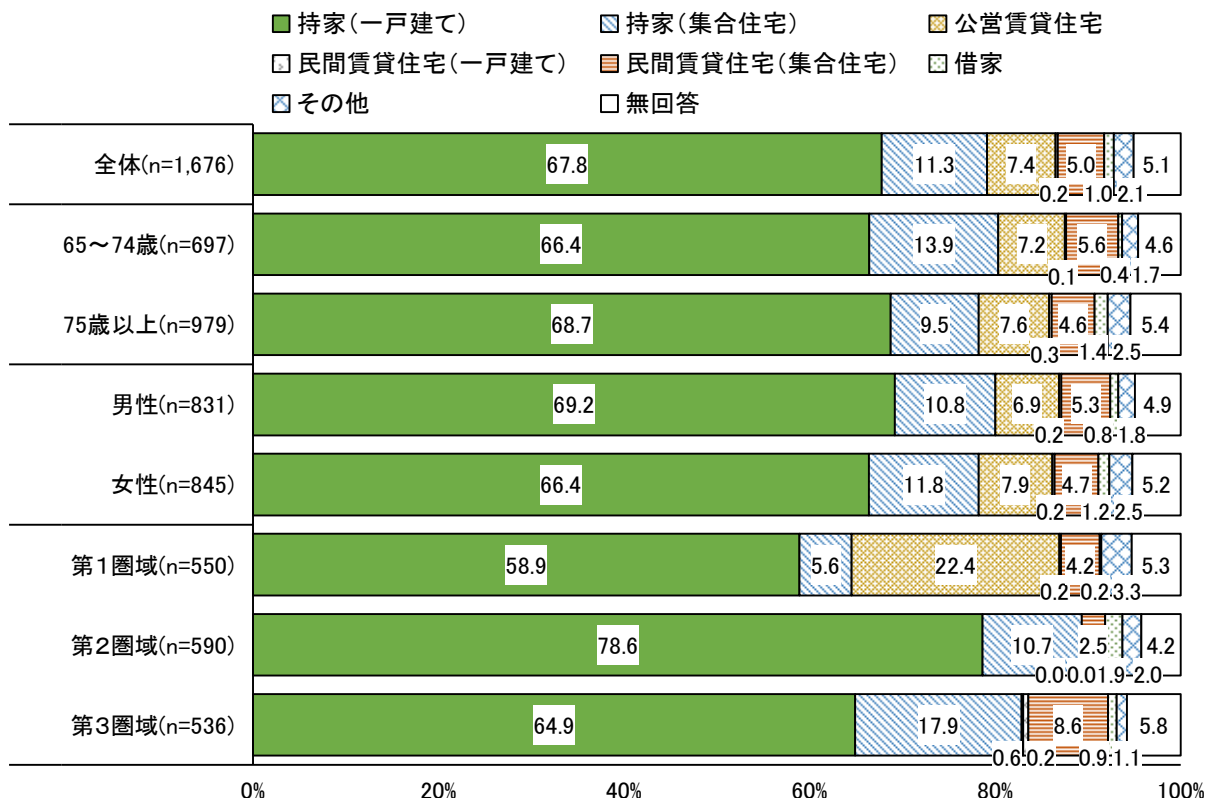


(8) 住まい

お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(いずれか1つ)

住まいについて、全体では「持家（一戸建て）」が67.8%で最も多く、次いで「持家（集合住宅）」が11.3%となっています。

第1圏域では「公営賃貸住宅」が22.4%で他の圏域より多くなっています。また、第3圏域では「持家（集合住宅）」が17.9%で他の圏域より多くなっています。



(9) 5年後の住まい

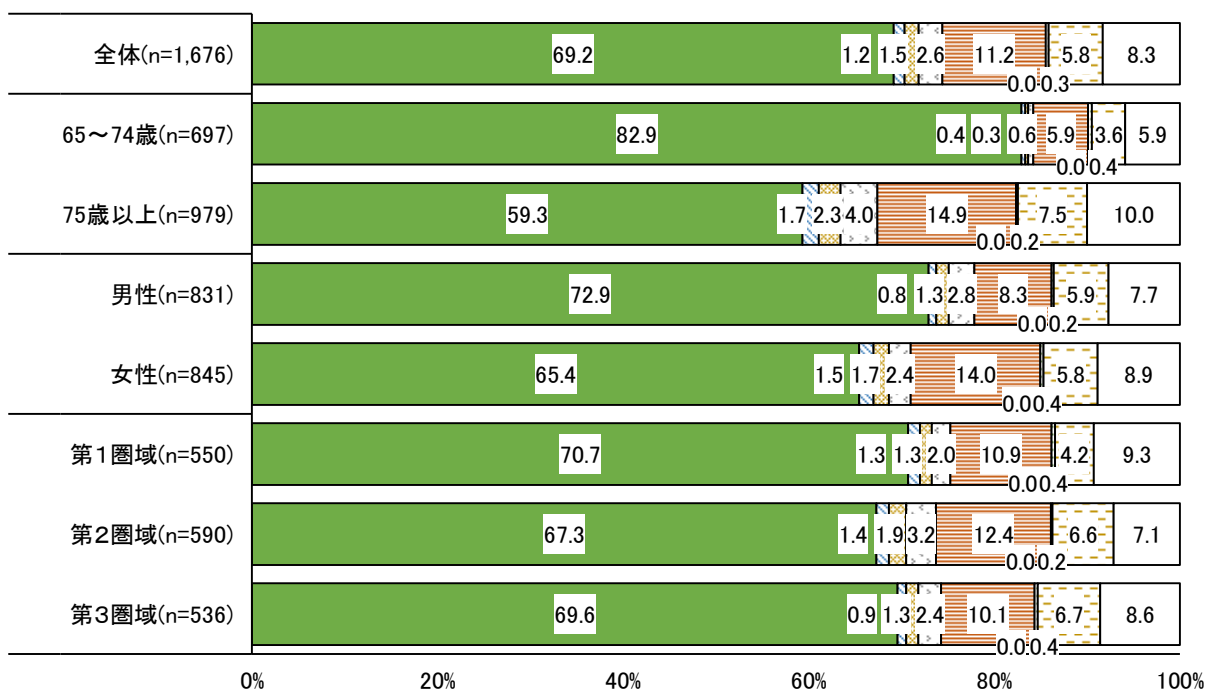
あなたは、5年後のお住まいをどのように考えていますか。(いずれか1つ)

5年後の住まいについて、全体では「現在の持家・賃貸住宅に住んでいる」が69.2%で最も多く、次いで「子どもと同居している」が11.2%となっています。

65～74歳では「現在の持家・賃貸住宅に住んでいる」が82.9%を占めているのに対し、75歳以上では59.3%にとどまっています。

また、女性では「子どもと同居している」が男性より多くなっています。

- 現在の持家・賃貸住宅に住んでいる
- 兄弟等の親戚と同居している
- 有料老人ホームに入居している
- 現在の持家等をシェアハウスにして学生など同居している
- 特別養護老人ホームに入居している
- その他
- 介護サービス付き高齢者向け住宅へ入居している
- 無回答
- 子どもと同居している

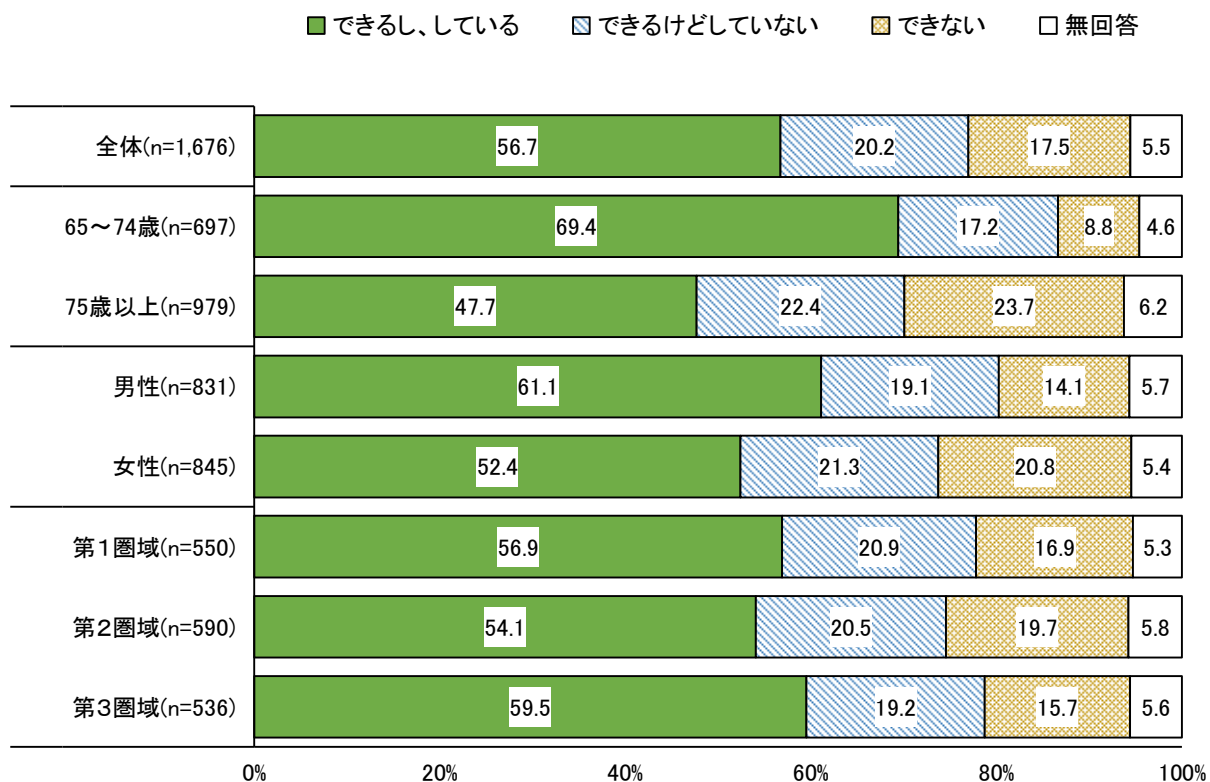


3 からだを動かすことについて

(1) 階段を昇ること

階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(いずれか1つ)

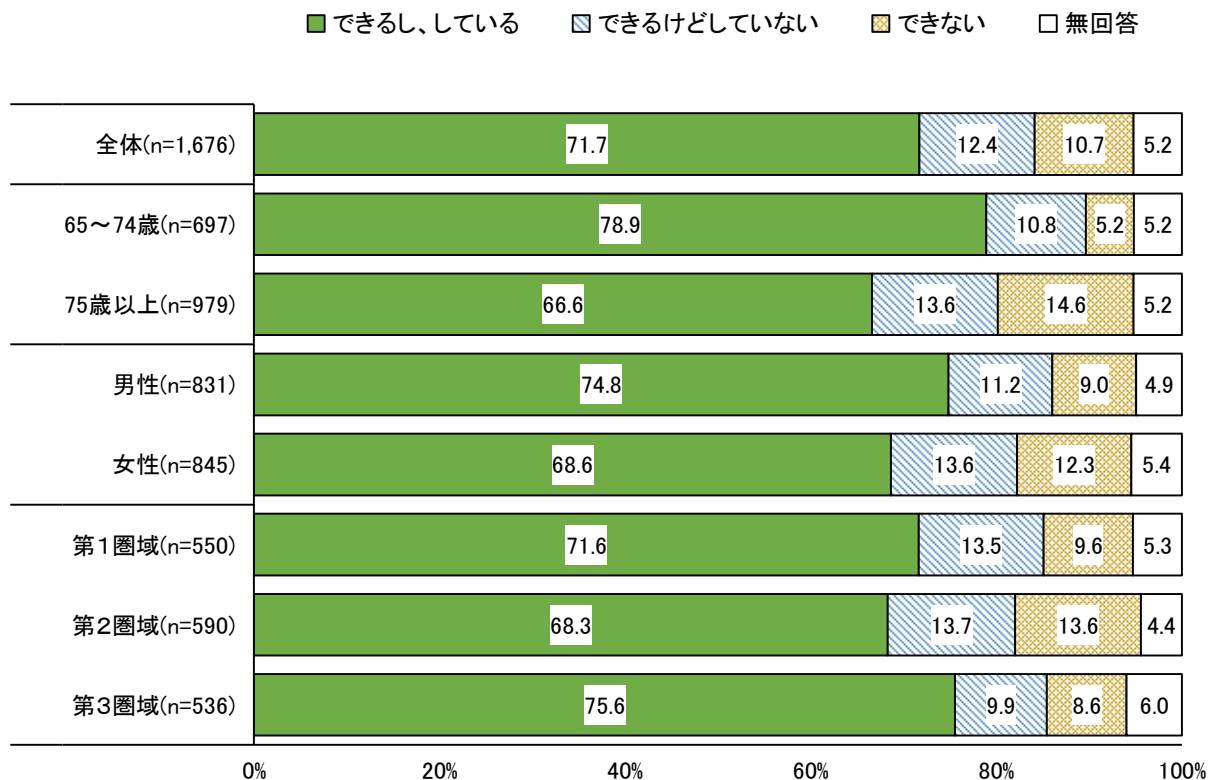
階段を昇ることについて、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は、全体では17.5%となっており、75歳以上や女性で比較的高くなっています。



(2) 椅子からの立ち上がり

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(いずれか1つ)

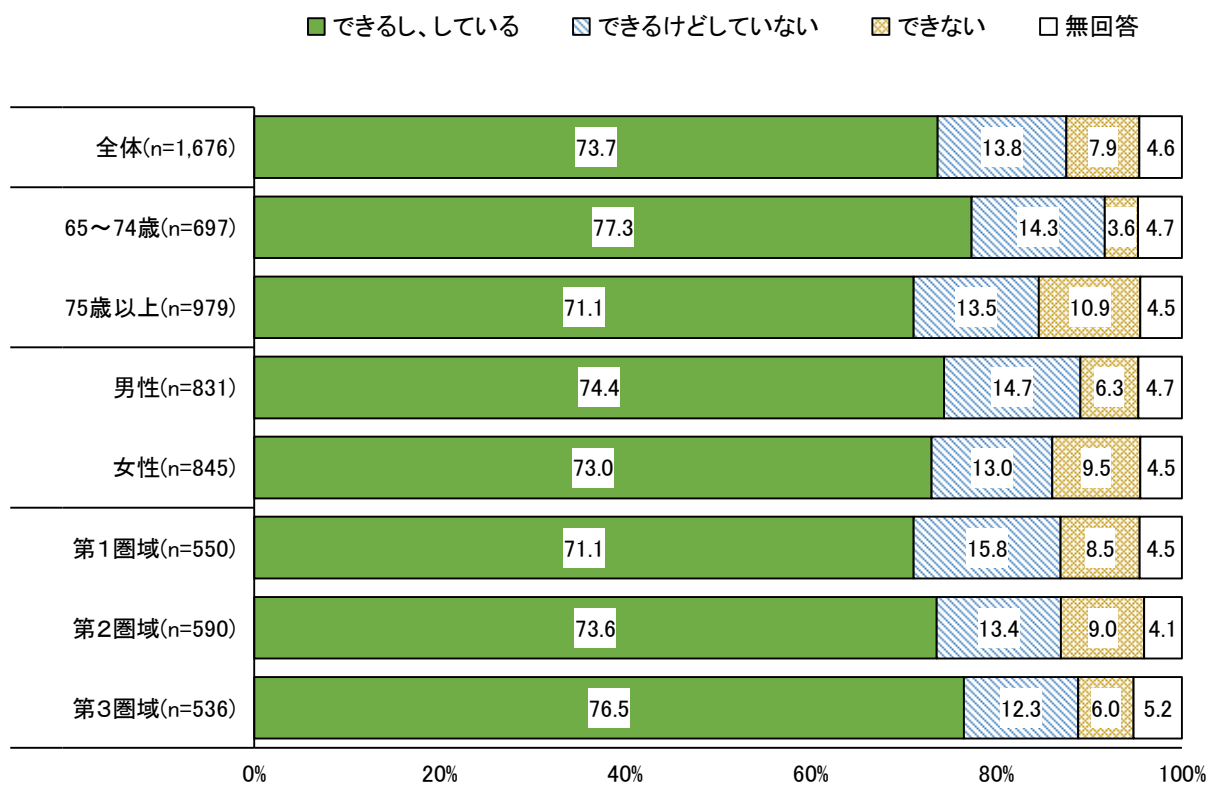
椅子からの立ち上がりについて、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は、全体では10.7%となっており、75歳以上と女性で比較的高くなっています。



(3) 継続的な歩行

15分位続けて歩いていますか。(いずれか1つ)

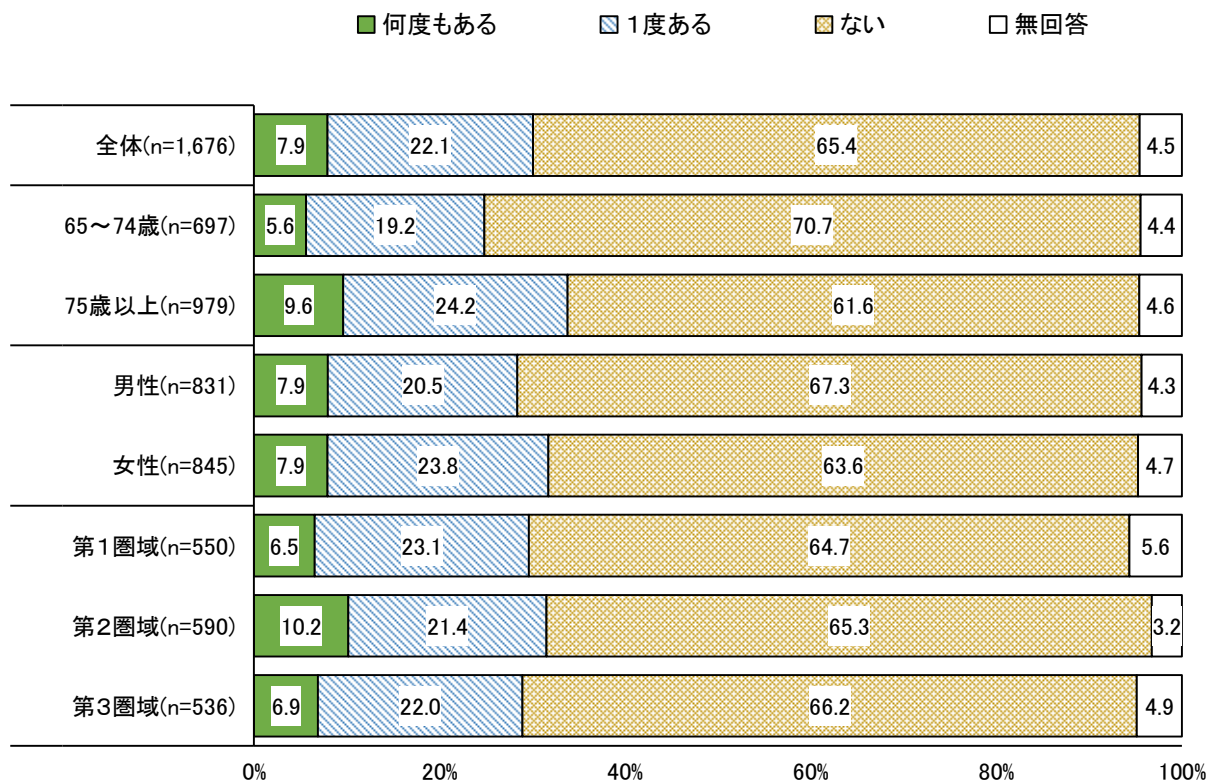
継続的な歩行について、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は、全体では7.9%となっており、75歳以上と女性で比較的高く多くなっています。



(4) 転倒した経験

過去1年間に転んだ経験がありますか。(いずれか1つ)

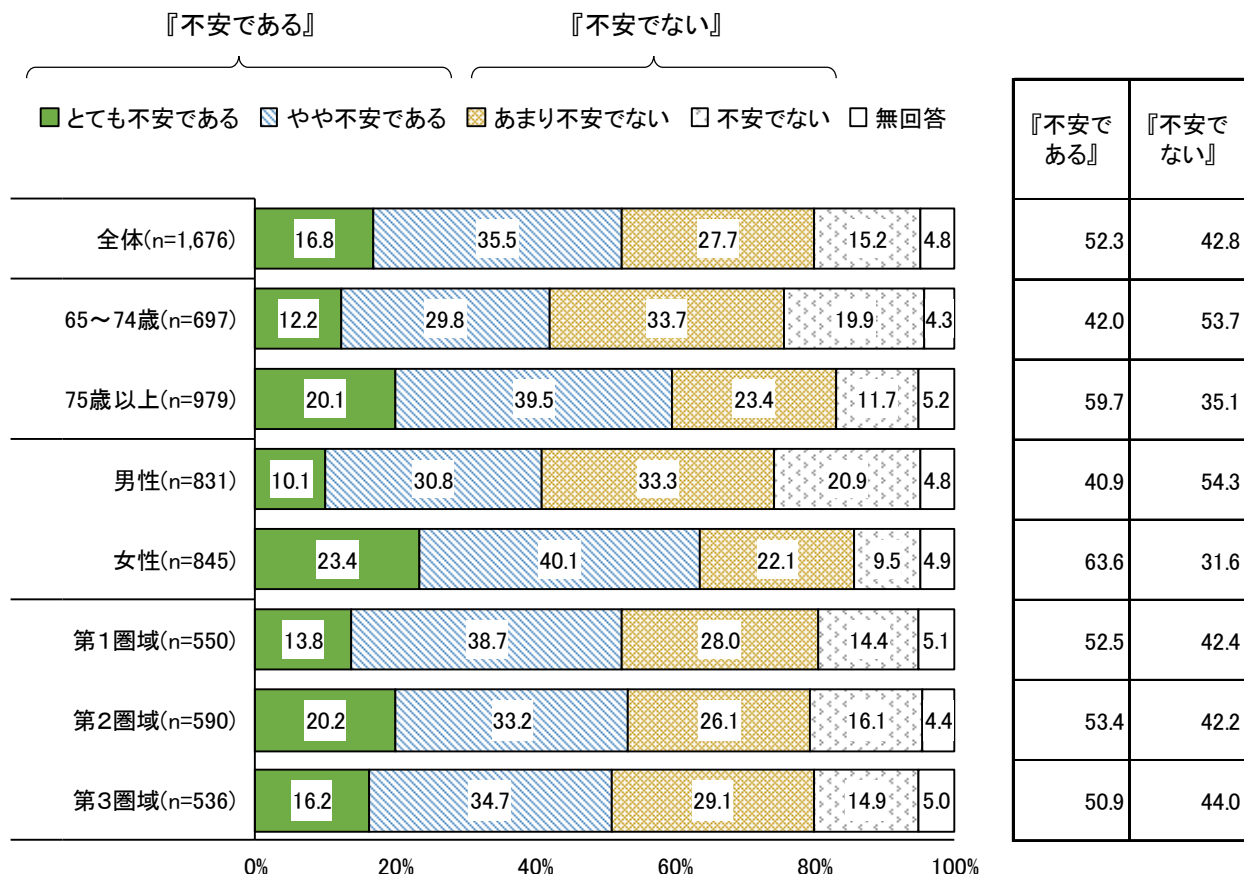
転倒した経験について、運動器機能低下及び転倒リスクのチェック該当となる『ある』(何度もある+1度ある)の割合は、全体では30.0%となっており、75歳以上と女性で比較的高くなっています。



(5) 転倒への不安

転倒に対する不安は大きいですか。(いずれか1つ)

転倒に対する不安について、運動器機能低下及び転倒リスクのチェック該当となる『不安である』の割合は、全体では52.3%となっており、75歳以上と女性で比較的高くなっています。

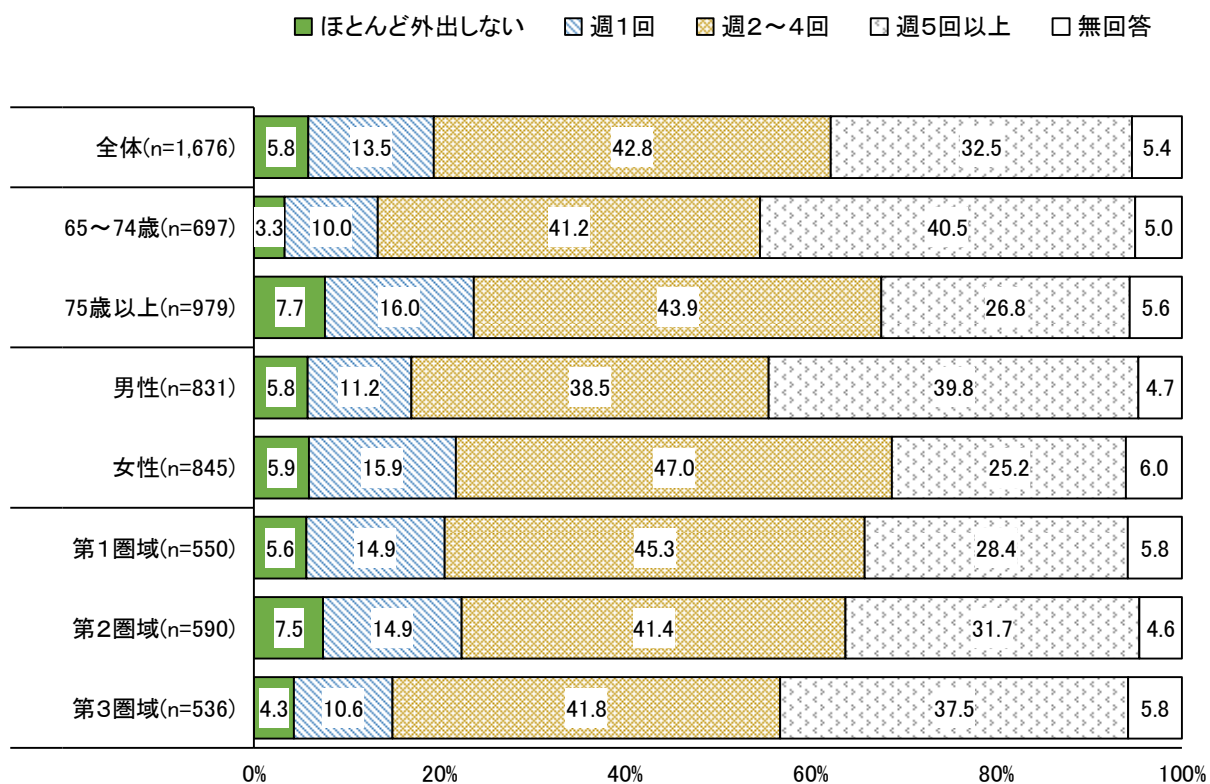


(6) 週1回以上の外出

週に1回以上は外出していますか。(いずれか1つ)

週1回以上の外出について、閉じこもり傾向のチェック該当となる『外出が少ない』(ほとんど外出しない+週1回)の割合は、全体では19.3%となっており、75歳以上と女性で比較的高くなっています。

第3圏域では『外出が少ない』が他の圏域より低く、「週5回以上」が他の圏域より高くなっています。



(7) 外出時の主な移動手段

外出の主な移動手段は何ですか。(いくつでも)

外出時の主な移動手段について、全体では「徒歩」が57.2%で最も多く、以下「自動車（自分の運転）」が44.1%、「自転車」が32.3%などとなっています。

男性では「自動車（自分の運転）」が61.3%を占めているのに対し、女性では「自動車（他人の運転）」や「路線バス」、「タクシー」など、他力での移動が男性より多くなっています。

単位：%

	徒歩	自動車(自分の運転)	自転車	電車	路線バス	自動車(他人の運転)	タクシー
全体(n=1,676)	57.2	44.1	32.3	26.1	20.6	19.9	10.5
65～74歳(n=697)	59.4	57.4	32.7	31.4	17.6	21.5	4.3
75歳以上(n=979)	55.7	34.6	32.0	22.4	22.8	18.8	14.9
男性(n=831)	57.9	61.3	31.8	24.8	16.2	11.8	6.6
女性(n=845)	56.6	27.2	32.8	27.5	25.0	27.9	14.3
第1圏域(n=550)	50.7	46.2	28.4	24.2	28.9	17.6	11.8
第2圏域(n=590)	52.9	42.9	33.4	21.7	19.5	22.7	10.7
第3圏域(n=536)	68.7	43.3	35.1	33.0	13.4	19.2	9.0

	徒歩(歩行補助用具を利用)	病院や施設のバス	バイク	車いす	電動車いす(カート)	その他	無回答
全体(n=1,676)	4.2	1.1	0.8	0.2	0.2	2.0	4.4
65～74歳(n=697)	2.7	0.4	1.1	0.0	0.0	1.1	4.0
75歳以上(n=979)	5.2	1.6	0.6	0.3	0.3	2.6	4.7
男性(n=831)	2.4	1.0	1.1	0.1	0.2	1.2	4.1
女性(n=845)	5.9	1.3	0.6	0.2	0.1	2.7	4.7
第1圏域(n=550)	3.5	0.9	1.5	0.2	0.2	0.9	5.1
第2圏域(n=590)	5.6	1.7	0.7	0.3	0.3	3.1	3.4
第3圏域(n=536)	3.4	0.7	0.4	0.0	0.0	1.9	4.9

(8) 日中の過ごし方

普段、日中は主にどのようにお過ごしですか。(いくつでも)

日中の過ごし方について、全体では「家にいる」が70.3%で最も多く、以下「仕事」が24.3%、「家庭菜園」が15.8%、「サークル(スポーツ関係)」が10.3%などとなっています。

65～74歳と男性では「仕事」が比較的多くなっています。

単位: %

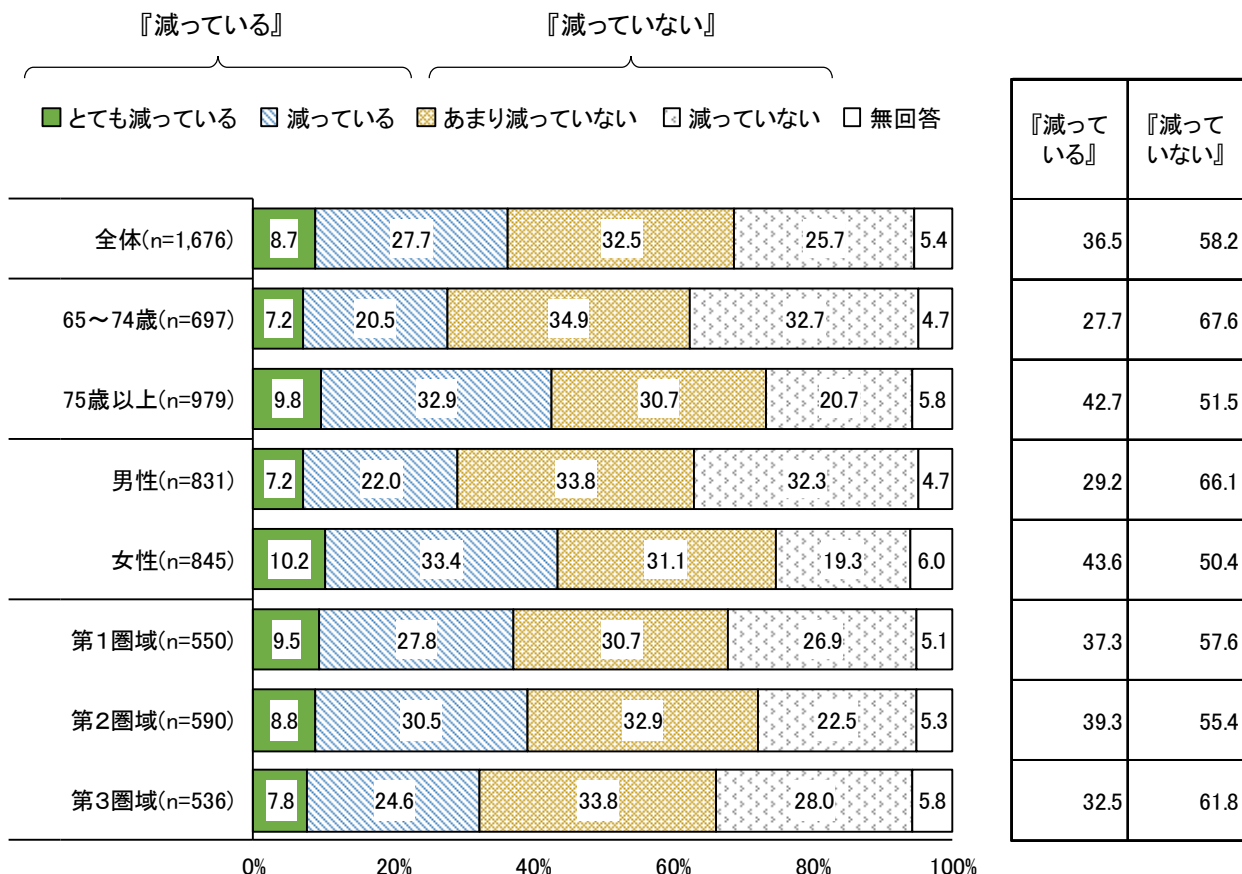
	家にいる	仕事	家庭菜園	サークル(スポーツ関係)	地域での会合(自治会など)	サークル(文化・芸術関係)	習い事
全体(n=1,676)	70.3	24.3	15.8	10.3	5.9	5.7	5.1
65～74歳(n=697)	67.0	37.6	14.3	9.2	5.3	4.3	5.2
75歳以上(n=979)	72.7	14.8	16.9	11.0	6.3	6.6	5.1
男性(n=831)	67.1	31.4	15.6	8.4	6.9	4.3	2.0
女性(n=845)	73.5	17.3	16.0	12.1	5.0	7.0	8.2
第1圏域(n=550)	70.7	26.2	16.9	9.8	6.0	4.7	4.9
第2圏域(n=590)	71.9	22.4	17.1	9.2	6.8	6.4	4.9
第3圏域(n=536)	68.3	24.4	13.2	11.9	4.9	5.8	5.6

	図書館	スポーツクラブ	ボランティア活動	老人クラブ	老人福祉センター	その他	無回答
全体(n=1,676)	5.1	4.4	3.8	2.0	2.0	13.8	4.4
65～74歳(n=697)	4.0	5.5	3.7	0.3	0.4	9.2	4.3
75歳以上(n=979)	5.9	3.6	3.8	3.2	3.1	17.2	4.5
男性(n=831)	4.5	4.0	4.7	1.7	1.1	14.7	3.6
女性(n=845)	5.8	4.7	2.8	2.2	2.8	13.0	5.2
第1圏域(n=550)	6.9	3.8	2.9	2.5	2.2	12.0	4.4
第2圏域(n=590)	4.6	3.2	3.4	2.0	2.0	13.6	3.6
第3圏域(n=536)	3.9	6.2	5.0	1.3	1.7	16.0	5.4

(9) 外出頻度の減少

昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(いずれか1つ)

外出頻度の減少について、全体では『減っていない』が58.2%を占めています。
75歳以上と女性では『減っている』が比較的多くなっています。



(10) 外出が減った理由

外出が減っている理由は何ですか。(いくつでも)

外出が減った理由は、全体では「足腰などの痛みのため」が 37.5%で最も多く、以下「活動意欲が低下しているため」が 24.5%、「行きたい場所がないため」が 20.8%などとなっています。

「足腰などの痛みのため」は、75歳以上や女性で比較的多くなっています。

単位: %

	足腰などの痛みのため	活動意欲が低下しているため	行きたい場所がないため	病気のため	免許を返納したため	トイレの心配があるため(失禁など)	交通手段がない
全体(n=611)	37.5	24.5	20.8	12.8	12.6	11.3	8.8
65～74歳(n=193)	31.6	27.5	26.4	12.4	4.1	7.8	4.7
75歳以上(n=418)	40.2	23.2	18.2	12.9	16.5	12.9	10.8
男性(n=243)	28.8	24.7	20.6	15.2	16.9	12.8	5.3
女性(n=368)	43.2	24.5	20.9	11.1	9.8	10.3	11.1
第1圏域(n=205)	39.0	28.3	22.9	13.2	11.2	13.2	7.8
第2圏域(n=232)	36.6	22.8	19.8	14.2	12.1	9.1	8.2
第3圏域(n=174)	36.8	22.4	19.5	10.3	14.9	12.1	10.9

	経済的に出られないため	耳の障がいのため(聞こえの問題など)	目の障がいのため	障がいのため	その他	無回答
全体(n=611)	8.7	5.2	3.4	3.1	28.2	2.6
65～74歳(n=193)	13.0	2.6	2.1	3.6	36.8	2.1
75歳以上(n=418)	6.7	6.5	4.1	2.9	24.2	2.9
男性(n=243)	9.5	4.9	4.1	4.5	27.2	2.1
女性(n=368)	8.2	5.4	3.0	2.2	28.8	3.0
第1圏域(n=205)	12.7	3.9	3.4	3.4	22.9	1.0
第2圏域(n=232)	7.3	6.9	3.9	3.9	27.6	3.9
第3圏域(n=174)	5.7	4.6	2.9	1.7	35.1	2.9

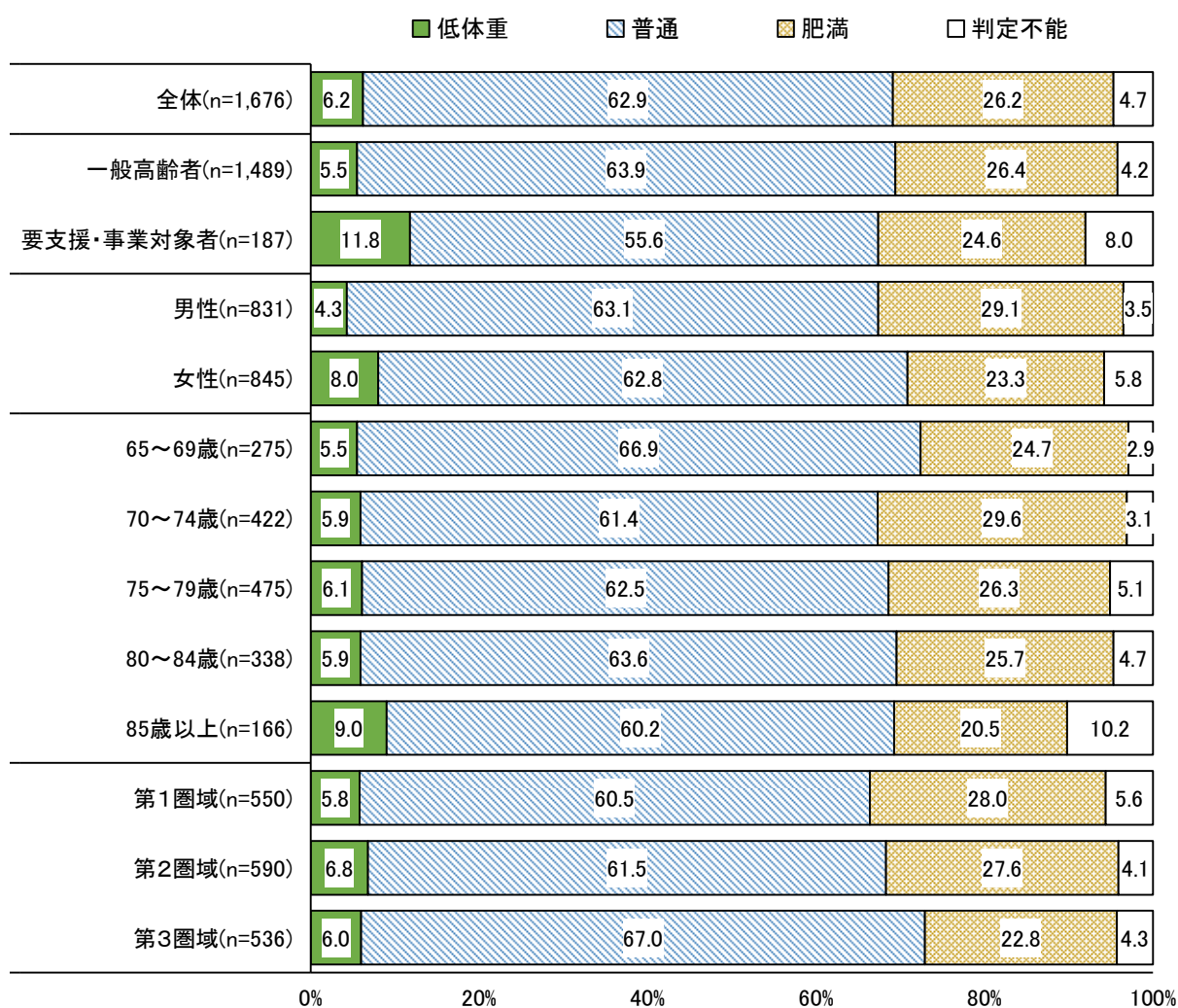
4 食べることについて

(1) BMI

身長・体重（小数点第1位を四捨五入してください。）

BMI※について、「普通」が62.9%で最も多く、「肥満」が26.2%、「低体重」が6.2%となっています。

要支援・事業対象者や女性、85歳以上で「低体重」が比較的多く、また、男性では「肥満」が比較的多くなっています。

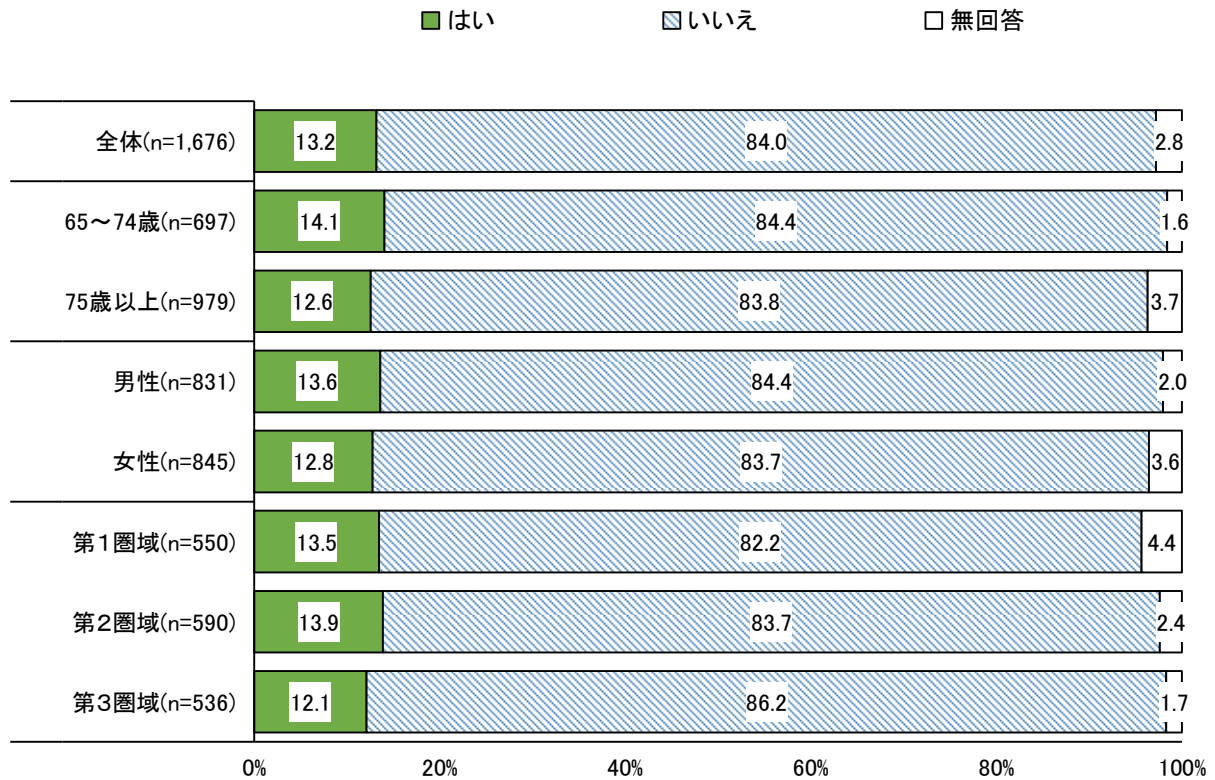


※BMI (Body Mass Index) = 体重(kg) ÷ 身長(m) × 身長(m) : 肥満度を表す指標として国際的に用いられている体格指数

(2) 体重減少があったか

6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

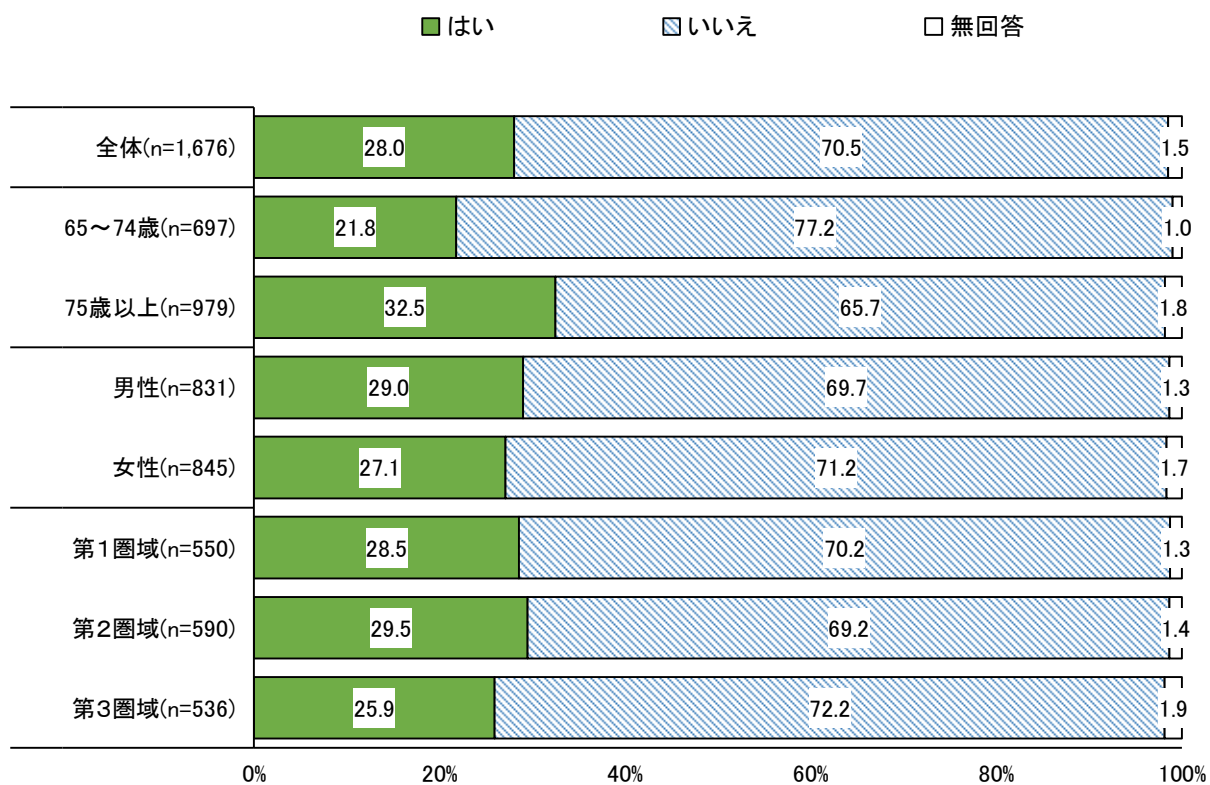
体重減少があったかについて、全体では「いいえ」が84.0%、「はい」が13.2%となっています。



(3) 固いものが食べにくくなったか

半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

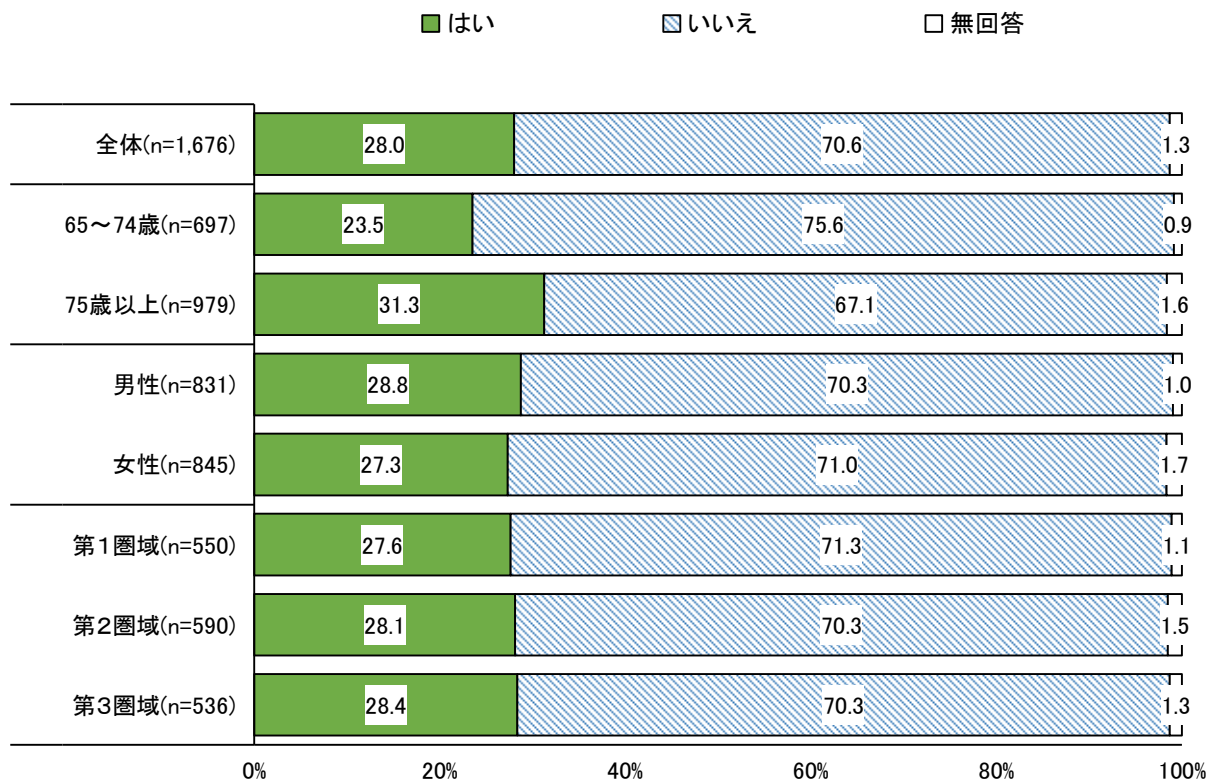
固いものが食べにくくなったかについて、「はい」と回答した咀嚼機能の低下が疑われる人は、全体では28.0%となっており、75歳以上で比較的多くなっています。



(4) お茶や汁物等でむせること

お茶や汁物等でむせることがありますか。

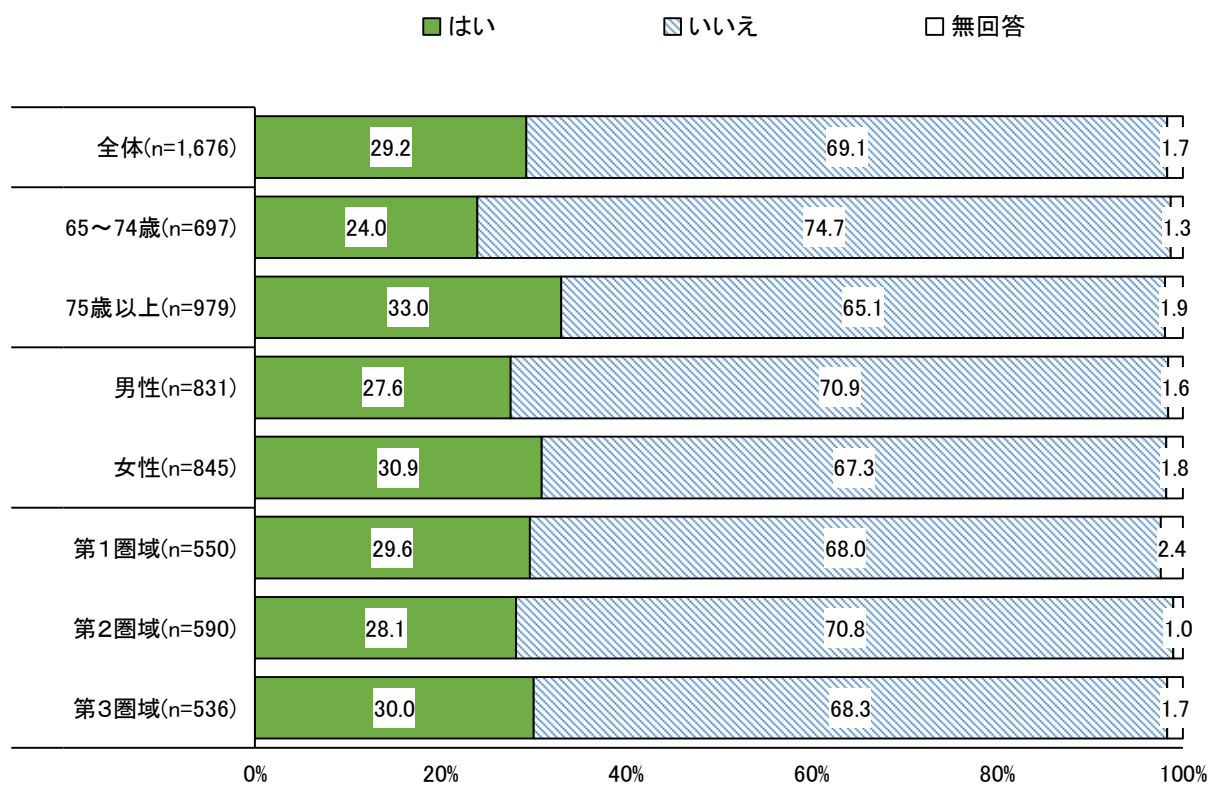
お茶や汁物等でむせることについて、「はい」と回答した嚥下機能の低下が疑われる人は、全体では28.0%となっており、75歳以上で比較的多くなっています。



(5) 口の渇きについて

口の渇きが気になりますか。

口の渇きについて、「はい」と回答した肺炎発症リスクのある人は、全体では29.2%になっており、75歳以上で比較的多くなっています。



(6) 歯の数と入れ歯の利用状況

歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(いずれか1つ)

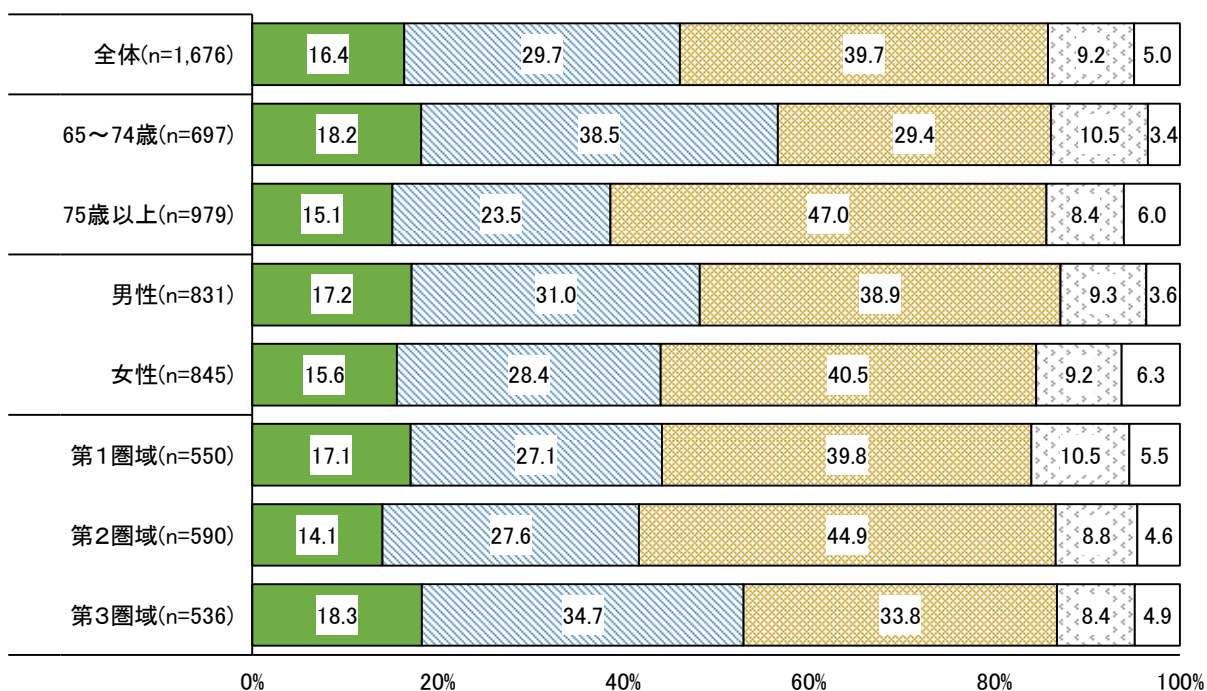
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が39.7%で最も多く、以下「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が29.7%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が16.4%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が9.2%となっています。

65～74歳では『自分の歯は20本以上』（「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」＋「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」）が過半数を占めています。

一方、他の区分では、いずれも過半数が『入れ歯を利用』（「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」＋「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」）と回答しています。

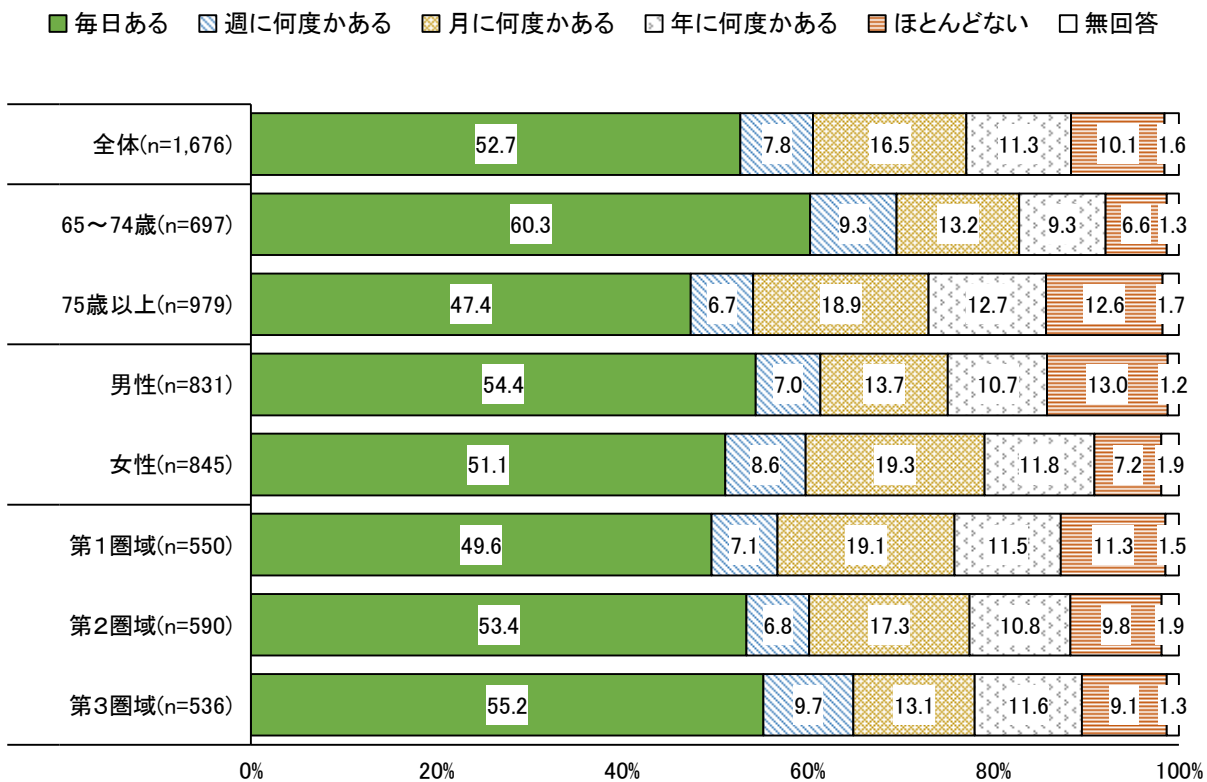
- 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- 無回答
- 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
- 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし



(7) 誰かと食事をとる機会

どなたかと食事をとる機会がありますか (いずれか1つ)

誰かと食事をとる機会について、「ほとんどない」と回答した孤食の状況にある人は、全体では10.1%となっており、75歳以上と男性で比較的多くなっています。

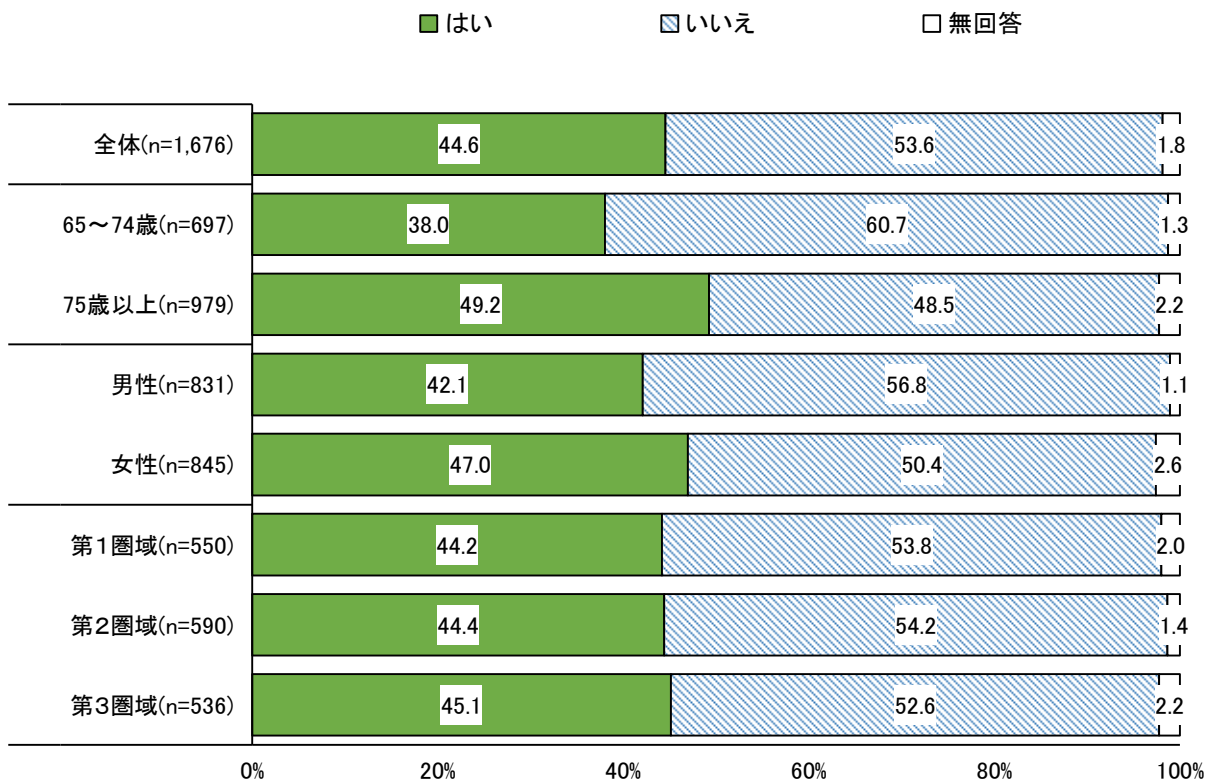


5 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じるか

物忘れが多いと感じますか。

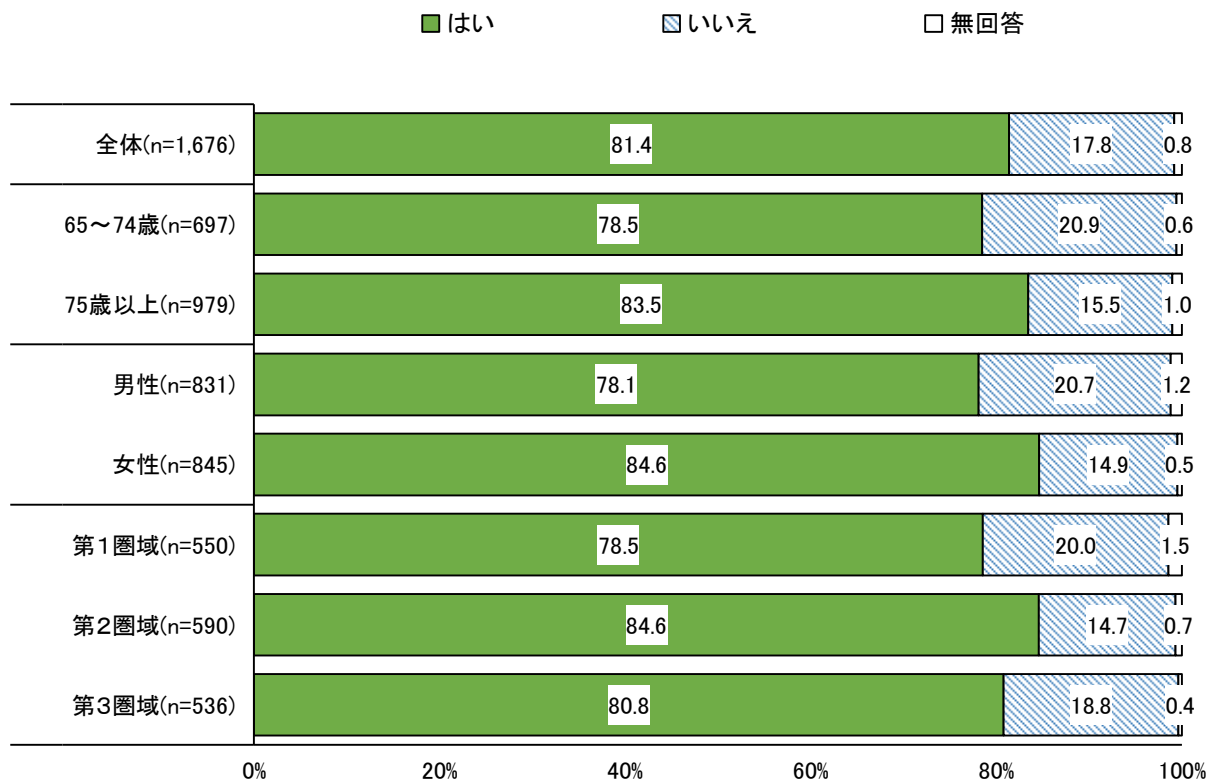
物忘れが多いと感じるかについて、認知機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は、全体では44.6%となっており、75歳以上と女性で比較的高くなっています。



(2) 自分で番号を調べて電話をかけること

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

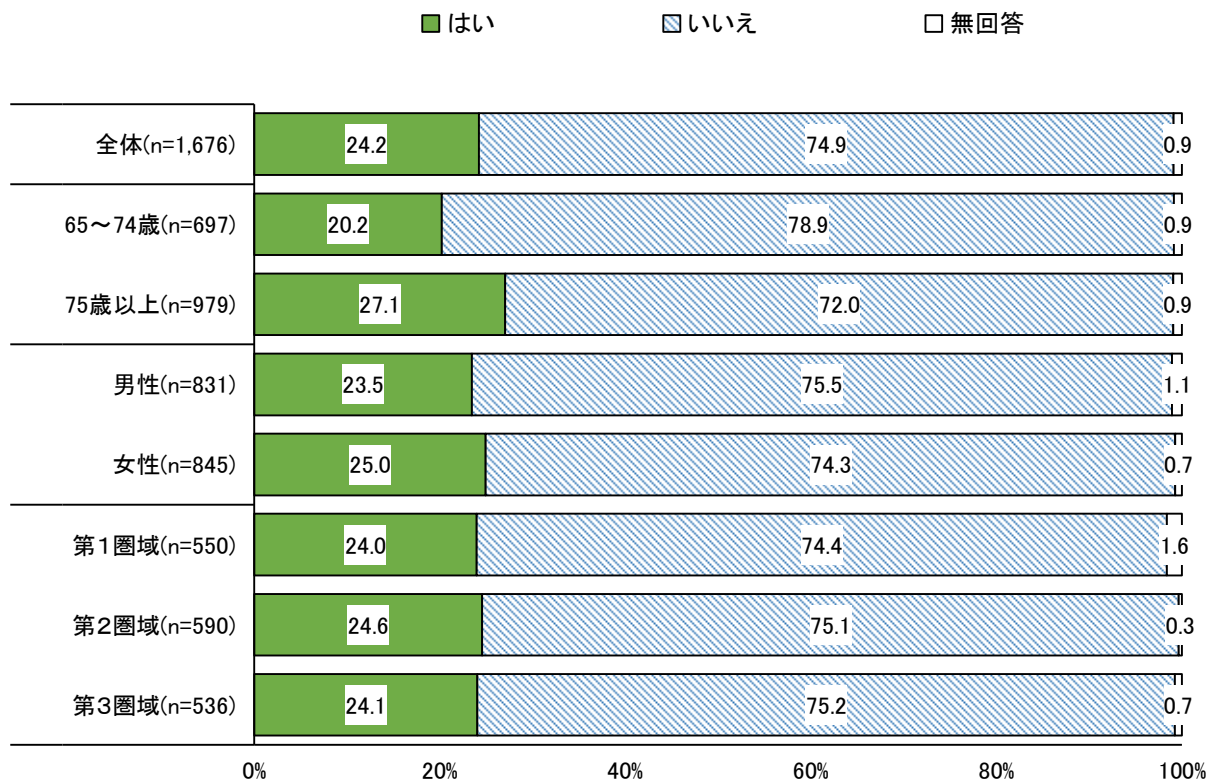
自分で番号を調べて電話をかけることについて、認知機能低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は、全体では17.8%となっており、65～74歳と男性で比較的高くなっています。



(3) 日付がわからないこと

今日が何月何日か分からない時がありますか。

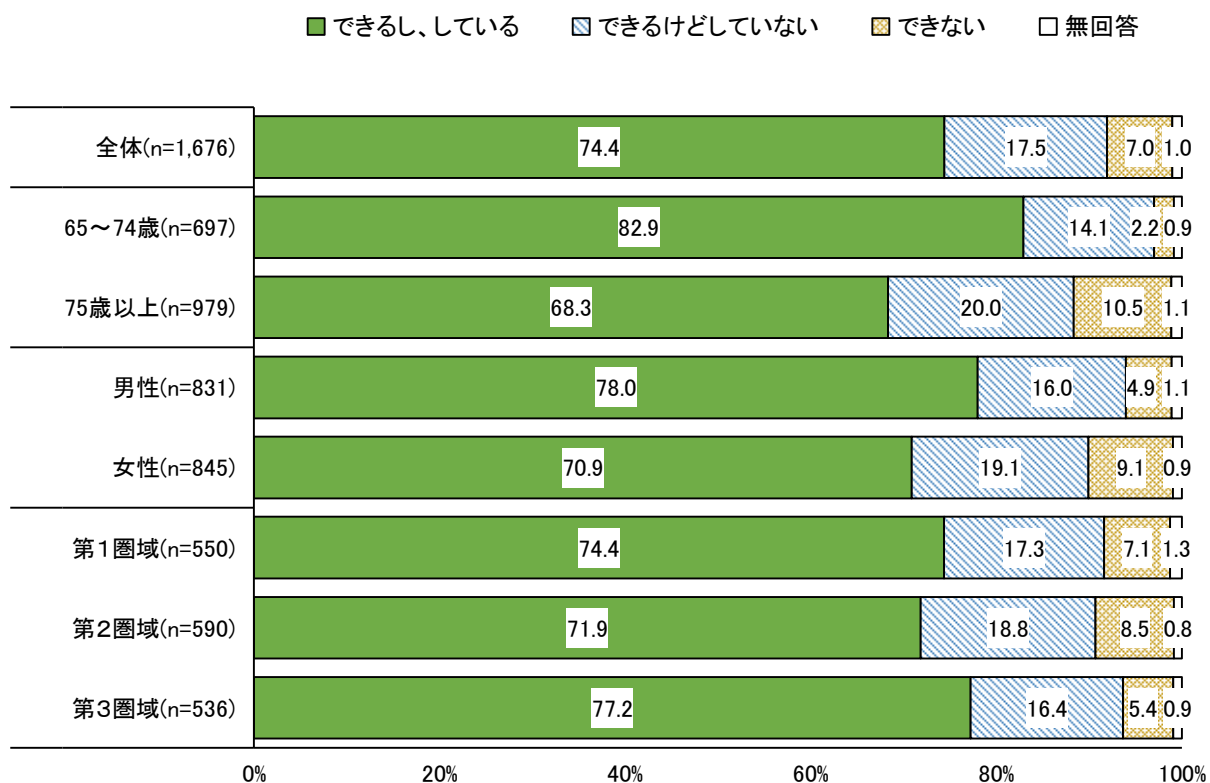
日付がわからないことについて、認知機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は、全体では24.2%となっており、75歳以上で比較的高くなっています。



(4) 1人での外出

バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (いずれか1つ)

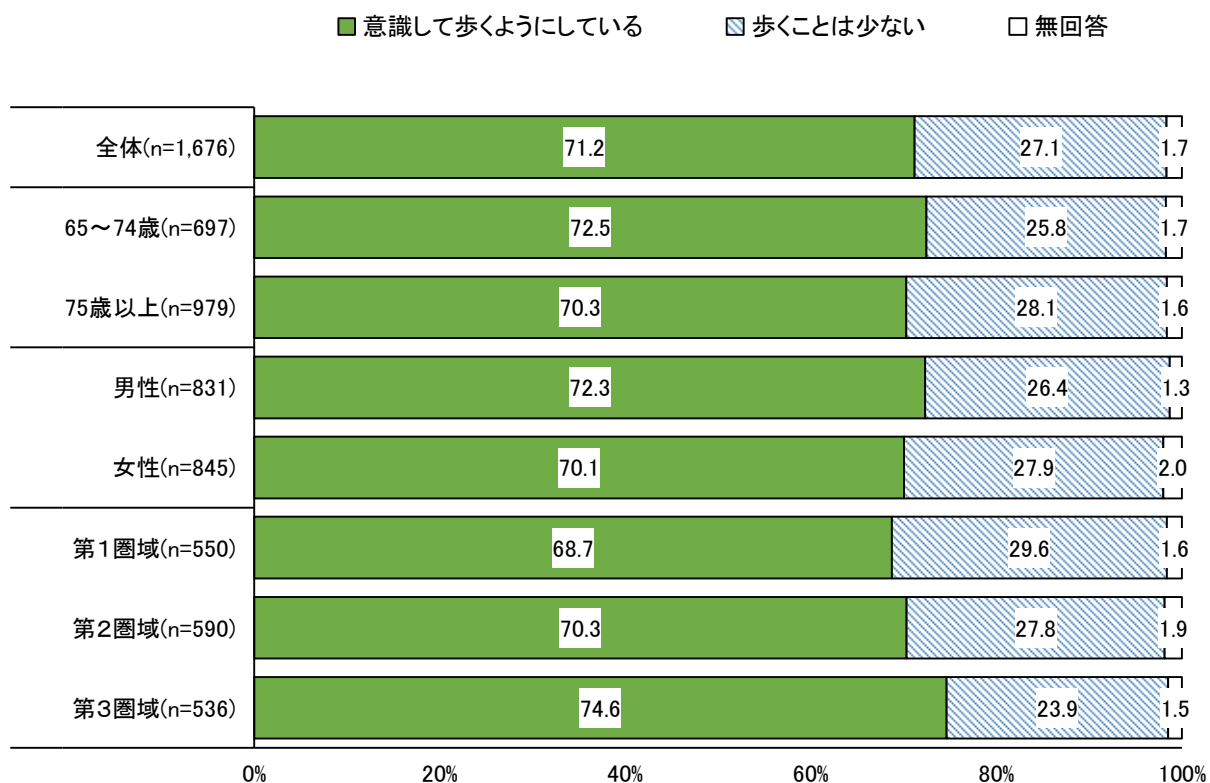
1人での外出について、IADL(手段的日常生活動作)低下のチェック該当となる「できない」の割合は、全体では7.0%となっており、75歳以上と女性で比較的高くなっています。



(5) 歩行の意識

毎日の生活で、歩くことを心掛けていますか。

歩行の意識について、全体では「意識して歩くようにしている」が71.2%、「歩くことは少ない」が27.1%となっています。

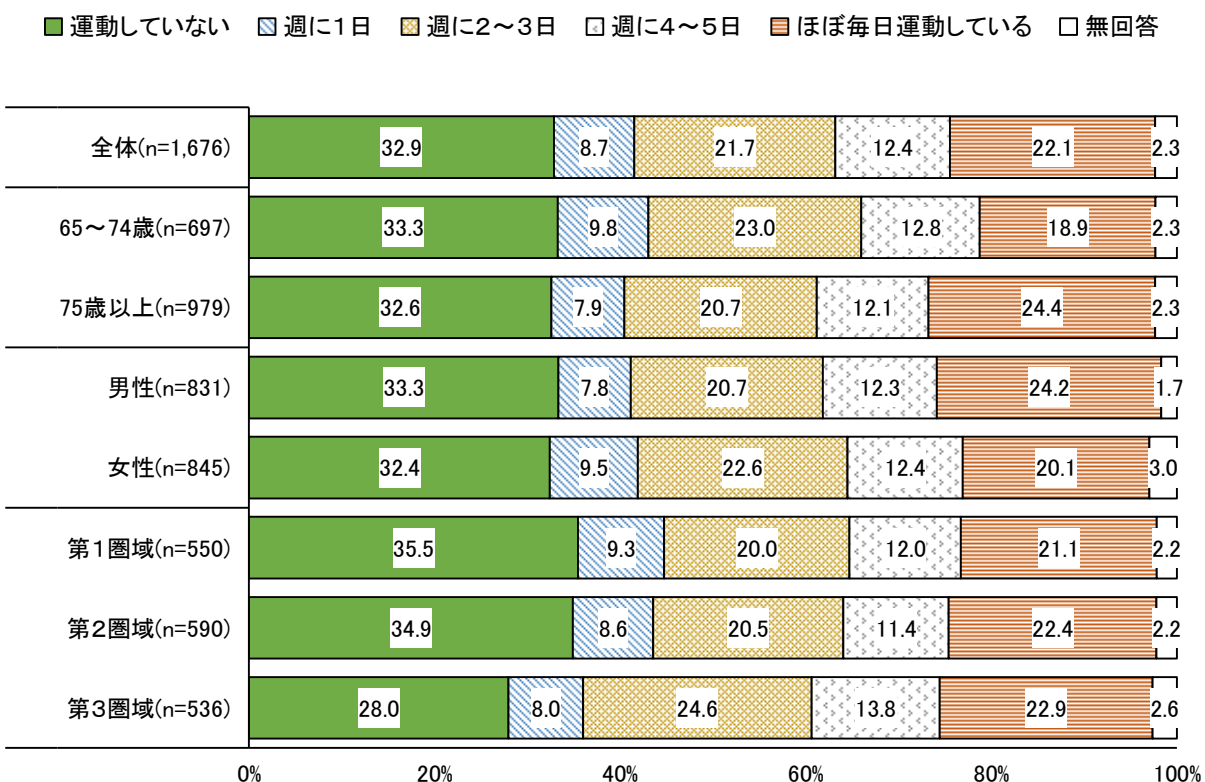


(6) 運動している日数

1週間に何日運動していますか。(いずれか1つ)

運動している日数について、全体では「運動していない」が32.9%で最も多く、以下「ほぼ毎日運動している」が22.1%、「週に2～3日」が21.7%、「週に4～5日」が12.4%、「週に1日」が8.7%となっています。

第3圏域では、「週に2～3日」から「ほぼ毎日運動している」が他の圏域より多く、運動している人の割合が高くなっています。



(6) ① 運動しない理由

運動をしない理由は何ですか。(いくつでも)

運動しない理由について、全体では「面倒くさいため」が38.1%で最も多く、以下「足腰が痛いため」が36.8%、「時間が無いため」が14.5%、「一緒に運動する人がいないため」が11.4%などとなっています。

65～74歳と男性、第1圏域と第3圏域では「面倒くさいため」が最も多いのに対し、75歳以上と女性、第2圏域では「足腰が痛いため」が最も多くなっています。

単位: %

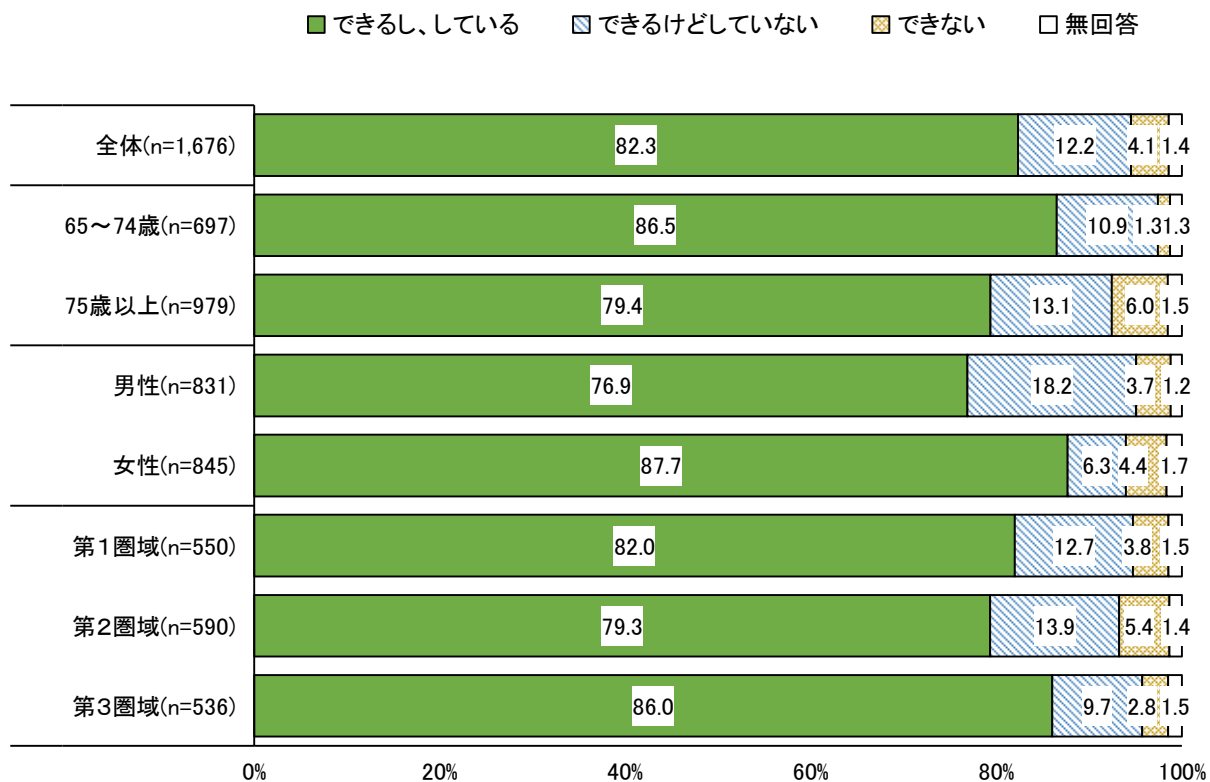
	面倒くさいため	足腰が痛いため	時間が無いため	一緒に運動する人がいないため	運動のやり方が分からない	その他	無回答
全体(n=551)	38.1	36.8	14.5	11.4	5.3	15.2	3.3
65～74歳(n=232)	44.8	30.6	19.8	9.9	6.9	13.4	2.2
75歳以上(n=319)	33.2	41.4	10.7	12.5	4.1	16.6	4.1
男性(n=277)	43.0	30.3	16.6	9.4	5.4	12.3	3.6
女性(n=274)	33.2	43.4	12.4	13.5	5.1	18.2	2.9
第1圏域(n=195)	40.5	35.9	14.4	10.8	7.2	14.9	2.6
第2圏域(n=206)	35.9	40.3	12.6	8.7	3.9	15.0	2.9
第3圏域(n=150)	38.0	33.3	17.3	16.0	4.7	16.0	4.7

(7) 自分で買い物をしているか

自分で食品・日用品の買物をしていますか。(いずれか1つ)

自分で買い物をしているかについて、IADL（手段的日常生活動作）低下のチェック該当となる「できない」の割合は、全体では4.1%となっています。

男性では「できるけどしていない」が18.2%で比較的多くなっています。



(7) ① 買物の交通手段

買物へ行く交通手段は何ですか。(いくつでも)

買物の交通手段について、全体では「徒歩」が51.5%で最も多く、以下「自家用車(自分で運転)」が48.2%、「自転車」が34.9%、「バス」が10.9%などとなっています。

75歳以上と女性、第2圏域と第3圏域では「徒歩」が最も多いのに対し、65~74歳と男性、第1圏域では「自家用車(自分で運転)」が最も多くなっています。

単位: %

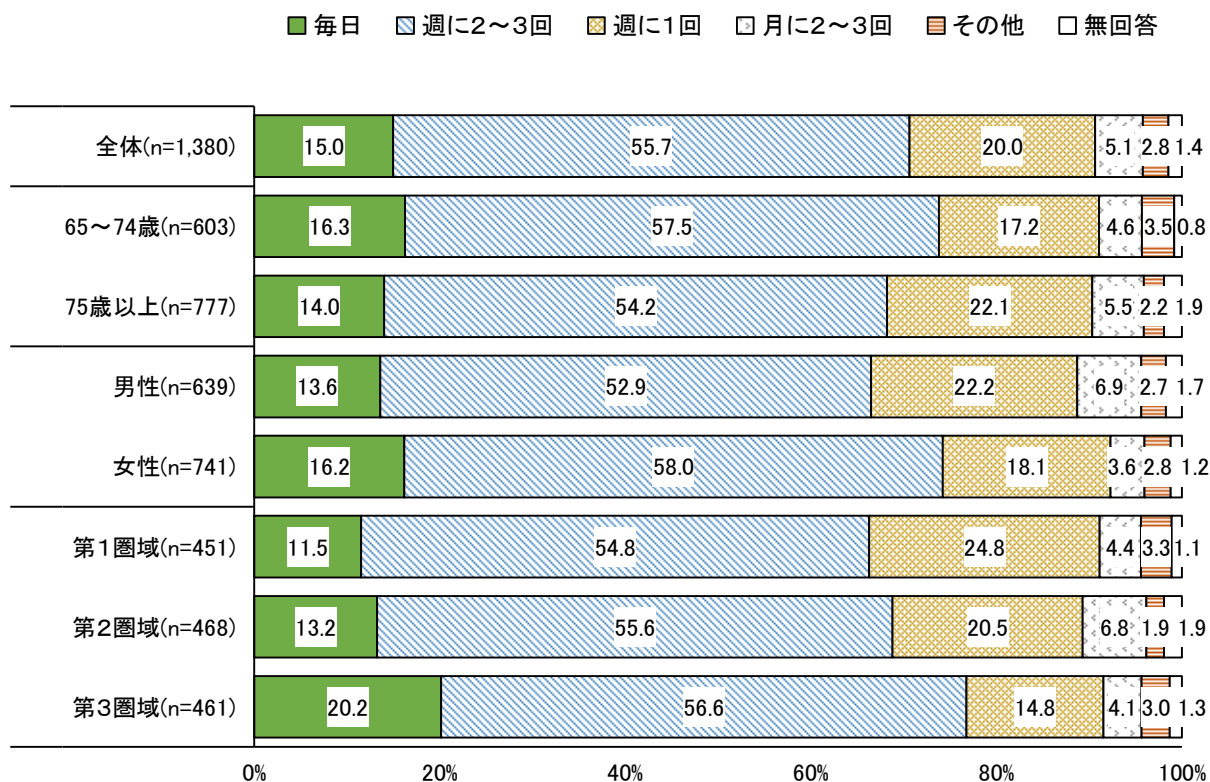
	徒歩	自家用車 (自分で運 転)	自転車	バス	自転車(他 人が運転)	タクシー	その他	無回答
全体(n=1,380)	51.5	48.2	34.9	10.9	7.5	3.6	6.5	2.0
65~74歳(n=603)	49.6	58.2	33.2	8.0	9.6	1.0	4.8	2.2
75歳以上(n=777)	53.0	40.4	36.2	13.3	5.8	5.7	7.9	1.8
男性(n=639)	49.1	66.0	33.5	5.8	3.1	1.9	2.7	1.9
女性(n=741)	53.6	32.8	36.0	15.4	11.2	5.1	9.9	2.0
第1圏域(n=451)	44.1	52.1	29.0	19.5	6.9	5.1	6.7	1.6
第2圏域(n=468)	48.9	48.5	36.1	8.8	7.5	2.8	6.2	2.1
第3圏域(n=461)	61.4	44.0	39.3	4.8	8.0	3.0	6.7	2.2

(7) -② 買物の頻度

どのくらいの頻度で食料品を買いに行きますか。(いずれか1つ)

買物の頻度について、全体では「週に2～3回」が55.7%で最も多く、以下「週に1回」が20.0%、「毎日」が15.0%、「月に2～3回」が5.1%となっています。

いずれの区分でも、「毎日」から「週に1回」が大半を占めています。また、第3圏域では「毎日」が20.2%で比較的多くなっています。

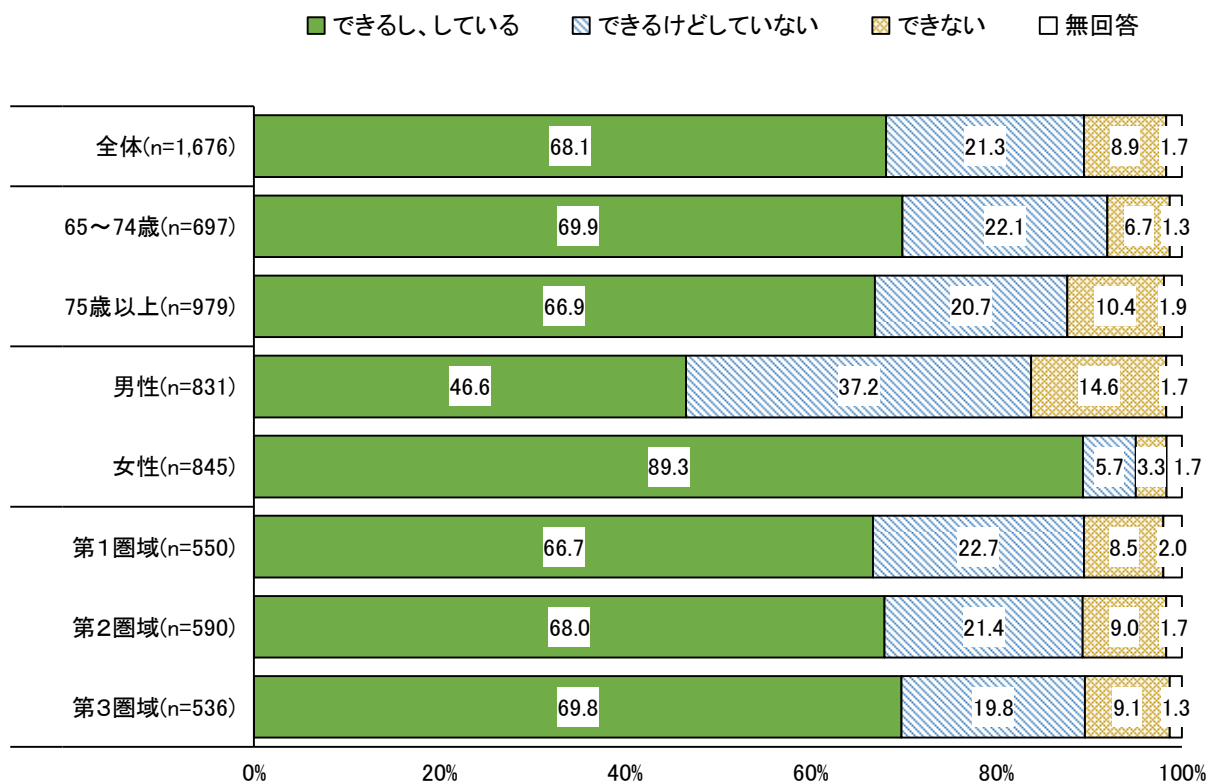


(8) 食事の用意

自分で食事の用意をしていますか。(いずれか1つ)

食事の用意について、IADL（手段的日常生活動作）低下のチェック該当となる「できない」の割合は、全体で8.9%となっており、75歳以上と男性で比較的高くなっています。

女性では「できるし、している」が89.3%を占めているのに対し、男性では46.6%で「できるけどしていない」が37.2%となっています。

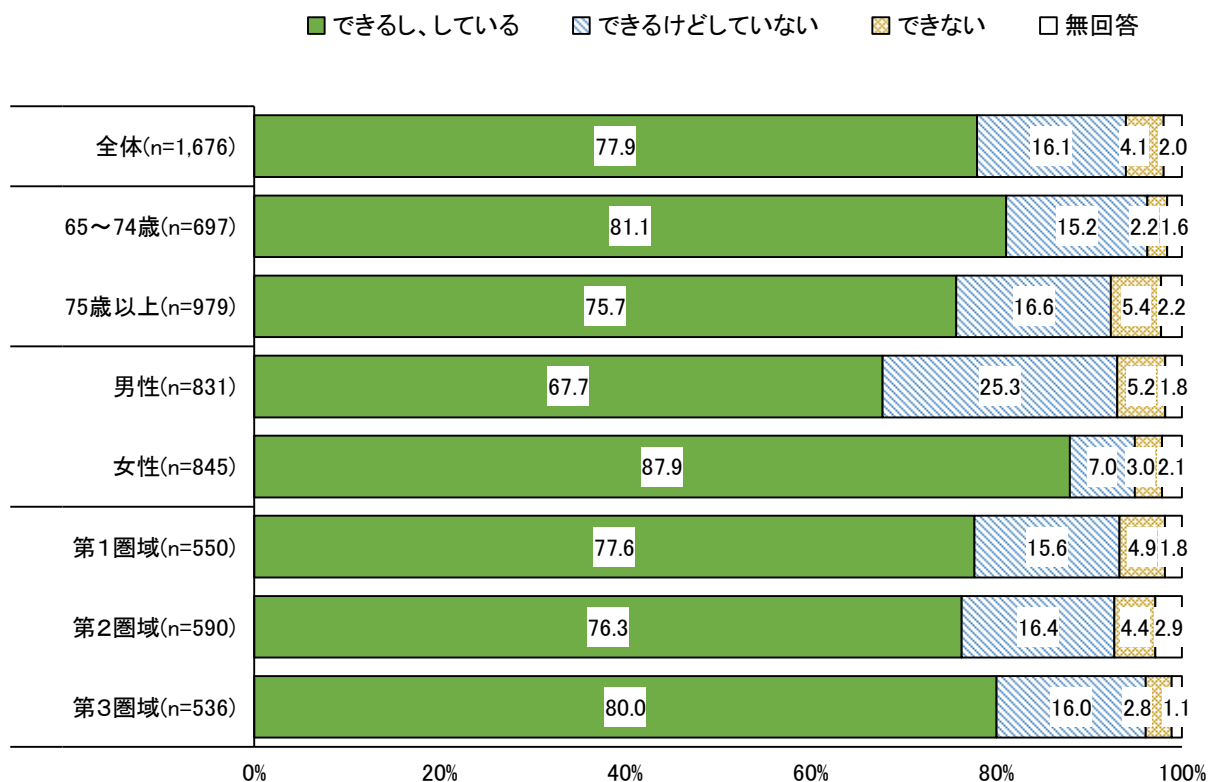


(9) 請求書の支払いの状況

自分で請求書の支払いをしていますか。(いずれか1つ)

請求書の支払いの状況について、IADL（手段的日常生活動作）低下のチェック該当となる「できない」の割合は、全体で4.1%となっています。

いずれの区分でも「できるし、している」が過半数を占めており、特に女性では87.9%を占めています。一方、男性では「できるけどしていない」が25.3%となっています。

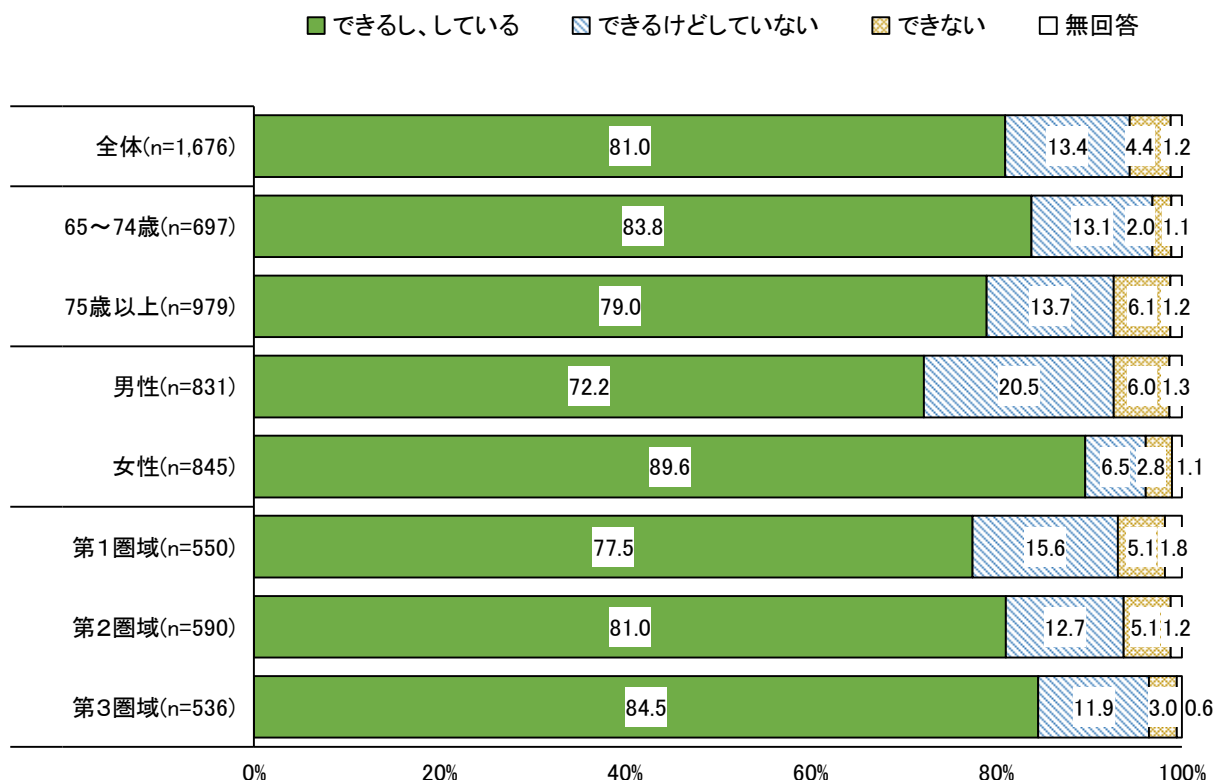


(10) 預貯金の出し入れの状況

自分で預貯金の出し入れをしていますか。(いずれか1つ)

預貯金の出し入れの状況について、IADL（手段的日常生活動作）低下のチェック該当となる「できない」の割合は、全体では4.4%となっています。

いずれの区分でも「できるし、している」が過半数を占めており、特に女性では89.6%を占めています。一方で、男性では「できるけどしていない」が20.5%となっています。

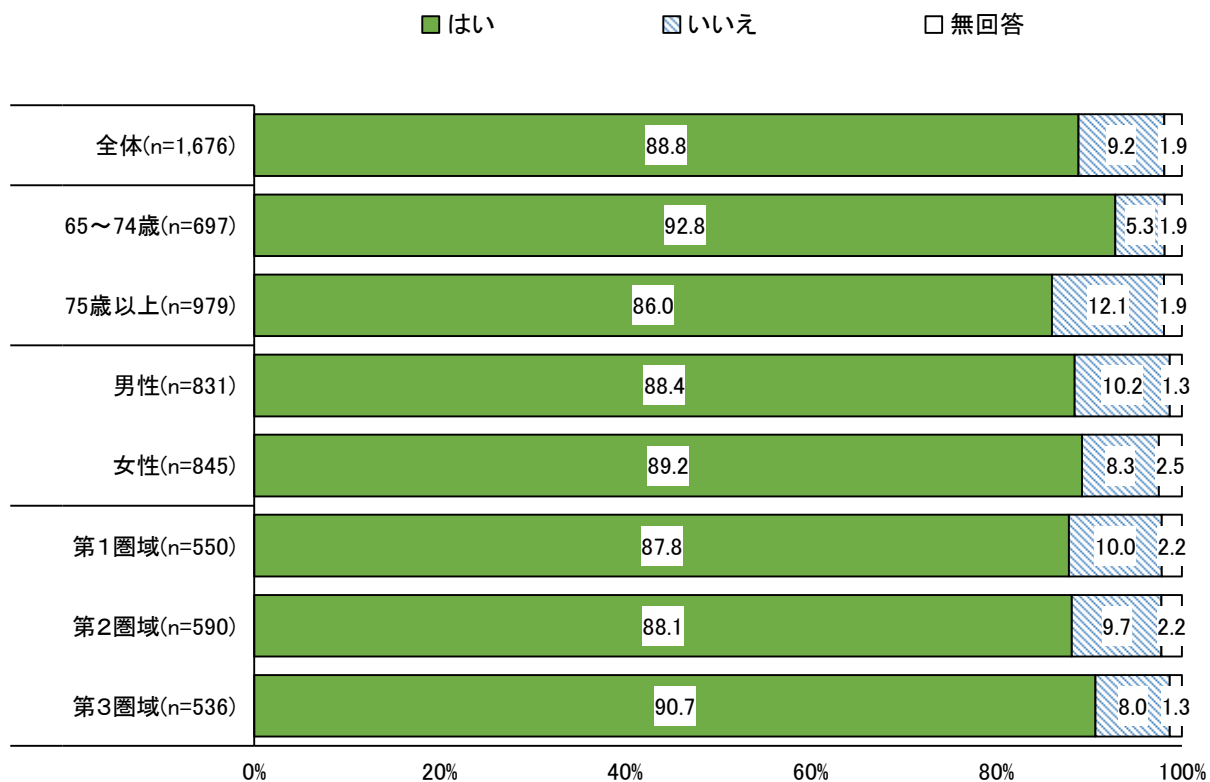


(11) 年金などの書類が書けるか

年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。

年金などの書類が書けるかについて、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は、全体では9.2%となっています。

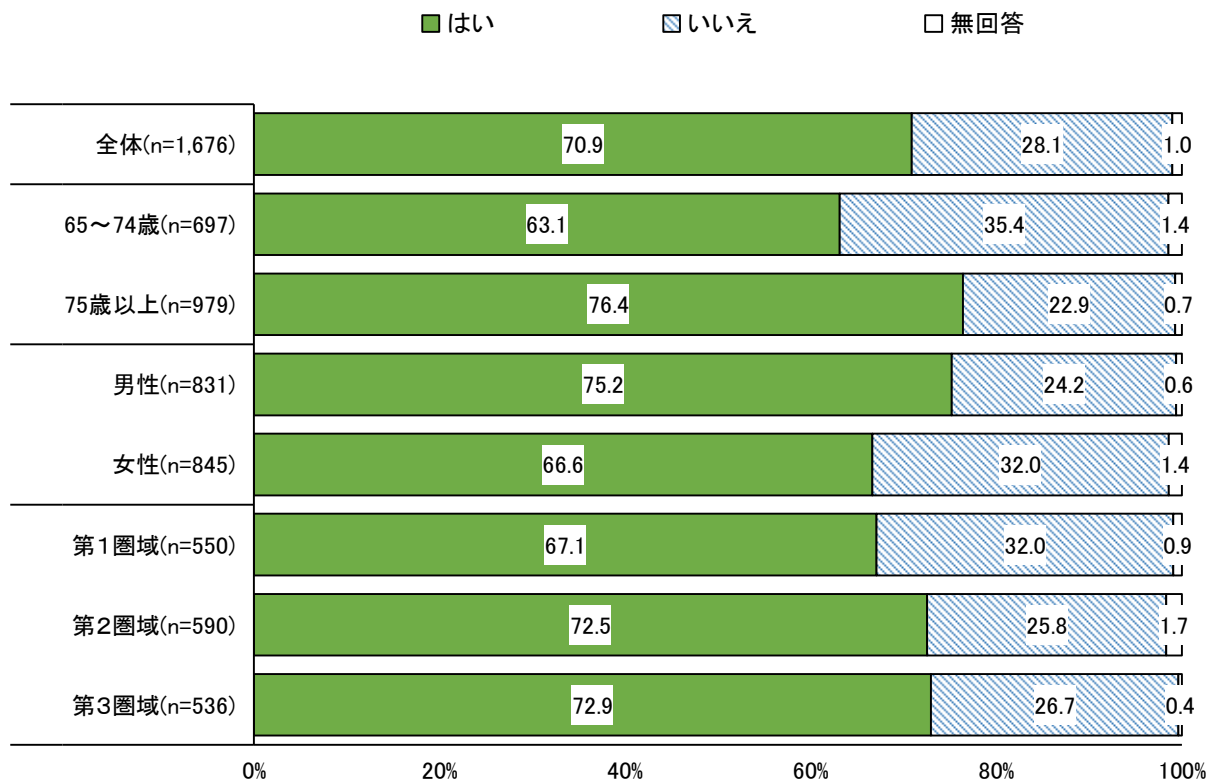
いずれの区分でも「はい」が90%前後を占めています。



(12) 新聞を読んでいるか

新聞を読んでいますか。

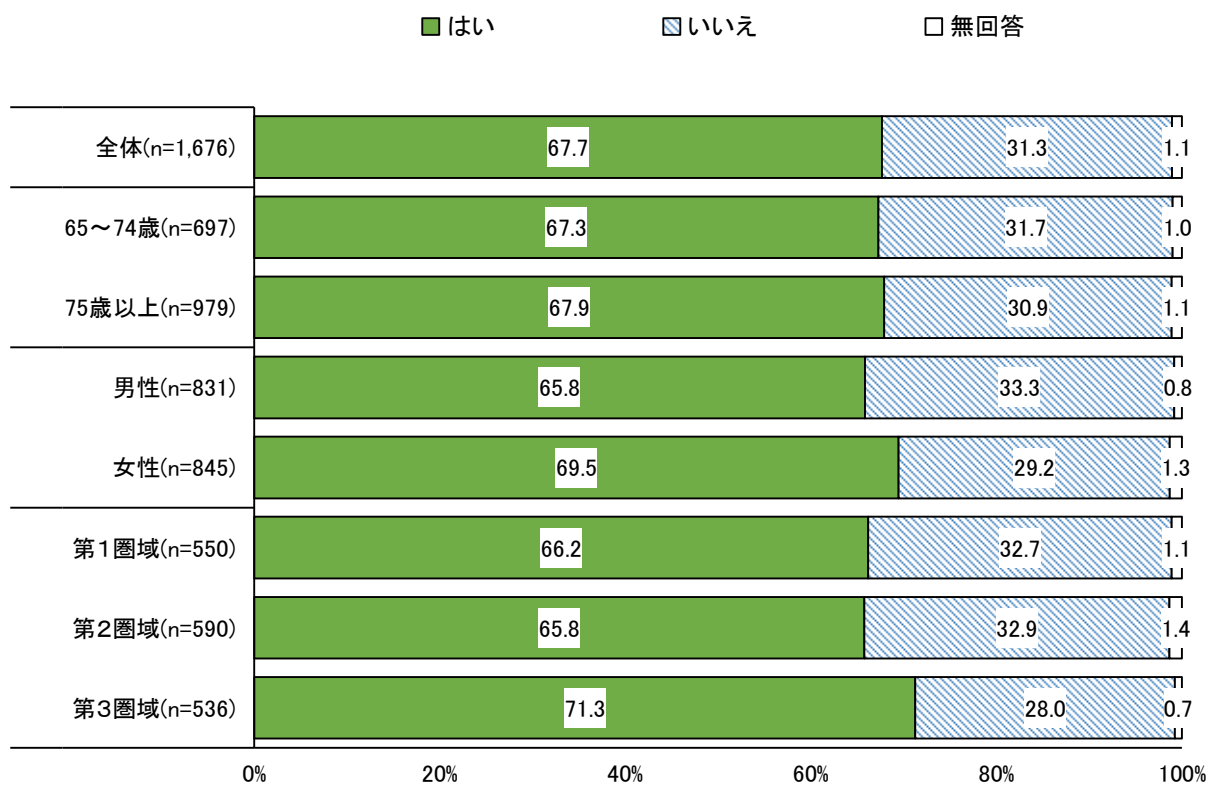
新聞を読んでいるかについて、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は、全体では28.1%となっており、65～74歳と女性、第1圏域で比較的高くなっています。



(13) 本や雑誌を読んでいるか

本や雑誌を読んでいますか。

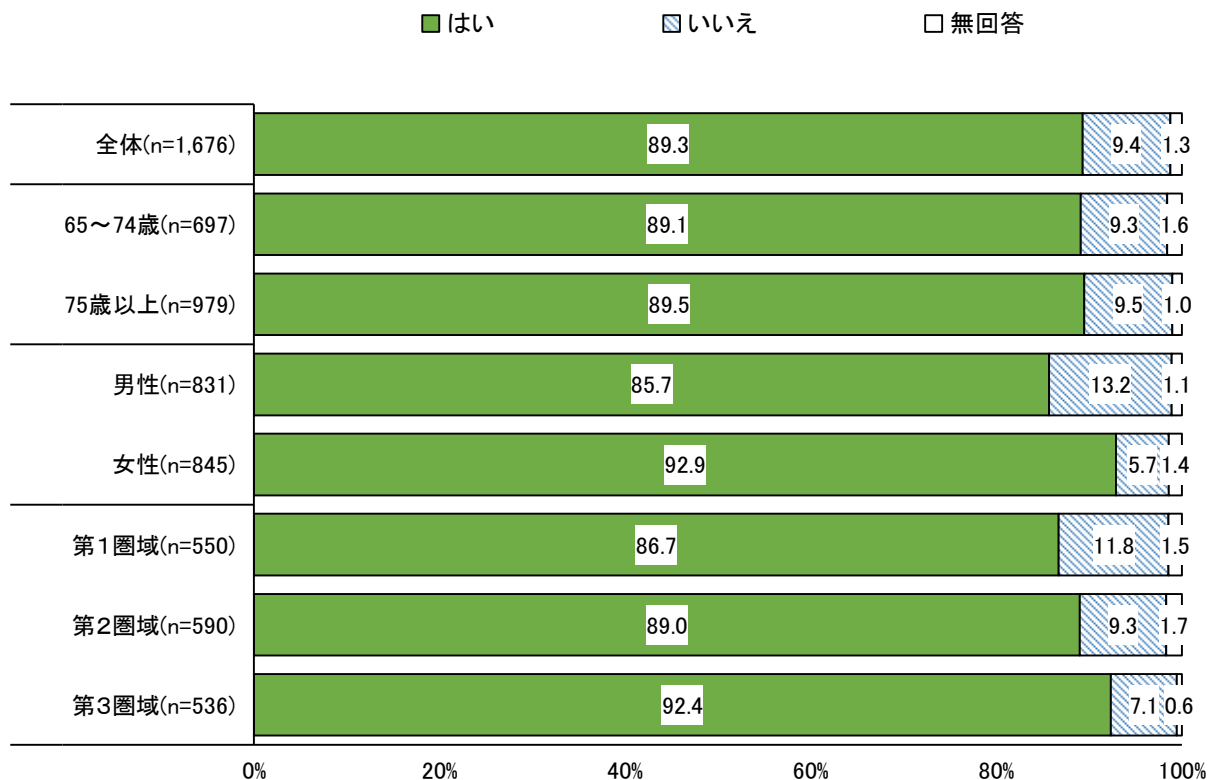
本や雑誌を読んでいるかについて、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は、全体では31.3%となっています。



(14) 健康についての記事や番組に関心があるか

健康についての記事や番組に関心がありますか。

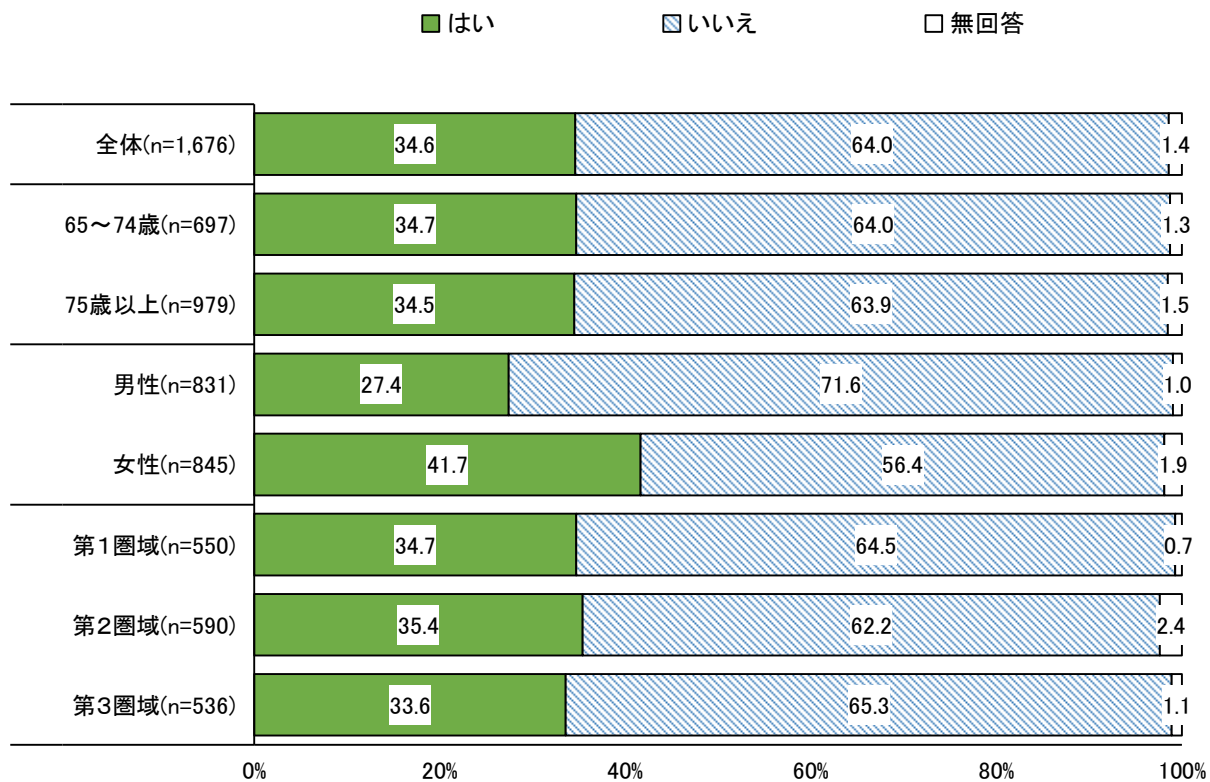
健康についての記事や番組に関心があるかについて、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は、全体では9.4%となっており、男性と第1圏域で比較的高くなっています。



(15) 友人宅を訪ねているか

友人の家を訪ねていますか。

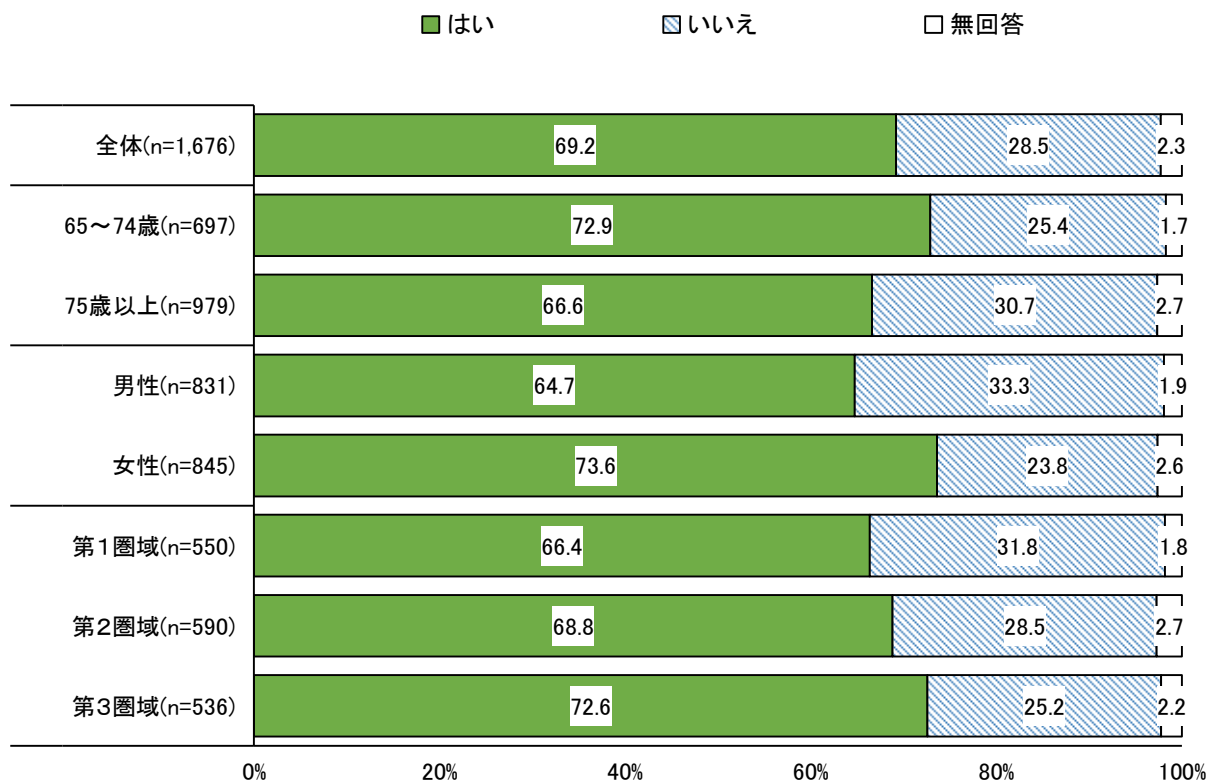
友人宅を訪ねているかについて、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は、全体では64.0%となっており、男性で比較的高くなっています。



(16) 家族や友人の相談にのっているか

家族や友人の相談にのっていますか。

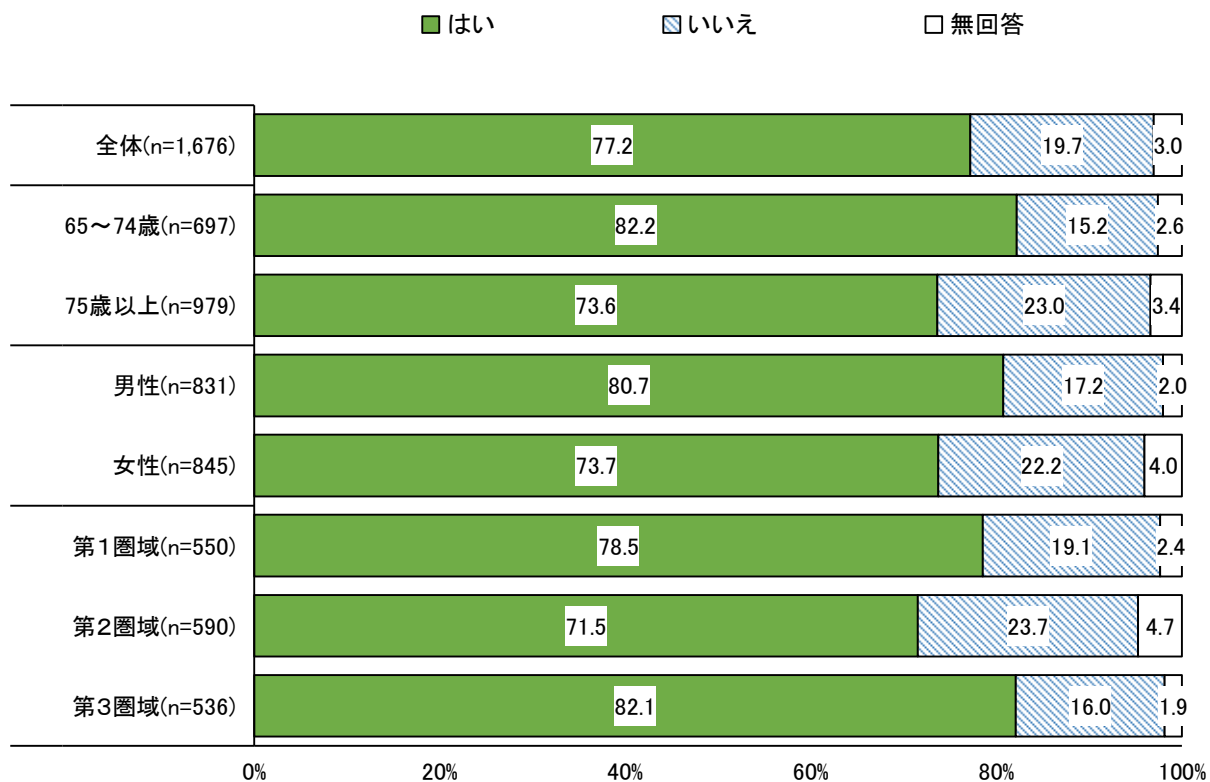
家族や友人の相談にのっているかについて、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は、全体では 28.5%となっています。75 歳以上と男性、第1 圏域で比較的高く、いずれも 30%を超えています。



(17) 病人の見舞いができるか

病人を見舞うことができますか。

病人の見舞いができるかについて、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は、全体では 19.7%となっています。75 歳以上と女性、第2圏域で比較的高く、いずれも 20%を超えています。

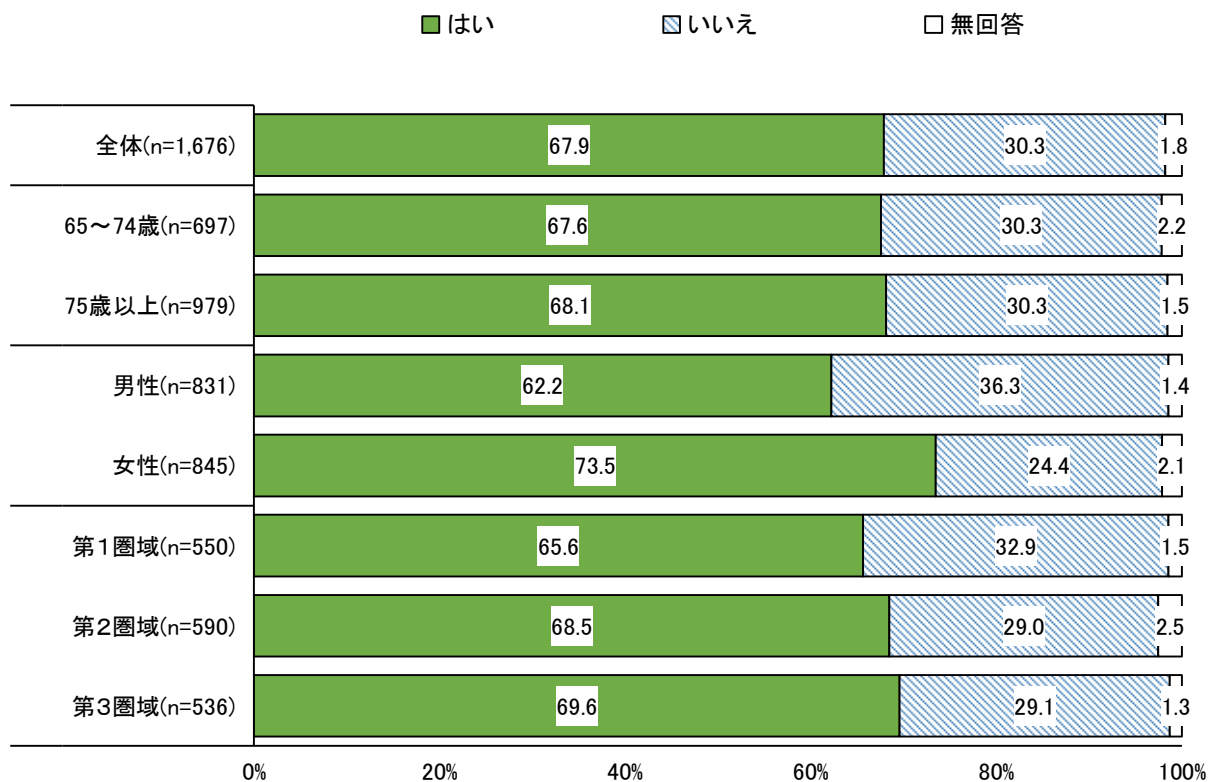


(18) 若い人に話しかけること

若い人に自分から話しかけることがありますか。

若い人に話しかけることがあるかについて、社会的役割低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は、全体では30.3%となっています。

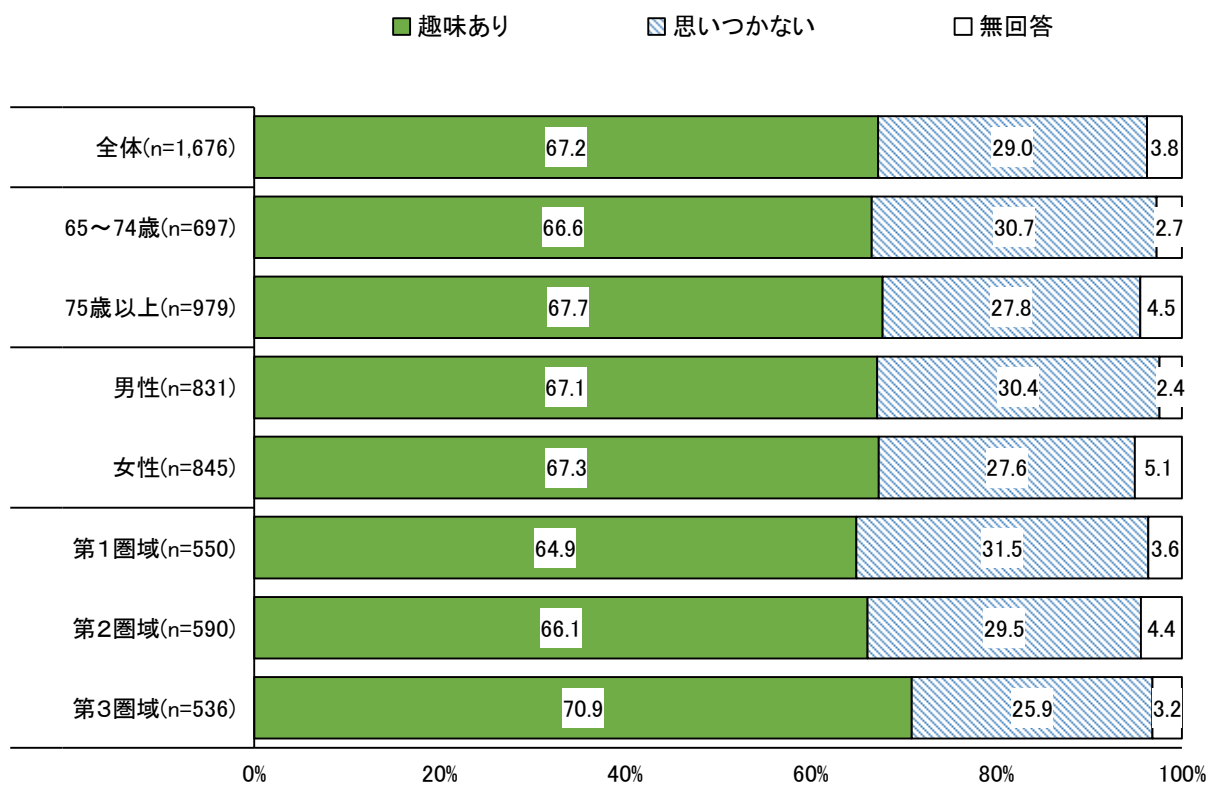
女性では「はい」が73.5%で男性より11.3ポイント高くなっています。



(19) 趣味

趣味はありますか。

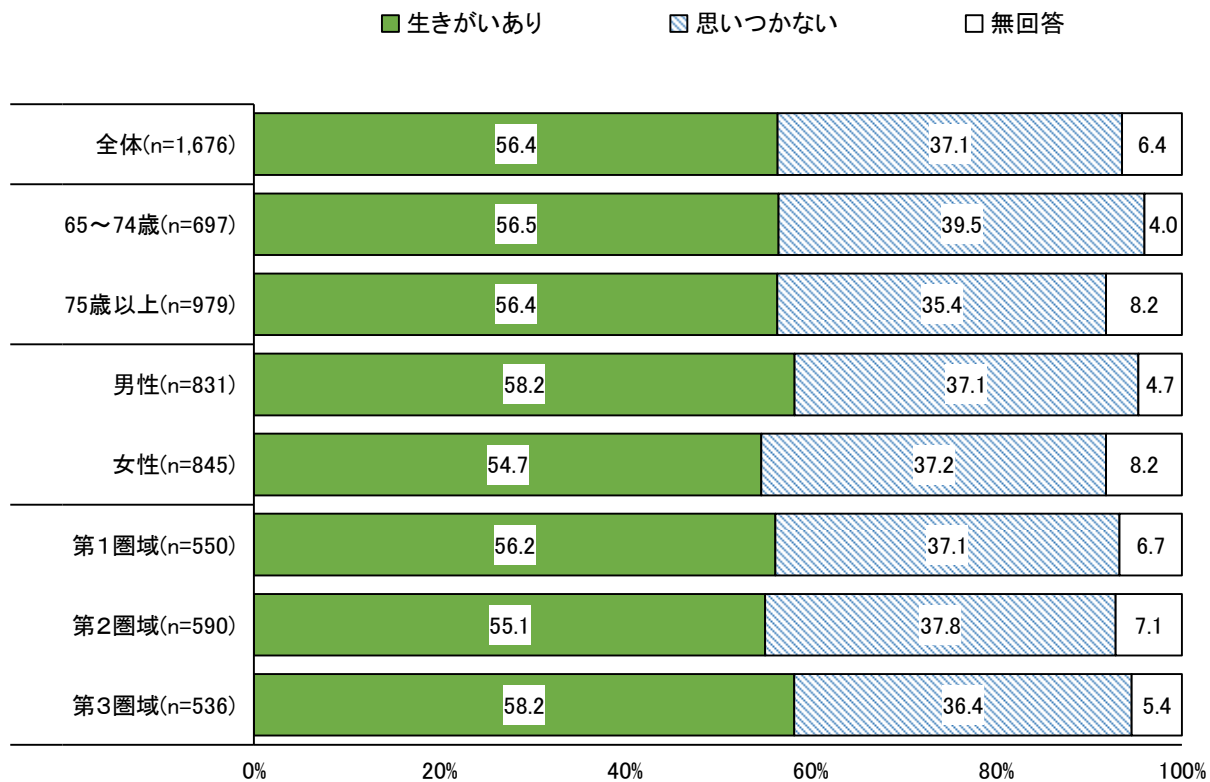
趣味について、全体では「趣味あり」が67.2%、「思いつかない」が29.0%となっています。
第3圏域では「趣味あり」が70.9%で他の圏域より多くなっています。



(20) 生きがい

生きがいはありますか。

生きがいについて、全体では「生きがいあり」が56.4%、「思いつかない」が37.1%となっています。



(21) 日常生活での困りごと

日常生活での困りごとはありますか。(いくつでも)

日常生活での困りごとについて、全体では「電球交換などの部屋の修繕」が16.4%で最も多く、以下「食事の準備・調理・後片付け」が11.9%、「通院」が10.9%、「掃除・洗濯」が10.3%などとなっています。

75歳以上では全体的に割合が高くなっており、困りごとがある人が多いことがうかがえます。

また、男性では「食事の準備・調理・後片付け」や「掃除・洗濯」が比較的多いのに対し、女性では「電球交換などの部屋の修繕」や「買い物」が比較的多くなっています。

単位：%

	電球交換 などの部 屋の修繕	食事の準 備・調理・ 後片付け	通院	掃除・洗 濯	買い物	ごみ出し	引越し先 が無い (保証人 が必要な ため)	その他	無回答
全体(n=1,676)	16.4	11.9	10.9	10.3	8.9	4.7	1.3	24.7	40.5
65～74歳(n=697)	9.0	8.3	6.7	6.3	4.3	2.6	1.0	30.0	45.8
75歳以上(n=979)	21.7	14.5	13.8	13.2	12.3	6.2	1.4	20.9	36.8
男性(n=831)	10.1	15.0	10.0	12.6	7.2	4.0	1.2	27.9	39.4
女性(n=845)	22.6	8.9	11.7	8.0	10.7	5.4	1.3	21.5	41.7
第1圏域(n=550)	16.2	11.3	10.9	9.6	8.9	4.0	2.0	23.5	43.8
第2圏域(n=590)	15.6	15.6	12.2	12.4	10.3	6.6	1.0	24.1	36.3
第3圏域(n=536)	17.5	8.6	9.3	8.8	7.5	3.4	0.7	26.7	41.8

6 地域での活動について

(1) 会・グループ等への参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

① ボランティアのグループ

ボランティアのグループへの参加について、全体では「参加していない」が58.9%で最も多く、次いで「年に数回」が3.2%となっています。

なお、『週1回以上』は2.4%、『参加している』は8.5%となっています。

単位：%

	参加している						参加している	参加していない	無回答
	週4回以上	週2～3回	週1回	週1回以上	月1～3回	年に数回			
全体(n=1,676)	0.5	1.1	0.8	2.4	2.9	3.2	8.5	58.9	32.6
65～74歳(n=697)	0.4	0.9	0.7	2.0	3.9	3.7	9.6	70.3	20.1
75歳以上(n=979)	0.5	1.3	0.8	2.6	2.1	2.9	7.6	50.9	41.5
男性(n=831)	0.7	1.6	0.4	2.7	2.8	5.1	10.6	60.4	29.1
女性(n=845)	0.2	0.7	1.2	2.1	3.0	1.4	6.5	57.5	36.0
第1圏域(n=550)	0.7	1.1	1.3	3.1	1.8	4.2	9.1	57.1	33.8
第2圏域(n=590)	0.2	0.5	0.5	1.2	2.7	2.7	6.6	59.3	34.1
第3圏域(n=536)	0.6	1.9	0.6	3.1	4.1	2.8	10.0	60.4	29.7

②スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブへの参加について、全体では「参加していない」が53.0%で最も多く、次いで「週2～3回」が5.7%となっています。

なお、『週1回以上』は12.5%、『参加している』は18.5%となっています。

第3圏域では『参加している』が22.9%で他の圏域より多くなっています。

単位：%

	参加している							参加していない	無回答
	週4回以上	週2～3回	週1回	週1回以上	月1～3回	年に数回	参加している		
全体(n=1,676)	2.6	5.7	4.2	12.5	4.2	1.8	18.5	53.0	28.5
65～74歳(n=697)	2.4	5.2	4.9	12.5	3.7	2.3	18.5	63.0	18.5
75歳以上(n=979)	2.7	6.1	3.8	12.6	4.5	1.4	18.5	46.0	35.5
男性(n=831)	2.4	4.2	3.4	10.0	4.3	2.6	16.9	57.2	25.9
女性(n=845)	2.7	7.2	5.1	15.0	4.0	0.9	19.9	49.0	31.0
第1圏域(n=550)	2.0	5.8	4.4	12.2	2.9	1.3	16.4	53.3	30.4
第2圏域(n=590)	2.9	4.1	3.7	10.7	3.9	2.0	16.6	52.5	30.8
第3圏域(n=536)	2.8	7.5	4.7	15.0	5.8	2.1	22.9	53.4	23.9

③趣味関係のグループ

趣味関係のグループへの参加について、全体では「参加していない」が51.0%で最も多く、次いで「月1～3回」が8.9%となっています。

なお、『週1回以上』は8.4%、『参加している』は20.2%となっています。

単位：%

	参加している							参加していない	無回答
	週4回以上	週2～3回	週1回	週1回以上	月1～3回	年に数回	参加している		
全体(n=1,676)	1.6	3.2	3.6	8.4	8.9	2.9	20.2	51.0	28.7
65～74歳(n=697)	1.4	2.6	2.7	6.7	9.8	3.7	20.2	60.3	19.5
75歳以上(n=979)	1.7	3.7	4.3	9.7	8.4	2.3	20.4	44.3	35.2
男性(n=831)	1.9	3.2	2.9	8.0	7.5	3.7	19.2	55.5	25.3
女性(n=845)	1.3	3.2	4.4	8.9	10.4	2.1	21.4	46.5	32.1
第1圏域(n=550)	1.6	3.1	3.5	8.2	8.7	2.2	19.1	49.6	31.3
第2圏域(n=590)	1.7	3.4	3.9	9.0	9.3	3.1	21.4	50.2	28.5
第3圏域(n=536)	1.5	3.2	3.5	8.2	8.8	3.5	20.5	53.2	26.3

④学習・教養サークル

学習・教養サークルへの参加について、全体では「参加していない」が60.8%で最も多く、次いで「月1～3回」が2.1%となっています。

なお、『週1回以上』は1.5%、『参加している』は4.9%となっています。

単位：%

	参加している							参加していない	無回答
	週4回以上	週2～3回	週1回	週1回以上	月1～3回	年に数回	参加している		
全体(n=1,676)	0.1	0.5	0.9	1.5	2.1	1.3	4.9	60.8	34.3
65～74歳(n=697)	0.0	0.9	1.0	1.9	1.9	0.7	4.5	73.5	22.1
75歳以上(n=979)	0.1	0.3	0.8	1.2	2.2	1.7	5.1	51.8	43.0
男性(n=831)	0.0	0.2	0.4	0.6	1.4	1.0	3.0	65.6	31.4
女性(n=845)	0.1	0.8	1.4	2.3	2.7	1.7	6.7	56.1	37.2
第1圏域(n=550)	0.0	0.7	0.9	1.6	2.4	1.1	5.1	59.1	35.8
第2圏域(n=590)	0.0	0.2	0.5	0.7	1.9	0.8	3.4	61.9	34.7
第3圏域(n=536)	0.2	0.7	1.3	2.2	2.1	2.1	6.4	61.4	32.3

⑤介護予防のための通いの場

介護予防のための通いの場への参加について、全体では「参加していない」が61.1%で最も多く、次いで「週1回」が2.0%となっています。

なお、『週1回以上』は3.7%、『参加している』は5.3%となっています。

単位：%

	参加している							参加していない	無回答
	週4回以上	週2～3回	週1回	週1回以上	月1～3回	年に数回	参加している		
全体(n=1,676)	0.3	1.4	2.0	3.7	1.1	0.5	5.3	61.1	33.6
65～74歳(n=697)	0.0	0.4	1.0	1.4	0.7	0.0	2.1	74.9	23.0
75歳以上(n=979)	0.5	2.0	2.8	5.3	1.4	0.8	7.5	51.3	41.2
男性(n=831)	0.2	0.8	1.4	2.4	0.5	0.2	3.1	65.6	31.2
女性(n=845)	0.4	1.9	2.6	4.9	1.8	0.7	7.4	56.7	36.0
第1圏域(n=550)	0.5	0.5	1.5	2.5	0.9	0.7	4.1	60.5	35.3
第2圏域(n=590)	0.2	1.7	3.1	5.0	1.2	0.5	6.7	59.3	34.1
第3圏域(n=536)	0.2	1.9	1.5	3.6	1.3	0.2	5.1	63.6	31.3

⑥老人クラブ

老人クラブへの参加について、全体では「参加していない」が61.9%で最も多く、次いで「年に数回」が3.2%となっています。

なお、『週1回以上』は1.0%、『参加している』は6.0%となっています。

単位：%

	参加している							参加していない	無回答
	週4回以上	週2～3回	週1回	週1回以上	月1～3回	年に数回	参加している		
全体(n=1,676)	0.4	0.2	0.4	1.0	1.8	3.2	6.0	61.9	32.1
65～74歳(n=697)	0.1	0.0	0.0	0.1	0.4	1.3	1.8	75.6	22.5
75歳以上(n=979)	0.6	0.3	0.7	1.6	2.9	4.5	9.0	52.1	38.9
男性(n=831)	0.2	0.1	0.2	0.5	1.6	3.0	5.1	64.7	30.1
女性(n=845)	0.6	0.2	0.6	1.4	2.1	3.3	6.8	59.1	34.1
第1圏域(n=550)	0.4	0.2	0.4	1.0	2.0	4.2	7.2	58.9	34.0
第2圏域(n=590)	0.5	0.2	0.5	1.2	1.7	3.4	6.3	61.5	32.2
第3圏域(n=536)	0.4	0.2	0.4	1.0	1.9	1.9	4.8	65.3	30.0

⑦町内会・自治会

町内会・自治会への参加について、全体では「参加していない」が45.9%で最も多く、次いで「年に数回」が16.2%となっています。

なお、『週1回以上』は1.7%、『参加している』との回答は24.5%となっています。

単位：%

	参加している							参加していない	無回答
	週4回以上	週2～3回	週1回	週1回以上	月1～3回	年に数回	参加している		
全体(n=1,676)	0.2	0.5	1.0	1.7	6.6	16.2	24.5	45.9	29.6
65～74歳(n=697)	0.1	0.7	0.7	1.5	8.0	20.8	30.3	50.6	18.9
75歳以上(n=979)	0.3	0.4	1.1	1.8	5.5	12.9	20.2	42.6	37.2
男性(n=831)	0.1	0.5	1.4	2.0	7.9	19.4	29.3	45.7	24.9
女性(n=845)	0.4	0.6	0.5	1.5	5.2	13.0	19.7	46.2	34.2
第1圏域(n=550)	0.2	0.4	0.9	1.5	6.4	15.1	23.0	45.6	31.5
第2圏域(n=590)	0.2	0.8	1.0	2.0	6.6	19.8	28.4	40.5	31.0
第3圏域(n=536)	0.4	0.4	0.9	1.7	6.7	13.2	21.6	52.2	26.1

⑧収入のある仕事

収入のある仕事への参加について、全体では「参加していない」が49.6%で最も多く、次いで「週4回以上」が11.0%となっています。

なお、『週1回以上』は18.3%、『参加している』は21.2%となっています。

65～74歳では『週1回以上』が30.2%で75歳以上より20.3ポイント多くなっています。

また、男性では『週1回以上』が23.5%で女性より10.4ポイント多くなっています。

単位：%

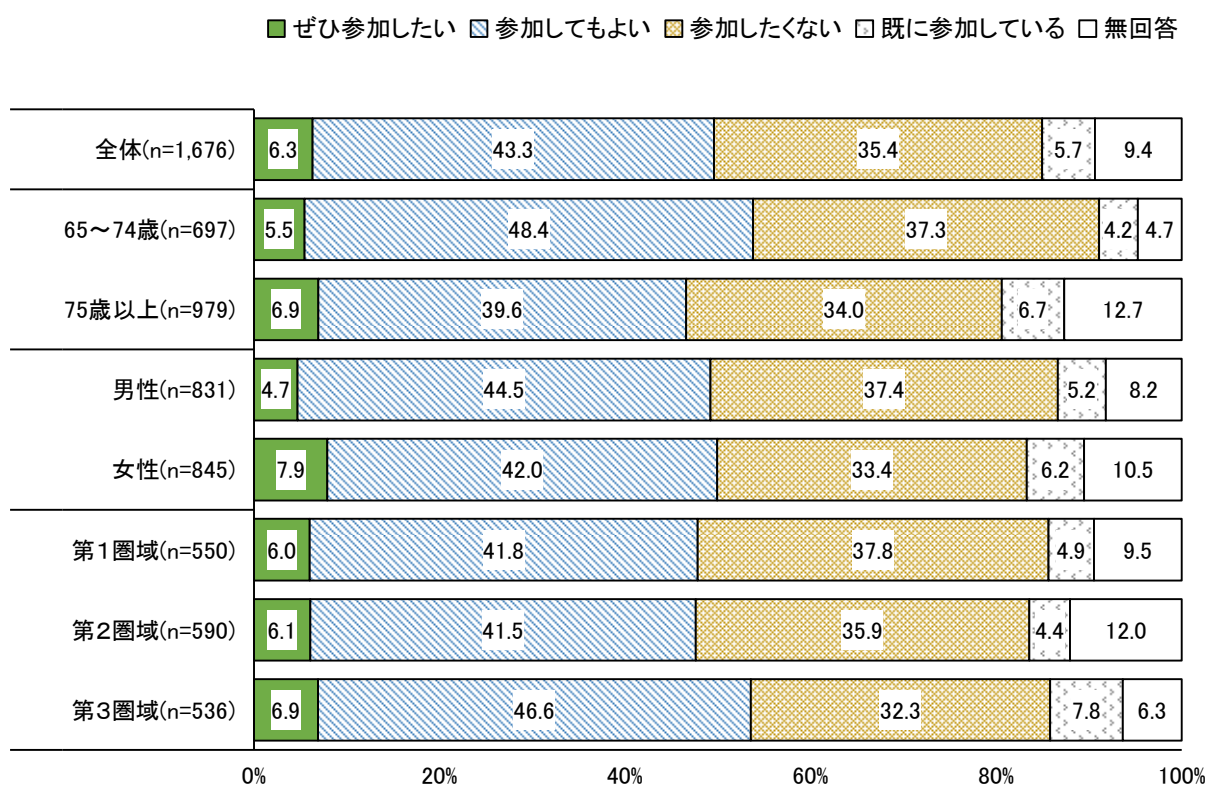
	参加している							参加して いない	無回答
	週4回 以上	週2～ 3回	週1回	週1回 以上	月1～ 3回	年に 数回			
全体(n=1,676)	11.0	5.9	1.4	18.3	1.7	1.2	21.2	49.6	29.2
65～74歳(n=697)	18.8	9.5	1.9	30.2	1.4	1.7	33.3	50.2	16.5
75歳以上(n=979)	5.5	3.4	1.0	9.9	1.8	0.8	12.5	49.1	38.3
男性(n=831)	14.3	7.8	1.4	23.5	2.0	1.7	27.2	48.3	24.4
女性(n=845)	7.8	4.0	1.3	13.1	1.3	0.7	15.1	50.9	34.0
第1圏域(n=550)	11.3	7.5	1.5	20.3	1.3	0.7	22.3	48.4	29.5
第2圏域(n=590)	8.6	5.8	0.8	15.2	2.0	1.2	18.4	50.3	31.2
第3圏域(n=536)	13.4	4.5	1.9	19.8	1.7	1.7	23.2	50.0	26.9

(2) 参加者としての地域づくりへの参加

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。
(いずれか1つ)

参加者としての地域づくりへの参加について、全体では「参加してもよい」が43.3%で最も多く、以下「参加したくない」が35.4%、「ぜひ参加したい」が6.3%、「既に参加している」が5.7%となっています。

「ぜひ参加したい」と「参加してもよい」、「既に参加している」を合わせると、すべての区分で過半数を占めており、参加意向のある人が一定数いることがうかがえます。



(3) 参加したいグループ活動

健康づくり活動や趣味等のグループ活動について、どんな活動に参加したいと思いますか。

参加したいグループ活動について、563件の回答があり、上位30項目は次のとおりです。「体操」が66件で最も多く、以下「スポーツ」が43件、「カラオケ」と「運動」が22件などとなっています。

記述内容	件数
体操	66
スポーツ	43
カラオケ	22
運動	22
グランドゴルフ	18
ゴルフ	18
ウォーキング	16
手芸	16
趣味	16
ヨガ	12

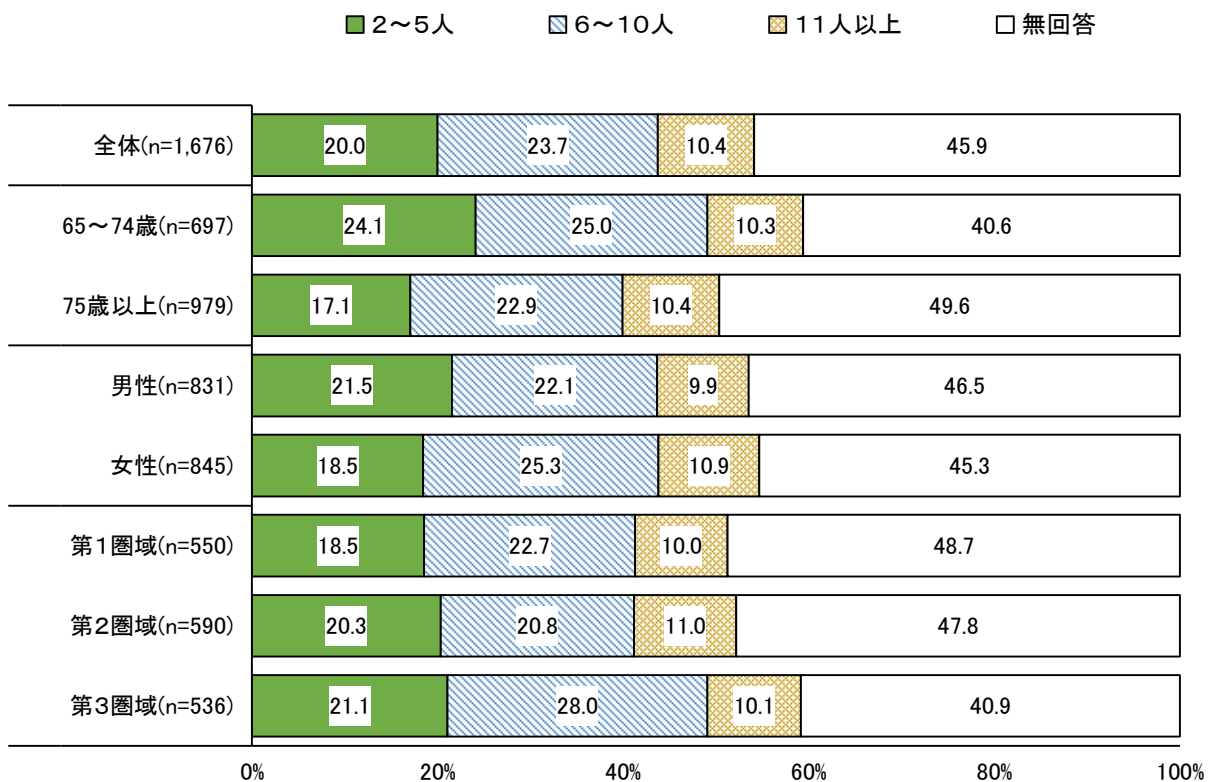
記述内容	件数
健康づくり	12
旅行	12
料理	12
ダンス	10
ハイキング	10
音楽	9
なまらん体操	8
コーラス	7
絵	7
将棋	7

記述内容	件数
マーじゃん	6
ラジオ	6
囲碁	6
花	6
散歩	6
仕事	6
水泳	6
卓球	6
麻雀	6
ボランティア	5

(4) 参加者として活動するときの活動人数

何人ぐらいでグループ活動を行いたいですか。(いずれか1つ)

参加者として活動するときの活動人数について、全体では「6～10人」が23.7%で最も多く、以下「2～5人」が20.0%、「11人以上」が10.4%となっています。

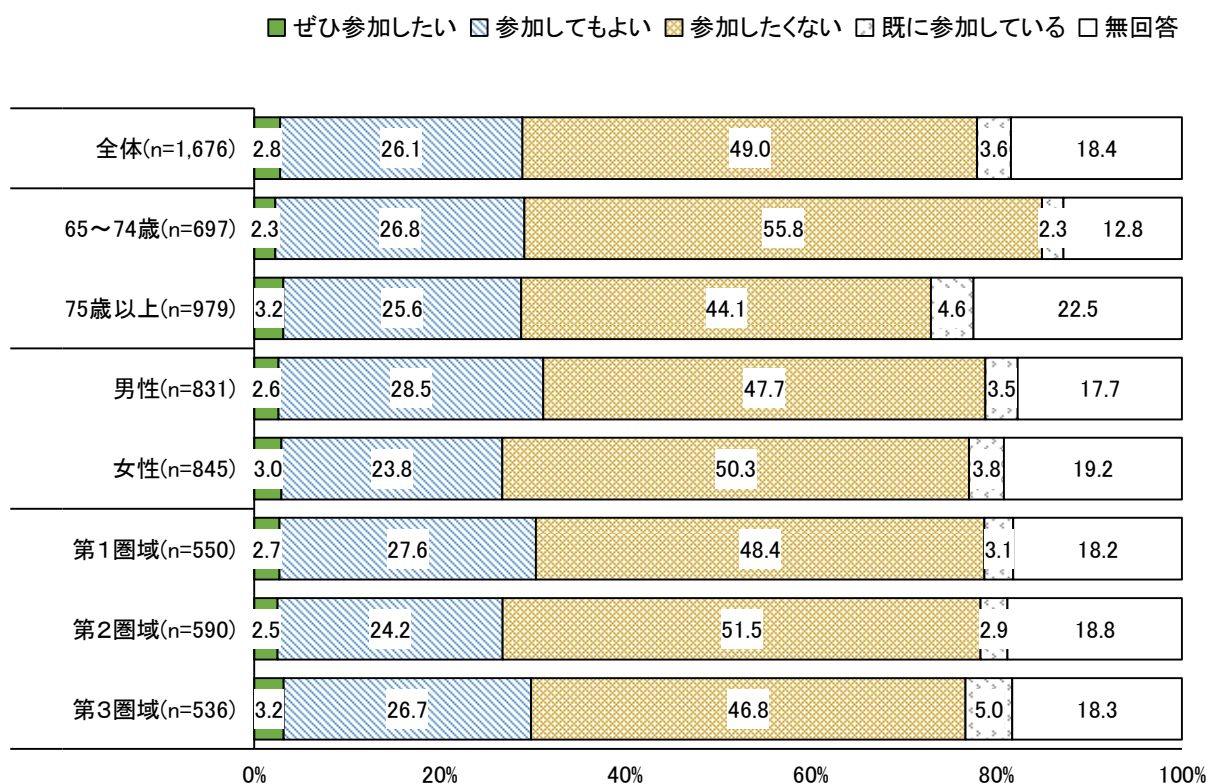


(5) 世話役としての地域づくりへの参加

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(いずれか1つ)

世話役としての地域づくりへの参加について、全体では「参加したくない」が49.0%で最も多く、以下「参加してもよい」が26.1%、「既に参加している」が3.6%、「ぜひ参加したい」が2.8%となっています。

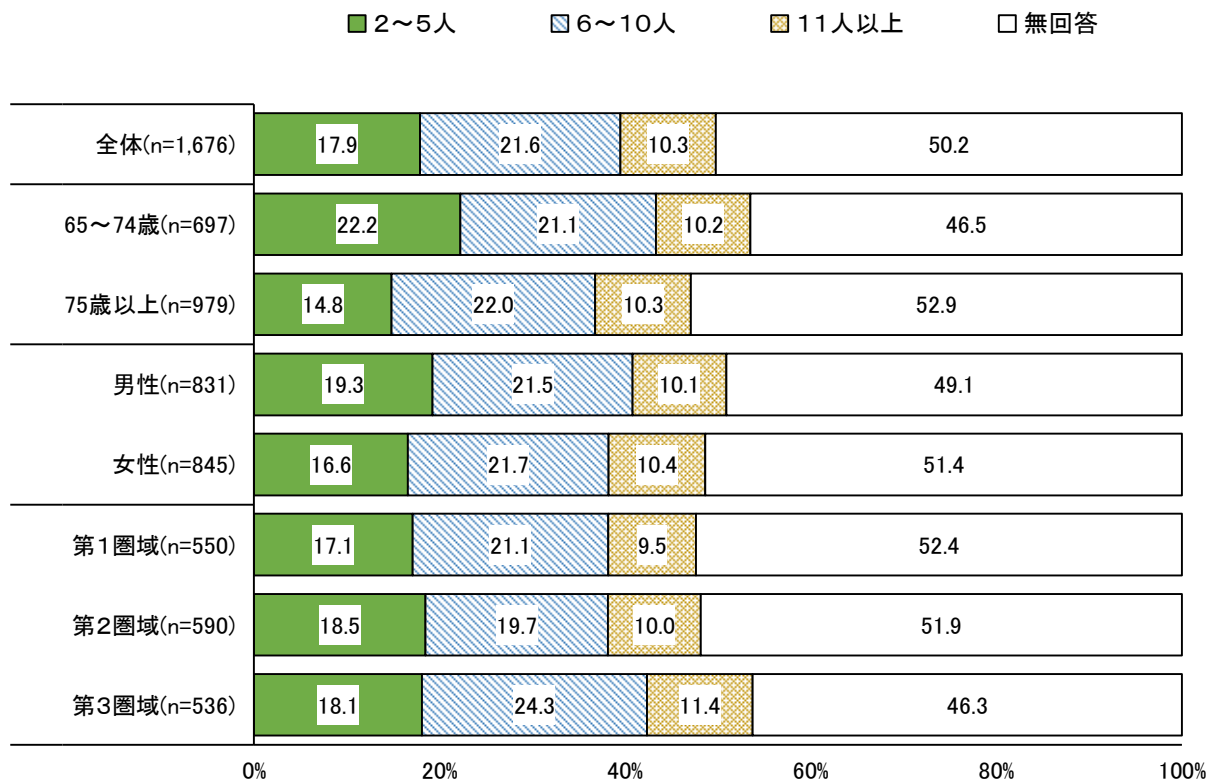
参加者としての地域づくりへの参加と比較すると、参加意向のある人が少なくなっています。



(6) 世話役として活動するときの活動人数

何人ぐらいでグループ活動を行いたいですか。(いずれか1つ)

世話役として活動するときの活動人数について、全体では「6～10人」が21.6%で最も多く、以下「2～5人」が17.9%、「11人以上」が10.3%となっています。



7 たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

心配事や愚痴を聞いてくれる人について、全体では「配偶者」が52.5%で最も多く、以下「友人」が40.6%、「別居の子ども」が38.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が30.3%、「同居の子ども」が20.9%などとなっています。

75歳以上では「配偶者」が65～74歳より15.2ポイント少なくなっています。

また、女性では「友人」が53.4%で最も多く、次いで「別居の子ども」が45.7%となっており、「配偶者」は男性より24.8ポイント少なくなっています。

単位：%

	配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体(n=1,676)	52.5	40.6	38.1	30.3	20.9	10.1	1.8	4.9	2.4
65～74歳(n=697)	61.4	46.6	36.0	32.7	19.1	10.9	1.9	4.6	1.4
75歳以上(n=979)	46.2	36.3	39.5	28.5	22.3	9.6	1.8	5.1	3.1
男性(n=831)	65.0	27.6	30.3	23.3	15.4	6.1	2.2	6.7	2.5
女性(n=845)	40.2	53.4	45.7	37.0	26.4	14.1	1.5	3.1	2.2
第1圏域(n=550)	50.0	39.1	35.3	30.7	20.2	9.8	1.6	5.5	3.6
第2圏域(n=590)	52.4	38.5	39.5	28.5	20.8	11.0	1.5	5.1	1.9
第3圏域(n=536)	55.2	44.4	39.4	31.7	21.8	9.5	2.4	4.1	1.7

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(いくつでも)

心配事や愚痴を聞いてあげる人について、全体では「配偶者」が49.5%で最も多く、以下「友人」が40.5%、「別居の子ども」が35.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が32.3%、「同居の子ども」が18.7%などとなっています。

女性では「友人」が52.1%で最も多く、次いで「別居の子ども」が40.2%となっており、「配偶者」は男性より26.4ポイント少なくなっています。

単位: %

	配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体(n=1,676)	49.5	40.5	35.5	32.3	18.7	13.8	1.6	6.3	4.6
65～74歳(n=697)	57.1	46.6	36.3	36.7	18.9	13.1	1.6	4.7	2.4
75歳以上(n=979)	44.1	36.1	34.9	29.1	18.5	14.4	1.6	7.5	6.1
男性(n=831)	62.8	28.6	30.7	26.0	15.6	8.2	2.0	7.5	4.2
女性(n=845)	36.4	52.1	40.2	38.5	21.7	19.4	1.2	5.2	5.0
第1圏域(n=550)	47.6	38.9	32.4	32.7	18.9	12.2	1.8	6.0	5.8
第2圏域(n=590)	49.3	39.0	34.6	29.2	16.6	16.1	1.0	7.5	3.9
第3圏域(n=536)	51.7	43.7	39.7	35.3	20.7	13.1	2.1	5.4	4.1

(3) 看病や世話をしてくれる人

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

看病や世話をしてくれる人について、全体では「配偶者」が57.6%で最も多く、以下「別居の子ども」が34.2%、「同居の子ども」が27.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が12.6%、「友人」が4.8%などとなっています。

75歳以上では「配偶者」が65～74歳より20.3ポイント少なくなっています。

また、女性では「配偶者」が男性より25.6ポイント少なくなっています。

単位：%

	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体(n=1,676)	57.6	34.2	27.0	12.6	4.8	1.7	1.4	5.7	3.0
65～74歳(n=697)	69.4	30.1	24.0	14.3	4.6	1.1	1.0	4.9	2.0
75歳以上(n=979)	49.1	37.1	29.2	11.4	5.0	2.1	1.6	6.2	3.8
男性(n=831)	70.5	27.0	18.8	11.8	2.6	0.5	1.0	6.6	3.0
女性(n=845)	44.9	41.3	35.1	13.5	7.0	3.0	1.8	4.7	3.1
第1圏域(n=550)	56.0	33.3	27.1	13.1	5.5	1.3	1.5	5.6	4.0
第2圏域(n=590)	58.3	36.9	25.9	11.7	3.9	2.4	1.5	6.1	2.4
第3圏域(n=536)	58.4	32.1	28.2	13.2	5.2	1.5	1.1	5.2	2.8

(4) 看病や世話をしあける人

反対に、看病や世話をしあける人（いくつでも）

看病や世話をしあける人について、全体では「配偶者」が58.9%で最も多く、以下「別居の子ども」が25.4%、「同居の子ども」が22.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が18.2%、「友人」が7.6%となっています。

75歳以上では「配偶者」が65～74歳より17.1ポイント少なくなっています。

また、女性では「配偶者」が男性より19.0ポイント少なくなっています。

単位：%

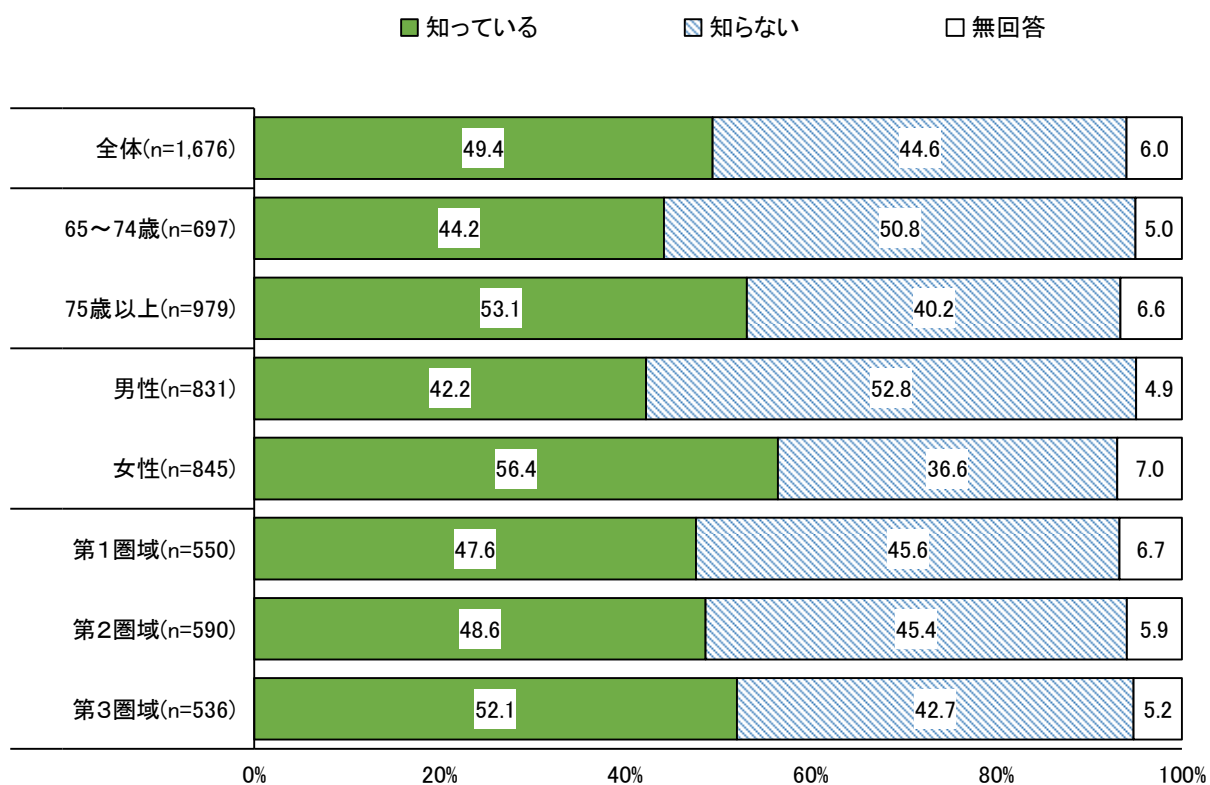
	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体(n=1,676)	58.9	25.4	22.4	18.2	7.6	2.3	1.6	11.0	7.1
65～74歳(n=697)	68.9	29.8	23.2	23.7	7.6	2.2	1.3	7.0	3.6
75歳以上(n=979)	51.8	22.3	21.9	14.3	7.7	2.5	1.7	13.9	9.6
男性(n=831)	68.5	20.0	17.6	15.3	4.0	0.6	1.3	11.4	5.3
女性(n=845)	49.5	30.8	27.2	21.1	11.2	4.0	1.8	10.7	8.9
第1圏域(n=550)	56.9	25.6	22.7	17.8	8.7	1.6	2.2	9.8	8.4
第2圏域(n=590)	59.7	25.1	20.8	18.3	5.4	2.5	1.2	12.4	6.9
第3圏域(n=536)	60.1	25.6	23.9	18.5	9.0	2.8	1.3	10.8	6.0

(5) 地域包括支援センターの認知状況

地域包括支援センターを知っていますか。

地域包括支援センターの認知状況について、全体では「知っている」が49.4%、「知らない」が44.6%となっています。

75歳以上と女性、第3圏域では「知っている」が過半数を占めています。

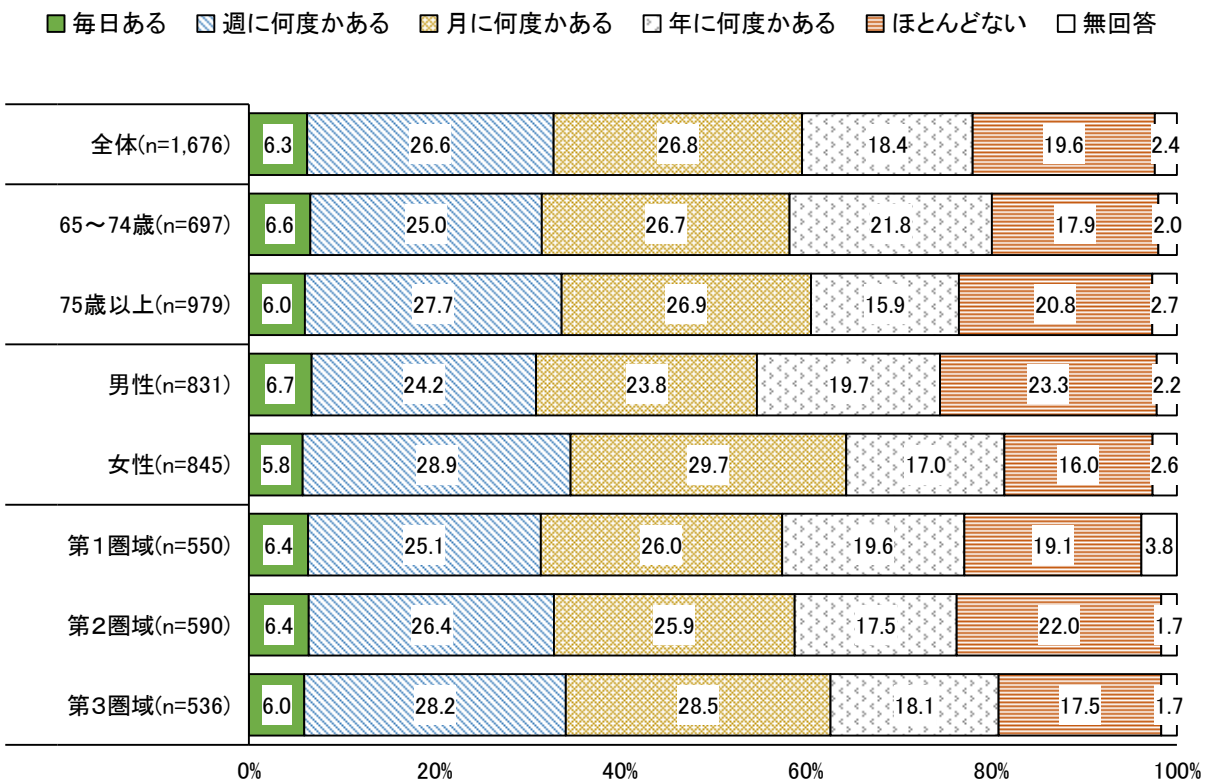


(6) 友人・知人と会う頻度

友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(いずれか1つ)

友人・知人と会う頻度について、全体では「月に何度かある」が26.8%で最も多く、以下「週に何度かある」が26.6%、「ほとんどない」が19.6%、「年に何度かある」が18.4%、「毎日ある」が6.3%となっています。

男性では「ほとんどない」が23.3%で女性より7.3ポイント多くなっています。

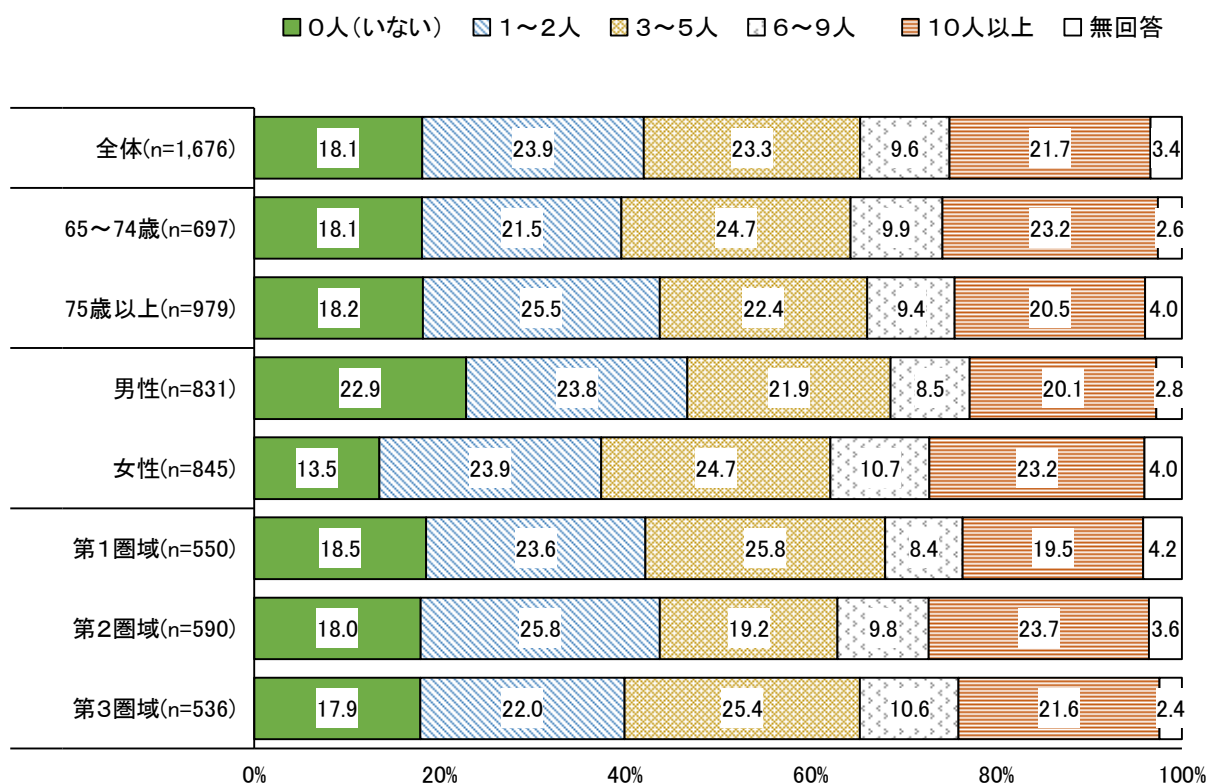


(7) 会った友人・知人の人数

この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(いずれか1つ)

会った友人・知人の人数について、全体では「1～2人」が23.9%で最も多く、以下「3～5人」が23.3%、「10人以上」が21.7%、「0人(いない)」が18.1%、「6～9人」が9.6%となっています。

男性では「0人(いない)」が22.9%で女性より9.4ポイント多くなっています。



(8) 友人・知人との関係

よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

友人・知人との関係について、全体では「近所・同じ地域の人」が48.9%で最も多く、以下「趣味や関心が同じ友人」が32.9%、「仕事での同僚・元同僚」が26.3%、「学生時代の友人」が11.9%などとなっています。

単位: %

	近所・同じ地域の人	趣味や関心が同じ友人	仕事での同僚・元同僚	学生時代の友人	ボランティア等の活動での友人	幼なじみ	その他	いない	無回答
全体(n=1,676)	48.9	32.9	26.3	11.9	6.0	5.8	6.3	10.2	5.1
65～74歳(n=697)	43.3	31.6	37.4	15.9	4.9	7.5	4.4	9.6	4.2
75歳以上(n=979)	52.9	33.8	18.4	9.1	6.7	4.6	7.6	10.6	5.8
男性(n=831)	41.9	29.4	30.4	12.5	7.0	5.8	4.8	12.0	4.8
女性(n=845)	55.9	36.3	22.2	11.4	5.0	5.8	7.7	8.4	5.4
第1圏域(n=550)	49.8	29.1	31.5	9.5	5.6	4.2	5.5	10.5	5.8
第2圏域(n=590)	49.0	33.9	22.9	11.9	5.1	6.8	6.4	10.3	5.6
第3圏域(n=536)	47.9	35.6	24.8	14.6	7.3	6.3	6.9	9.7	3.9

8 健康について

(1) 健康状態

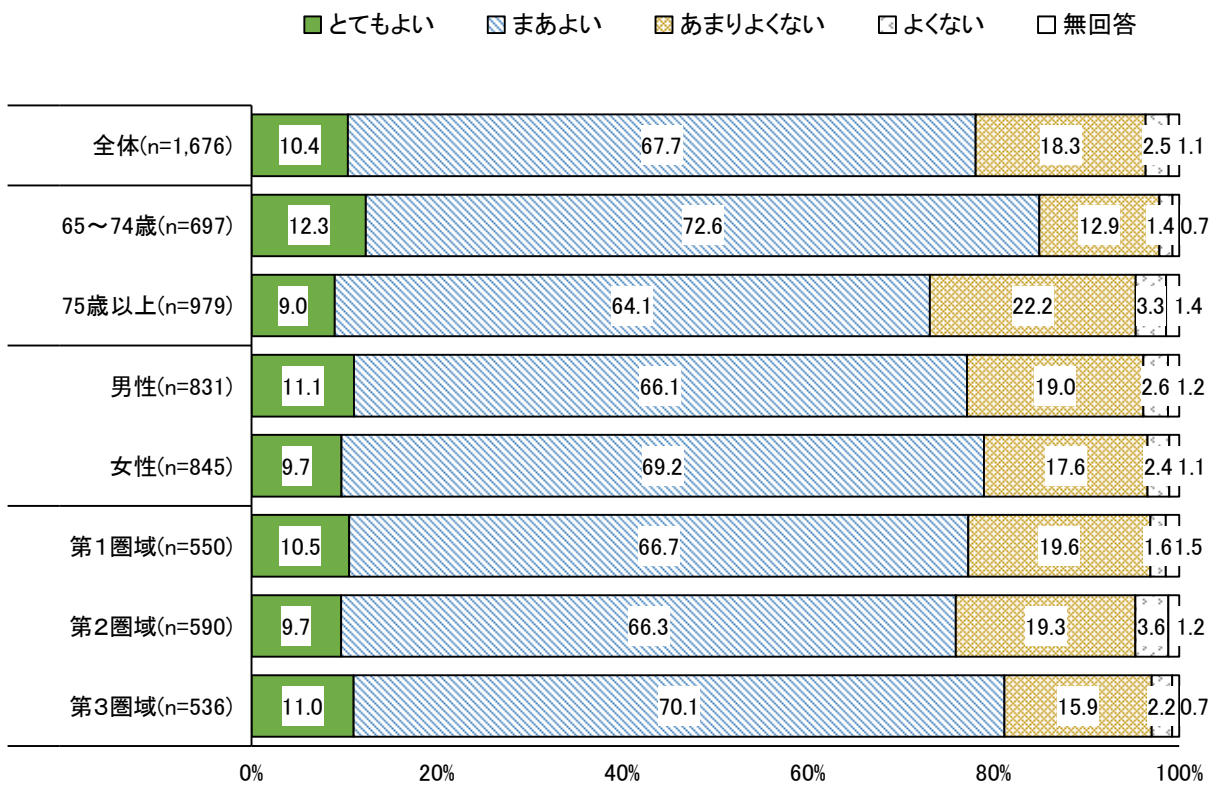
現在のあなたの健康状態はいかがですか。(いずれか1つ)

健康状態について、全体では「まあよい」が67.7%で最も多く、以下「あまりよくない」が18.3%、「とてもよい」が10.4%、「よくない」が2.5%となっています。

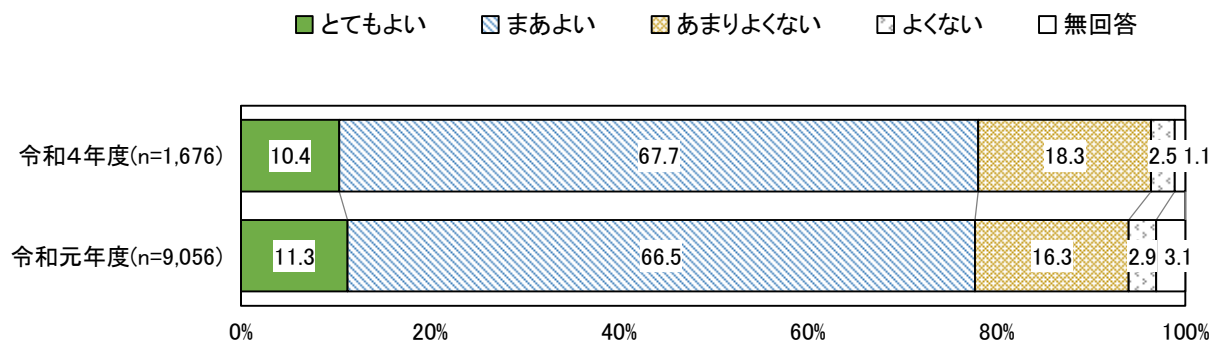
『よい』（「とてもよい」＋「まあよい」）は78.1%、『よくない』（「よくない」＋「あまりよくない」）は20.8%となっています。

『よい』は65～74歳では84.9%を占めているのに対し、75歳以上では73.1%で11.8ポイントの差がみられます。

なお、前回の調査からの大きな変動はありません。



○経年比較



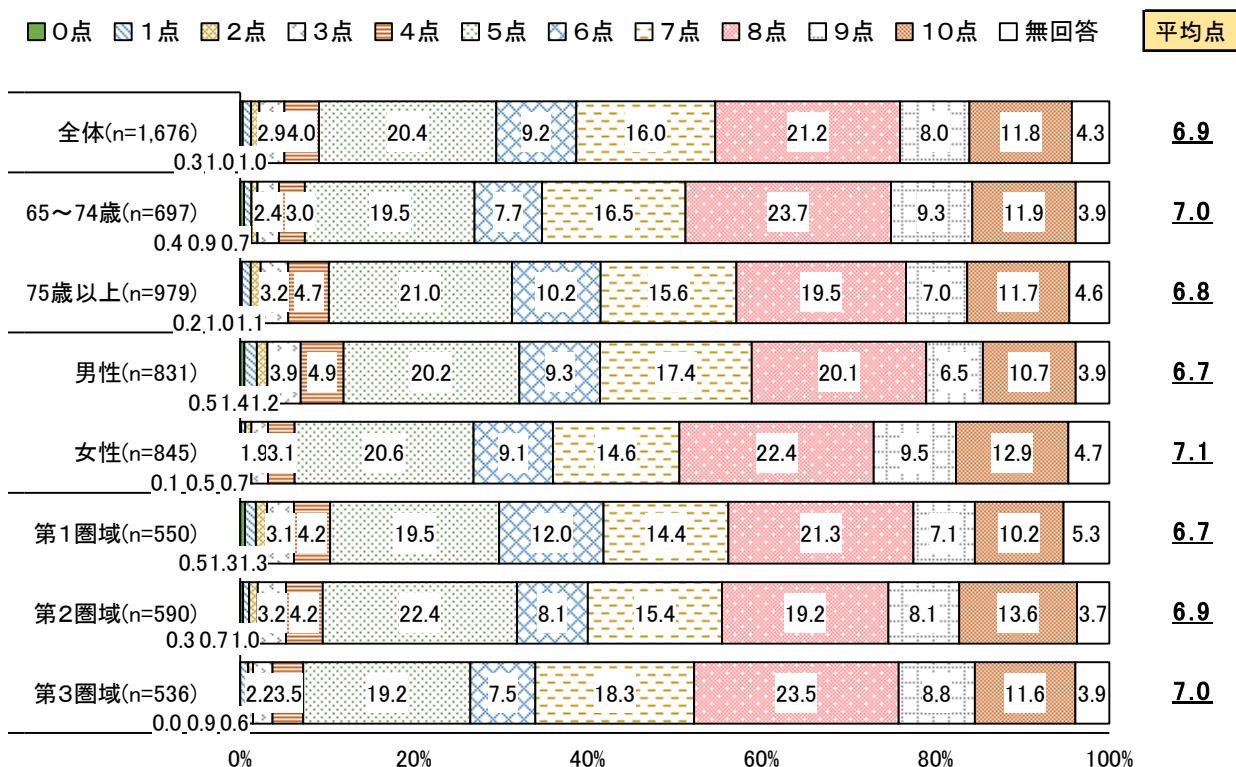
(2) 幸福度

あなたは、現在どの程度幸せですか。(あてはまる点数に○)

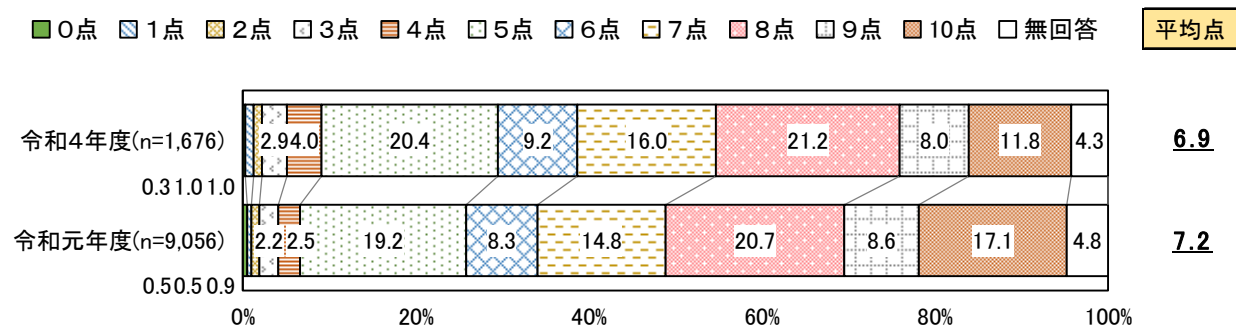
幸福度について、全体では「8点」が21.2%で最も多く、以下「5点」が20.4%、「7点」が16.0%、「10点」が11.8%、「6点」が9.2%、「9点」が8.0%などとなっています。

経年比較をみると、「10点」が前回の調査から5.3ポイント減少しています。

平均点は、全体では6.9点となっており、前回の7.2点から減少しています。また、65～74歳と女性、第3圏域では、平均点が7点台となっています。



○経年比較

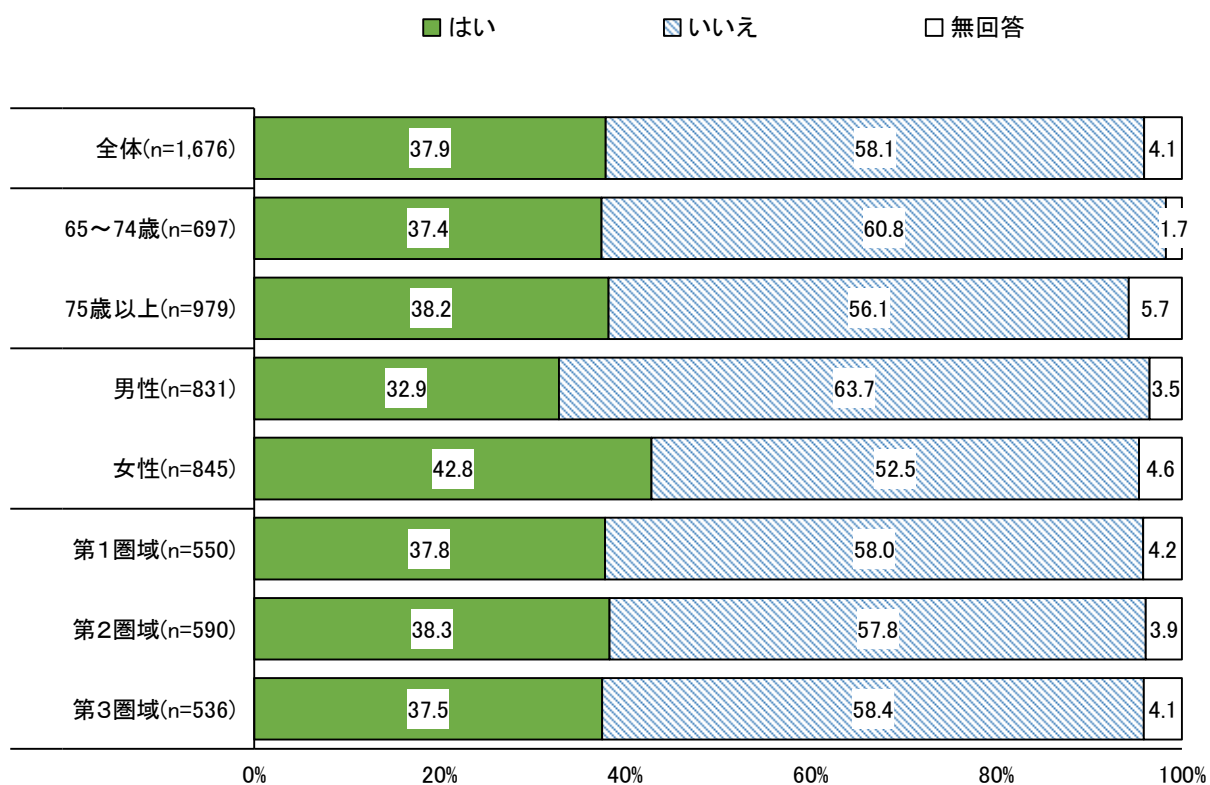


(3) 最近1か月間の気分の状態

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

最近1か月間の気分の状態について、うつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合は、全体で37.9%となっています。

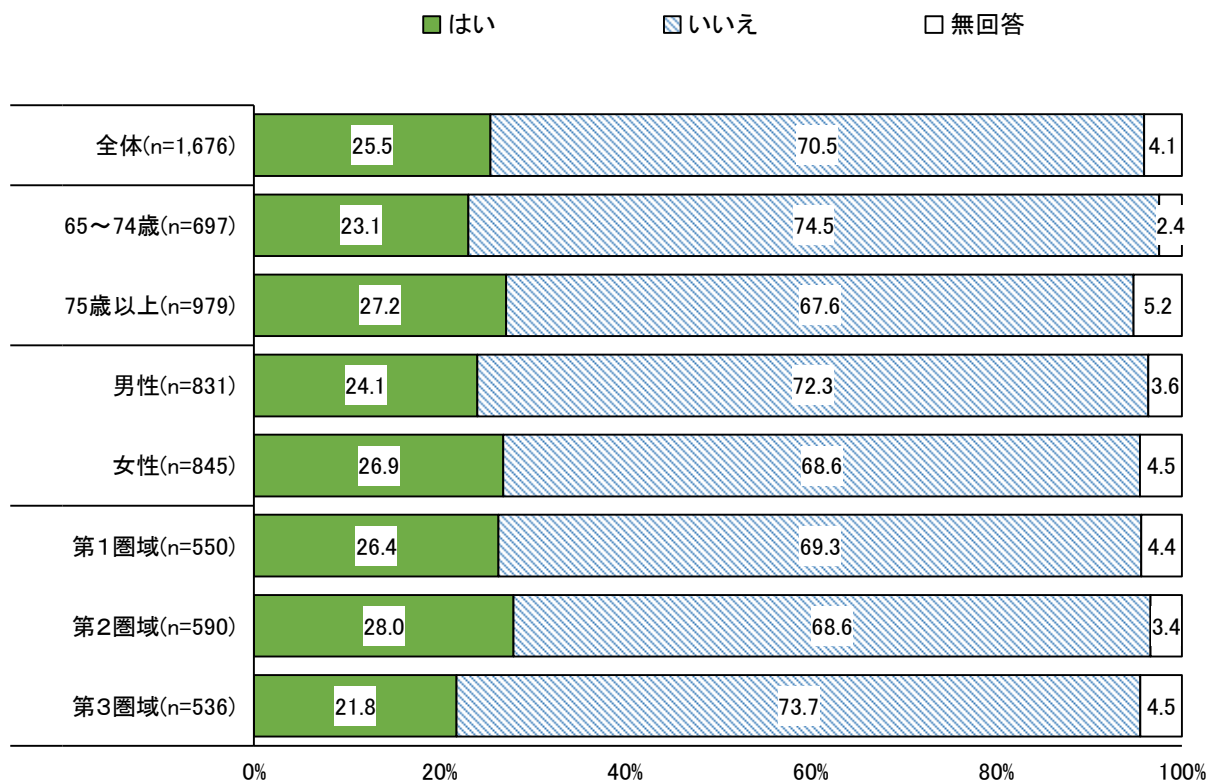
女性では「はい」が42.8%で男性より9.9ポイント多くなっています。



(4) 最近1か月間の物事に対する心の状態

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

最近1か月間の物事に対する心の状態について、うつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合は、全体では25.5%となっています。



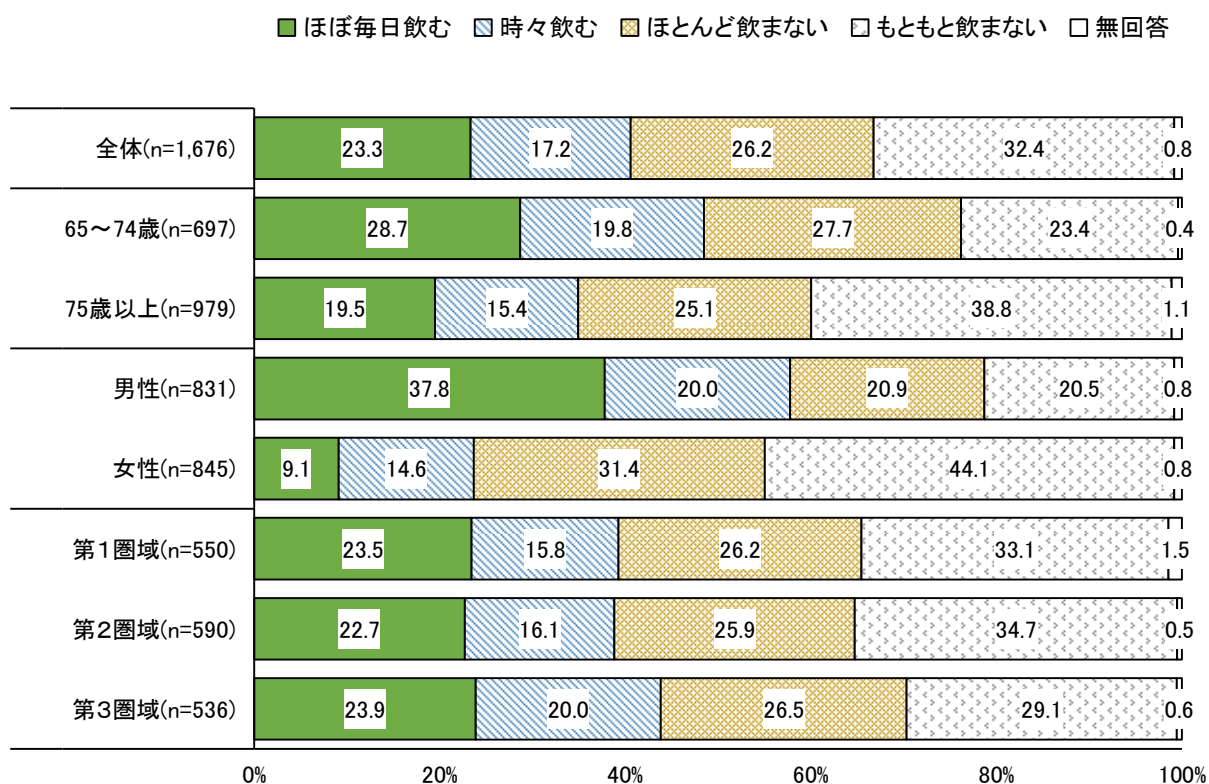
(5) 飲酒の状況

お酒は飲みますか。(いずれか1つ)

飲酒の状況について、全体では「もともと飲まない」が32.4%で最も多く、以下「ほとんど飲まない」が26.2%、「ほぼ毎日飲む」が23.3%、「時々飲む」が17.2%となっています。

65～74歳では「ほぼ毎日飲む」が28.7%で最も多いのに対し、75歳以上では「もともと飲まない」が38.8%で最も多くなっています。

また、男性では「ほぼ毎日飲む」が37.8%で最も多いのに対し、女性では「もともと飲まない」が44.1%で最も多くなっています。



(6) 喫煙の状況

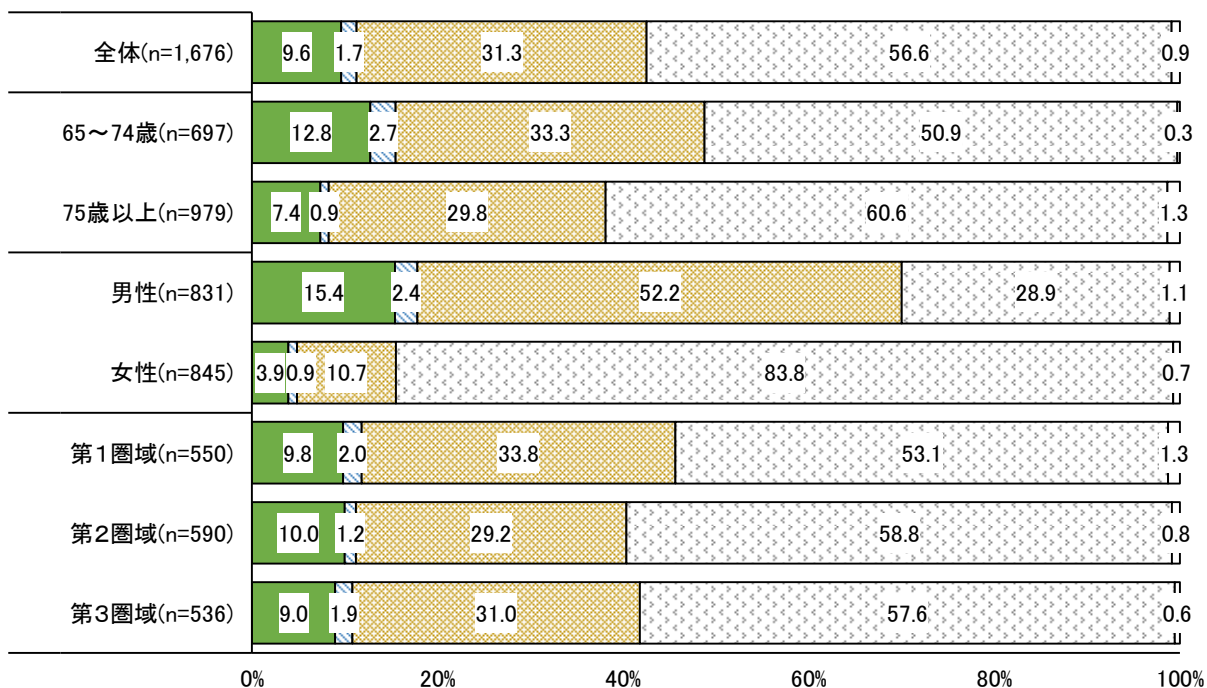
タバコは吸っていますか。(いずれか1つ)

喫煙の状況について、全体では「もともと吸っていない」が56.6%で最も多く、以下「吸っていたがやめた」が31.3%、「ほぼ毎日吸っている」が9.6%、「時々吸っている」が1.7%となっています。

65～74歳では「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせると15.5%で75歳以上より喫煙割合が高くなっています。

また、女性では「もともと吸っていない」が83.8%を占めているのに対し、男性では28.9%で、70.0%は喫煙経験があると回答しています。

■ ほぼ毎日吸っている ■ 時々吸っている ■ 吸っていたがやめた □ もともと吸っていない □ 無回答



(7) 治療中または後遺症のある病気

現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

治療中または後遺症のある病気について、全体では「高血圧」が48.4%で最も多く、以下「糖尿病」が17.6%、「高脂血症（脂質異常）」が16.1%、「目の病気」が15.2%、「ない」が11.1%、「心臓病」が11.1%となっています。

すべての区分で「高血圧」が最も多くなっています。

単位：%

	高血圧	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	目の病気	心臓病	筋骨格の 病気(骨 粗しょう 症、関節 症等)	腎臓・前 立腺の病 気	耳の病気	胃腸・肝 臓・胆の うの病気	呼吸器の 病気(肺 炎や気管 支炎等)
全体(n=1,676)	48.4	17.6	16.1	15.2	11.1	10.9	8.5	6.2	5.1	5.1
65～74歳(n=697)	42.8	16.6	18.9	13.3	6.9	9.3	6.0	2.6	5.3	3.7
75歳以上(n=979)	52.5	18.3	14.0	16.5	14.1	12.1	10.2	8.8	5.0	6.0
男性(n=831)	49.6	22.0	12.8	13.6	14.9	3.1	15.4	6.3	6.0	5.1
女性(n=845)	47.3	13.3	19.3	16.8	7.3	18.6	1.7	6.2	4.3	5.1
第1圏域(n=550)	50.5	17.3	17.3	14.5	10.2	9.6	7.5	5.1	5.3	5.8
第2圏域(n=590)	48.1	16.8	15.3	15.1	11.7	10.0	8.6	7.6	5.6	4.1
第3圏域(n=536)	46.6	18.8	15.7	16.0	11.4	13.2	9.3	5.8	4.5	5.4

	がん(悪 性新生 物)	脳卒中 (脳出血・ 脳梗塞 等)	外傷(転 倒・骨折 等)	血液・免 疫の病気	うつ病	認知症 (アルツ ハイマー 病等)	パーキン ソン病	その他	ない	無回答
全体(n=1,676)	4.5	4.0	2.9	1.9	0.9	0.9	0.7	11.0	11.1	4.6
65～74歳(n=697)	3.6	3.2	2.4	1.3	1.0	0.1	0.3	10.3	15.8	4.7
75歳以上(n=979)	5.2	4.6	3.3	2.3	0.8	1.4	1.0	11.4	7.8	4.5
男性(n=831)	6.6	5.2	1.6	1.8	0.6	1.3	1.0	9.7	11.1	4.5
女性(n=845)	2.5	2.8	4.3	2.0	1.2	0.5	0.5	12.2	11.1	4.7
第1圏域(n=550)	6.4	3.8	2.5	1.3	2.0	0.7	0.7	11.3	8.2	5.6
第2圏域(n=590)	4.1	4.7	3.9	2.5	0.5	1.4	0.7	10.3	11.4	5.1
第3圏域(n=536)	3.2	3.4	2.2	1.9	0.2	0.6	0.7	11.4	13.8	3.0

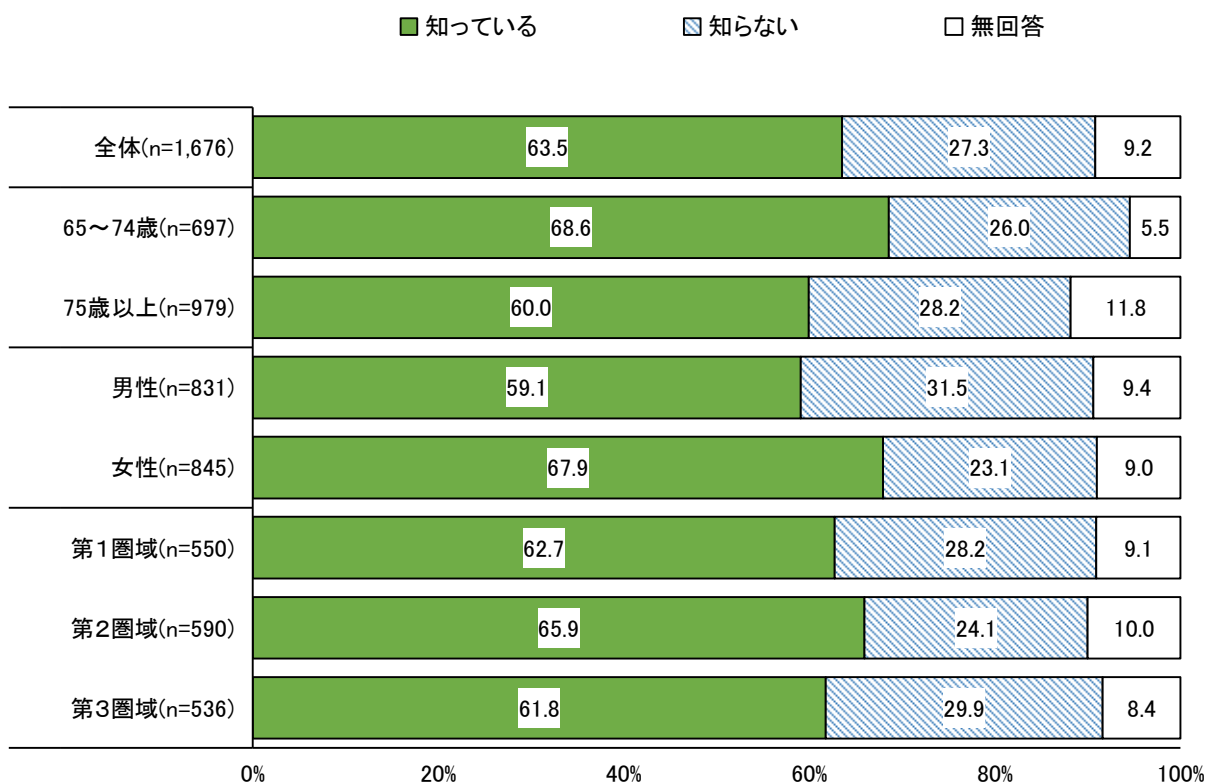
9 病院など医療機関のことについて

(1) 在宅医療の認知状況

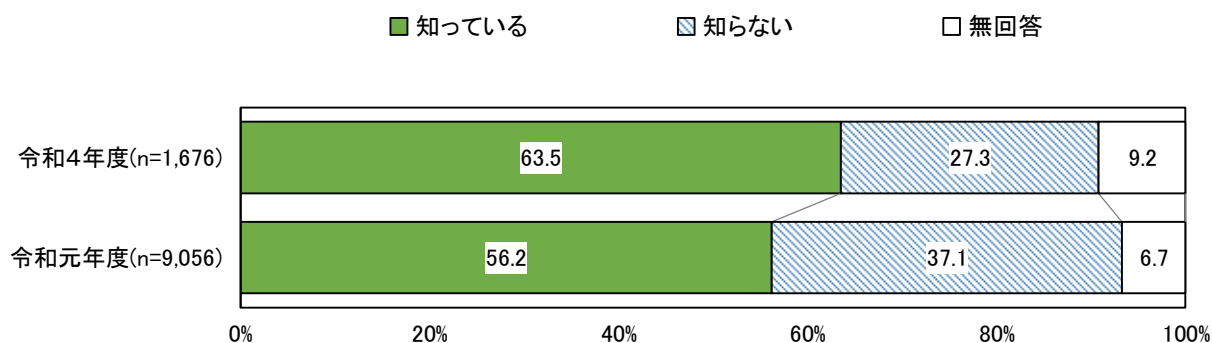
あなたは「在宅医療」を知っていますか。

在宅医療の認知状況について、全体では「知っている」が63.5%、「知らない」が27.3%となっています。

経年比較をみると、「知っている」が前回の調査から7.3ポイント増加しています。



○経年比較

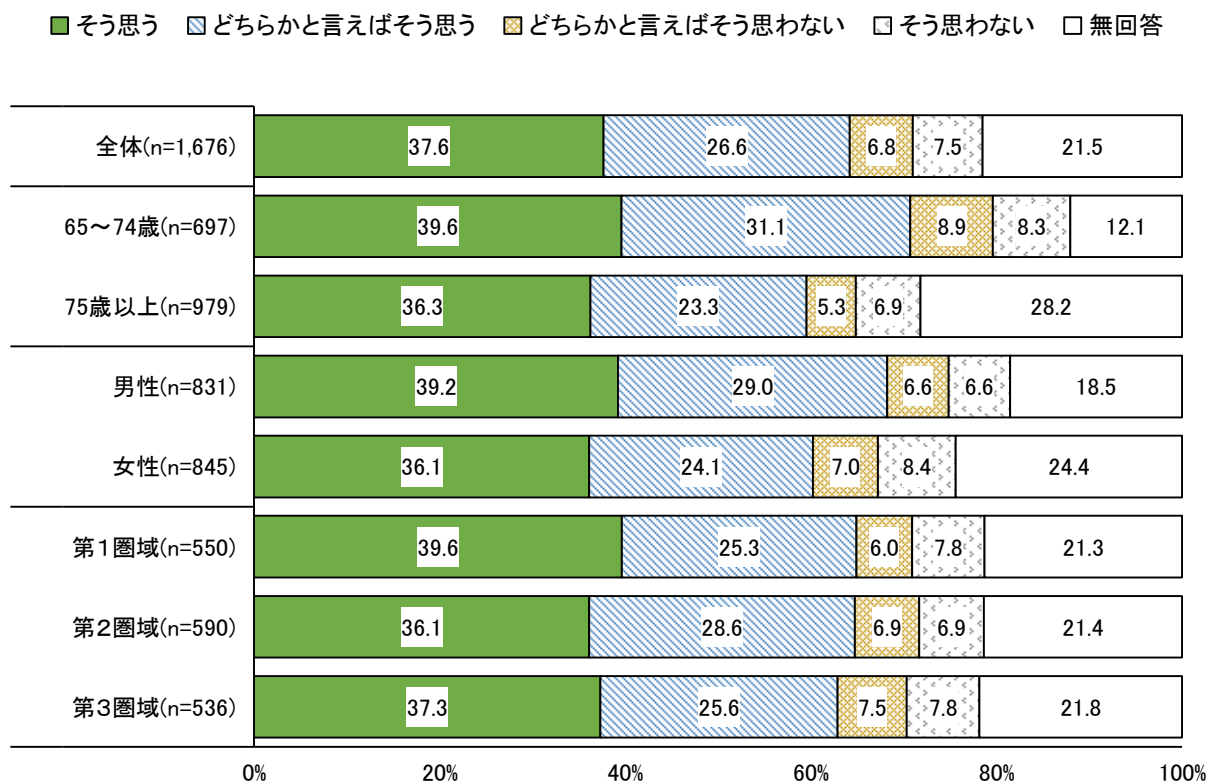


(2) 在宅医療に関するイメージ

在宅医療に関して、どのようなイメージをお持ちですか。

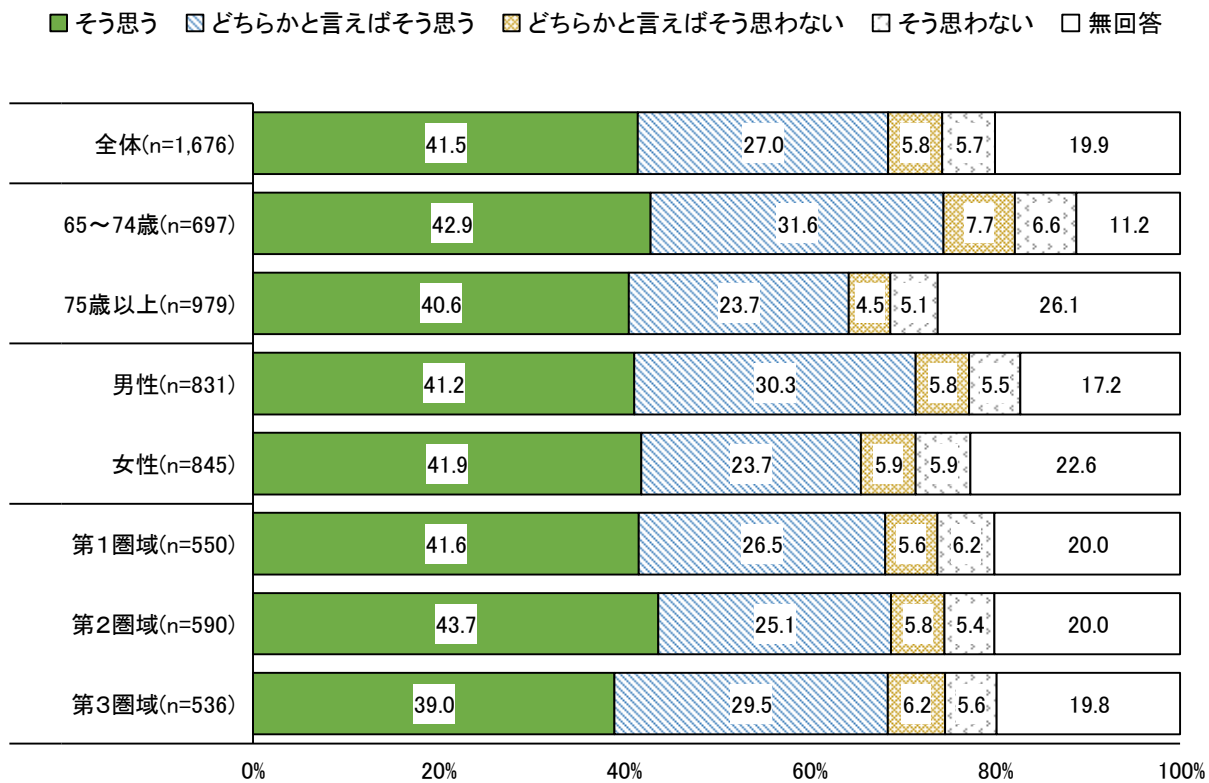
①在宅医療でどのような医療が受けられるか分からない

全体では「そう思う」が37.6%で最も多く、以下「どちらかと言えばそう思う」が26.6%、「そう思わない」が7.5%、「どちらかと言えばそう思わない」が6.8%となっています。



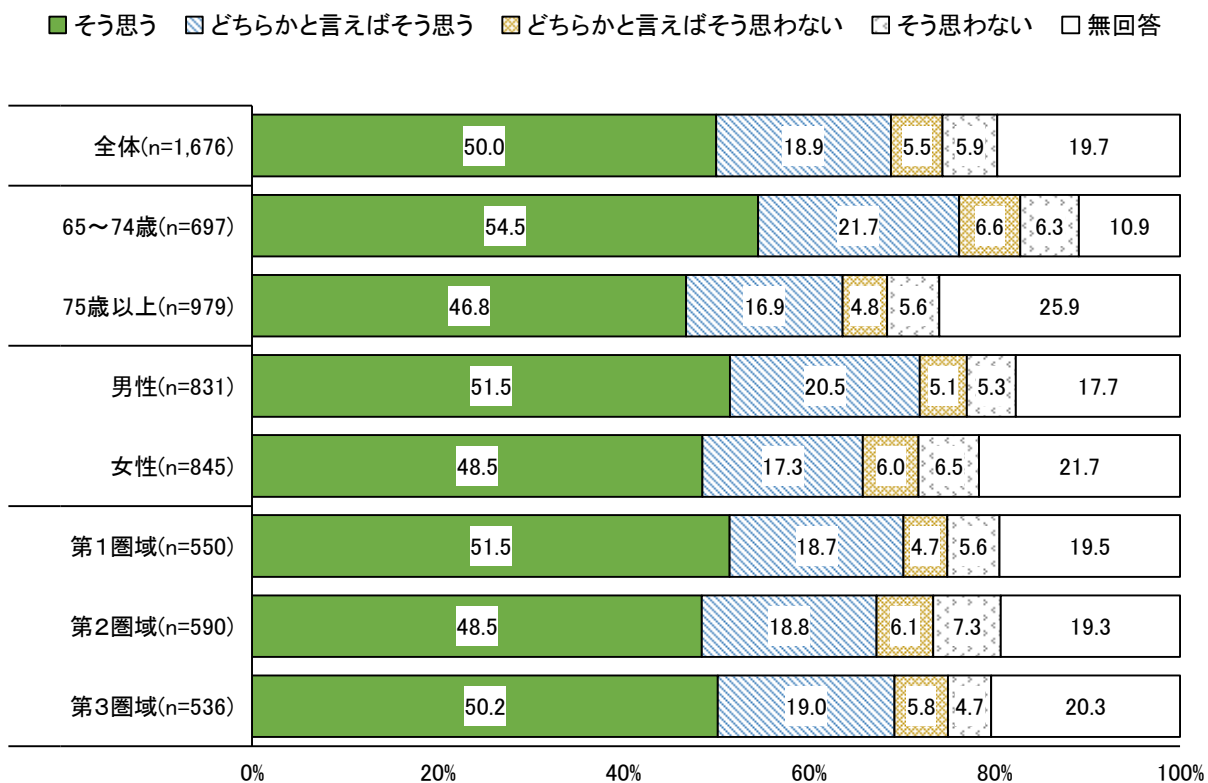
②急に症状が変わったときの対応に不安がある

全体では「そう思う」が41.5%で最も多く、以下「どちらかと言えばそう思う」が27.0%、「どちらかと言えばそう思わない」が5.8%、「そう思わない」が5.7%となっています。



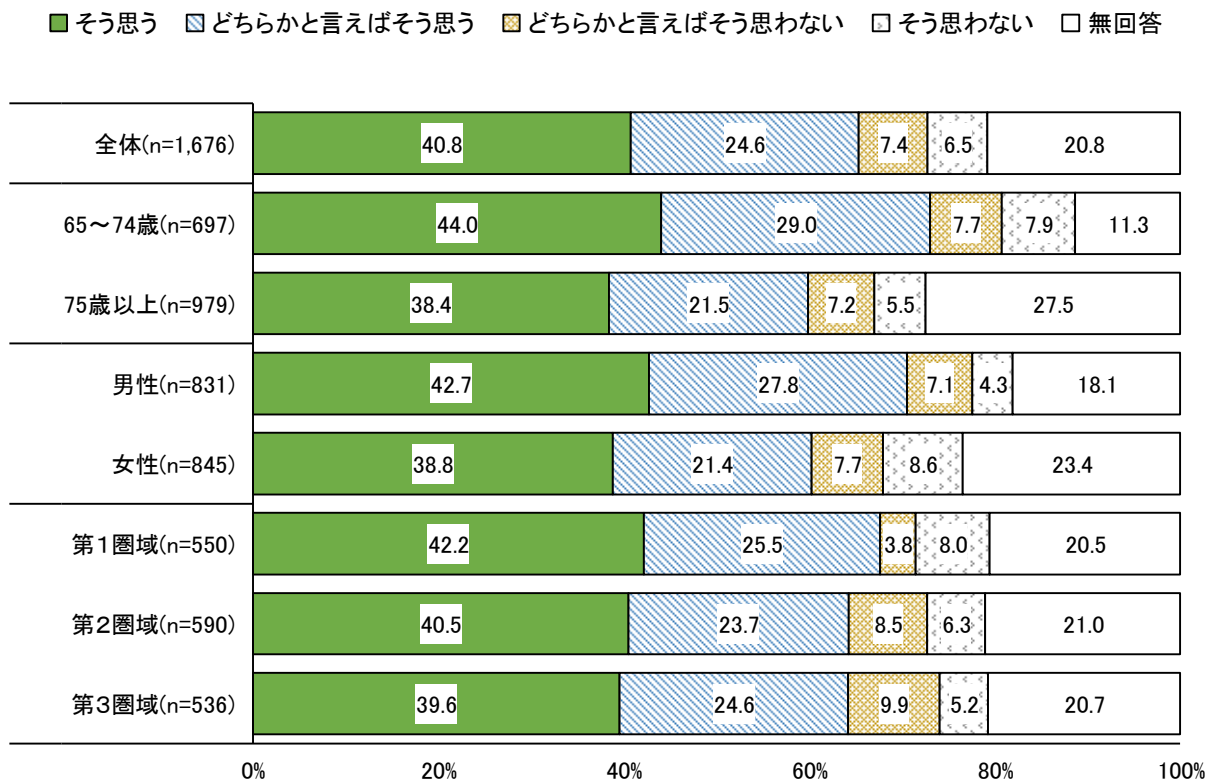
③訪問診療をしてくれる医師を見付けることが難しい

全体では「そう思う」が50.0%で最も多く、以下「どちらかと言えばそう思う」が18.9%、「そう思わない」が5.9%、「どちらかと言えばそう思わない」が5.5%となっています。



④訪問看護でどんなことができるのか分からない

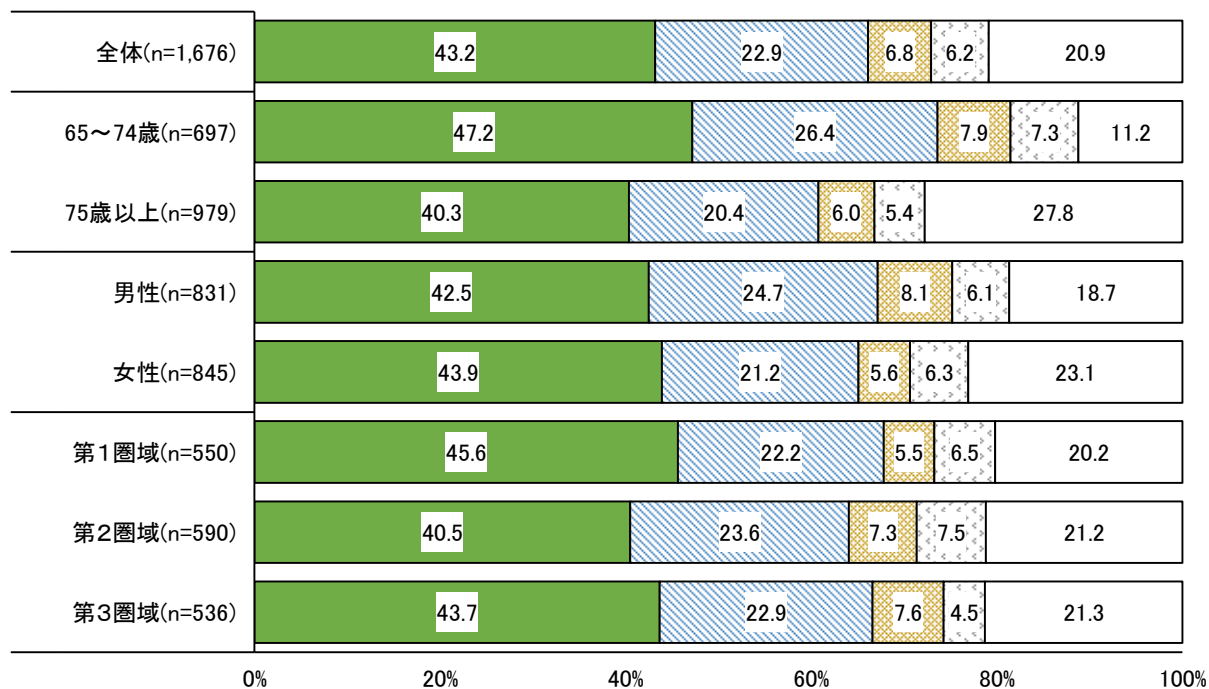
全体では「そう思う」が40.8%で最も多く、以下「どちらかと言えばそう思う」が24.6%、「どちらかと言えばそう思わない」が7.4%、「そう思わない」が6.5%となっています。



⑤家族に負担が掛かる

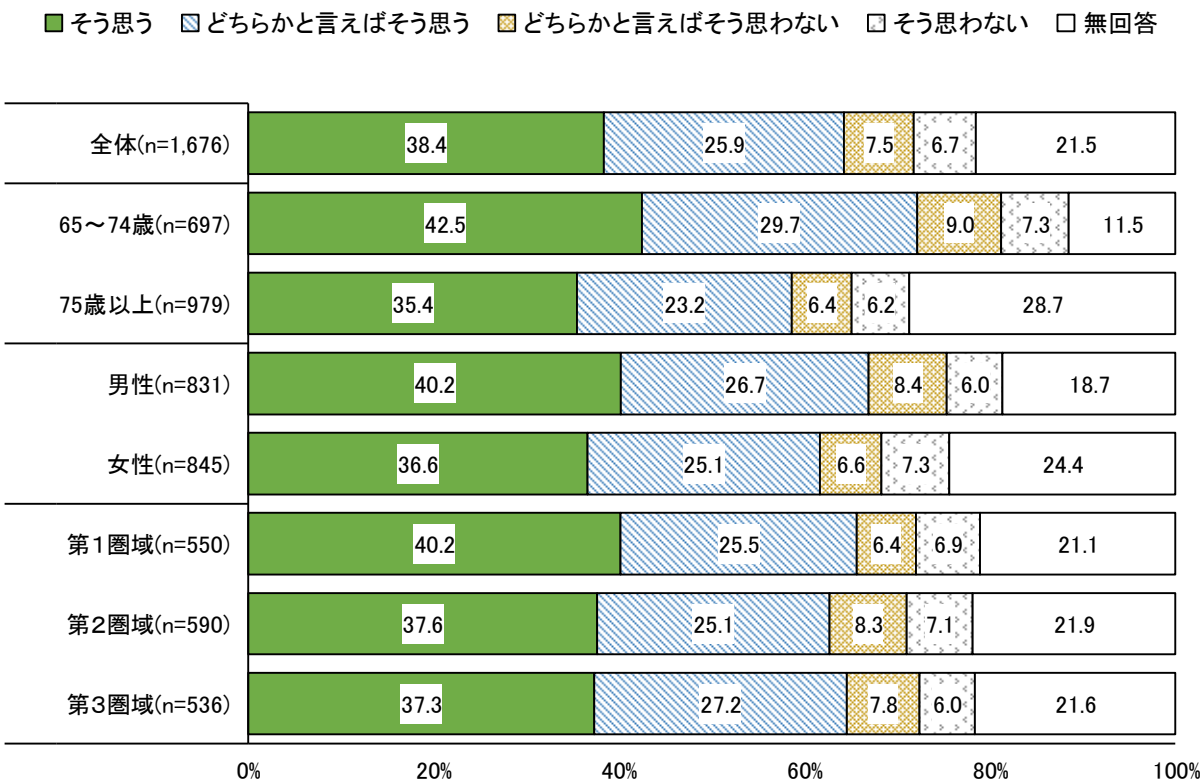
全体では「そう思う」が43.2%で最も多く、以下「どちらかと言えばそう思う」が22.9%、「どちらかと言えばそう思わない」が6.8%、「そう思わない」が6.2%となっています。

■ そう思う ■ どちらかと言えばそう思う ■ どちらかと言えばそう思わない □ そう思わない □ 無回答



⑥費用が高額になる

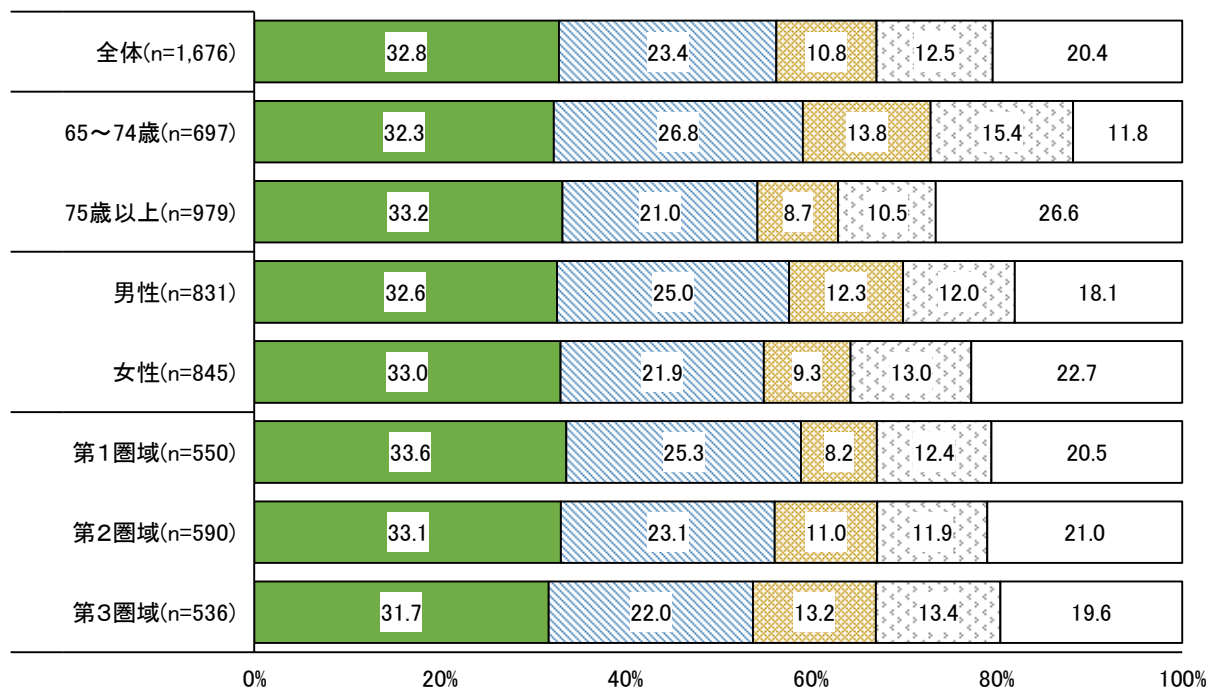
全体では「そう思う」が38.4%で最も多く、以下「どちらかと言えばそう思う」が25.9%、「どちらかと言えばそう思わない」が7.5%、「そう思わない」が6.7%となっています。



⑦在宅では満足はいく最後が迎えられるか不安である

全体では「そう思う」が32.8%で最も多く、以下「どちらかと言えばそう思う」が23.4%、「そう思わない」が12.5%、「どちらかと言えばそう思わない」が10.8%となっています。

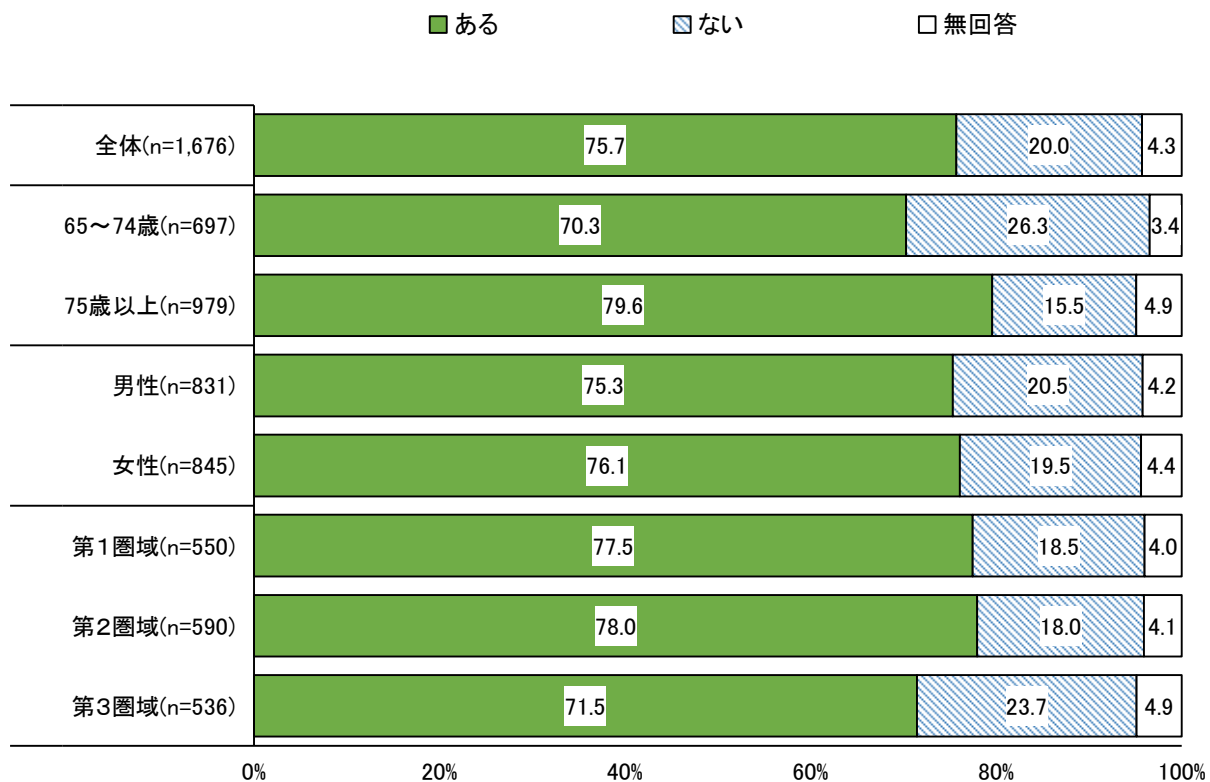
■ そう思う ▨ どちらかと言えばそう思う ▩ どちらかと言えばそう思わない □ そう思わない □ 無回答



(3) かかりつけ医の有無

ご自身やご家族の健康状態を知ってくれて、日頃から健康相談をしたり、病気の際に決まって受診する「かかりつけ医」がありますか。

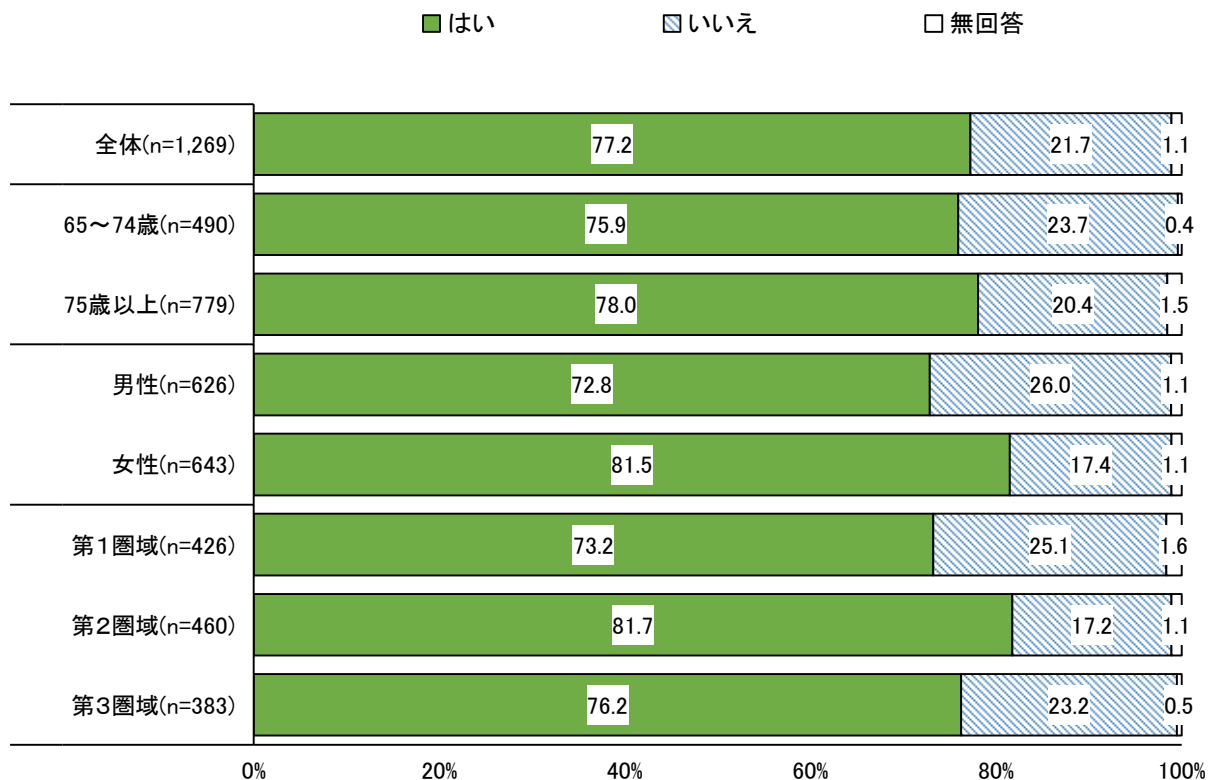
かかりつけ医の有無について、全体では「ある」が 75.7%、「ない」が 20.0%となっています。65～74歳と第3圏域で「ない」が比較的多くなっています。



(3) -① かかりつけ医は市内にある医療機関か

そのかかりつけ医は、市内にある医療機関ですか。

かかりつけ医は市内にある医療機関かについて、全体では「はい」が77.2%、「いいえ」が21.7%となっています。

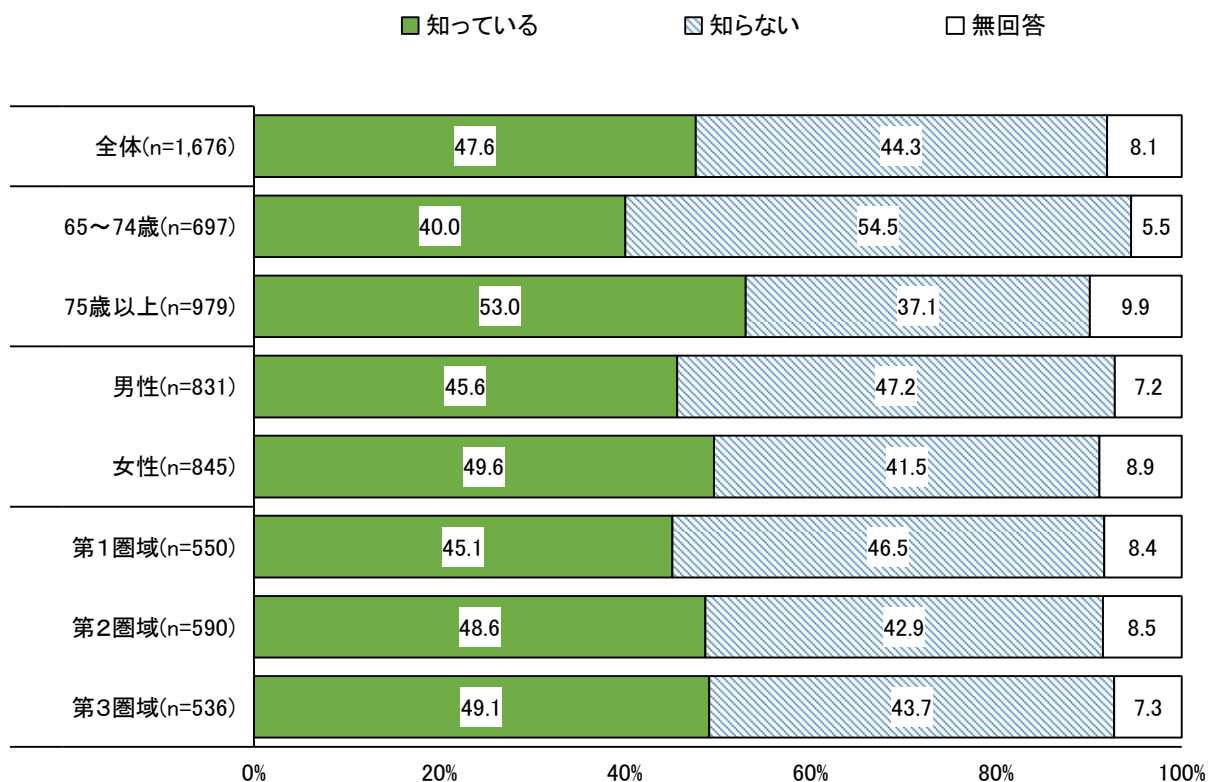


(4) かかりつけ薬局の認知状況

ご自身やご家族の健康状態を知ってくれて、日頃から健康相談をできる「かかりつけ薬局」を知っていますか。

かかりつけ薬局の認知状況について、全体では「知っている」が47.6%、「知らない」が44.3%となっています。

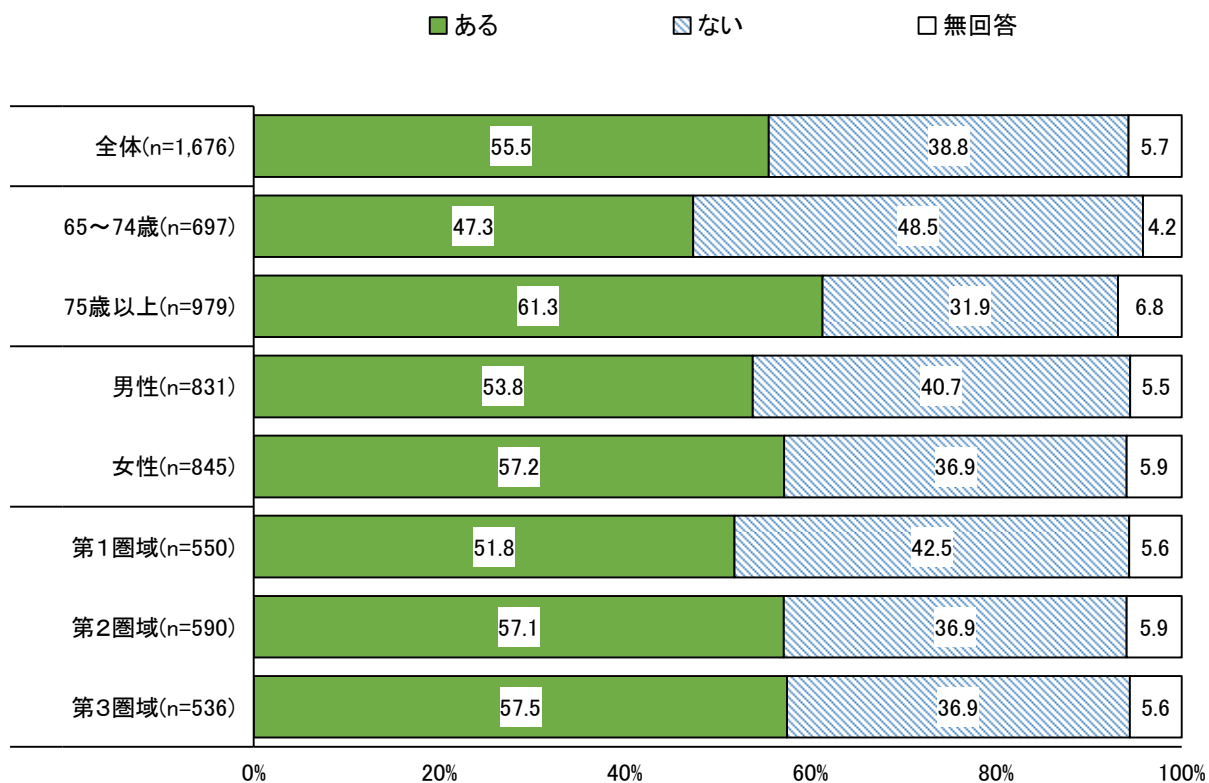
65～74歳では過半数が「知らない」と回答しています。



(5) かかりつけ薬局の有無

「かかりつけ薬局」がありますか。

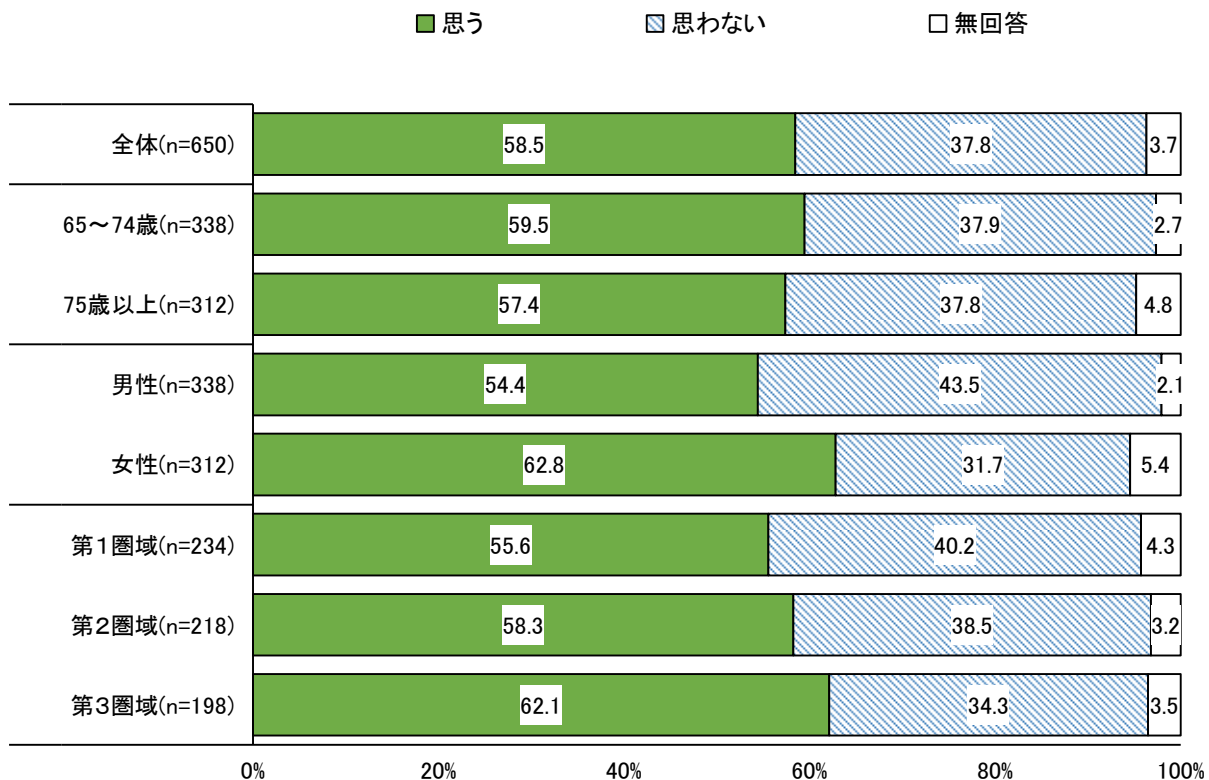
かかりつけ薬局の有無について、全体では「ある」が55.5%、「ない」が38.8%となっています。



(5) ① かかりつけ薬局を持ちたいと思うか

「かかりつけ薬局」を今後、持ちたいと思いますか。

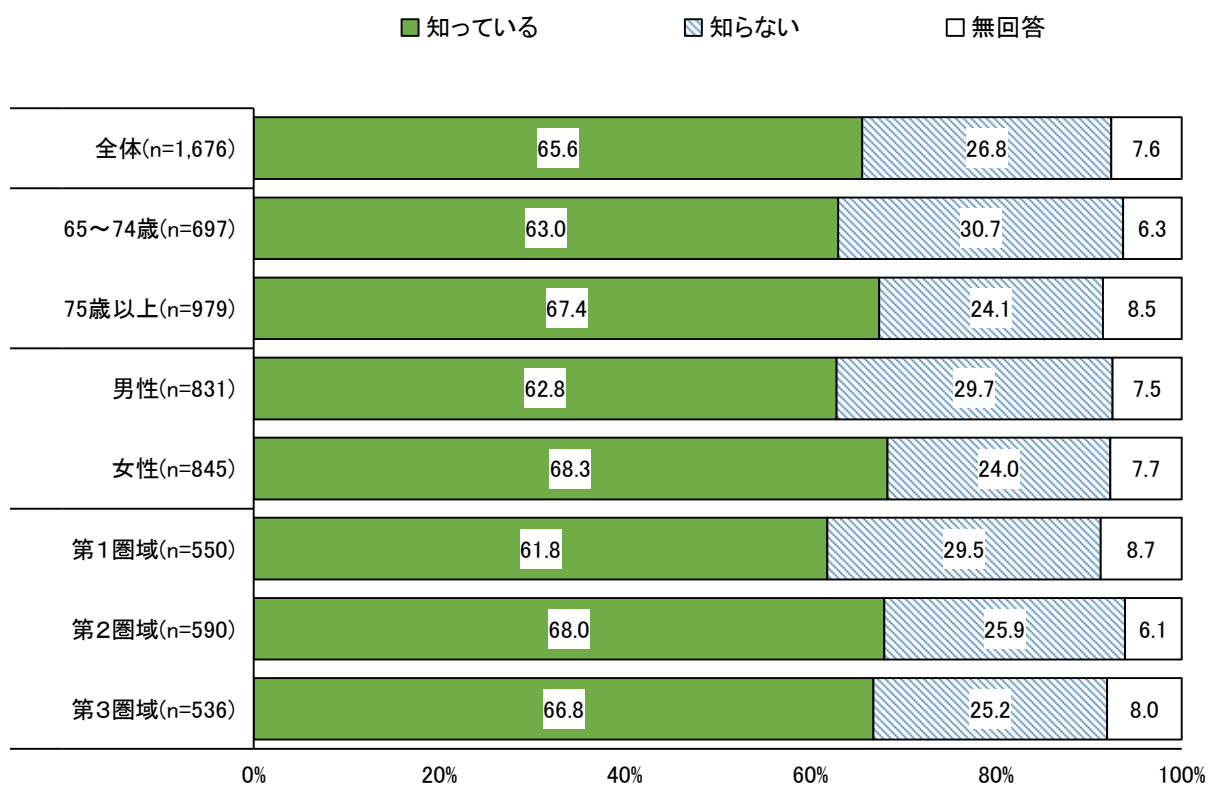
かかりつけ薬局を持ちたいと思うかについて、全体では「思う」が58.5%、「思わない」が37.8%となっています。



(6) かかりつけ歯科医の認知状況

ご自身やご家族の健康状態を知ってくれて、日頃から健康相談をしたり、治療が必要な際に決まって受診する「かかりつけ歯科医」を知っていますか。

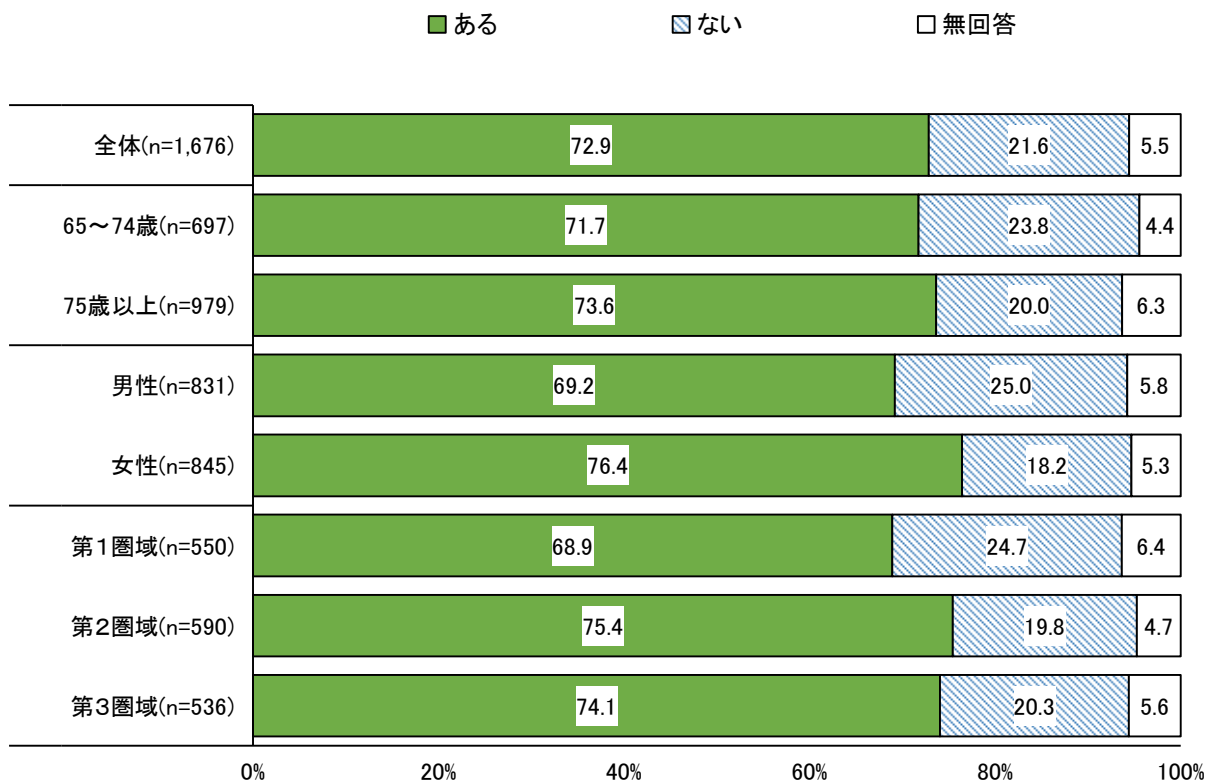
かかりつけ歯科医の認知状況について、全体では「知っている」が65.6%、「知らない」が26.8%となっています。



(7) かかりつけ歯科医の有無

「かかりつけ歯科医」がありますか。

かかりつけ歯科医の有無について、全体では「ある」が72.9%、「ない」が21.6%となっています。

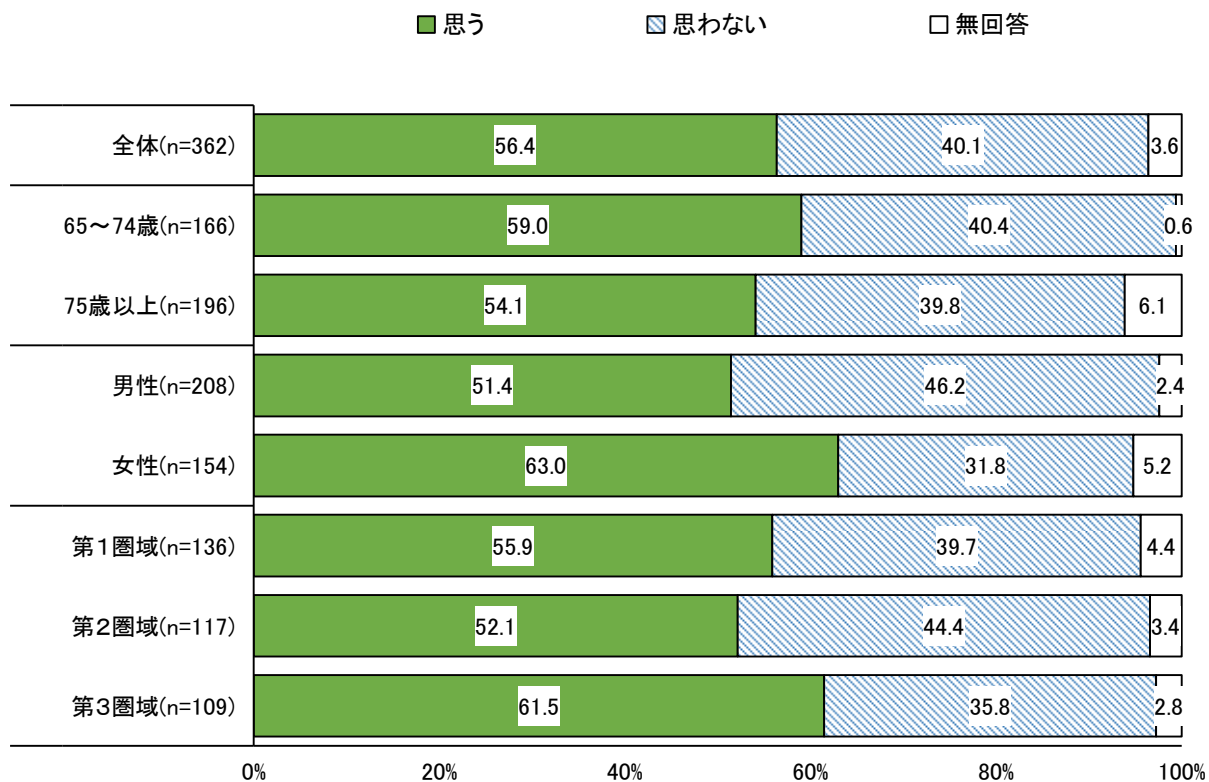


(7) ー① かかりつけ歯科医を持ちたいと思うか

「かかりつけ歯科医」を今後、持ちたいと思いますか。

かかりつけ歯科医を持ちたいと思うかについて、全体では「思う」が56.4%、「思わない」が40.1%となっています。

女性と第3圏域では「思う」が比較的多く、ともに60%を超えています。



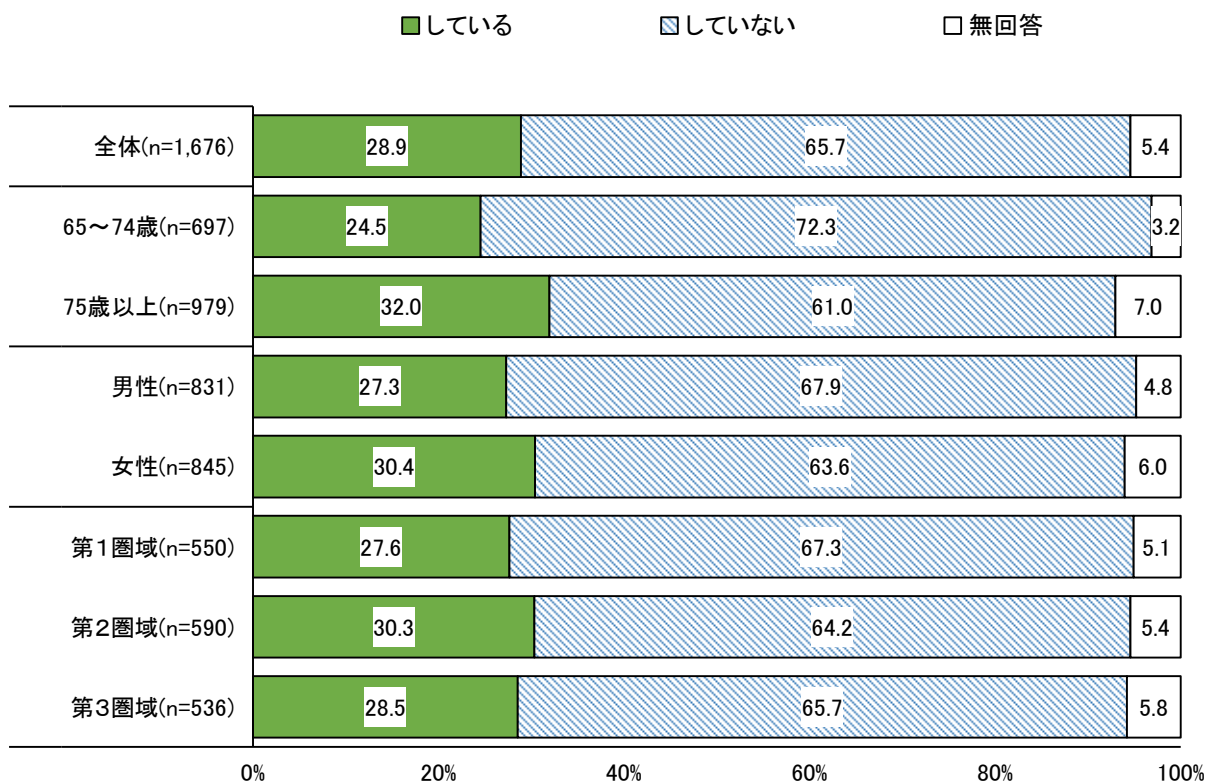
10 人生の終末期について

(1) 終末期についての家族との話し合い

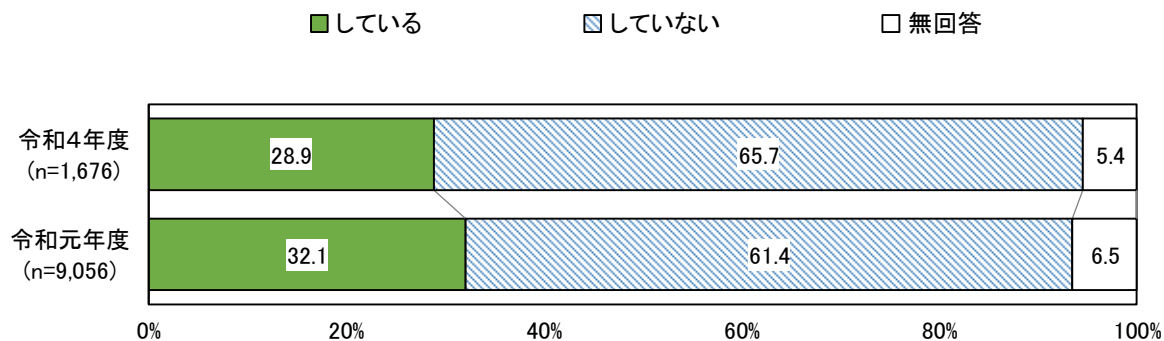
あなたは、終末期（治る見込みがなく余命がわずかであること）と告げられた場合、どのようにしたいか家族と事前に話し合いをしていますか。

終末期についての家族との話し合いについて、全体では「していない」が65.7%、「している」が28.9%となっています。

経年比較をみると、「していない」が4.3ポイント増加しています。



○経年比較

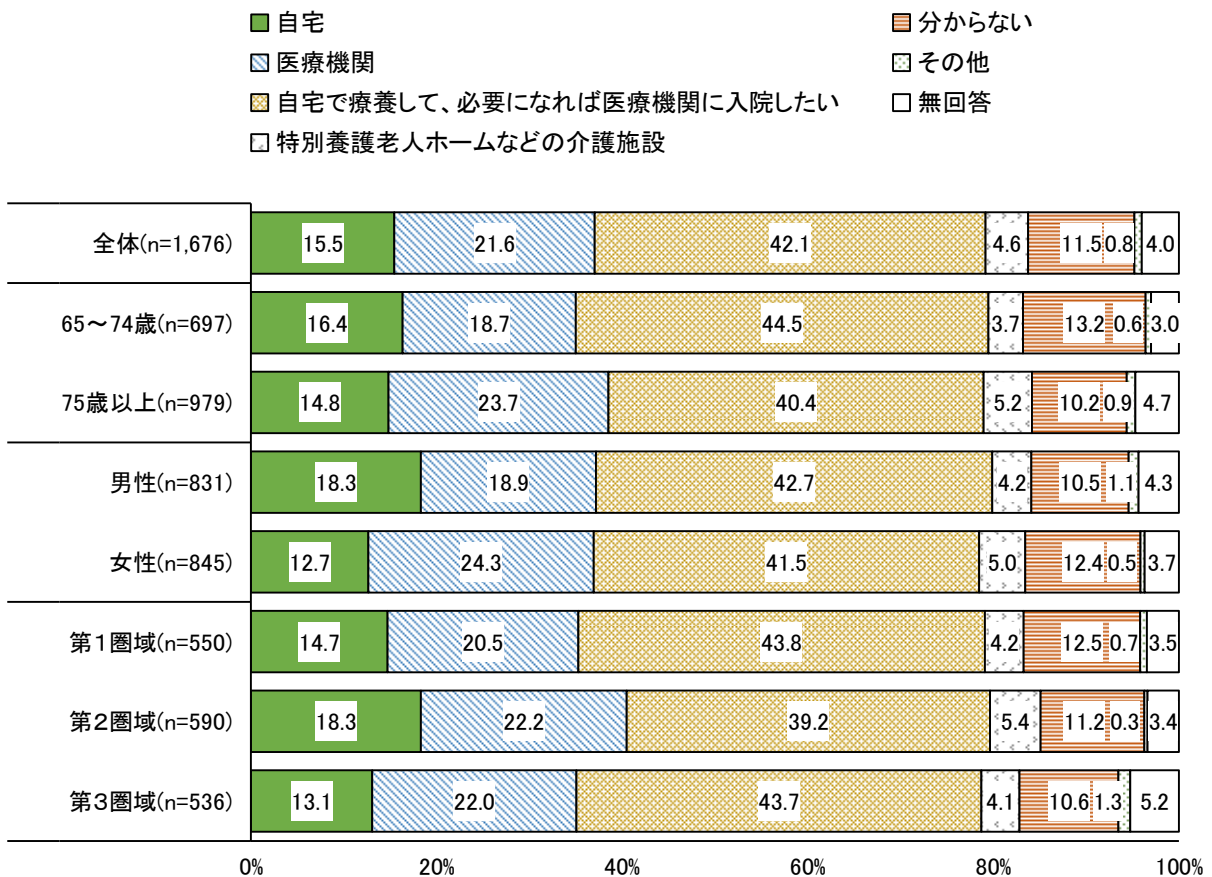


(2) 終末期の療養場所

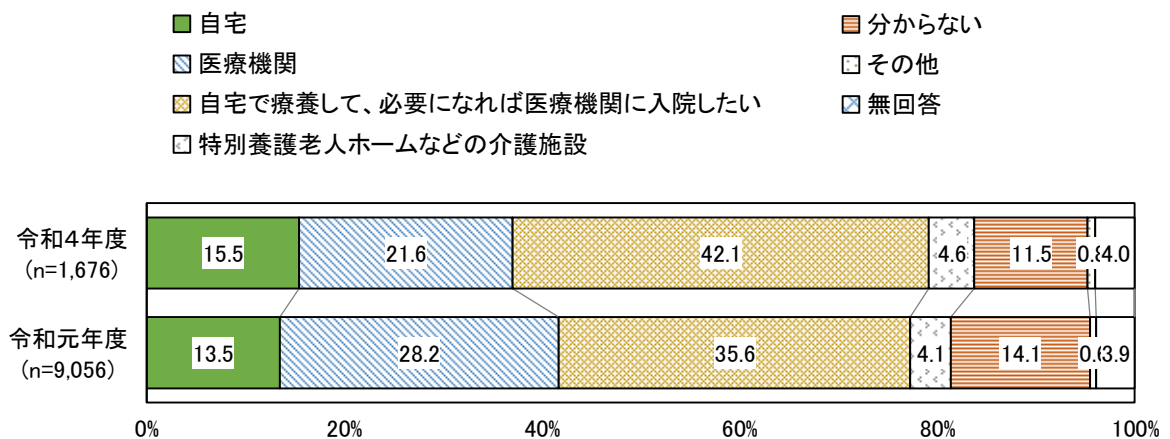
あなたは、終末期（治る見込みがなく余命がわずかであること）と告げられた場合、どこで療養したいと思いますか。（いずれか1つ）

終末期の療養場所について、全体では「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」が42.1%で最も多く、以下「医療機関」が21.6%、「自宅」が15.5%などとなっています。

経年比較をみると、「医療機関」が6.6ポイント減少し、「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」が6.5ポイント増加しています。



○経年比較

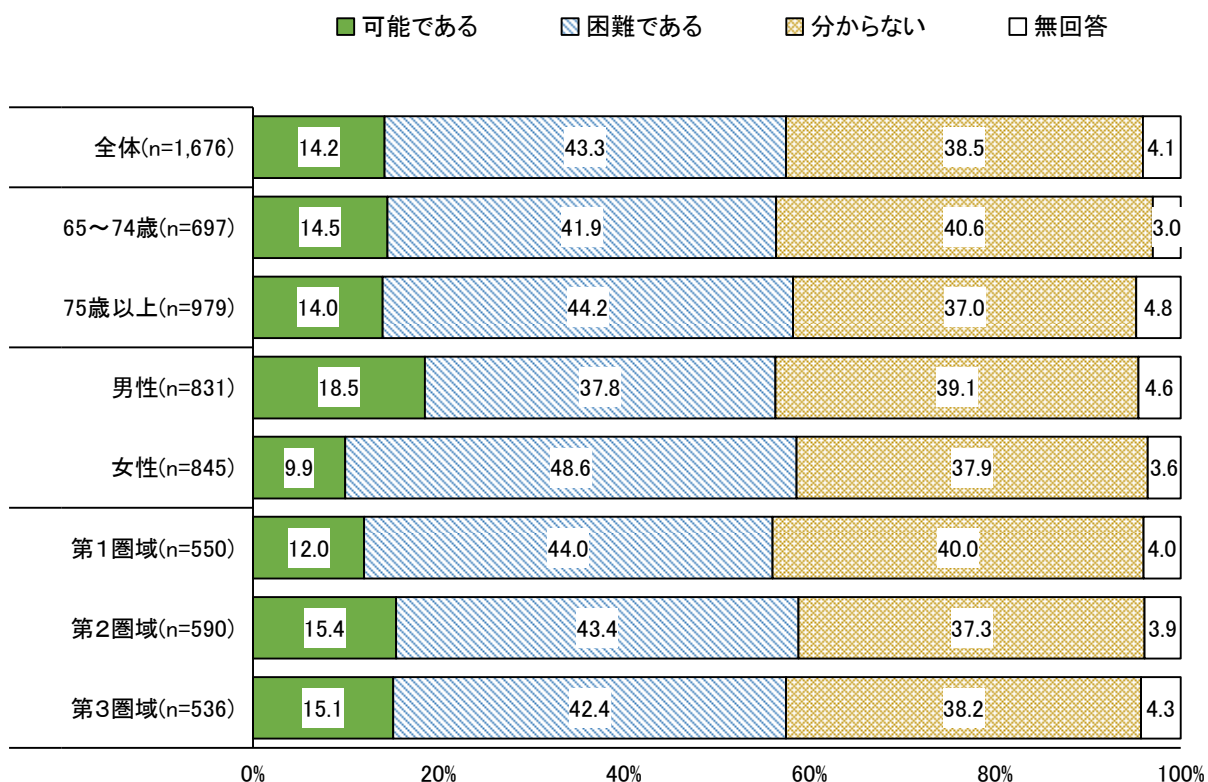


(3) 終末期における自宅療養

あなたは、終末期（治る見込みがなく余命がわずかであること）と告げられた場合、自宅で療養することが可能であると思いますか。（いずれか1つ）

終末期における自宅療養について、全体では「困難である」が43.3%で最も多く、以下「分からない」が38.5%、「可能である」が14.2%となっています。

女性では「困難である」が48.6%で男性より10.8ポイント多くなっています。一方、男性では「可能である」が18.5%で女性より8.6ポイント多くなっています。



(3) ① 自宅療養が困難である理由

自宅療養することが困難と考える理由は何ですか。(いくつでも)

自宅療養が困難である理由について、全体では「家族に負担を掛けたくない」が75.2%で最も多く、以下「症状が急変したときに不安がある」が46.9%、「経済的負担が大きい」が28.0%、「介護してくれる家族が近くにいない」が25.7%、「居住環境が整っていない」が25.4%となっています。

いずれの区分でも「家族に負担を掛けたくない」が最も多くなっています。

単位：%

	家族に負担を掛けたくない	症状が急変したときに不安がある	経済的負担が大きい	介護してくれる家族が近くにいない	居住環境が整っていない	その他	無回答
全体(n=725)	75.2	46.9	28.0	25.7	25.4	3.3	0.7
65～74歳(n=292)	78.8	42.5	32.5	24.7	28.4	2.1	0.3
75歳以上(n=433)	72.7	49.9	24.9	26.3	23.3	4.2	0.9
男性(n=314)	73.2	47.5	26.4	22.9	25.8	1.0	0.6
女性(n=411)	76.6	46.5	29.2	27.7	25.1	5.1	0.7
第1圏域(n=242)	76.0	50.4	37.6	26.9	28.9	2.5	0.0
第2圏域(n=256)	74.2	44.1	23.4	25.0	20.7	2.7	0.8
第3圏域(n=227)	75.3	46.3	22.9	25.1	26.9	4.8	1.3

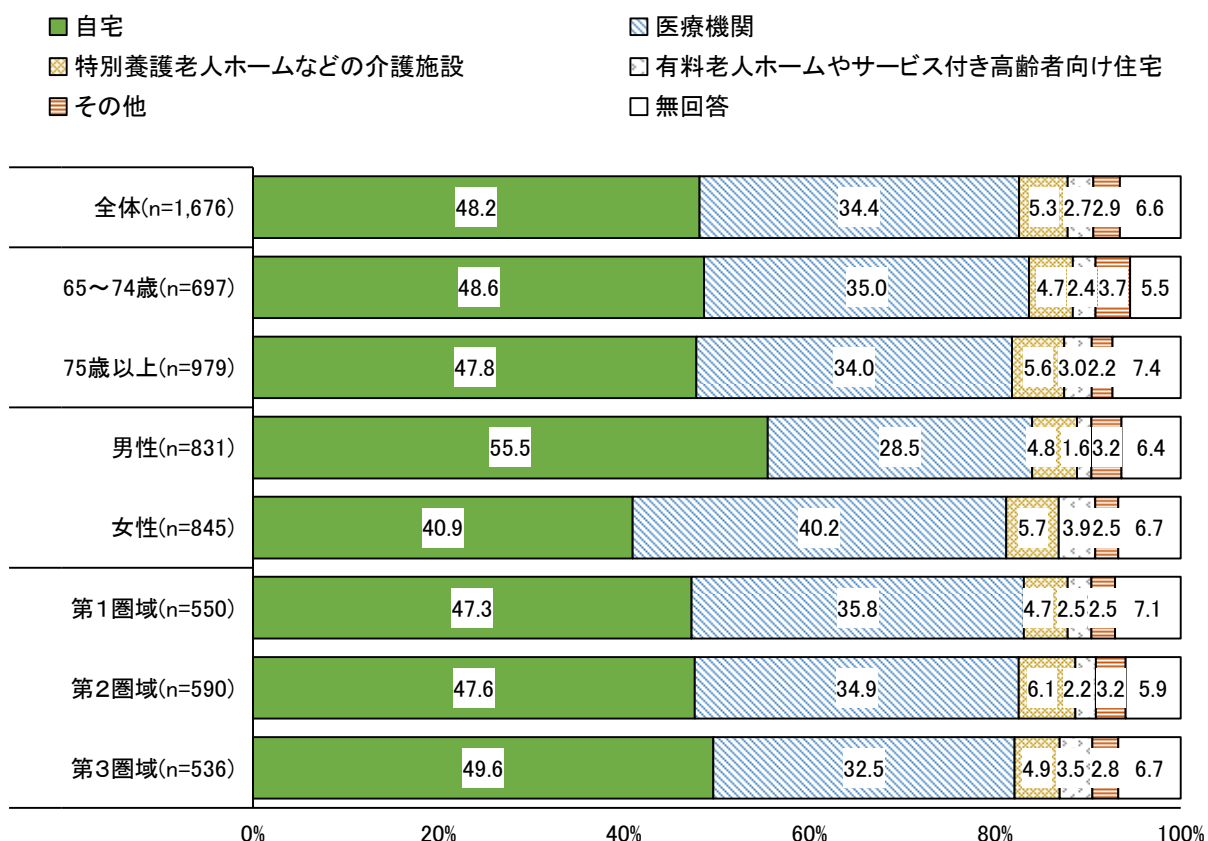
(4) 人生の最後を迎えたい場所

あなたが人生の最後を迎えたいと思う場所はどこですか。(いずれか1つ)

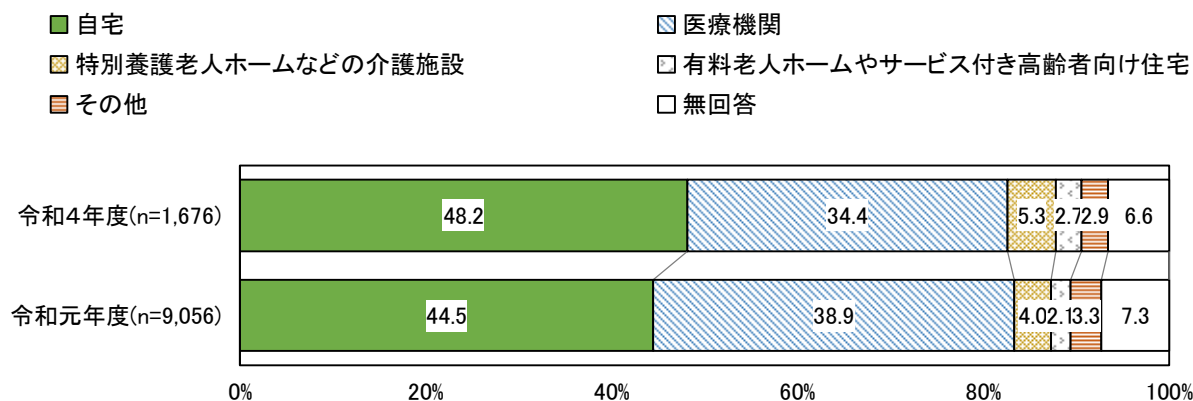
人生の最後を迎えたい場所について、全体では「自宅」が48.2%で最も多く、以下「医療機関」が34.4%、「特別養護老人ホームなどの介護施設」が5.3%などとなっています。

男性では「自宅」が55.5%で女性より14.6ポイント多くなっています。一方、女性では「医療機関」が40.2%で男性より11.7ポイント多くなっています。

経年比較をみると、「自宅」が3.7ポイント増加しています。



○経年比較

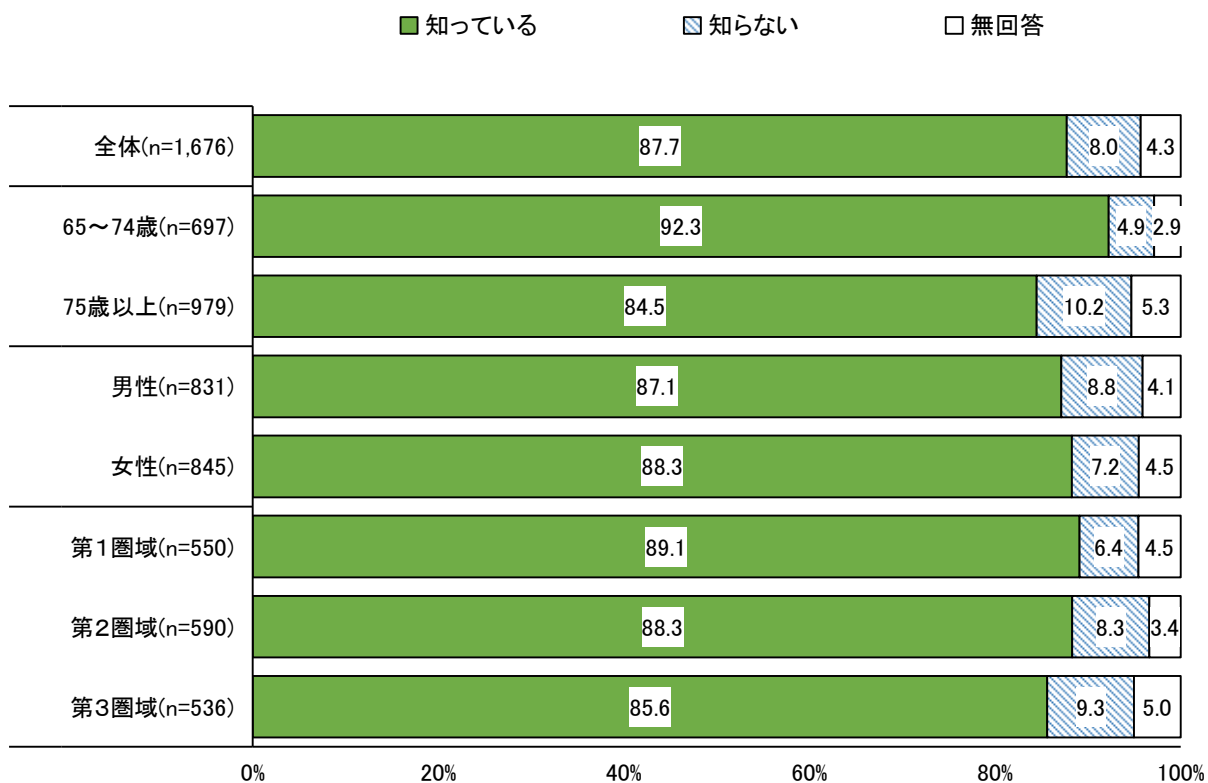


(5) 終活の認知状況

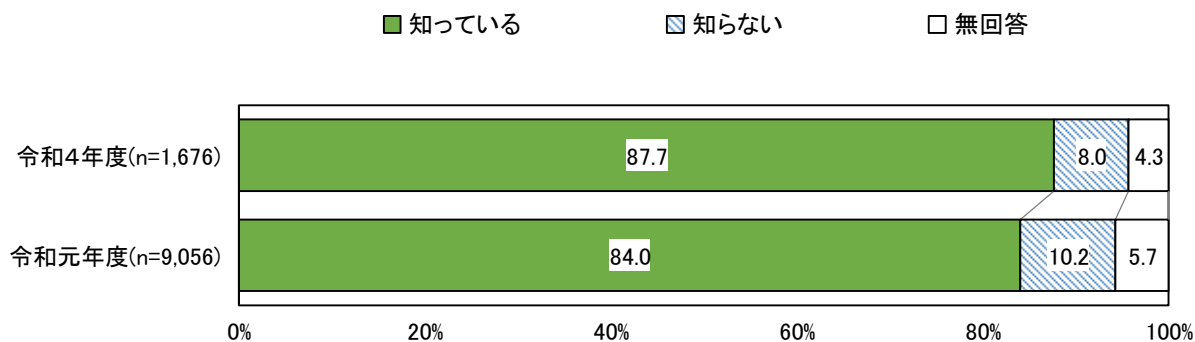
あなたは、「終活」という言葉をご存じですか。

終活の認知状況について、全体では「知っている」が87.7%、「知らない」が8.0%となっています。

経年比較をみると、「知っている」が3.7ポイント増加しています。



○経年比較

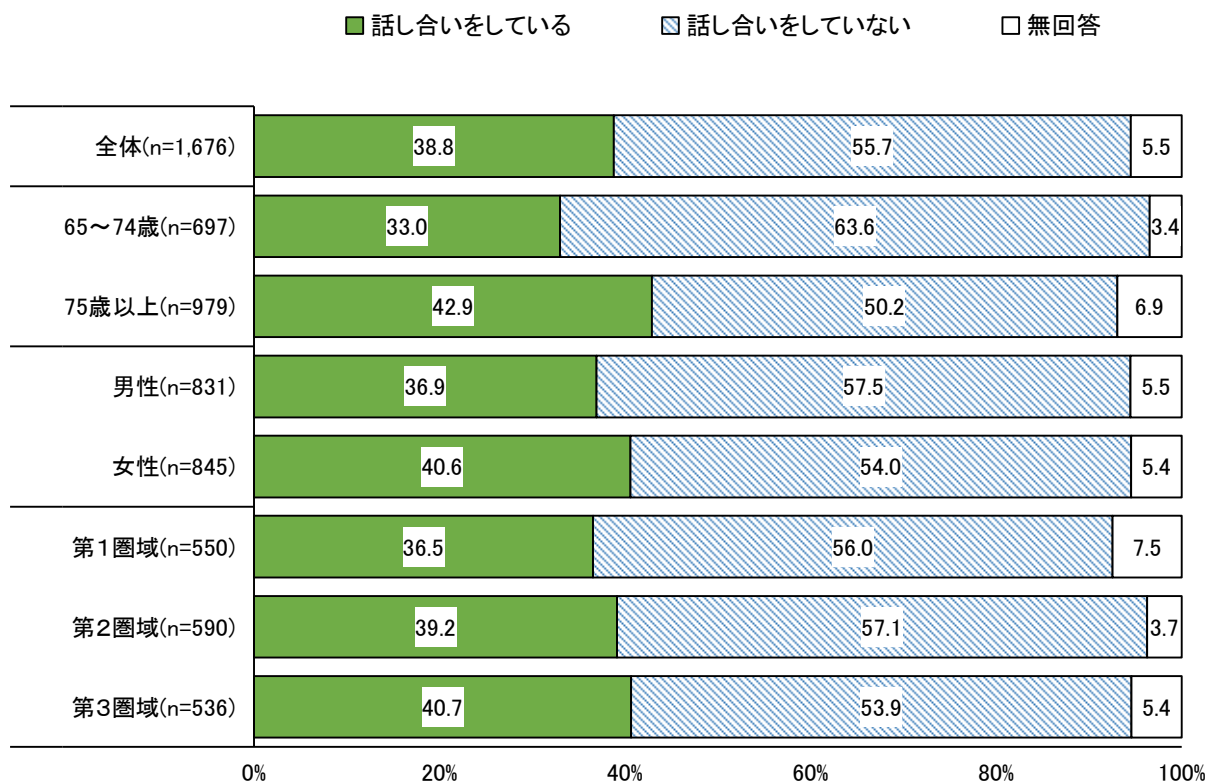


(6) 将来についての家族との話し合い

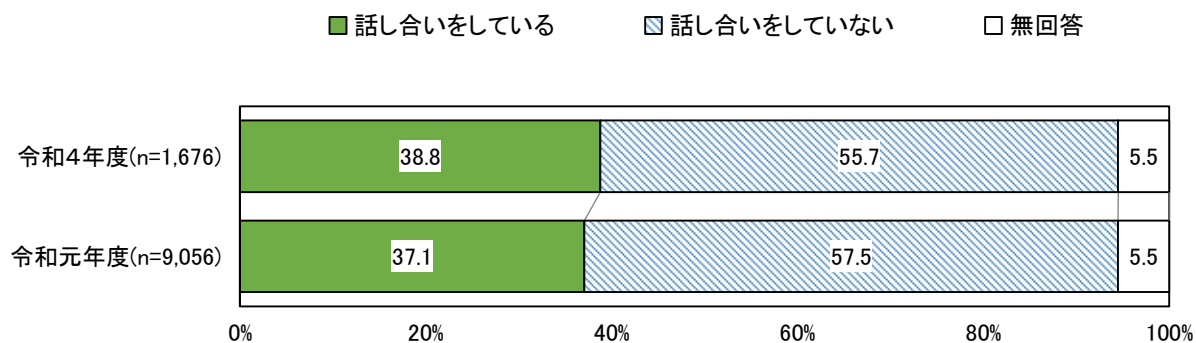
あなたは、財産や相続など将来のことを家族との話し合いをしていますか。

将来についての家族との話し合いについて、全体では「話し合いをしていない」が55.7%、「話し合いをしている」が38.8%となっています

いずれの区分でも「話し合いをしていない」が「話し合いをしている」より多くなっています。経年比較をみると、「話し合いをしている」が1.7ポイント増加しています。



○経年比較

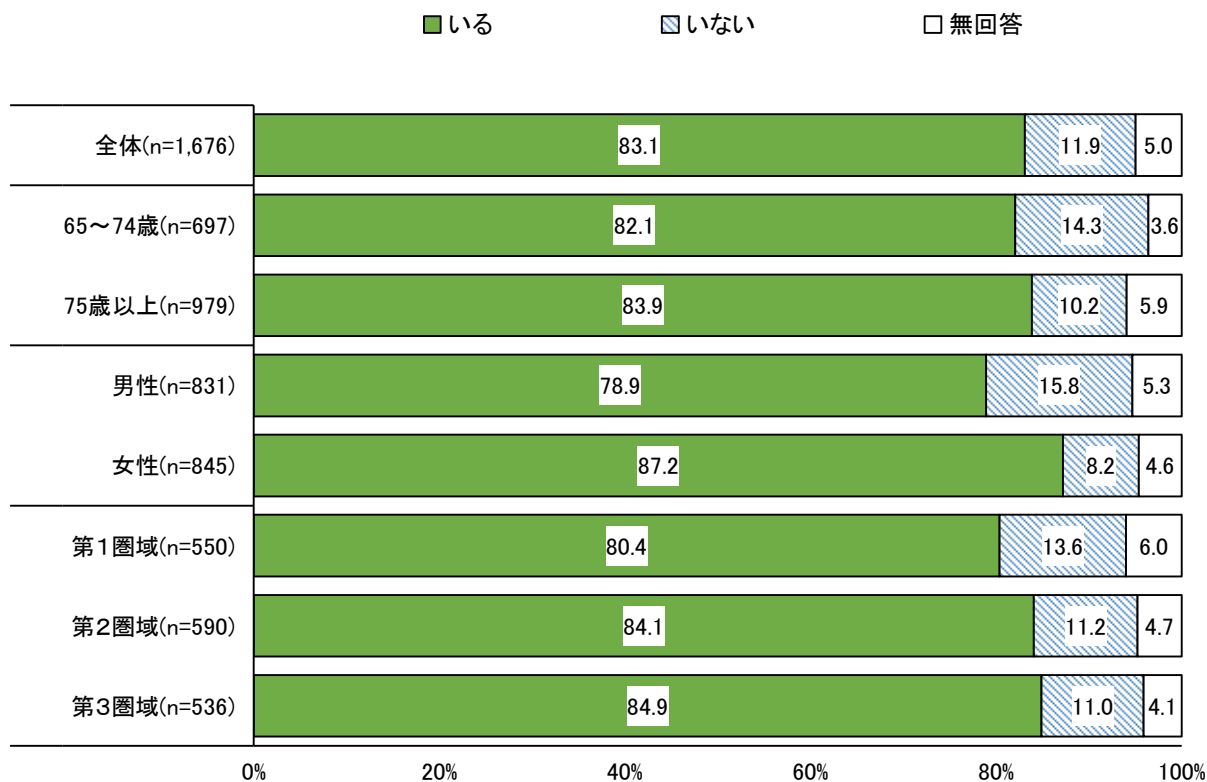


(7) 万が一のときの手続きを依頼できる人

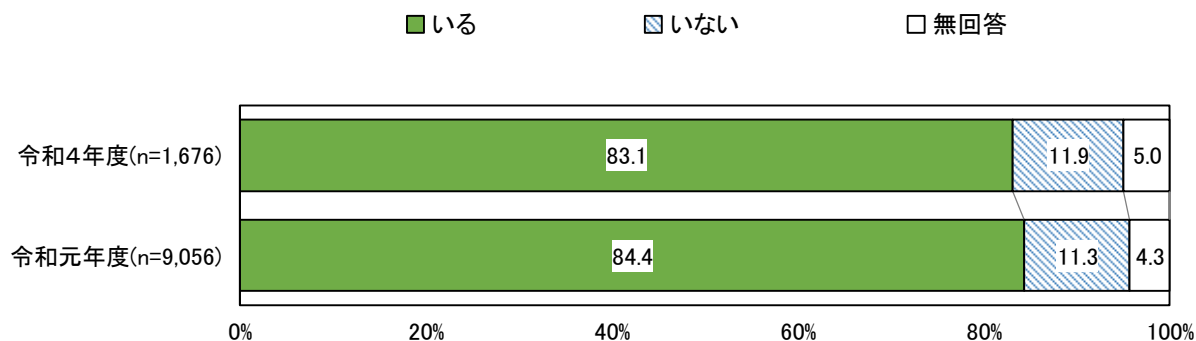
あなたは、万が一のとき、手続きをお願いできる人がいますか。

万が一のときの手続きを依頼できる人について、全体では「いる」が83.1%、「いない」が11.9%となっています。

経年比較をみると、概ね前回と同様の結果となっています。



○経年比較



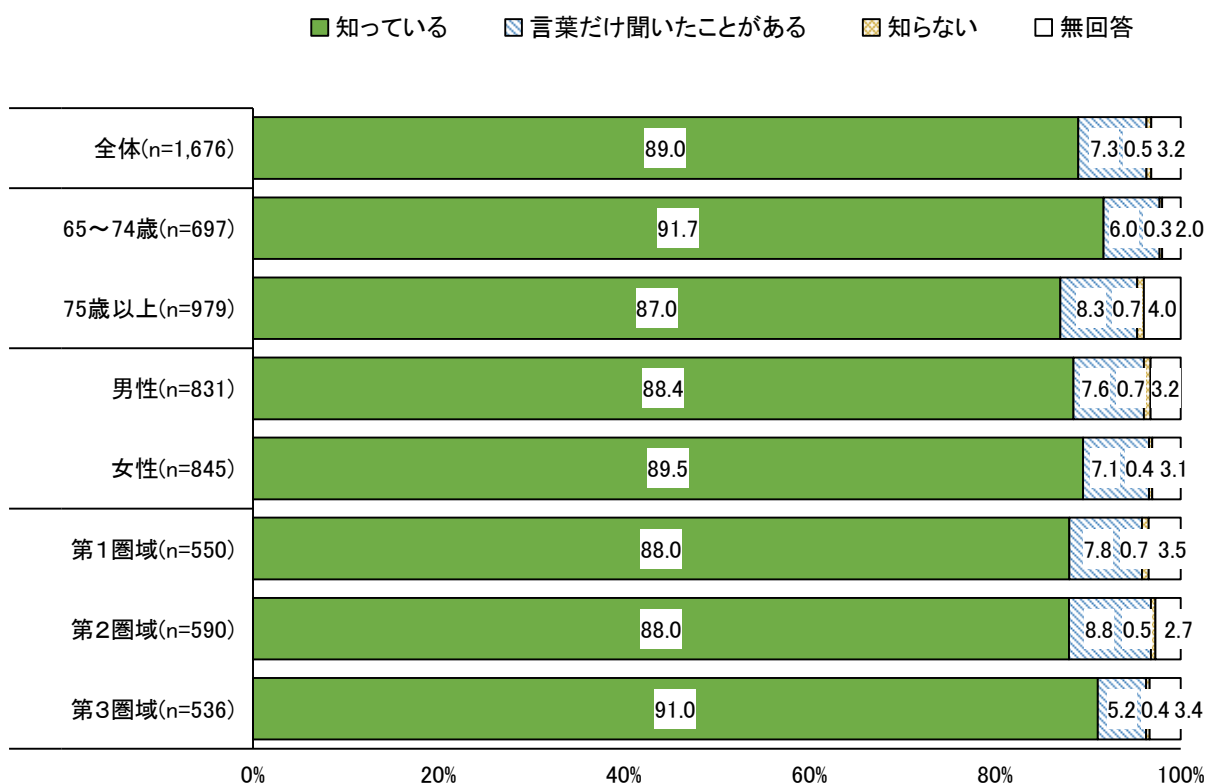
1 1 認知症について

(1) 認知症の認知状況

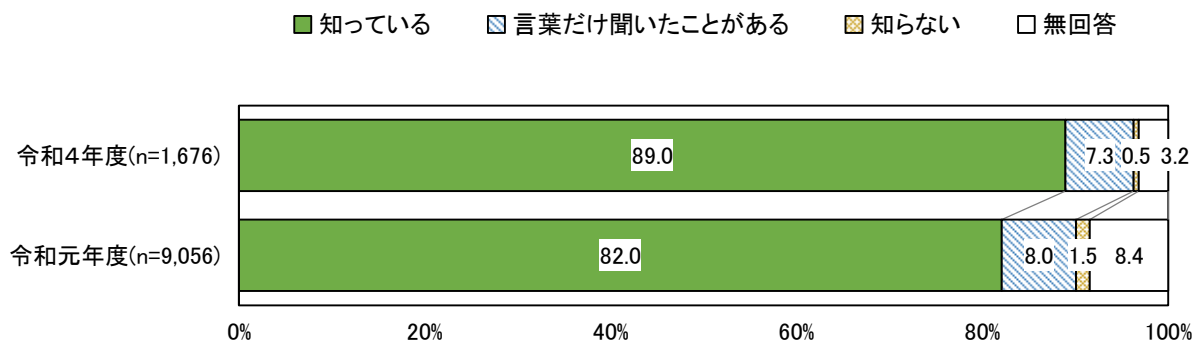
あなたは「認知症」を、知っていますか。(いずれか1つ)

認知症の認知状況について、全体では「知っている」が89.0%で最も多く、以下「言葉だけ聞いたことがある」が7.3%、「知らない」が0.5%となっています。

経年比較をみると、「知っている」が7.0ポイント増加しています。



○経年比較

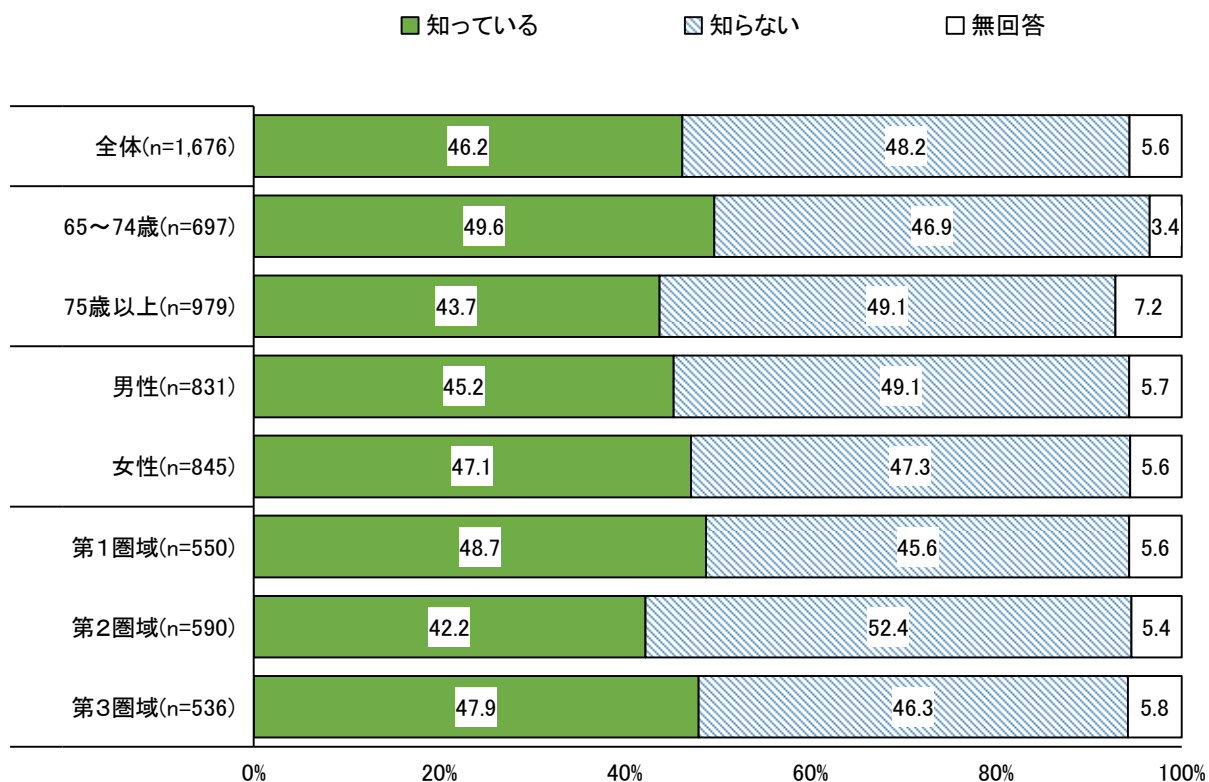


(2) 認知症予防の認知状況

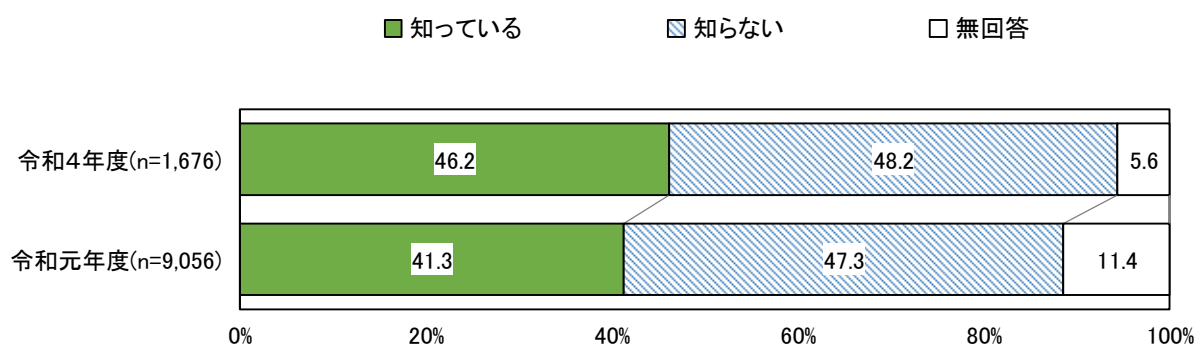
あなたは認知症の原因となる病気には予防できるものがあると知っていますか。

認知症予防の認知状況について、全体では「知らない」が48.2%、「知っている」が46.2%となっています。

経年比較をみると、「知っている」が4.9ポイント増加しています。



○経年比較

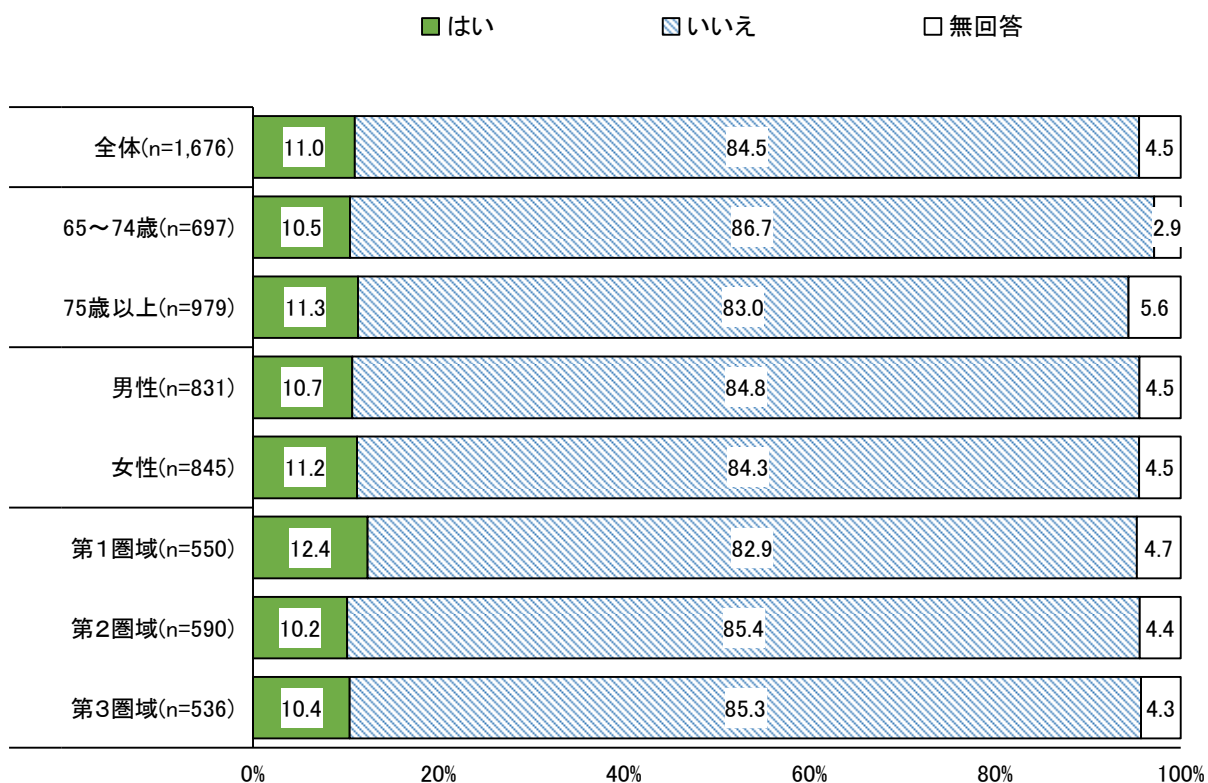


(3) 本人または家族に認知症の症状があるか

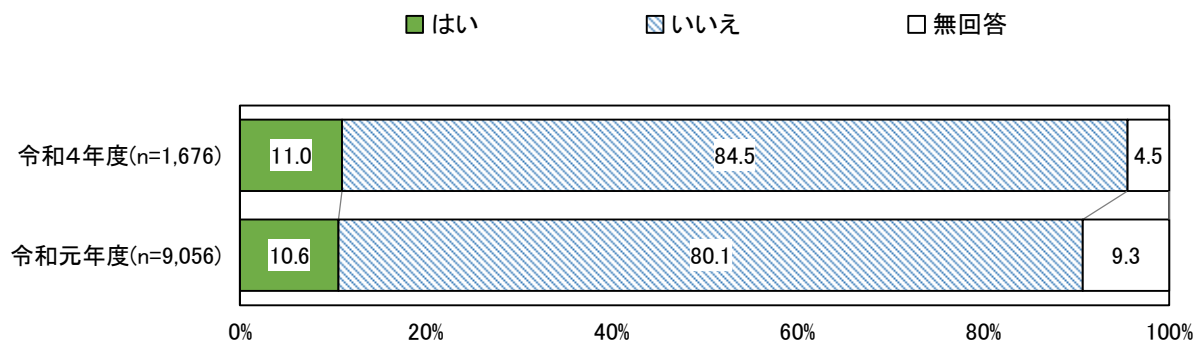
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

本人または家族に認知症の症状があるかについて、全体では「いいえ」が84.5%、「はい」が11.0%となっています。

経年比較をみると、「はい」が0.4ポイント増加しています。



○経年比較

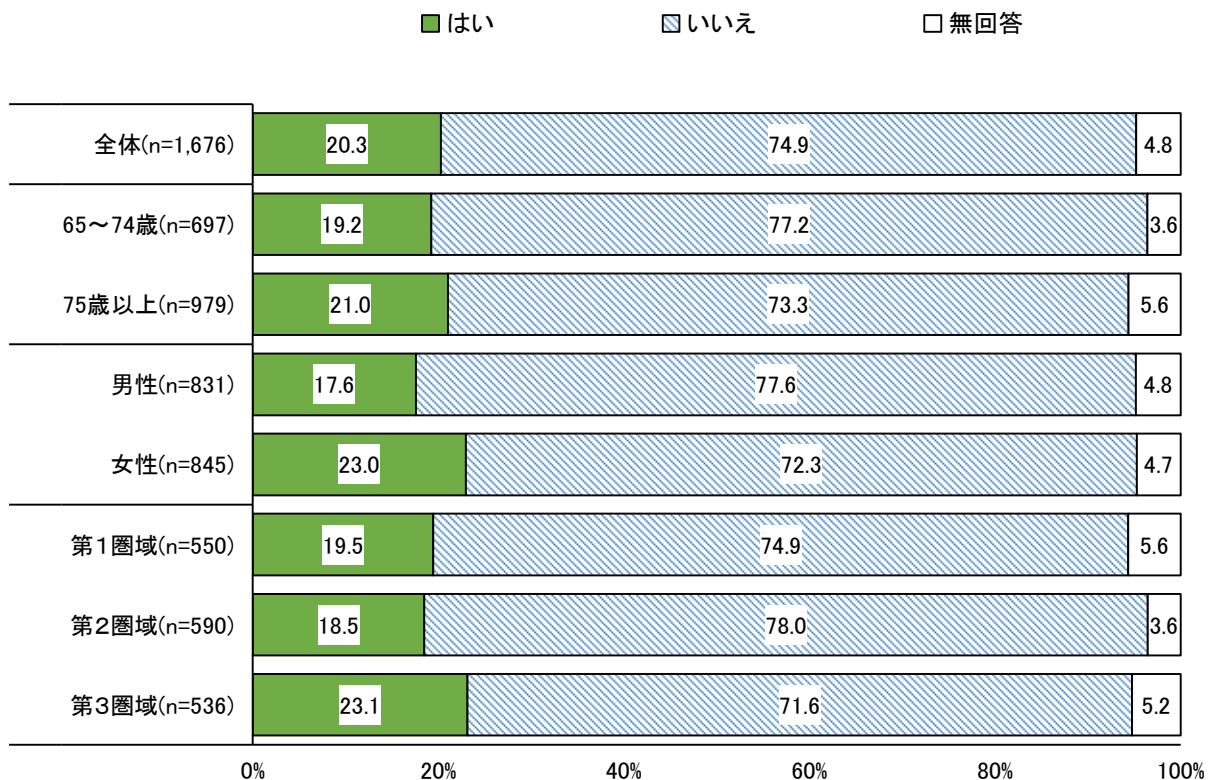


(4) 認知症の相談窓口の認知状況

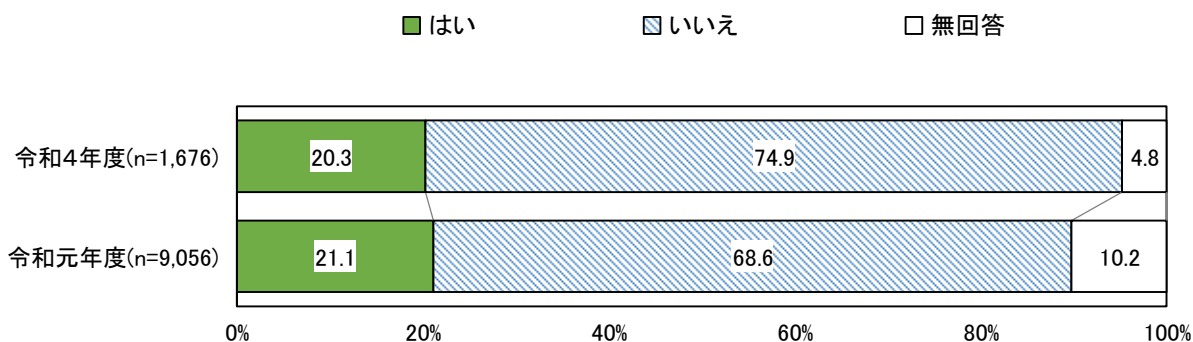
認知症に関する相談窓口を知っていますか。

認知症の相談窓口の認知状況について、全体では「いいえ」が74.9%、「はい」が20.3%となっています。

経年比較をみると、「はい」が0.8ポイント減少しています。



○経年比較



(5) 認知症について気になること

認知症について気になることは何ですか。(いくつでも)

認知症について気になることについて、全体では「認知症はどのように対応すればよいか」が55.4%で最も多く、以下「認知症の症状がどのように進むのか」が53.0%、「病院は何科を受診すればよいのか」が47.9%、「病院は何科を受診すればよいのか」が47.9%となっています。

単位: %

	認知症はどのように対応すればよいか	認知症の症状がどのように進むのか	病院は何科を受診すればよいのか	その他	無回答
全体(n=1,676)	55.4	53.0	47.9	5.0	11.6
65～74歳(n=697)	59.3	52.5	48.4	4.3	10.8
75歳以上(n=979)	52.6	53.3	47.6	5.5	12.2
男性(n=831)	58.2	52.0	44.6	5.4	10.3
女性(n=845)	52.5	54.0	51.1	4.6	12.8
第1圏域(n=550)	58.2	53.3	46.4	4.9	10.9
第2圏域(n=590)	55.9	54.4	49.5	4.2	11.2
第3圏域(n=536)	51.9	51.1	47.8	6.0	12.7

12 新型コロナウイルス感染症の影響について

(1) 感染症拡大による生活への影響

新型コロナウイルス感染症の拡大により、あなたの生活にどのような影響がありましたか。
(いくつでも)

感染症拡大による生活への影響について、全体では「旅行や買い物などで外出することが減った」が57.2%で最も多く、以下「友人・知人や近所付き合いが減った」が51.5%、「別居している家族と会う機会が減った」が33.2%、「メール、電話、オンラインでの連絡が増えた」が26.4%などとなっています。

いずれの区分でも似通った傾向となっており、外出する機会や人と会う機会が減少していることがうかがえます。

単位：%

	旅行や買い物などで外出することが減った	友人・知人や近所付き合いが減った	別居している家族と会う機会が減った	メール、電話、オンラインでの連絡が増えた	家族と過ごす時間が増えた	医療を受ける回数(通院回数など)が減った	医療費の支出が増えた	仕事をする日数や時間数が減った
全体(n=1,676)	57.2	51.5	33.2	26.4	16.9	8.1	6.9	5.9
65～74歳(n=697)	61.8	53.2	32.4	29.1	17.8	9.2	5.3	8.0
75歳以上(n=979)	53.9	50.3	33.8	24.4	16.2	7.3	8.1	4.4
男性(n=831)	50.5	46.8	30.6	21.1	17.1	6.6	7.5	7.9
女性(n=845)	63.8	56.1	35.9	31.6	16.7	9.5	6.4	3.9
第1圏域(n=550)	54.4	51.8	32.0	25.3	16.0	7.1	7.6	5.8
第2圏域(n=590)	56.1	50.3	33.9	25.3	16.9	8.0	6.4	6.1
第3圏域(n=536)	61.4	52.4	33.8	28.7	17.7	9.1	6.7	5.8

	ボランティア活動をする日数や時間数が減った	仕事をやめた(仕事がなくなった)	ボランティア活動をやめた(中止になった)	介護サービスを受ける回数が増えた	その他	特に影響はなかった	無回答
全体(n=1,676)	3.8	3.3	3.2	0.4	2.1	11.9	6.3
65～74歳(n=697)	4.0	3.6	2.4	0.1	2.2	9.6	4.4
75歳以上(n=979)	3.6	3.2	3.7	0.6	2.1	13.6	7.6
男性(n=831)	4.2	4.8	2.9	0.4	2.2	14.4	5.7
女性(n=845)	3.3	1.9	3.4	0.5	2.1	9.5	6.9
第1圏域(n=550)	3.8	4.2	2.9	0.4	3.5	12.0	8.9
第2圏域(n=590)	3.2	3.2	3.1	0.5	1.4	13.6	5.1
第3圏域(n=536)	4.3	2.6	3.5	0.4	1.7	10.1	4.9

(2) 自粛生活による自身の変化

新型コロナウイルス感染症の影響による自粛生活において、あなた自身に次のような変化がありましたか。(いくつでも)

自粛生活による自身の変化について、全体では「体を動かす機会が減って体力が落ちた」が31.0%で最も多く、以下「身だしなみを気にしなくなった」が21.4%、「外出の機会が減って孤独を感じるようになった」が21.2%、「閉じこもりがちになった」が17.9%、「物忘れが進んでいると感じた」が15.9%などとなっています。

一方、「変化はなかった」は32.4%となっています。

単位: %

	体を動かす機会が減って体力が落ちた	身だしなみを気にしなくなった	外出の機会が減って孤独を感じるようになった	閉じこもりがちになった	物忘れが進んでいると感じた	生活リズムが乱れた
全体(n=1,676)	31.0	21.4	21.2	17.9	15.9	11.8
65～74歳(n=697)	28.0	20.5	16.9	16.6	10.0	11.5
75歳以上(n=979)	33.1	22.1	24.2	18.8	20.1	12.1
男性(n=831)	28.0	16.4	17.8	16.0	13.7	13.2
女性(n=845)	33.8	26.4	24.5	19.8	18.1	10.4
第1圏域(n=550)	31.3	21.8	22.4	19.1	17.5	11.1
第2圏域(n=590)	30.0	21.0	20.3	18.6	14.9	13.9
第3圏域(n=536)	31.7	21.5	20.9	15.9	15.5	10.3

	あまり眠れなくなった	口の健康に気を使わなくなった	栄養バランスに気を使わなくなった	その他	変化はなかった	無回答
全体(n=1,676)	11.6	4.1	3.4	3.0	32.4	7.6
65～74歳(n=697)	7.0	4.6	2.7	1.9	40.2	5.3
75歳以上(n=979)	14.9	3.7	3.9	3.9	26.9	9.2
男性(n=831)	9.3	4.3	3.6	2.2	36.7	7.6
女性(n=845)	14.0	3.8	3.2	3.9	28.2	7.6
第1圏域(n=550)	14.0	5.3	5.1	3.3	32.0	9.8
第2圏域(n=590)	12.0	3.4	4.1	2.7	32.0	6.4
第3圏域(n=536)	8.8	3.5	0.9	3.2	33.2	6.5

1.3 各種生活リスク等の状況について

(1) 運動器機能

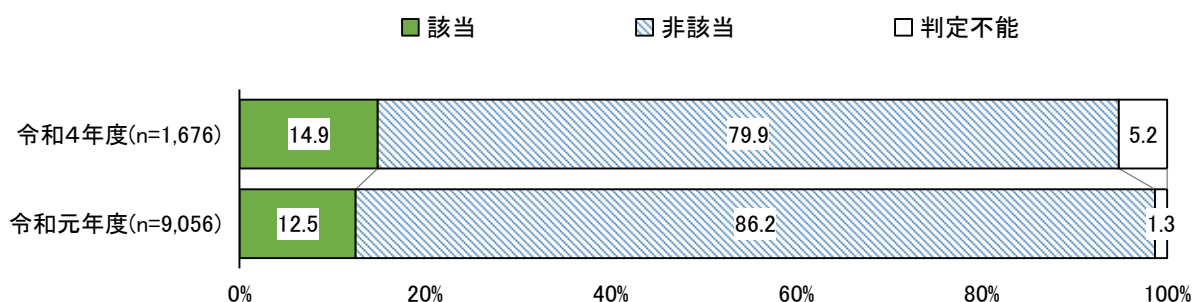
運動器機能の低下している高齢者を把握します。下記の設問で3問以上、該当する選択肢が回答された場合は、リスクありと判定されます。

【リスクの判定条件】以下の5問の該当条件のうち3項目以上に該当

問番号	設問	該当条件
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「できない」
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「できない」
問2(3)	15分位続けて歩いていますか	「できない」
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「何度もある」または「1度ある」
問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか	「とても不安である」または「やや不安である」

○経年比較

運動器機能の低下リスクについて、「該当」と判定された割合は14.9%で、前回の調査から2.4ポイント増加しています。



※「経年比較」は、令和元年度の調査資料を参考に、比較可能な項目のみ掲載しています（以降同じ）

※「判定不能」は、無回答の項目があるため判定できないサンプルの割合です（以降同じ）

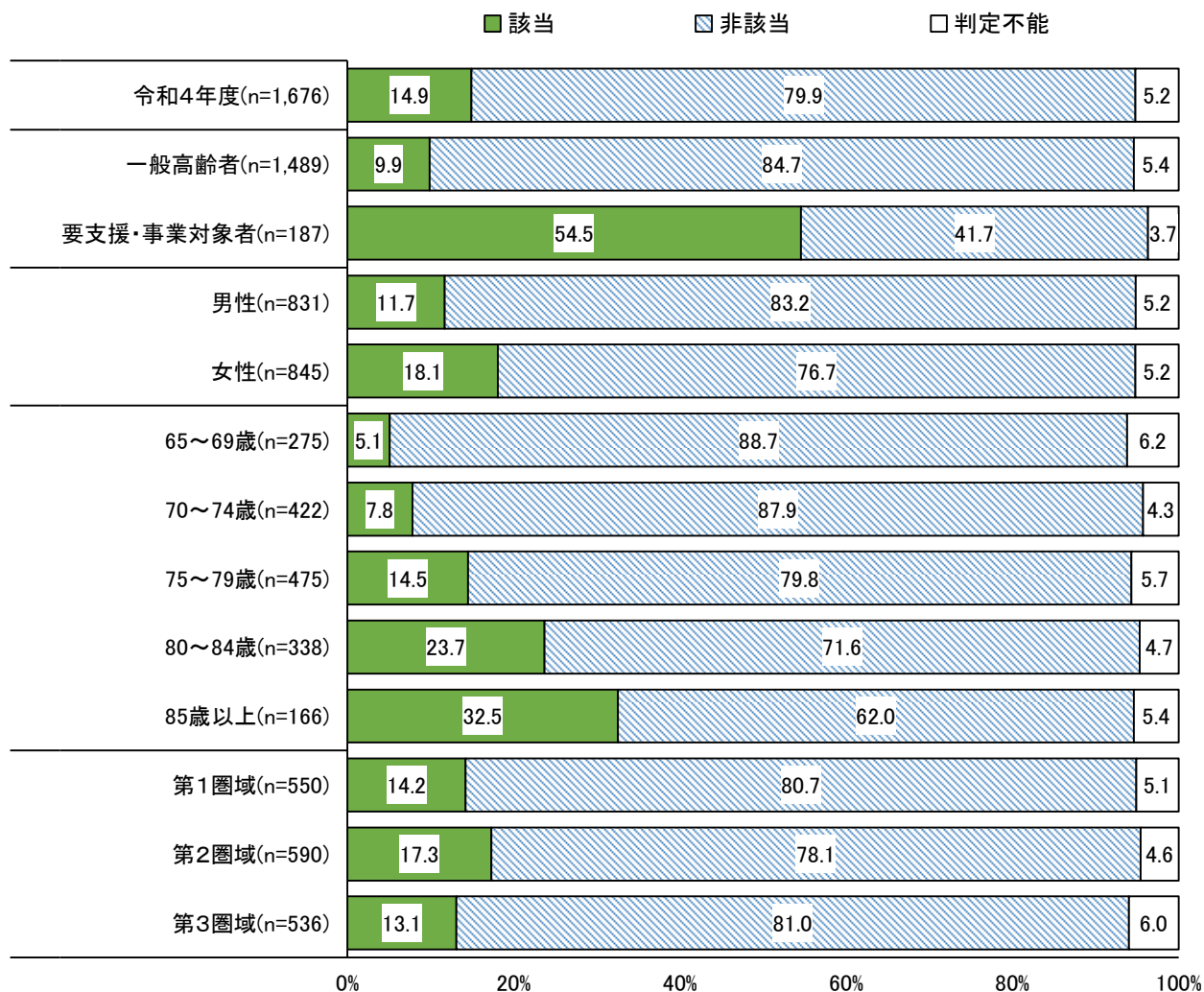
○各区分によるリスク該当割合

要支援・事業対象者では、「該当」と判定された割合が54.5%を占めています。

性別で見ると、「該当」と判定された割合は、女性が男性より6.4ポイント高くなっています。

また、年齢が高くなるほど「該当」と判定された割合が高くなっています。

日常生活圏域で見ると、「該当」と判定された割合は、第2圏域で最も高くなっています。



(2) 転倒

転倒リスクのある高齢者を把握します。下記の設問で、該当する選択肢が回答された場合は、リスクありと判定されます。

【リスクの判定条件】以下の1問の該当条件に該当

問番号	設問	該当条件
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	「何度もある」または「1度ある」

○各区分によるリスク該当割合

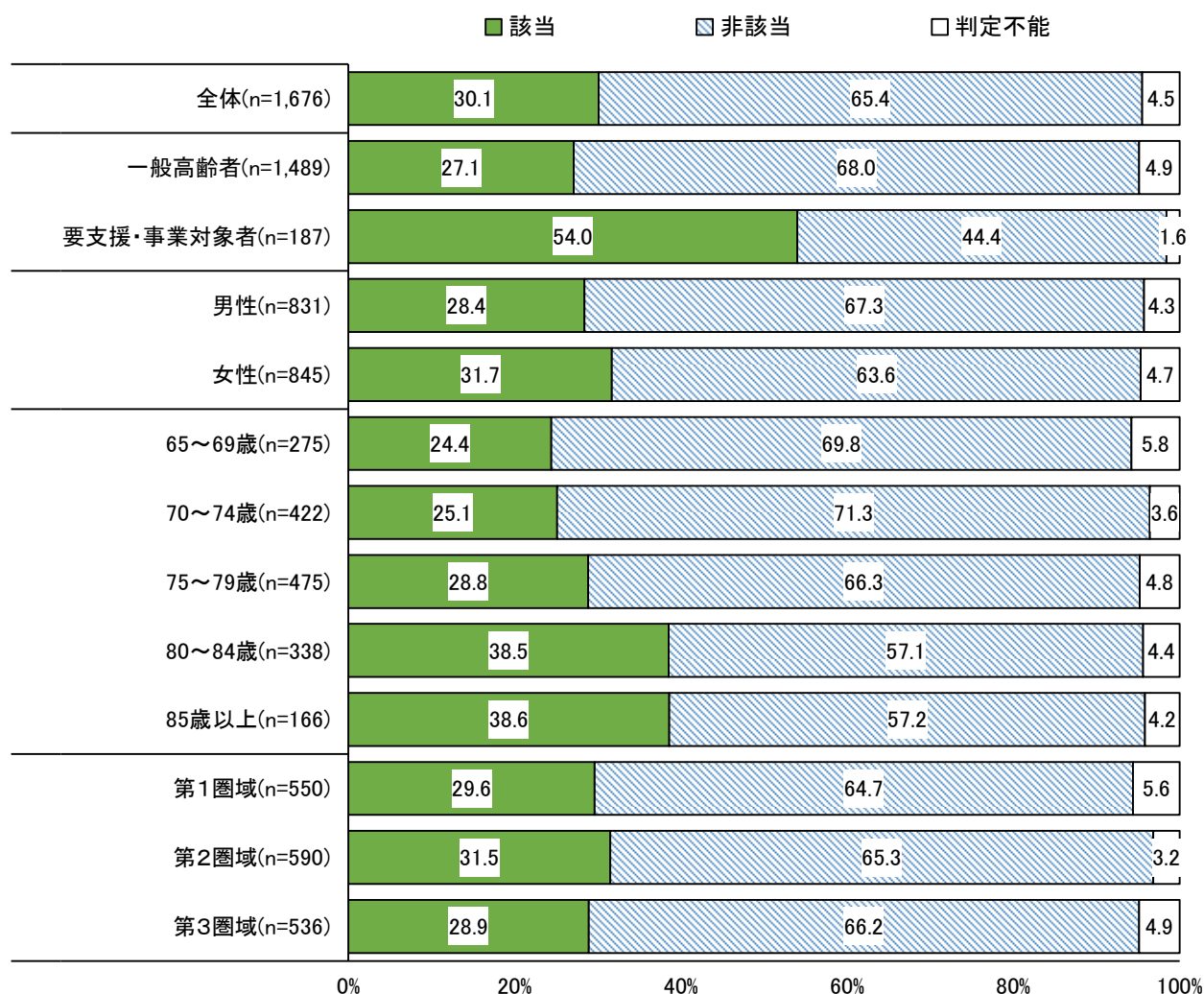
転倒リスクについて、「該当」と判定された割合は全体で30.1%となっています。

要支援・事業対象者では、「該当」と判定された割合が54.0%を占めています。

性別でみると、「該当」と判定された割合は、女性が男性より3.3ポイント高くなっています。

また、年齢が高くなるほど「該当」と判定された割合が高くなっています。

日常生活圏域でみると、「該当」と判定された割合は、第2圏域で最も高くなっています。



(3) 口腔機能

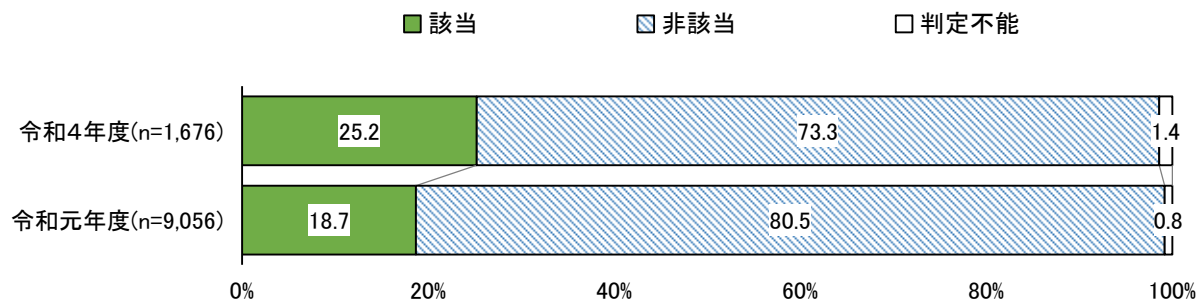
口腔機能の低下している高齢者を把握します。下記の設問で2問以上、該当する選択肢が回答された場合は、リスクありと判定されます。

【リスクの判定条件】以下の3問の該当条件のうち2項目以上に該当

問番号	設問	該当条件
問3(3)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「はい」
問3(4)	お茶や汁物等でむせることがありますか	「はい」
問3(5)	口の渇きが気になりますか	「はい」

○経年比較

口腔機能の低下リスクについて、「該当」と判定された割合は、25.2%で、前回の調査から6.5ポイント増加しています。



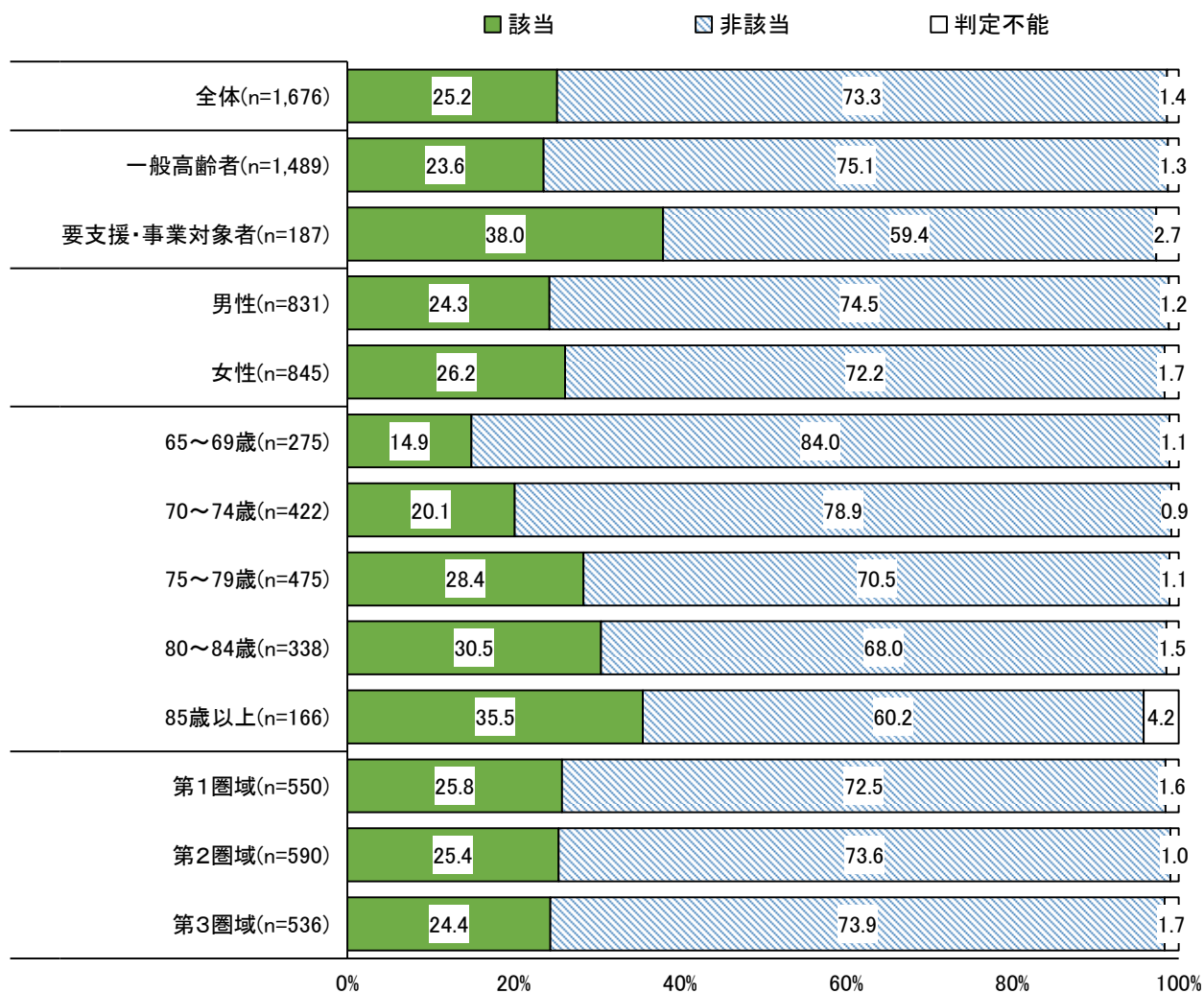
○各区分によるリスク該当割合

要支援・事業対象者では、「該当」と判定された割合が38.0%で一般高齢者より14.4ポイント高くなっています。

性別でみると、「該当」と判定された割合は、女性が男性より1.9ポイント高くなっています。

また、年齢が高くなるほど「該当」と判定された割合が高くなっています。

日常生活圏域でみると、「該当」と判定された割合は、第1圏域で最も高くなっています。



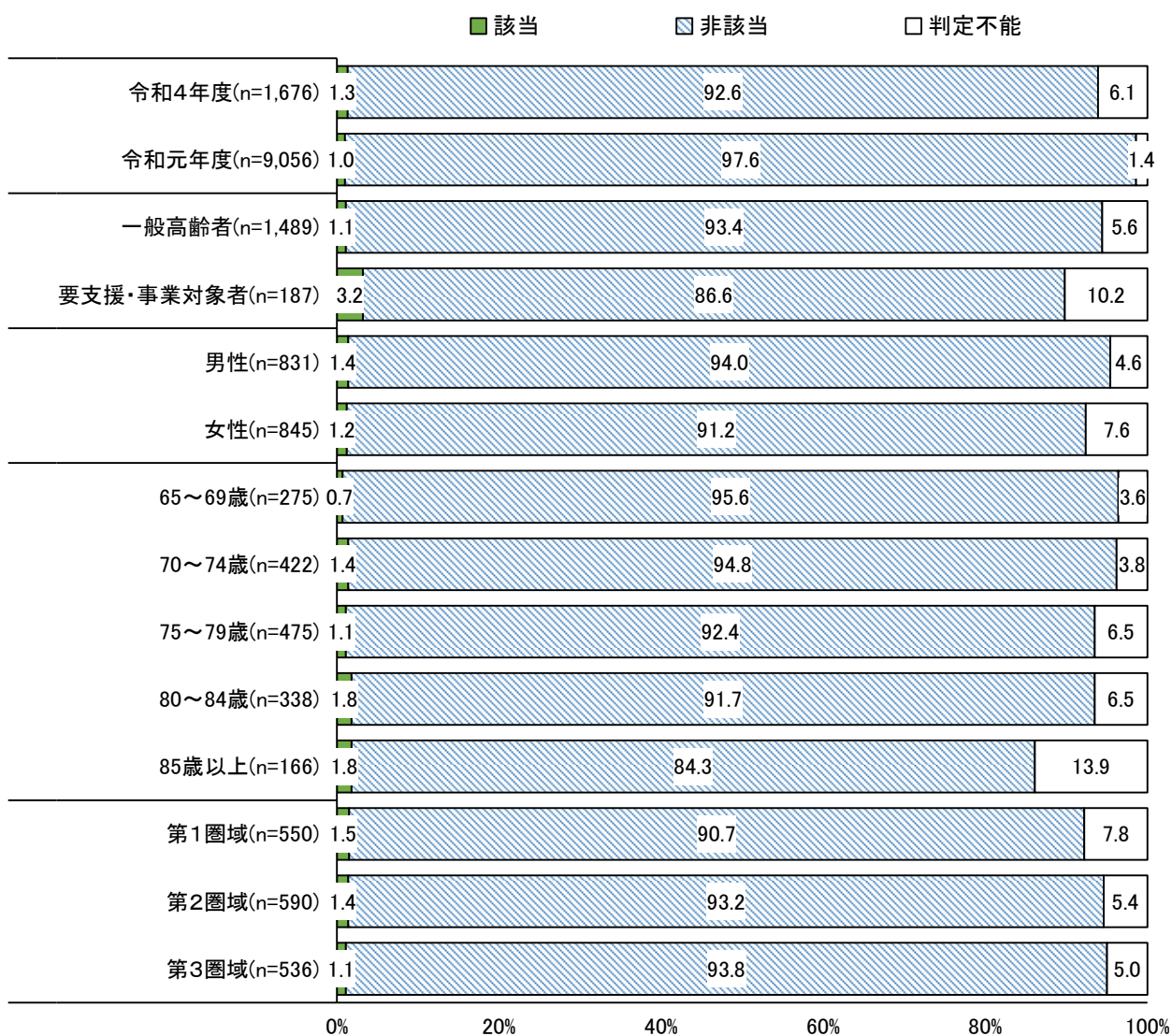
(4) 低栄養

【リスクの判定条件】以下の2問の該当条件全てに該当

問番号	設問	該当条件
問3(1)	身長・体重	BMI値が18.5未満
問3(2)	6か月間で2～3kgの体重減少がありましたか	「はい」

○経年比較・各区分によるリスク該当割合

低栄養のリスクについて、「該当」と判定された割合は、全体的に他の項目に比べて高い数値ではなく、前回の調査からも大きな変動はありません。



(5) 閉じこもり

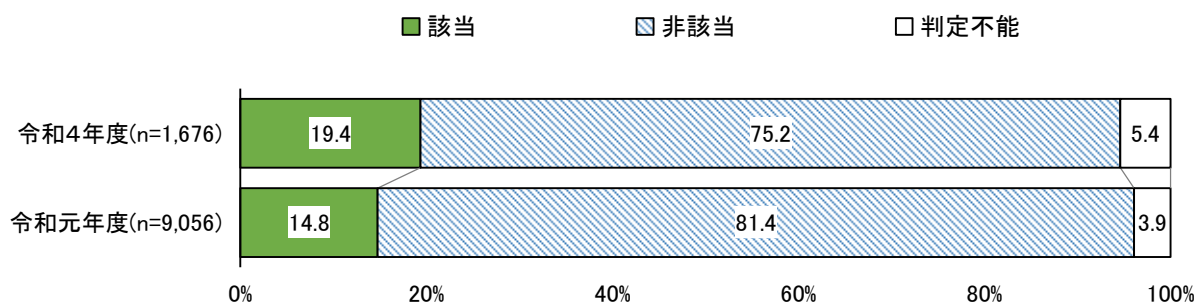
閉じこもり傾向のある高齢者を把握します。下記の設問で、該当する選択肢が回答された場合は、リスクありと判定されます。

【リスクの判定条件】以下の1問の該当条件に該当

問番号	設問	該当条件
問2(6)	週に1回以上は外出していますか	「ほとんど外出しない」または「週1回」

○経年比較

閉じこもりリスクについて、「該当」と判定された割合は19.4%で、前回の調査から4.6ポイント増加しています。



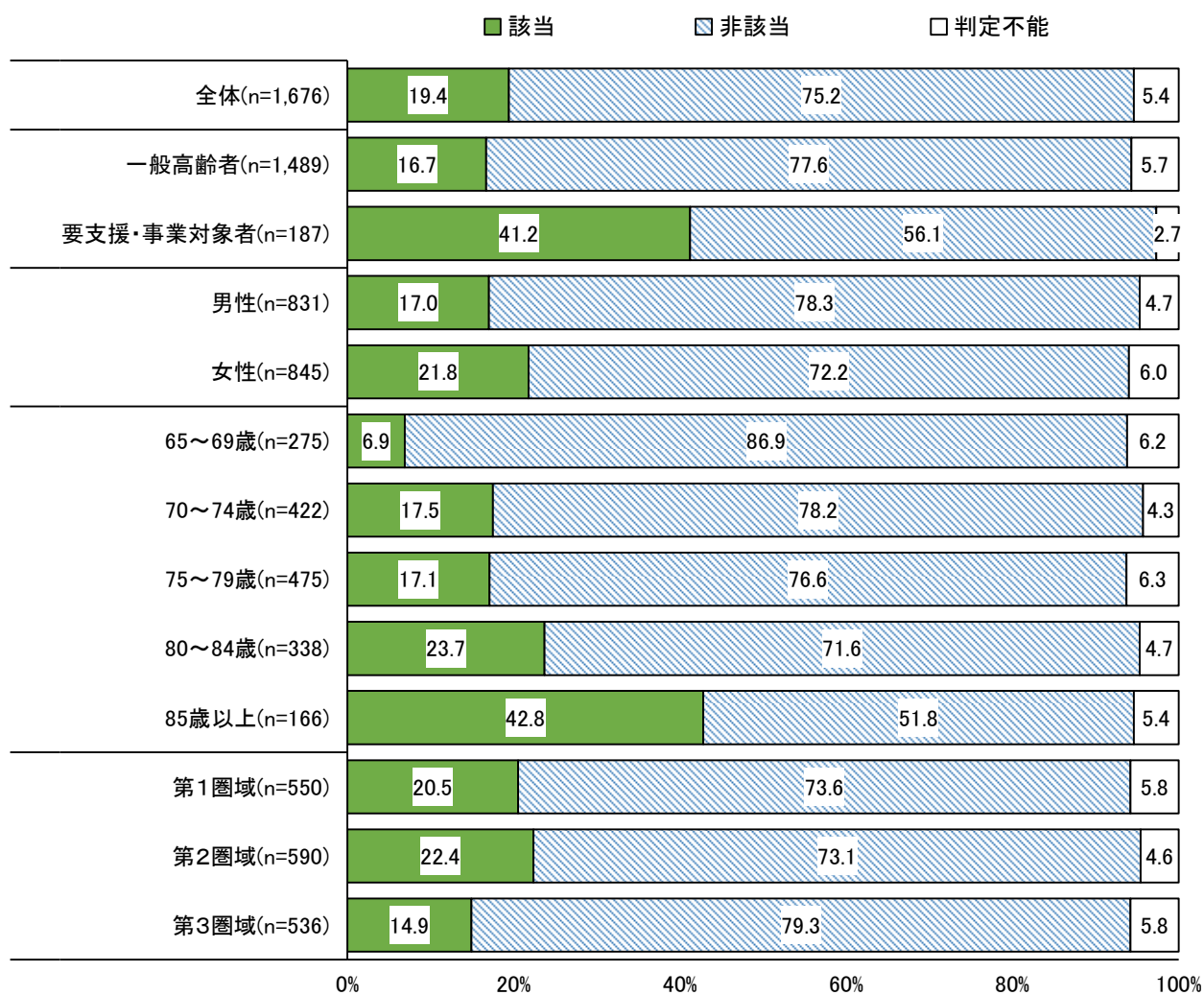
○各区分によるリスク該当割合

要支援・事業対象者では、「該当」と判定された割合が41.2%で一般高齢者より24.5ポイント高くなっています。

性別でみると、「該当」と判定された割合は、女性が男性より4.8ポイント高くなっています。

また、年齢が高くなるほど「該当」と判定された割合が高くなっており、特に85歳以上で高い割合を占めています。

日常生活圏域でみると、「該当」と判定された割合は、第2圏域で最も高くなっています。



(6) 認知機能

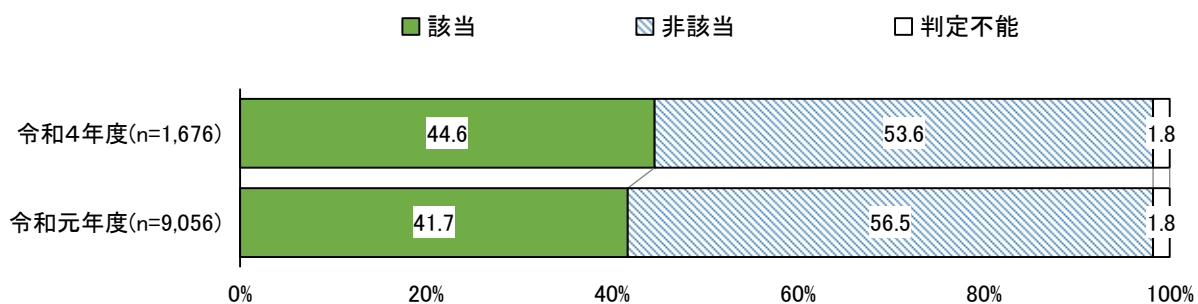
認知機能の低下がみられる高齢者を把握します。下記の設問で、該当する選択肢が回答された場合は、リスクありと判定されます。

【リスクの判定条件】以下の1問の該当条件に該当

問番号	設問	該当条件
問4(1)	物忘れが多いと感じますか	「はい」

○経年比較

認知機能の低下リスクについて、「該当」と判定された割合は44.6%で、前回の調査から2.9ポイント増加しています。



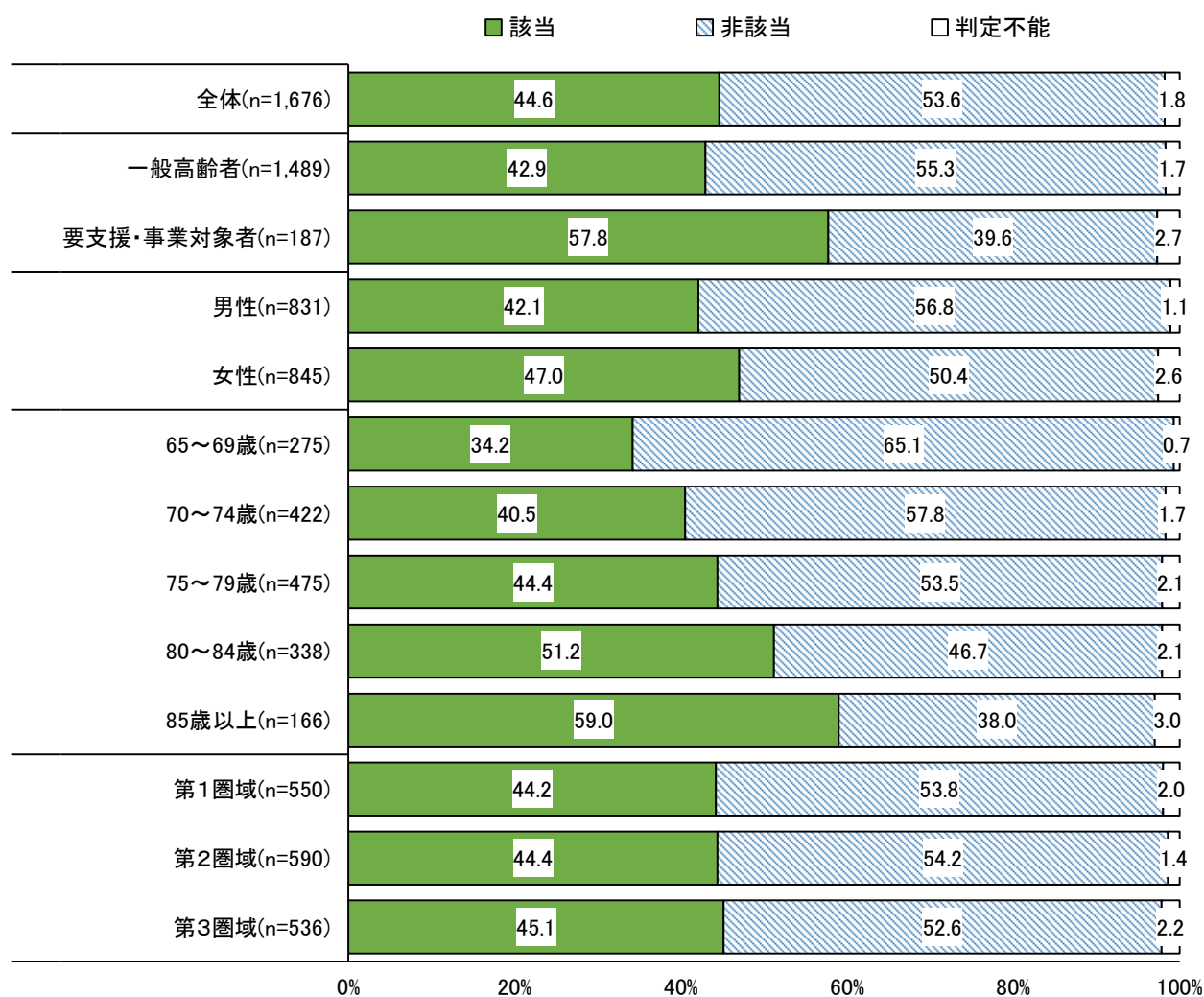
○各区分によるリスク該当割合

要支援・事業対象者では、「該当」と判定された割合が57.8%で一般高齢者より14.9ポイント高くなっています。

性別でみると、「該当」と判定された割合は、女性が男性より4.9ポイント高くなっています。

また、年齢が高くなるほど「該当」と判定された割合が高くなっており、特に80歳以上では過半数を占めています。

日常生活圏域でみると、「該当」と判定された割合は、第3圏域で最も高くなっています。



(7) うつ傾向

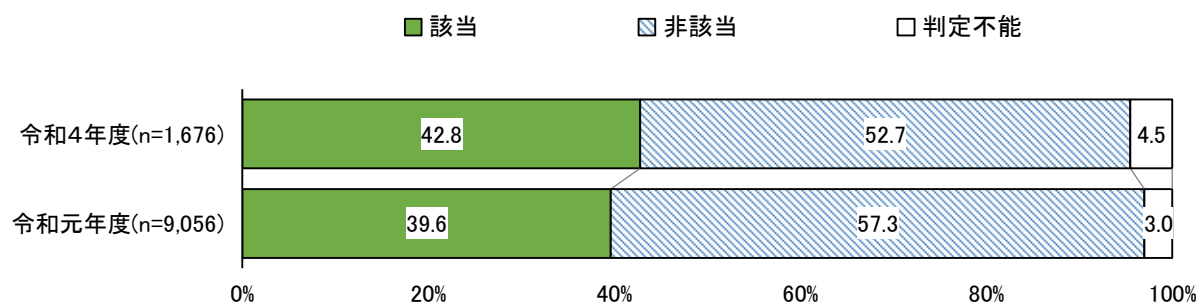
うつ傾向の高齢者を把握します。下記の設問で1問以上、該当する選択肢が回答された場合は、リスクありと判定されます。

【リスクの判定条件】以下の2問の該当条件のうち1項目以上該当

問番号	設問	該当条件
問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	「はい」
問7(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	「はい」

○経年比較

うつ傾向のリスクについて、「該当」と判定された割合は42.8%で、前回の調査から3.2ポイント増加しています。

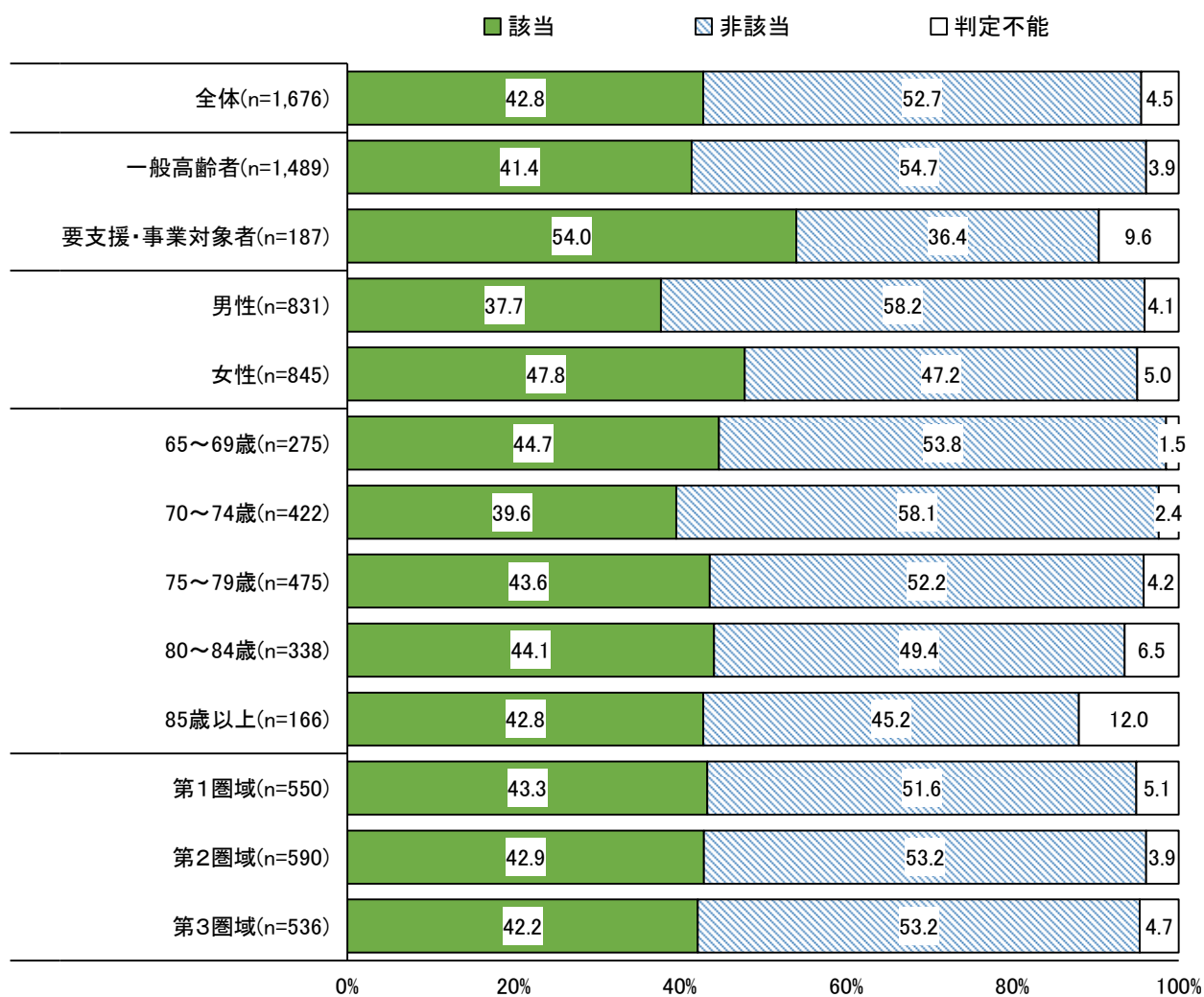


○各区分によるリスク該当割合

要支援・事業対象者では、「該当」と判定された割合が54.0%で一般高齢者より12.6ポイント高くなっています。

性別でみると、「該当」と判定された割合は、女性が男性より10.1ポイント高くなっています。年齢による違いはみられず、全体的に「該当」と判定された割合が高くなっています。

日常生活圏域でみると、「該当」と判定された割合は、第1圏域で最も高くなっています。



(8) IADL (手段的日常生活動作)

IADL (手段的日常生活動作) の低下している高齢者を把握します。IADLは、外出や買物など、自立した日常生活を送るために必要な能力の判断基準となります。

下記の設問で、5点満点中、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」として評価します。

【以下5項目の合計】 5点…「高い」 4点…「やや低い」 0～3点…「低い」

問番号	設問	配点
問4(4)	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	「できるし、している」または 「できるけどしていない」…1点
問4(7)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「できるし、している」または 「できるけどしていない」…1点
問4(8)	自分で食事の用意をしていますか	「できるし、している」または 「できるけどしていない」…1点
問4(9)	自分で請求書の支払いをしていますか	「できるし、している」または 「できるけどしていない」…1点
問4(10)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	「できるし、している」または 「できるけどしていない」…1点

○各区分によるリスク該当割合

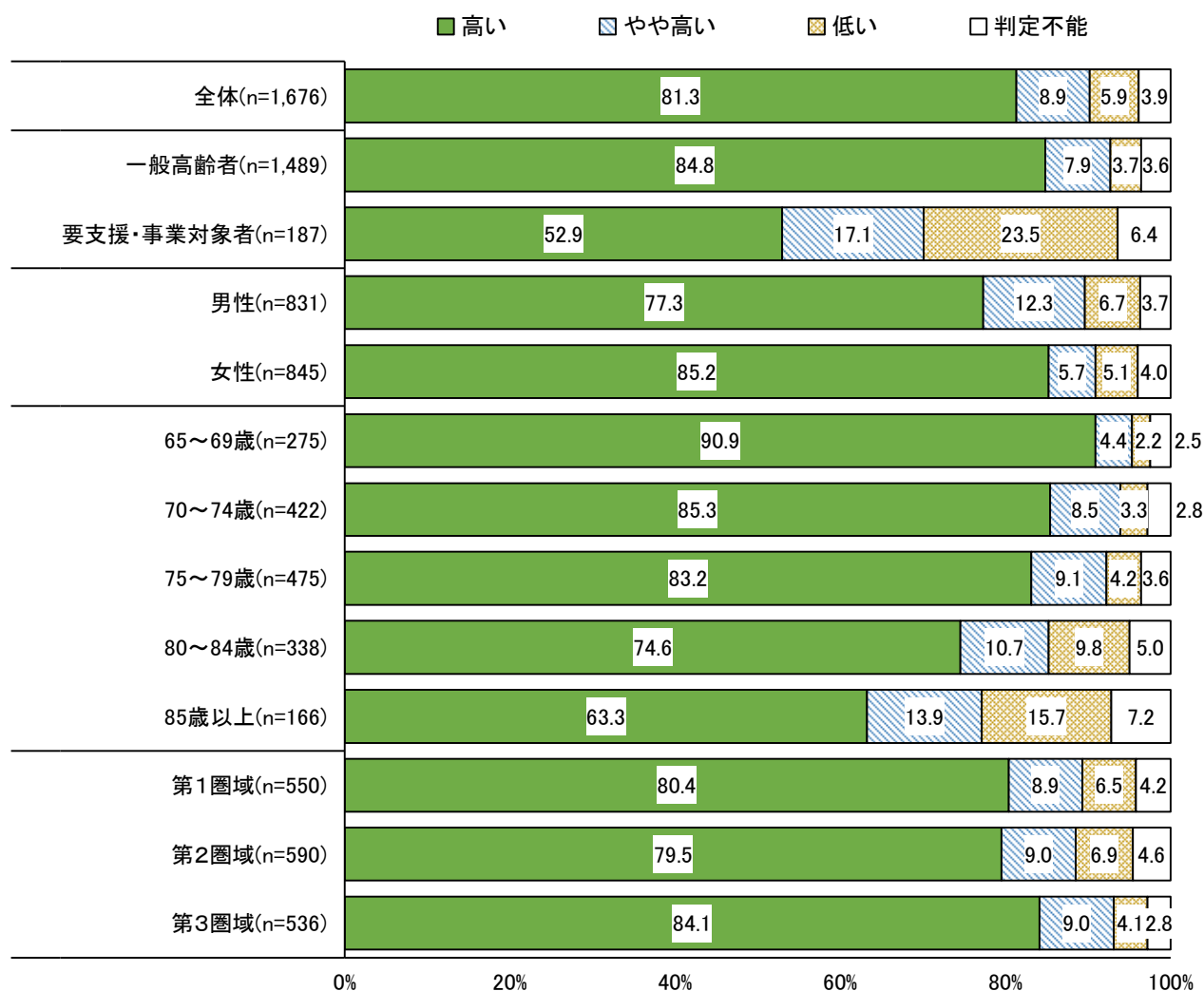
IADL (手段的日常生活動作) について、「低い」と判定された割合は、全体では5.9%となっています。

要支援・事業対象者では、「低い」と判定された割合が23.5%で一般高齢者より19.8ポイント高くなっています。

性別で見ると、「低い」と判定された割合は、男性が女性より1.6ポイント高くなっています。

また、年齢が高くなるほど「低い」と判定された割合が高くなっています。

日常生活圏域で見ると、「低い」と判定された割合は、第2圏域で最も高くなっています。



(9) 知的能動性

知的能動性の低下している高齢者を把握します。知的能動性とは、探索、創作、余暇活動などの知的な活動をすることです。

【以下4項目の合計】 4点…「高い」 3点…「やや低い」 0～2点…「低い」

問番号	設問	配点
問4(11)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	「はい」…1点
問4(12)	新聞を読んでいますか	「はい」…1点
問4(13)	本や雑誌を読んでいますか	「はい」…1点
問4(14)	健康についての記事や番組に関心がありますか	「はい」…1点

○各区分によるリスク該当割合

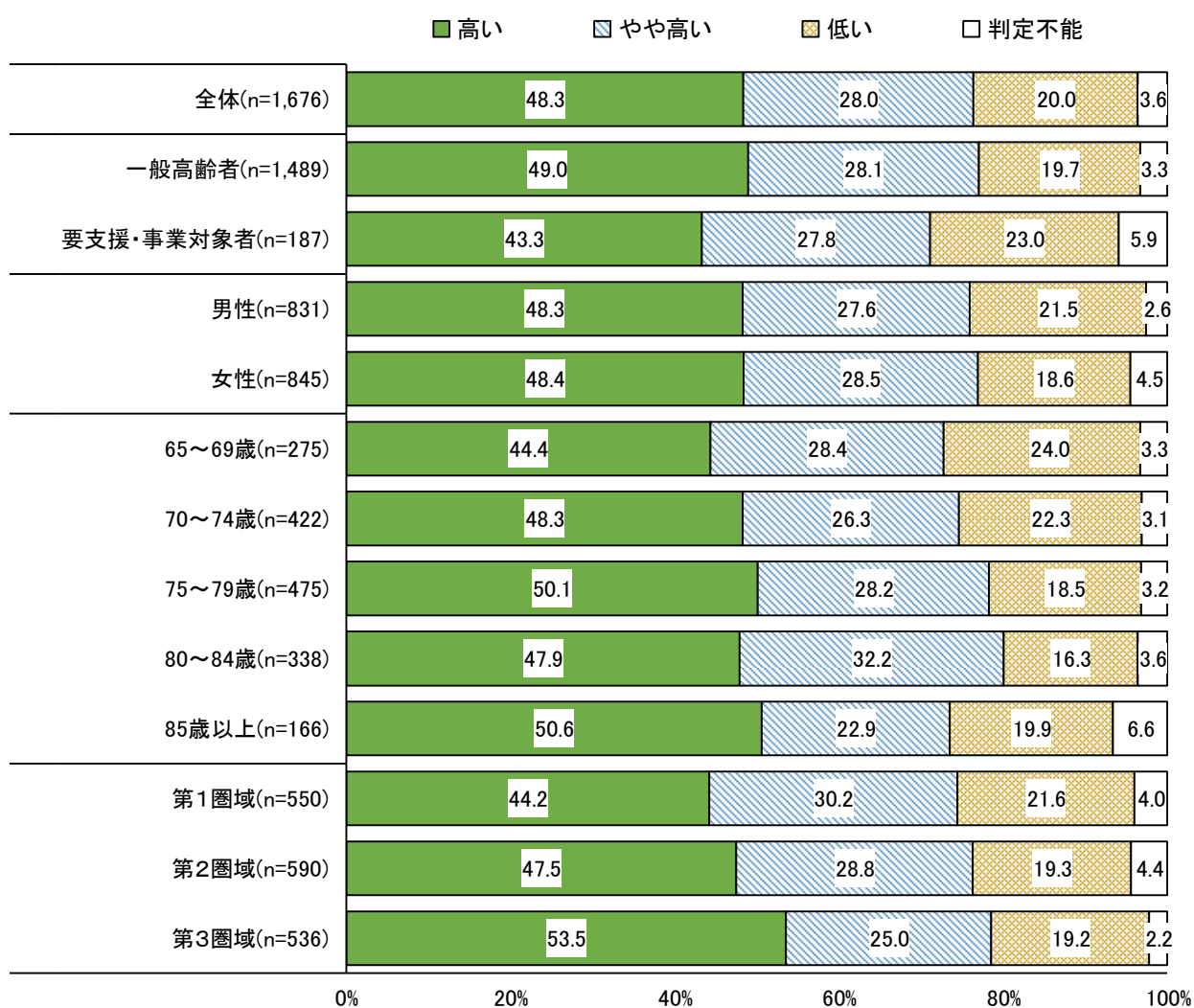
知的能動性について、「低い」と判定された割合は、全体では20.0%となっています。

要支援・事業対象者では、「低い」と判定された割合が23.0%で一般高齢者より3.3ポイント高くなっています。

性別でみると、「低い」と判定された割合は、男性が女性より2.9ポイント高くなっています。

年齢による差はみられず、「低い」と判定された割合は65～69歳で最も高くなっています。

日常生活圏域でみると、「低い」と判定された割合は、第1圏域で最も高くなっています。



(10) 社会的役割

社会的役割の低下している高齢者を把握します。社会的役割とは、仲間と会食の機会を持ったり、地域の活動に参加したりするなど、地域で社会的な役割を果たすことです。

【以下4項目の合計】 4点…「高い」 3点…「やや低い」 0～2点…「低い」

問番号	設問	配点
問4(15)	友人の家を訪ねていますか	「はい」…1点
問4(16)	家族や友人の相談にのっていますか	「はい」…1点
問4(17)	病人を見舞うことができますか	「はい」…1点
問4(18)	若い人に自分から話しかけることがありますか	「はい」…1点

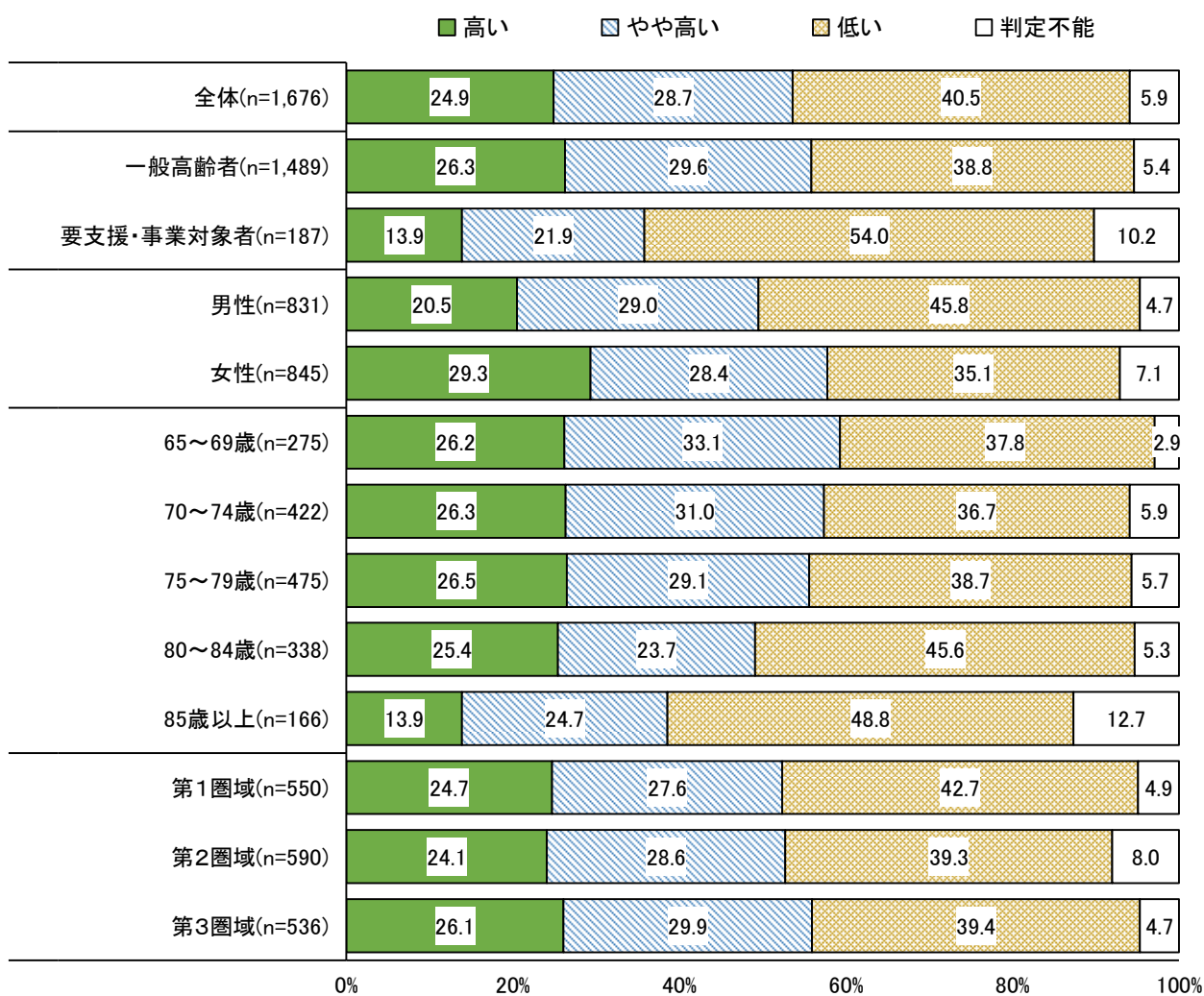
○各区分によるリスク該当割合

社会的役割について、「低い」と判定された割合は、全体では40.5%となっています。

要支援・事業対象者では、「低い」と判定された割合が54.0%で一般高齢者より15.2ポイント高くなっています。

性別でみると、「低い」と判定された割合は、男性が女性より10.7ポイント高くなっています。また、年齢が高くなるほど「低い」と判定された割合が高くなっています。

日常生活圏域でみると、「低い」と判定された割合は、第1圏域で最も高くなっています。



14 自由記載欄

(1) 市の高齢者福祉施策や介護保険サービスなどへの意見・要望

市の高齢者福祉施策や介護保険サービスなどに関してご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

市の高齢者福祉施策や介護保険サービスなどへの意見・要望について、292件の回答がありました。テーマ別に整理をすると次のような結果となっています。なお、複数のテーマについて書かれている内容については、重複してカウントしています。

単位:件

テーマ	件数
福祉施策・介護保険サービスについて	114
介護予防・健康増進について	49
情報提供について	39
道路・交通について	35
地域づくり・支え合いについて	23
アンケート調査について	23
相談支援について	10
仕事・生きがいについて	7
安全・安心について	5
その他（感想や自分自身のことなど）	49

第3章 在宅介護実態調査

1 A票 調査対象者本人について

(1) 回答者

現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(複数回答可)

回答者について、全体では「主な介護者となっている家族・親族」が52.5%で最も多く、以下「調査対象者本人」が47.9%、「主な介護者以外の家族・親族」が3.5%、「調査対象者のケアマネジャー」が1.3%となっています。

要支援1・2から要介護3～5にかけて、「調査対象者本人」が少なくなり、「主な介護者となっている家族・親族」が多くなっています。

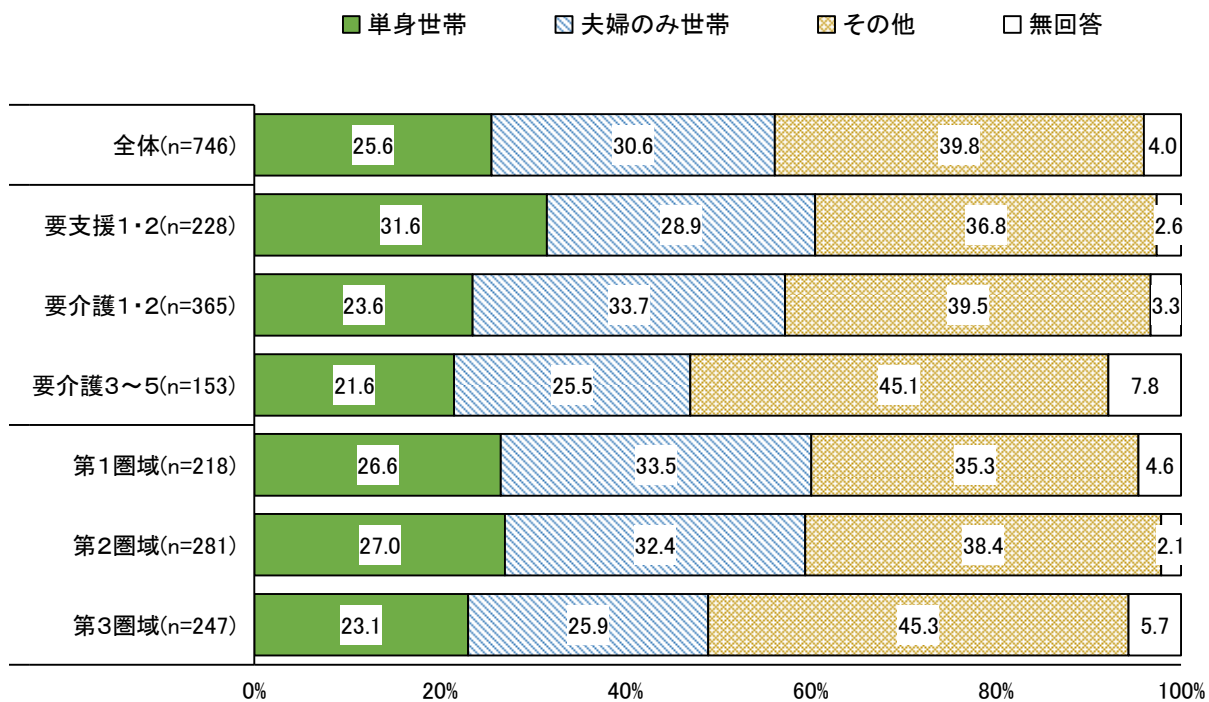
単位：%

	主な介護者となっている家族・親族	調査対象者本人	主な介護者以外の家族・親族	調査対象者のケアマネジャー	その他	無回答
全体(n=746)	52.5	47.9	3.5	1.3	1.2	2.1
要支援1・2(n=228)	24.6	78.5	0.9	0.9	0.4	1.3
要介護1・2(n=365)	59.2	42.2	4.4	1.9	1.4	1.1
要介護3～5(n=153)	78.4	15.7	5.2	0.7	2.0	5.9
単身世帯(n=191)	38.2	59.7	2.1	3.1	4.2	0.0
夫婦のみ世帯(n=228)	50.4	53.5	3.5	1.3	0.0	0.4
その他(n=297)	65.7	38.4	4.4	0.3	0.3	0.7
第1圏域(n=218)	51.4	50.9	3.2	1.8	0.0	1.4
第2圏域(n=281)	54.4	48.0	3.9	1.8	0.4	1.1
第3圏域(n=247)	51.4	44.9	3.2	0.4	3.2	4.0

(2) 世帯類型

世帯類型について、ご回答ください。(1つを選択)

世帯類型について、全体では「夫婦のみ世帯」が30.6%、「単身世帯」が25.6%となっています。要支援1・2から要介護3～5にかけて、「単身世帯」が少なくなり、「その他」が多くなっています。

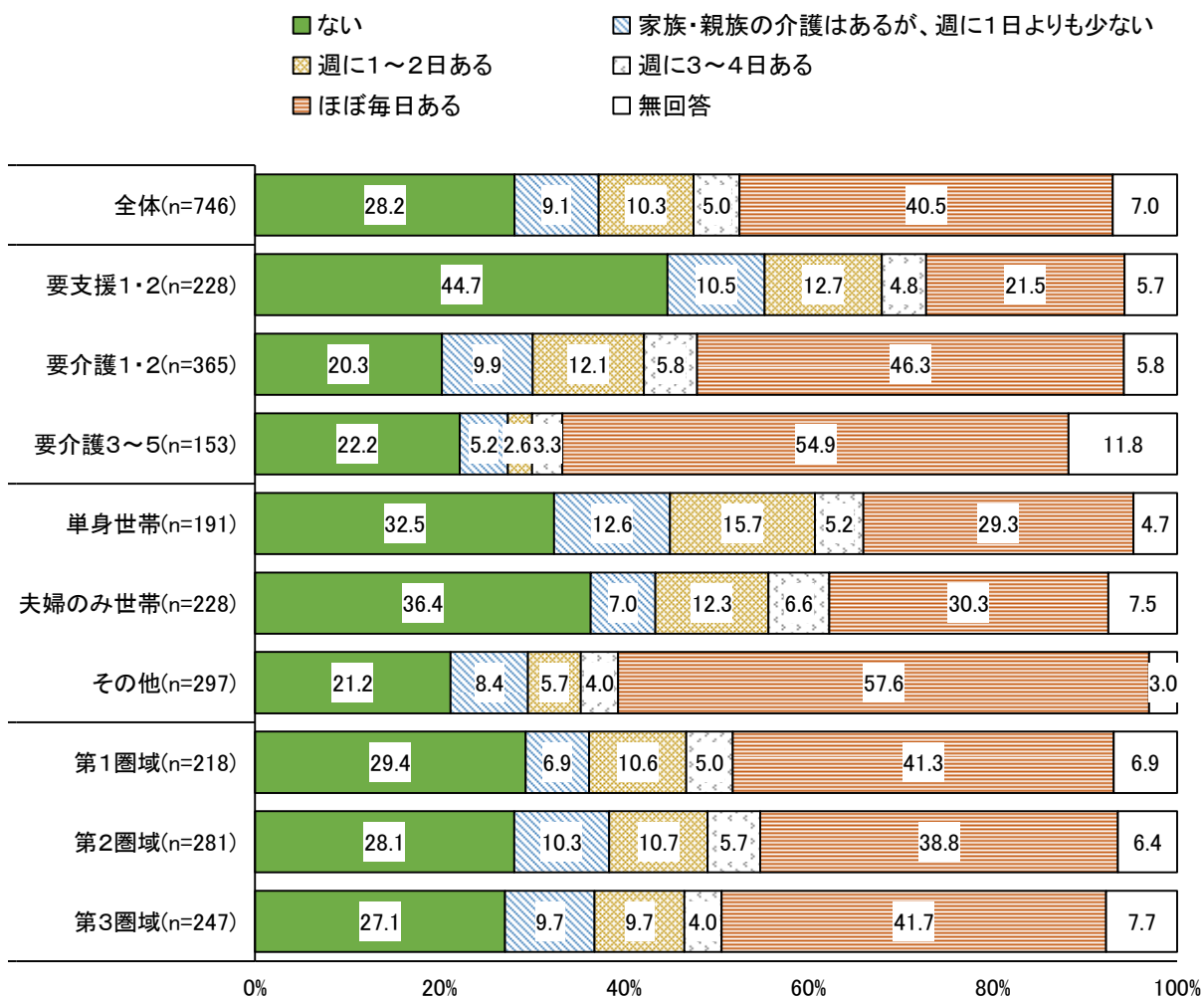


(3) 家族や親族からの介護

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどの位ありますか。(1つを選択)
 (同居していない子どもや親族等からの介護を含む)

家族や親族からの介護について、全体では「ほぼ毎日ある」が40.5%で最も多く、以下「ない」が28.2%、「週に1～2日ある」が10.3%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」が9.1%、「週に3～4日ある」が5.0%となっています。

要支援1・2から要介護3～5にかけて、「ほぼ毎日ある」が多くなっており、要介護3～5では54.9%となっています。逆に、要支援1・2では「ない」が44.7%となっています。

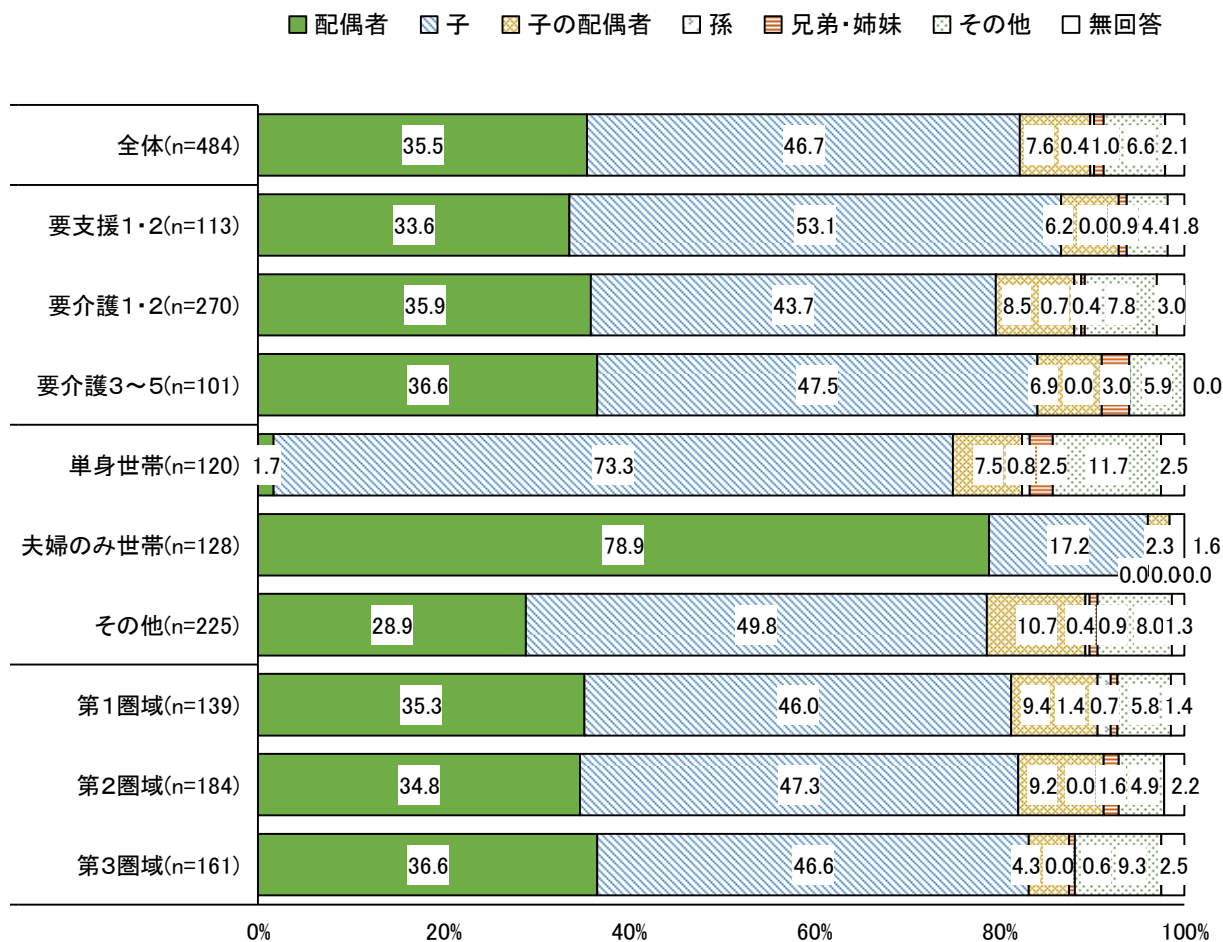


(4) 主な介護者

主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)

全体では「子」が46.7%で最も多く、以下「配偶者」が35.5%、「子の配偶者」が7.6%、「その他」が6.6%、「兄弟・姉妹」が1.0%、「孫」が0.4%となっています。

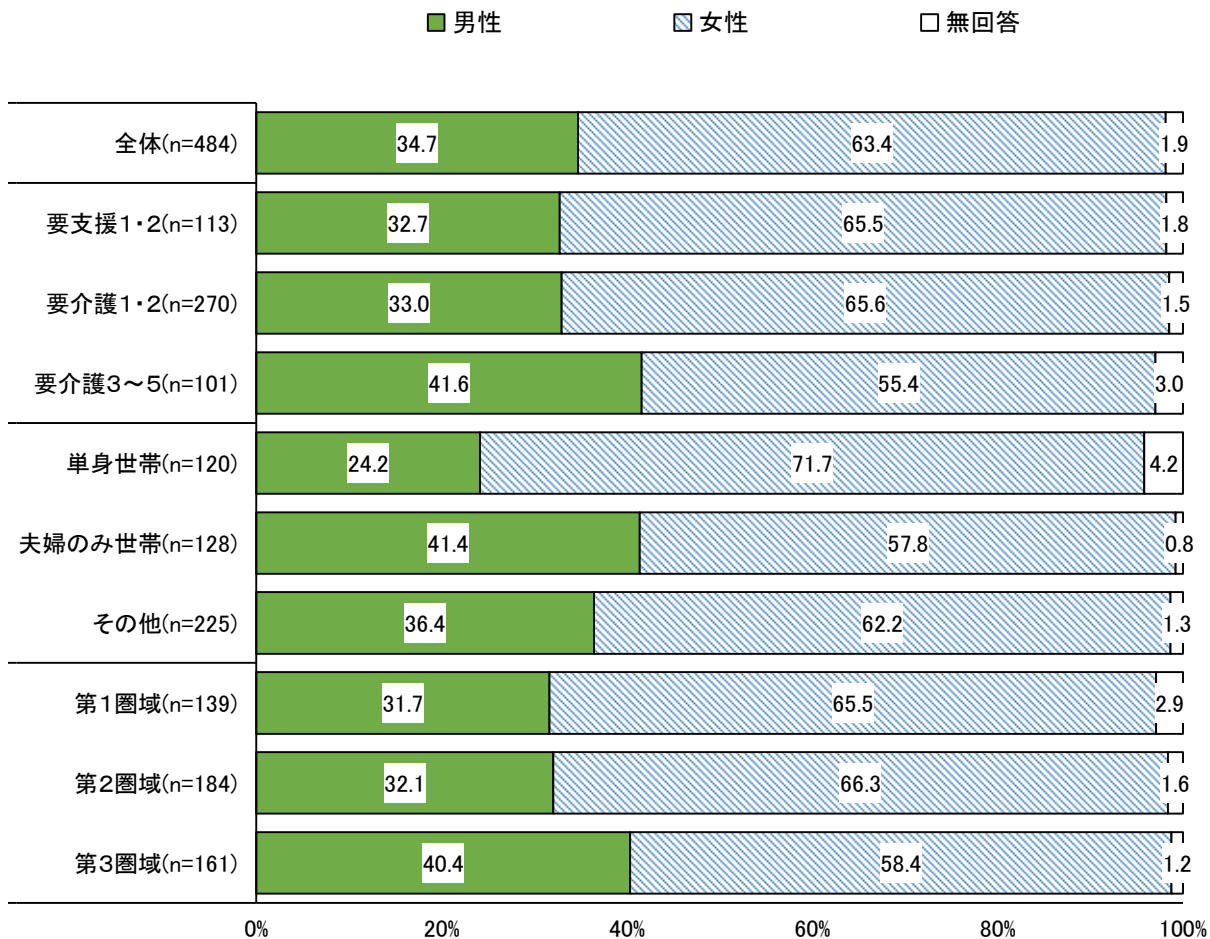
単身世帯では「子」が73.3%を占めているのに対し、夫婦のみ世帯では「配偶者」が78.9%を占めています。



(5) 主な介護者の性別

主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

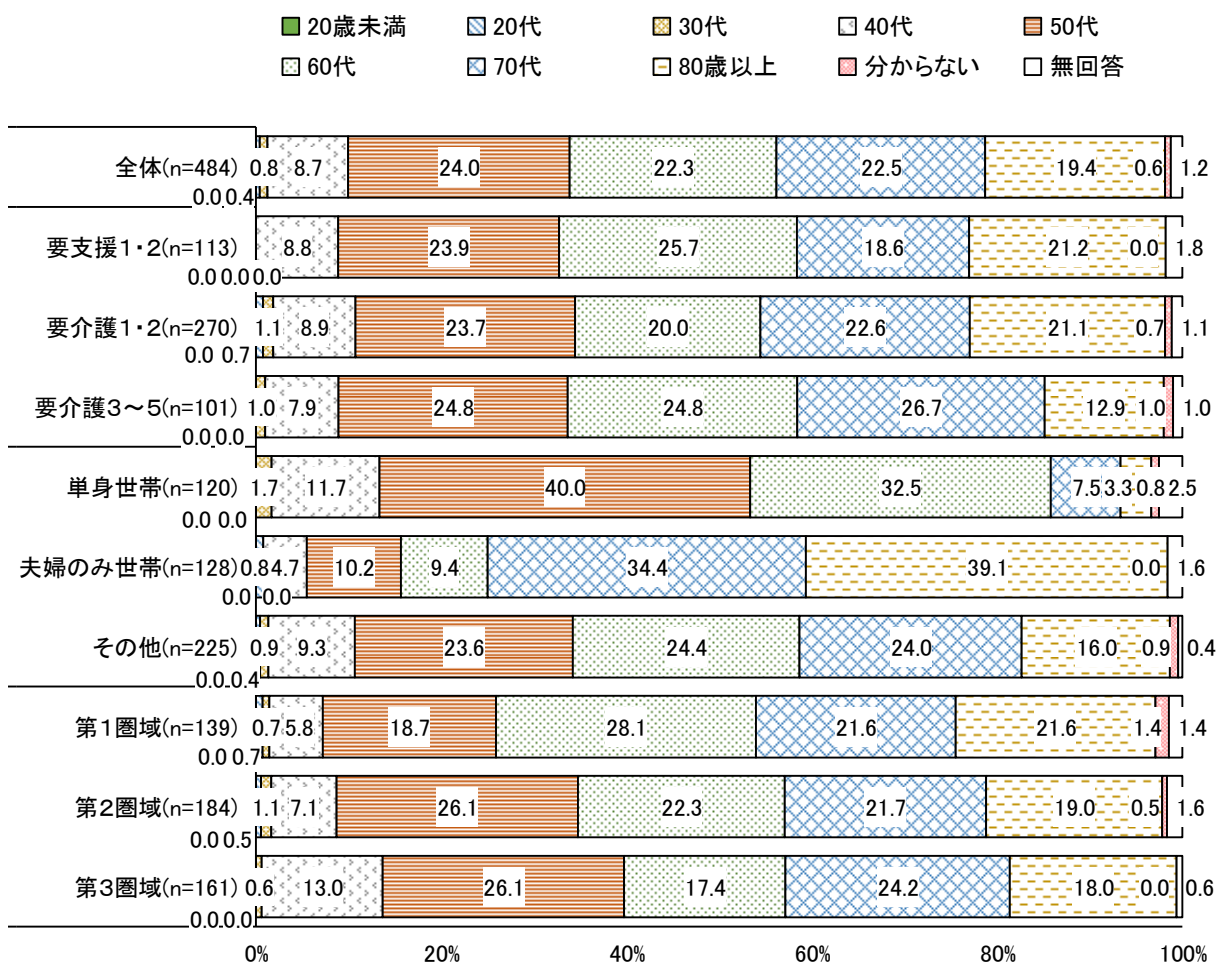
全体では「女性」が63.4%で最も多く、「男性」が34.7%となっています。
 いずれの区分でも「女性」が過半数を占めています。



(6) 主な介護者の年齢

主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

全体では「50代」が24.0%で最も多く、以下「70代」が22.5%、「60代」が22.3%、「80歳以上」が19.4%、「40代」が8.7%、「30代」が0.8%となっています。



(7) 主な介護者が行っている介護等

現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(複数選択可)

全体では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が80.4%で最も多く、以下「外出の付き添い、送迎等」が72.7%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が71.5%、「食事の準備（調理等）」が66.9%、「服薬」が44.8%、「衣服の着脱」が32.2%となっています。

第3章 在宅介護実態調査

単位:%

	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	外出の付き添い、送迎等	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	食事の準備(調理等)	服薬	衣服の着脱	認知症状への対応	入浴・洗身	屋内の移乗・移動
全体(n=484)	80.4	72.7	71.5	66.9	44.8	32.2	26.4	25.4	21.9
要支援1・2(n=113)	70.8	73.5	46.0	43.4	15.9	9.7	4.4	16.8	6.2
要介護1・2(n=270)	80.7	73.3	76.7	72.6	48.5	28.9	33.3	28.5	18.1
要介護3～5(n=101)	90.1	70.3	86.1	78.2	67.3	66.3	32.7	26.7	49.5
単身世帯(n=120)	79.2	66.7	64.2	49.2	35.8	17.5	22.5	18.3	14.2
夫婦のみ世帯(n=128)	82.8	73.4	71.9	67.2	43.8	36.7	26.6	25.8	18.0
その他(n=225)	81.8	76.4	76.0	76.9	51.1	38.2	28.9	29.8	28.4
第1圏域(n=139)	77.0	69.8	69.8	64.7	41.0	27.3	28.1	25.9	19.4
第2圏域(n=184)	81.5	74.5	71.2	63.6	45.1	33.2	26.6	26.1	23.4
第3圏域(n=161)	82.0	73.3	73.3	72.7	47.8	35.4	24.8	24.2	22.4

	日中の排泄	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	食事の介助(食べる時)	夜間の排泄	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	その他	分からない	無回答
全体(n=484)	19.0	19.0	18.4	16.3	12.4	8.7	0.0	1.9
要支援1・2(n=113)	0.9	1.8	6.2	3.5	4.4	4.4	0.0	4.4
要介護1・2(n=270)	11.9	17.4	15.2	10.4	11.9	8.9	0.0	1.1
要介護3～5(n=101)	58.4	42.6	40.6	46.5	22.8	12.9	0.0	1.0
単身世帯(n=120)	14.2	14.2	14.2	7.5	6.7	13.3	0.0	1.7
夫婦のみ世帯(n=128)	18.8	18.0	18.8	18.0	16.4	4.7	0.0	1.6
その他(n=225)	21.8	22.7	20.9	20.0	12.9	8.9	0.0	1.3
第1圏域(n=139)	22.3	18.0	16.5	16.5	9.4	7.2	0.0	1.4
第2圏域(n=184)	19.0	20.7	18.5	19.0	15.8	12.0	0.0	2.7
第3圏域(n=161)	16.1	18.0	19.9	13.0	11.2	6.2	0.0	1.2

(8) 介護を主な理由として退職・転職した家族や親族

ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

介護を主な理由として退職・転職した家族や親族について、全体では「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が63.2%で最も多く、以下「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が8.1%、「分からない」が5.0%、「主な介護者が転職した」が2.7%、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」が1.0%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」が0.4%となっています。

要支援1・2から要介護3～5にかけて「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が多くなっており、要介護3～5では12.9%となっています。

単位：%

	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	分からない	無回答
全体(n=484)	8.1	2.7	1.0	0.4	63.2	5.0	20.5
要支援1・2(n=113)	3.5	1.8	0.9	0.0	62.8	6.2	27.4
要介護1・2(n=270)	8.1	1.1	1.1	0.4	64.1	5.2	20.0
要介護3～5(n=101)	12.9	7.9	1.0	1.0	61.4	3.0	13.9
単身世帯(n=120)	5.8	3.3	3.3	0.8	71.7	3.3	14.2
夫婦のみ世帯(n=128)	7.8	2.3	0.0	0.0	59.4	4.7	26.6
その他(n=225)	9.3	2.7	0.4	0.4	62.2	6.2	18.7
第1圏域(n=139)	6.5	6.5	0.0	0.0	61.2	2.9	23.0
第2圏域(n=184)	10.3	1.6	1.6	0.0	64.7	5.4	17.9
第3圏域(n=161)	6.8	0.6	1.2	1.2	63.4	6.2	21.1

(9) 現在利用している支援・サービス

現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(複数選択可) ※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

現在利用している支援・サービスについて、全体では「利用していない」が51.5%で最も多く、以下「配食」が11.4%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が10.1%、「外出同行(通院、買い物など)」が8.6%、「掃除・洗濯」が7.9%、「ゴミ出し」が7.2%となっています。

単身世帯では全体的に割合が高く、「配食」が24.1%で最も多く、以下「ゴミ出し」が14.1%、「掃除・洗濯」が13.1%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が12.6%などとなっています。

単位: %

	配食	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	外出同行(通院、 買い物など)	掃除・洗濯	ゴミ出し	買い物(宅配は含まない)
全体(n=746)	11.4	10.1	8.6	7.9	7.2	5.8
要支援1・2(n=228)	11.8	9.6	8.8	10.1	9.2	5.3
要介護1・2(n=365)	11.2	9.3	8.8	7.1	6.3	5.5
要介護3～5(n=153)	11.1	12.4	7.8	6.5	6.5	7.2
単身世帯(n=191)	24.1	12.6	9.9	13.1	14.1	11.0
夫婦のみ世帯(n=228)	9.6	10.5	7.9	9.2	4.8	6.1
その他(n=297)	5.4	8.8	8.4	4.0	4.7	2.7
第1圏域(n=218)	11.5	9.2	6.0	8.7	6.9	5.0
第2圏域(n=281)	11.4	12.5	10.0	7.1	6.4	7.8
第3圏域(n=247)	11.3	8.1	9.3	8.1	8.5	4.0

	見守り、声かけ	サロンなどの 定期的な通いの場	調理	その他	利用していない	無回答
全体(n=746)	5.0	4.4	4.3	7.0	51.5	11.5
要支援1・2(n=228)	4.8	4.8	3.5	3.9	52.2	7.9
要介護1・2(n=365)	4.9	5.5	4.1	6.6	52.9	11.5
要介護3～5(n=153)	5.2	1.3	5.9	12.4	47.1	17.0
単身世帯(n=191)	9.4	6.3	7.9	5.8	42.9	5.8
夫婦のみ世帯(n=228)	3.5	3.5	4.8	3.9	55.3	12.3
その他(n=297)	3.7	4.4	2.0	10.8	56.6	10.1
第1圏域(n=218)	2.3	2.3	4.1	8.7	49.5	15.6
第2圏域(n=281)	6.4	5.7	3.9	5.0	53.7	7.1
第3圏域(n=247)	5.7	4.9	4.9	7.7	50.6	13.0

(10) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数選択可）

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、全体では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が27.1%で最も多く、以下「外出同行（通院、買い物など）」が23.2%、「配食」が17.4%、「見守り、声かけ」が15.4%、「掃除・洗濯」が14.6%となっています。

単身世帯では、現在利用している介護保険サービスと同様に、全体的に割合が高くなっており、在宅生活の継続に様々な支援・サービスを必要としていることがうかがえます。

単位：%

	移送サービス (介護・福祉タ クシー等)	外出同行(通 院、買い物な ど)	配食	見守り、声かけ	掃除・洗濯	買い物(宅配 は含まない)
全体(n=746)	27.1	23.2	17.4	15.4	14.6	12.1
要支援1・2(n=228)	28.5	24.1	15.8	11.4	14.9	15.4
要介護1・2(n=365)	28.5	25.8	19.5	17.5	16.4	12.3
要介護3～5(n=153)	21.6	15.7	15.0	16.3	9.8	6.5
単身世帯(n=191)	26.2	30.9	29.3	26.2	29.8	20.4
夫婦のみ世帯(n=228)	32.0	22.8	16.2	12.7	14.0	12.3
その他(n=297)	25.6	19.9	12.1	11.8	6.4	7.7
第1圏域(n=218)	25.7	22.0	15.1	14.2	14.7	11.9
第2圏域(n=281)	26.3	23.1	19.9	16.4	13.5	11.0
第3圏域(n=247)	29.1	24.3	16.6	15.4	15.8	13.4

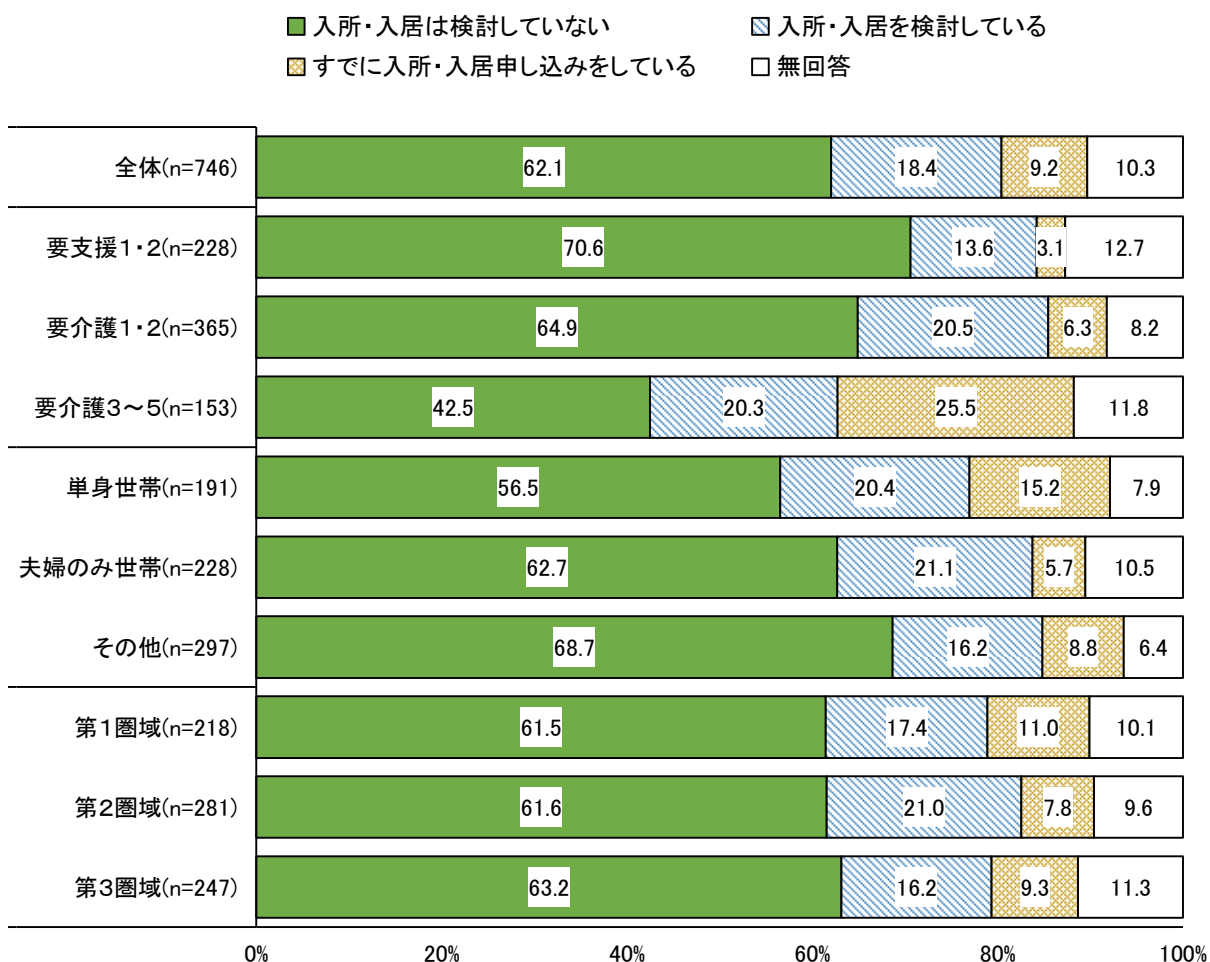
	ゴミ出し	サロンなどの 定期的な通い の場	調理	その他	特になし	無回答
全体(n=746)	11.4	9.4	8.7	6.7	26.5	14.2
要支援1・2(n=228)	12.3	11.4	6.1	3.9	27.6	9.6
要介護1・2(n=365)	12.9	10.1	10.1	5.8	24.9	14.0
要介護3～5(n=153)	6.5	4.6	9.2	13.1	28.8	21.6
単身世帯(n=191)	25.1	13.1	13.1	9.4	19.4	7.9
夫婦のみ世帯(n=228)	9.6	7.9	10.5	1.8	28.1	13.6
その他(n=297)	4.4	9.1	5.4	9.1	31.0	14.5
第1圏域(n=218)	10.6	8.3	7.8	5.0	27.1	15.6
第2圏域(n=281)	10.0	9.3	7.5	7.1	29.2	11.4
第3圏域(n=247)	13.8	10.5	10.9	7.7	23.1	16.2

(11) 施設等へ入所・入居の検討状況

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つを選択)
 ※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

施設等へ入所・入居の検討状況について、全体では「入所・入居は検討していない」が62.1%で最も多く、以下「入所・入居を検討している」が18.4%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が9.2%となっています。

要支援1・2から要介護3～5にかけて「入所・入居は検討していない」が少なくなり、「すでに入所・入居申し込みをしている」が多くなっており、要介護3～5では「すでに入所・入居申し込みをしている」が25.5%となっています。



(12) 調査対象者本人が抱えている傷病

ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（複数選択可）

調査対象者本人が抱えている傷病について、全体では「認知症」が26.3%で最も多く、以下「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄等）」が22.0%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が21.7%、「糖尿病」が20.4%、「心疾患（心臓病）」が15.4%となっています。

要支援1・2では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄等）」が29.8%で最も多く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が25.4%となっています。また、「変形性関節疾患」が21.1%で比較的多く、一方で「認知症」は4.4%にとどまっています。

要介護1・2と要介護3～5では「認知症」が最も多く、要介護1・2では34.5%、要介護3～5では39.2%となっています。

単位：％

	認知症	筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄等)	眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)	糖尿病	心疾患(心臓病)	脳血管疾患(脳卒中)	変形性関節疾患	呼吸器疾患	悪性新生物(がん)
全体(n=746)	26.3	22.0	21.7	20.4	15.4	13.1	12.7	8.8	6.4
要支援1・2(n=228)	4.4	29.8	25.4	19.7	18.0	5.3	21.1	11.4	8.3
要介護1・2(n=365)	34.5	17.3	20.5	19.7	16.4	15.3	8.8	7.1	4.7
要介護3～5(n=153)	39.2	21.6	19.0	22.9	9.2	19.6	9.8	9.2	7.8
単身世帯(n=191)	24.6	23.6	22.0	22.5	15.2	11.0	14.1	8.9	6.8
夫婦のみ世帯(n=228)	28.9	18.9	21.1	16.2	13.2	14.9	11.8	10.5	5.7
その他(n=297)	27.3	25.3	23.6	21.9	18.5	14.5	13.1	8.1	7.1
第1圏域(n=218)	24.3	21.6	19.7	16.5	16.5	11.5	14.7	10.1	7.8
第2圏域(n=281)	27.4	23.1	19.9	20.6	14.6	13.5	12.1	8.5	6.8
第3圏域(n=247)	26.7	21.1	25.5	23.5	15.4	14.2	11.7	8.1	4.9

	パーキンソン病	腎疾患(透析)	膠原病(関節リウマチ含む)	難病(パーキンソン病を除く)	その他	なし	分からない	無回答
全体(n=746)	4.2	3.9	3.9	3.4	18.5	3.8	0.7	5.8
要支援1・2(n=228)	2.2	3.9	5.7	1.3	15.8	3.5	0.4	4.4
要介護1・2(n=365)	3.3	3.8	3.3	3.3	20.0	4.9	0.8	5.8
要介護3～5(n=153)	9.2	3.9	2.6	6.5	19.0	1.3	0.7	7.8
単身世帯(n=191)	1.0	3.7	6.3	3.1	24.1	2.6	0.0	4.2
夫婦のみ世帯(n=228)	7.5	4.8	2.2	5.3	11.8	4.4	0.4	5.7
その他(n=297)	4.0	3.7	3.7	2.0	21.2	4.4	1.3	2.4
第1圏域(n=218)	5.0	3.2	4.1	1.8	16.5	3.2	1.4	6.4
第2圏域(n=281)	4.3	4.3	3.6	2.8	19.6	5.0	0.7	5.0
第3圏域(n=247)	3.2	4.0	4.0	5.3	19.0	2.8	0.0	6.1

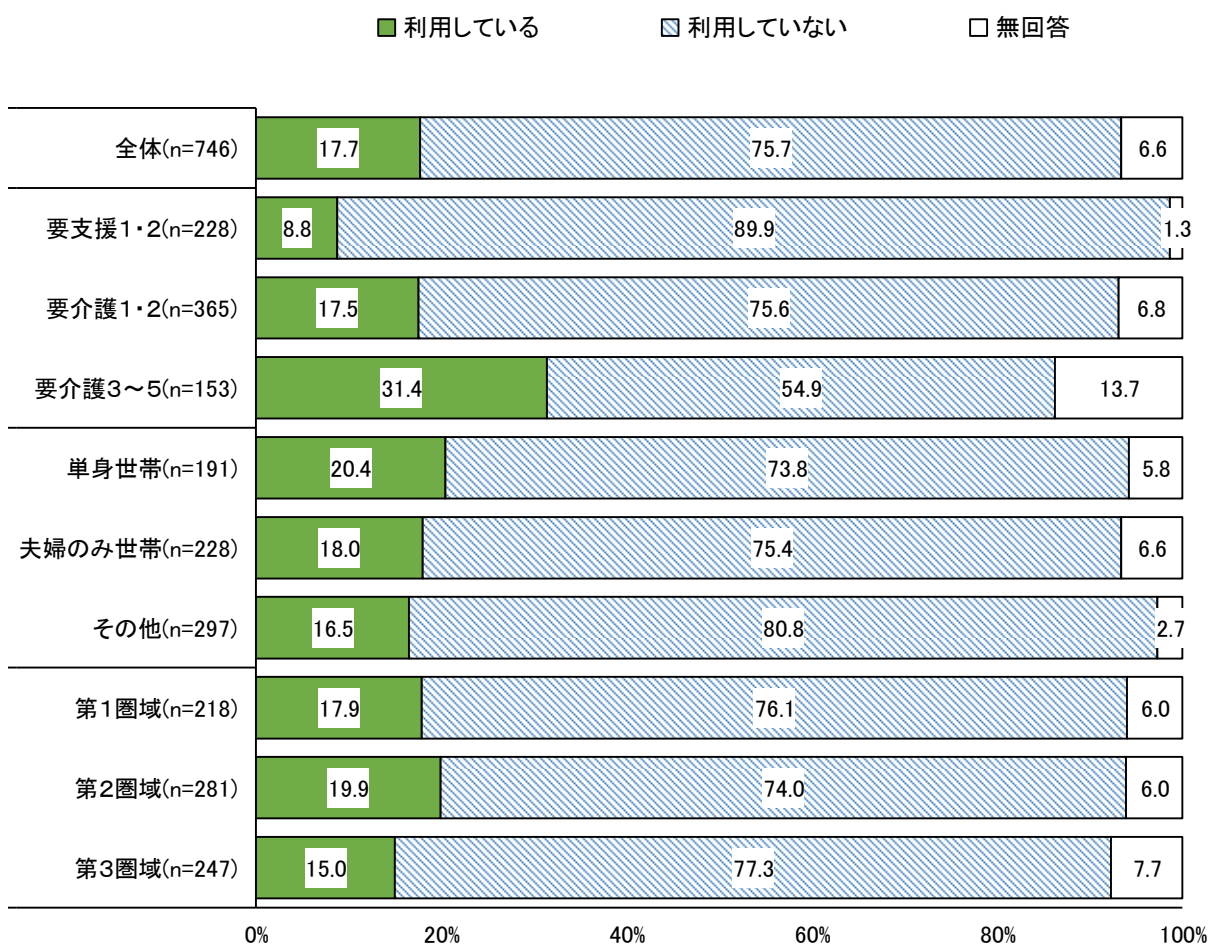
(13) 訪問診療の利用状況

ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つを選択）

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

訪問診療の利用状況について、全体では「利用していない」が75.7%で最も多く、「利用している」が17.7%となっています。

要支援1・2から要介護3～5にかけて「利用している」が多くなっており、要介護1・2では17.5%、要介護3～5では31.4%となっています。

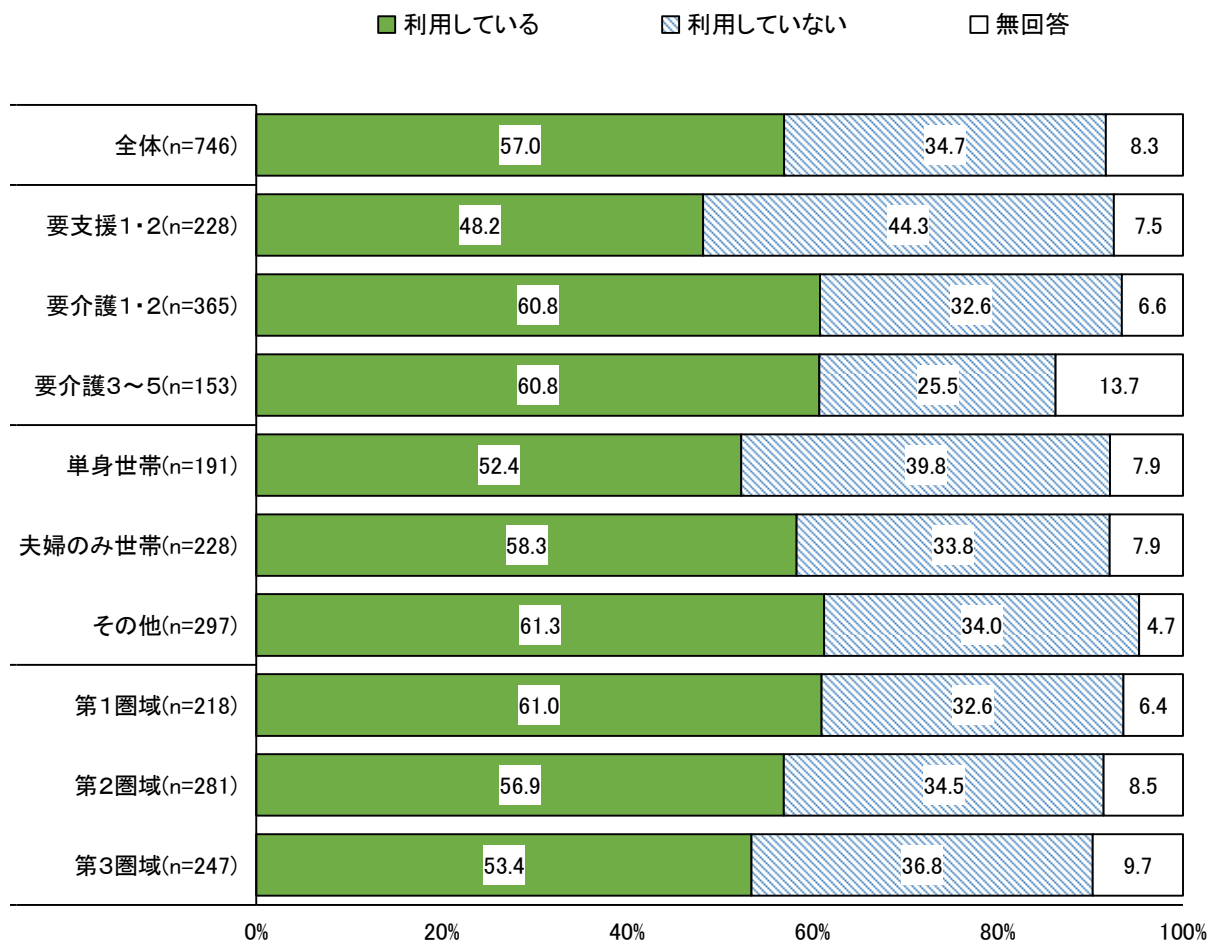


(14) 介護保険サービスの利用状況

現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか。
(1つを選択)

介護保険サービスの利用状況について、全体では「利用している」が 57.0%で最も多く、「利用していない」が 34.7%となっています。

要介護1・2と要介護3～5では「利用している」がともに 60.8%を占めています。



(15) 介護保険サービスを利用していない理由

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

介護保険サービスを利用していない理由について、全体では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が37.1%で最も多く、以下「家族が介護をするため必要ない」が20.8%、「本人にサービス利用の希望がない」が16.2%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が8.1%、「利用料を支払うのが難しい」が5.0%となっています。

要支援1・2と要介護1・2では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も多くなっているのに対し、要介護3～5では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」との回答はなく、「家族が介護をするため必要ない」が最も多くなっています。

単身世帯では「家族が介護をするため必要ない」が6.6%となっているのに対し、夫婦のみ世帯では20.8%、その他では31.7%となっています。

第3圏域では、「家族が介護をするため必要ない」と「本人にサービス利用の希望がない」が比較的多く、第1圏域と比較すると、ともに10ポイント以上の差がみられます。

単位：％

	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	家族が介護をするため必要ない	本人にサービス利用の希望がない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	利用料を支払うのが難しい
全体(n=259)	37.1	20.8	16.2	8.1	5.0
要支援1・2(n=101)	48.5	16.8	14.9	6.9	4.0
要介護1・2(n=119)	39.5	24.4	18.5	7.6	5.9
要介護3～5(n=39)	0.0	20.5	12.8	12.8	5.1
単身世帯(n=76)	34.2	6.6	15.8	2.6	2.6
夫婦のみ世帯(n=77)	41.6	20.8	15.6	3.9	10.4
その他(n=101)	35.6	31.7	17.8	15.8	3.0
第1圏域(n=71)	36.6	11.3	9.9	8.5	2.8
第2圏域(n=97)	39.2	20.6	11.3	10.3	9.3
第3圏域(n=91)	35.2	28.6	26.4	5.5	2.2

	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	利用したいサービスが利用できない、身近にない	以前、利用していたサービスに不満があった	その他	無回答
全体(n=259)	4.2	3.9	2.7	13.5	17.0
要支援1・2(n=101)	5.0	5.0	3.0	7.9	20.8
要介護1・2(n=119)	5.0	3.4	3.4	7.6	14.3
要介護3～5(n=39)	0.0	2.6	0.0	46.2	15.4
単身世帯(n=76)	6.6	2.6	1.3	15.8	26.3
夫婦のみ世帯(n=77)	5.2	2.6	3.9	9.1	16.9
その他(n=101)	2.0	5.9	3.0	15.8	8.9
第1圏域(n=71)	4.2	2.8	0.0	14.1	23.9
第2圏域(n=97)	6.2	2.1	1.0	11.3	16.5
第3圏域(n=91)	2.2	6.6	6.6	15.4	12.1

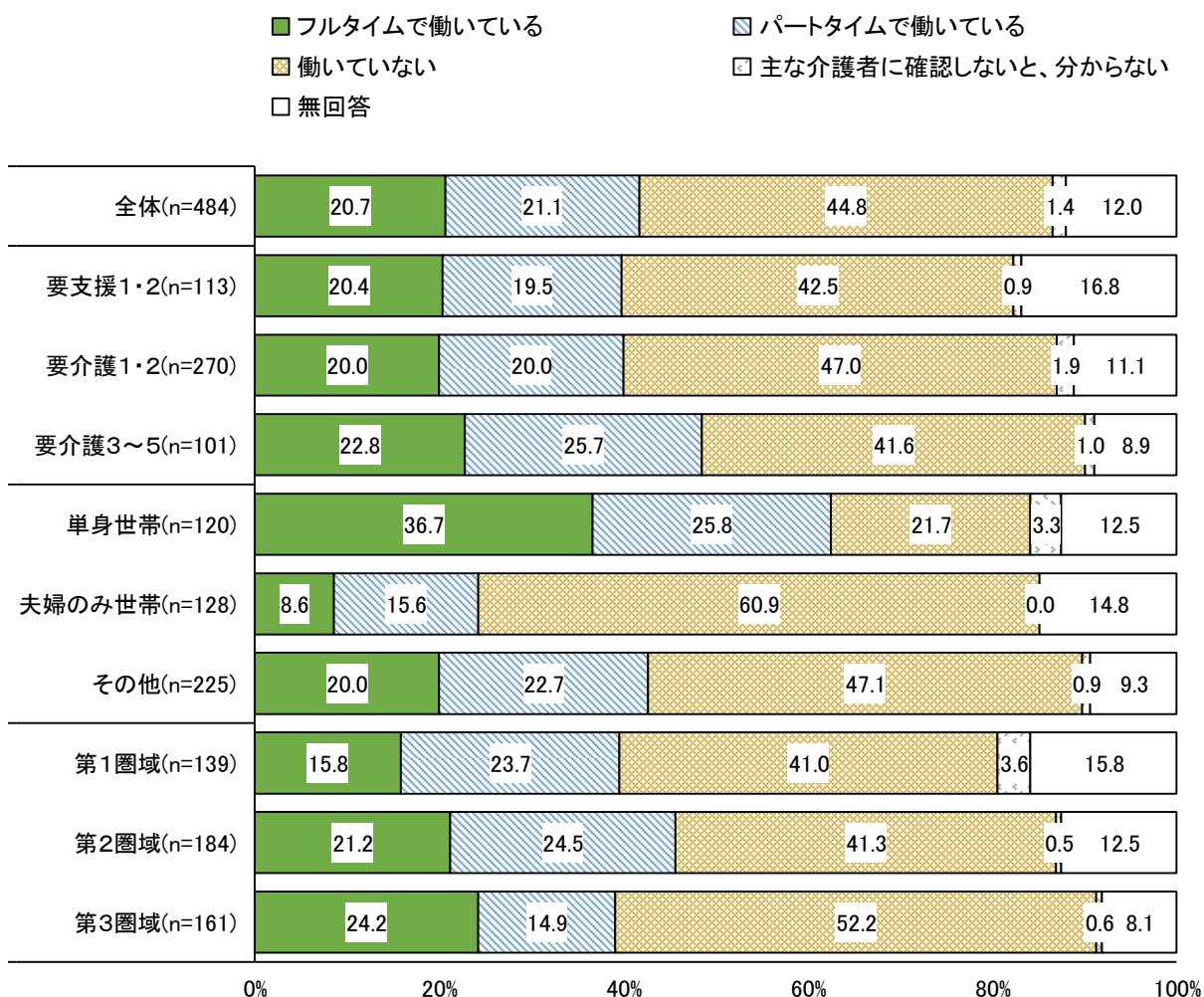
2 B票 主な介護者について

(1) 主な介護者の勤務形態

主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)
 ※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

主な介護者の勤務形態について、全体では「働いていない」が44.8%で最も多く、以下「パートタイムで働いている」が21.1%、「フルタイムで働いている」が20.7%、「主な介護者に確認しないと、分からない」が1.4%となっています。

夫婦のみ世帯では「働いていない」が60.9%を占めています。



(2) 介護をするための働き方の調整

問1で「1.」「2.」と回答した方（働いている方）にお伺いします。
 主な介護者の方は、介護をするために、何か働き方についての調整等をしていますか。
 （複数選択可）

介護をするための働き方の調整について、全体では「特に行っていない」が45.0%で最も多く、以下「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が33.7%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が19.3%、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が9.9%、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が3.0%となっています。

要支援1・2から要介護3～5にかけて「特に行っていない」が少なくなっており、何らかの調整をしている介護者が多くなっています。

第1圏域と第2圏域では過半数が何らかの調整をしているのに対し、第3圏域では63.5%が「特に行っていない」と回答しています。

単位：%

	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、分からない	無回答
全体(n=202)	45.0	33.7	19.3	3.0	9.9	0.0	2.5
要支援1・2(n=45)	64.4	20.0	20.0	4.4	6.7	0.0	2.2
要介護1・2(n=108)	41.7	38.0	16.7	1.9	7.4	0.0	2.8
要介護3～5(n=49)	34.7	36.7	24.5	4.1	18.4	0.0	2.0
単身世帯(n=75)	48.0	29.3	17.3	2.7	5.3	0.0	4.0
夫婦のみ世帯(n=31)	41.9	41.9	16.1	0.0	12.9	0.0	0.0
その他(n=96)	43.8	34.4	21.9	4.2	12.5	0.0	2.1
第1圏域(n=55)	32.7	32.7	18.2	0.0	20.0	0.0	0.0
第2圏域(n=84)	39.3	40.5	21.4	6.0	8.3	0.0	6.0
第3圏域(n=63)	63.5	25.4	17.5	1.6	3.2	0.0	0.0

(3) 仕事と介護の両立のための支援

問1で「1.」「2.」と回答した方（働いている方）にお伺いします。

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（3つまで選択可）

仕事と介護の両立のための支援について、全体では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が30.2%で最も多く、以下「介護をしている従業員への経済的な支援」が28.7%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が24.8%、「制度を利用しやすい職場づくり」が18.3%、「特になし」が18.3%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が14.9%となっています。

第3章 在宅介護実態調査

単位：%

	介護休業・介護休暇等の制度の充実	介護をしている従業員への経済的な支援	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)	制度を利用しやすい職場づくり	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
全体(n=202)	30.2	28.7	24.8	18.3	14.9	8.4
要支援1・2(n=45)	33.3	22.2	24.4	17.8	11.1	8.9
要介護1・2(n=108)	26.9	27.8	21.3	16.7	16.7	7.4
要介護3～5(n=49)	34.7	36.7	32.7	22.4	14.3	10.2
単身世帯(n=75)	25.3	26.7	26.7	18.7	16.0	12.0
夫婦のみ世帯(n=31)	35.5	35.5	16.1	9.7	12.9	0.0
その他(n=96)	32.3	28.1	26.0	20.8	14.6	8.3
第1圏域(n=55)	50.9	34.5	25.5	21.8	9.1	7.3
第2圏域(n=84)	25.0	25.0	22.6	19.0	19.0	10.7
第3圏域(n=63)	19.0	28.6	27.0	14.3	14.3	6.3

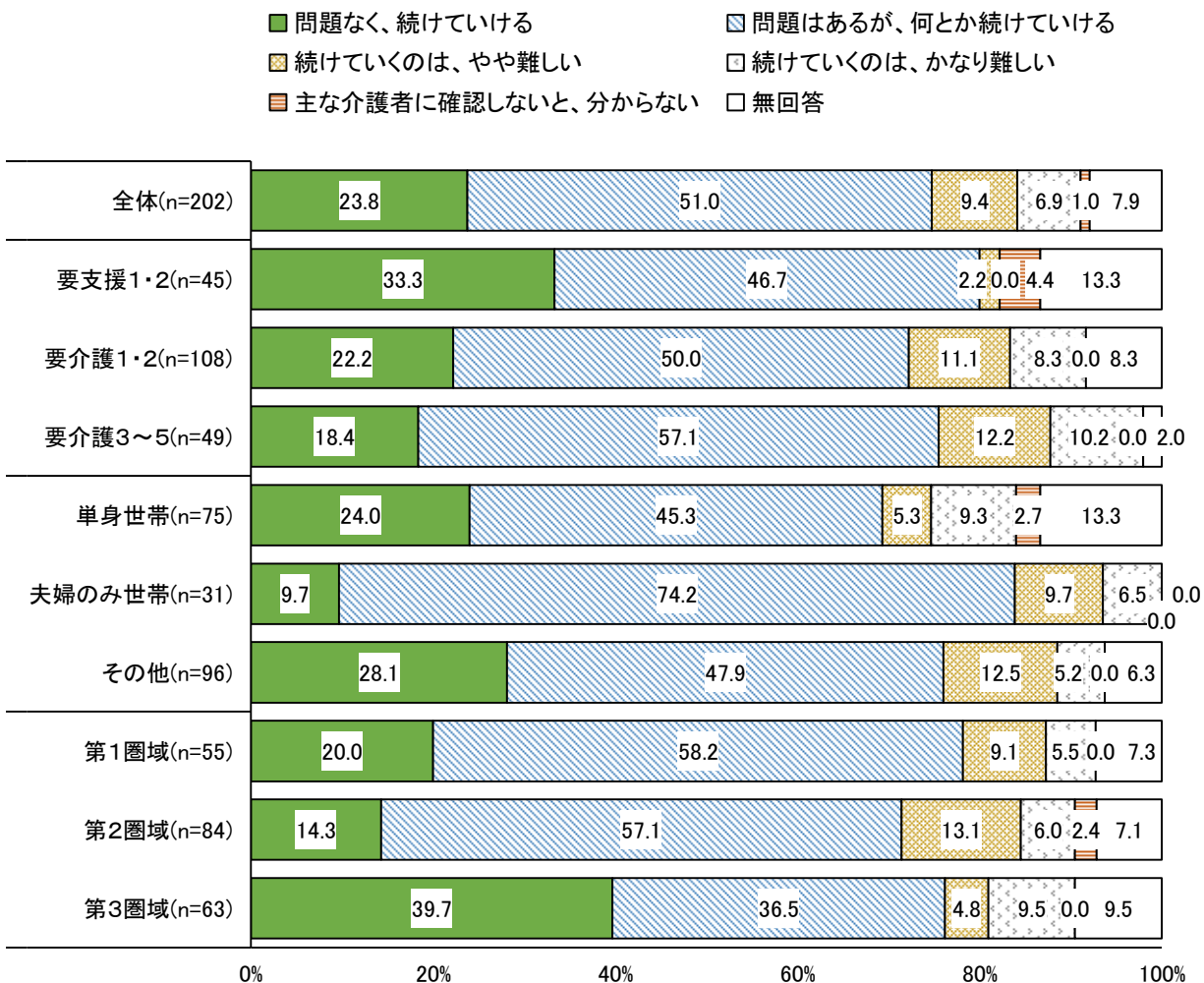
	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	仕事と介護の両立に関する情報の提供	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、分からない	無回答
全体(n=202)	6.9	5.9	1.0	18.3	1.5	5.9
要支援1・2(n=45)	6.7	2.2	2.2	17.8	4.4	15.6
要介護1・2(n=108)	7.4	7.4	0.9	19.4	0.9	3.7
要介護3～5(n=49)	6.1	6.1	0.0	16.3	0.0	2.0
単身世帯(n=75)	9.3	8.0	1.3	14.7	4.0	8.0
夫婦のみ世帯(n=31)	6.5	9.7	0.0	19.4	0.0	0.0
その他(n=96)	5.2	3.1	1.0	20.8	0.0	6.3
第1圏域(n=55)	3.6	7.3	1.8	9.1	3.6	5.5
第2圏域(n=84)	10.7	6.0	1.2	11.9	1.2	7.1
第3圏域(n=63)	4.8	4.8	0.0	34.9	0.0	4.8

(4) 仕事と介護の両立の可能性

問1で「1.」「2.」と回答した方（働いている方）にお伺いします。

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（1つを選択）

全体では「問題はあるが、何とか続けていける」が51.0%で最も多く、以下「問題なく、続けていける」が23.8%、「続けていくのは、やや難しい」が9.4%、「続けていくのは、かなり難しい」が6.9%、「主な介護者に確認しないと、分からない」が1.0%となっています。



(5) 主な介護者が不安に感じる介護等

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

全体では「認知症状への対応」が25.8%で最も多く、以下「外出の付き添い、送迎等」が25.4%、「夜間の排泄」が22.7%、「入浴・洗身」が21.3%、「日中の排泄」が16.9%、「食事の準備(調理等)」が15.5%となっています。

単位：%

	認知症状 への対応	外出の付 き添い、 送迎等	夜間の排 泄	入浴・洗 身	日中の排 泄	食事の準 備(調理 等)	その他の 家事(掃 除、洗 濯、買 い物等)	金銭管理 や生活面 に必要な 諸手続き	屋内の移 乗・移動
全体(n=484)	25.8	25.4	22.7	21.3	16.9	15.5	15.3	14.5	10.1
要支援1・2(n=113)	10.6	38.1	13.3	21.2	11.5	14.2	18.6	11.5	1.8
要介護1・2(n=270)	31.5	23.7	24.8	24.4	17.8	17.8	17.4	16.7	11.1
要介護3～5(n=101)	27.7	15.8	27.7	12.9	20.8	10.9	5.9	11.9	16.8
単身世帯(n=120)	25.8	19.2	23.3	17.5	14.2	15.0	21.7	11.7	3.3
夫婦のみ世帯(n=128)	24.2	23.4	15.6	18.0	12.5	17.2	17.2	18.0	12.5
その他(n=225)	27.6	29.8	25.3	25.3	20.4	15.6	11.1	14.7	12.4
第1圏域(n=139)	26.6	26.6	24.5	18.0	15.1	17.3	12.9	20.1	11.5
第2圏域(n=184)	28.3	25.5	23.4	25.5	20.1	14.7	15.2	10.9	10.3
第3圏域(n=161)	22.4	24.2	20.5	19.3	14.9	14.9	17.4	13.7	8.7

	服薬	医療面で の対応 (経管栄 養、ス トーマ 等)	衣服の着 脱	食事の介 助(食べ る時)	身だしな み(洗顔 ・歯磨き 等)	その他	不安に感 じている ことは、 特にな い	主な介護 者に確認 しないと、 分からな い	無回答
全体(n=484)	9.9	6.0	5.4	4.5	3.1	6.8	7.2	3.3	8.5
要支援1・2(n=113)	4.4	8.0	4.4	2.7	0.9	10.6	8.8	6.2	12.4
要介護1・2(n=270)	13.0	4.8	6.7	3.7	4.1	4.4	6.7	2.6	5.2
要介護3～5(n=101)	7.9	6.9	3.0	8.9	3.0	8.9	6.9	2.0	12.9
単身世帯(n=120)	10.8	6.7	5.0	5.0	2.5	7.5	10.8	5.0	8.3
夫婦のみ世帯(n=128)	12.5	7.8	4.7	4.7	3.1	4.7	5.5	5.5	9.4
その他(n=225)	8.0	4.9	6.2	4.4	3.6	8.0	6.2	0.9	7.6
第1圏域(n=139)	7.2	7.9	3.6	3.6	2.2	5.0	3.6	2.9	10.8
第2圏域(n=184)	9.8	5.4	6.0	6.5	2.7	8.2	6.5	3.3	7.6
第3圏域(n=161)	12.4	5.0	6.2	3.1	4.3	6.8	11.2	3.7	7.5

3 C票 自由記載欄

(1) 市の高齢者福祉施策や介護保険サービスなどへの意見・要望

市の高齢者福祉施策や介護保険サービスなどに関してご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

市の高齢者福祉施策や介護保険サービスなどへの意見・要望について、181件の回答がありました。テーマ別に整理をすると次のような結果となっています。なお、複数のテーマについて書かれている内容については、重複してカウントしています。

単位:件

テーマ	件数
福祉施策・介護保険サービスについて	108
情報提供について	12
道路・交通について	12
アンケート調査について	11
介護予防・健康増進について	8
安全・安心について	5
相談支援について	4
地域づくり・支え合いについて	3
その他（感想や自分自身のことなど）	49

吉川市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
および在宅介護実態調査報告書

発行 吉川市
発行日 令和5年6月
編集 吉川市健康福祉部長寿支援課
住所 〒342-8501
埼玉県吉川市きよみ野一丁目1番地
電話 048-982-5118
ファックス 048-981-5392
